

# 盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅱ

－盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡平成5～12年度発掘調査②－

稲荷遺跡

本宮熊堂A遺跡

本宮熊堂B遺跡

野古A遺跡

飯岡沢田遺跡

飯岡才川遺跡

向中野館遺跡

細谷地遺跡

矢盛遺跡

南仙北遺跡

2009.3

独立行政法人 都市再生機構  
盛岡市・盛岡市教育委員会

# 盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅱ

－盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡平成5～12年度発掘調査②－

稲荷遺跡

本宮熊堂A遺跡

本宮熊堂B遺跡

野古A遺跡

飯岡沢田遺跡

飯岡才川遺跡

向中野館遺跡

細谷地遺跡

矢盛遺跡

南仙北遺跡

2009.3

独立行政法人 都市再生機構

盛岡市・盛岡市教育委員会

# 序

盛岡市は、東北地方の東部を南北に縦断する北上川と、その支流である雫石川・中津川が合流する地点に中心市街地が形成され、北に雄大な岩手山と姫神山を望む、岩手県の県庁所在地です。その骨格は、約400年前に南部氏により築城された盛岡城を中心とした城下町であり、藩政そして県政の中心として、また交通の要衝として栄えてきました。

近年の盛岡市は、平成4年4月に南に隣接する都南村と、平成18年1月に北に隣接する玉山村と合併し、人口約30万人、面積約886平方キロメートルという北東北の拠点都市となるとともに、平成20年4月には中核市へ移行しました。

この中心市街地の南西部、雫石川の南に広がる田園地帯に職住近接の新市街地を形成しようというのが「盛南開発構想」で、全体計画の約7割にあたる313.5ヘクタールを整備するのが「盛岡南新都市開発整備事業」です。事業主体は独立行政法人都市再生機構（旧地域振興整備公団）で、平成3年12月に事業認可、土地区画整理事業の整備手法により平成7年11月より着工されています。

それに伴い、当該区域内に所在する埋蔵文化財包蔵地17遺跡、計約90ヘクタールのうち、整備事業によって消滅を余儀なくされる遺跡の発掘調査を、平成5年度から当市教育委員会と財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが行っており、現在もなお継続しているところであります。

本報告書は、当市教育委員会が平成5年度から12年度に実施した発掘調査のうち、稲荷遺跡・本宮熊堂A遺跡・本宮熊堂B遺跡・野古A遺跡・飯岡沢田遺跡・飯岡才川遺跡・向中野館遺跡・細谷地遺跡・矢盛遺跡・南仙北遺跡の調査成果について報告するものです。区画整理事業及び発掘調査は現在も継続中ではありますが、不幸なことに平成12年12月に当市文化財調査室が火災のため全焼し、整理・収蔵中であった当該調査資料の多くが罹災しております。本書は、残存した調査資料をまとめて作成したのですが、市民の皆様をはじめ、各学校や教育機関・研究者等の方々に、当該地域の歴史を知るためにご活用いただければ幸いと存じます。

最後になりましたが、発掘調査を実施するにあたり、多大なるご協力やご指導を賜りました都市再生機構岩手都市開発事務所ならびに岩手県教育委員会生涯学習文化課、財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターに対し深く感謝申し述べると共に、発掘調査にご理解とご協力をいただきました地権者各位ならびに地元関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成21年3月

盛岡市教育委員会

教育長 八巻 恒雄

# 例 言

- 1 本書は、岩手県盛岡市本宮・向中野・飯岡新田・南仙北に所在する盛南地区遺跡群において、「盛岡南新都市開発整備事業」及び関係事業に伴い平成5年度から12年度に実施した発掘調査の報告書である。なお、「盛南地区遺跡群」の名称については、事業区域内に所在する計17遺跡を包括する総称として使用し、本書ではそのうち稲荷遺跡、本宮熊堂A遺跡、本宮熊堂B遺跡、野古A遺跡、飯岡沢田遺跡、飯岡才川遺跡、向中野館遺跡、細谷地遺跡、矢盛遺跡、南仙北遺跡の調査成果を報告する。
- 2 本書の編集は盛岡市遺跡の学び館が行い、資料整理作業を今野公顕（平成19年度）・津嶋知弘（平成20年度）が、編集・執筆作業を津嶋知弘が主に担当した。
- 3 遺構平面位置は、日本測地系 平面直角座標X系を座標変換した調査座標で表示した（一部調査を除く）。
  - ・調査座標軸は、日本測地系第X系に準じる
  - ・調査座標原点

稲荷・本宮熊堂A・本宮熊堂B・野古A遺跡	X -35,000	Y +25,000	→	R X ± 0	R Y ± 0
飯岡沢田遺跡	X -35,550	Y +25,750	→	R X ± 0	R Y ± 0
飯岡才川・向中野館・細谷地遺跡	X -35,000	Y +26,000	→	R X ± 0	R Y ± 0
矢盛遺跡	X -36,050	Y +26,000	→	R X ± 0	R Y ± 0
南仙北遺跡	X -36,000	Y +27,000	→	R X ± 0	R Y ± 0
- 4 高さは、標高値をそのまま使用した（一部調査を除く）。
- 5 土層断面図は堆積のしかたを重視し、線の太さを使い分けた。層相の観察にあたっては『新版標準土色帖』（農林水産省農林水産技術会議事務局監修）を使用した。

層名の記号は次のとおりとした。

記号	
遺構堆積土	A～I層
竪穴住居カマド崩壊土	J層
竪穴住居カマド構築土	K層
床構築土	L層
地形形成堆積土(遺物包含層含む)	I(ローマ数字)～層

- 6 遺構記号は次のとおりとした。

記号			
竪穴住居跡	R A	溝跡	R G
建物跡	R B	配石・集石遺構	R H
柱列跡	R C	井戸跡	R I
土坑	R D	土器埋設	R P
竪穴建物跡	R E	古墳・円形周溝ほか	R X
焼土遺構	R F	土坑墓ほか	R Z

7 遺構番号は、県埋文センター調査遺構番号との整合を図りつつ、資料整理の便宜上から以下のとおりとした。

縄文時代～古代の本調査精査遺構：3桁の遺跡内連続番号（基本的に県埋文センター調査遺構番号に連続）

試掘確認調査の検出・精査遺構：上2桁が調査次数番号＋下3桁が次数内連続番号

8 遺構平面図の線種は次のとおりとした。

検出	実線	—————
推定	破線	- - - - -
時期差	一点鎖点	— · — · —

9 古代の竪穴住居跡のカマド方向は、カマド本体中心(炊き口)から煙道先端(煙出し)を結んだ線の方向の傾きとした。

10 古代の土器区分は、土師器・あかやき土器・須恵器に分類した。「あかやき土器」の名称は、ロクロ使用の酸化煙焼成土器(坏類、甕類、鉢)に使用し、ロクロ使用の内面黒色処理の坏類は土師器に分類した。

11 古代の土器の実測図作成については、坏類は口縁部残存1/4以上かつ底部まで残存するもの、甕類は口縁部残存1/4以上かつ体部まで残存するものを基本とし、必要に応じて破片実測も行った。また拓本は、須恵器甕類のタタキ目等器面調整が確認できるものとした。

11 発掘調査に伴う出土遺物及び諸記録は、盛岡市遺跡の学び館で保管している。

12 平成12年12月24日未明に発生した盛岡市教育委員会文化財調査室火災により、平成12年度までの調査資料の多くが罹災・焼失した。そのため、本書は残存した資料および一部復元した資料をもって編集せざるをえなかった。なお、本件の詳細については、『盛岡市遺跡の学び館平成16年度館報』(2006)にて報告を行っている。

13 当該調査の一部については、現地説明会資料等により報告しているものもあるが、本書の記載内容をもって訂正する。

「盛岡南新都市開発整備事業」及び関係事業に係る発掘調査報告書(平成19年度末現在)

<財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター(本報告)>

- 1995年3月『本宮熊堂B遺跡第1次発掘調査報告書-盛南開発事業関連遺跡発掘調査-』第226集
- 1996年3月『小幅遺跡第2次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業-』第244集
- 1996年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成7年度)』第246集〔小幅遺跡6次〕
- 1996年11月『小幅遺跡第2次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第265集
- 1997年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成8年度)』第266集〔宮沢遺跡4次,本宮熊堂A遺跡7次〕
- 1998年3月『小幅遺跡第5次・第7次発掘調査報告書-盛岡西バイパス建設事業関連遺跡発掘調査-』第267集
- 1998年3月『大宮北遺跡・本宮熊堂A遺跡発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第265集〔大宮北遺跡4次,本宮熊堂A遺跡6次〕
- 1998年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成9年度)』第282集〔稲荷遺跡3次,野古A遺跡9次・10次〕
- 1999年3月『熊堂B遺跡第5次・台太郎遺跡第16次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第293集
- 1999年1月『本宮熊堂B遺跡第4次・鬼柳A遺跡第4次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第308集
- 1999年3月『台太郎遺跡第15次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第309集
- 1999年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成10年度)』第311集〔飯岡才川遺跡2次〕
- 2000年1月『向中野館遺跡第3次・小幅遺跡第10次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第388集
- 2000年1月『向中野館遺跡第4次・小幅遺跡第11次・台太郎遺跡第19次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第321集
- 2000年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成11年度)』第340集〔小幅遺跡13次・14次〕
- 2001年3月『台太郎遺跡第22次発掘調査報告書-盛岡東警察署警察官待機宿舎建設事業関連遺跡発掘調査-』第365集
- 2001年3月『台太郎遺跡第18次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第369集
- 2001年3月『台太郎遺跡第26次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第416集
- 2002年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成12年度)』第370集〔鬼柳A遺跡7次,本宮熊堂B遺跡9次・11次,小幅遺跡15次・16次,飯岡才川遺跡4次〕
- 2002年2月『熊堂B遺跡第10次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第377集
- 2002年3月『飯岡才川遺跡第3次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第393集
- 2002年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成13年度)』第397集〔台太郎遺跡36次,細谷地遺跡6次〕
- 2003年3月『台太郎遺跡第23次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第415集
- 2003年3月『台太郎遺跡第35次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第417集
- 2003年3月『台太郎遺跡第44次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第422集
- 2003年3月『細谷地遺跡発掘調査報告書-第4・5次調査-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第414集
- 2003年3月『飯岡沢田遺跡第3次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第418集
- 2003年3月『飯岡沢田遺跡第5次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第419集
- 2003年3月『野古A遺跡第12次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第420集
- 2003年3月『野古A遺跡第15次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第421集
- 2003年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成14年度)』第423集〔矢盛遺跡4次,稲荷遺跡5次〕
- 2004年2月『矢盛遺跡第3次・熊堂B遺跡発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第451集
- 2004年3月『本宮熊堂A遺跡第17次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第453集
- 2004年3月『細谷地遺跡第8次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第454集
- 2004年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成15年度)』第455集〔稲荷遺跡6次,本宮熊堂B遺跡19次,台太郎50次・52次,野古A遺跡19次・20次,飯岡才川遺跡5次・6次,細谷地遺跡7次〕

2004年12月『本宮熊堂B遺跡第13・15・20次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第467集  
2005年2月『本宮熊堂B遺跡第18次発掘調査報告書-国道46号盛岡西バイパス建設事業関連遺跡発掘調査-』第458集  
2005年2月『台太郎遺跡第51次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第468集  
2005年3月『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成16年度)』第469集〔稻荷遺跡8・9次,台太郎遺跡53次,矢盛遺跡5次〕  
2005年12月『矢盛遺跡第6次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第488集  
2006年2月『飯岡沢田遺跡第9・10次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第489集  
2006年2月『本宮熊堂A遺跡第24次・本宮熊堂B遺跡第25次発掘調査報告書-一般国道46号盛岡西バイパス建設事業関連遺跡発掘調査-』第470集  
2006年3月『台太郎遺跡第54次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第486集  
2006年3月『本宮熊堂B遺跡第27次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第487集  
2006年3月『平成17年度発掘調査報告書』第490集〔宮沢遺跡11次,本宮熊堂B遺跡30次・31次〕  
2007年2月『飯岡才川遺跡第8・9次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第494集  
2007年3月『細谷地遺跡第9次・第10次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第500集  
2007年2月『野古A遺跡第23・24・29次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第501集  
2007年3月『本宮熊堂A遺跡第26・29次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第502集  
2007年3月『向中野館遺跡第5・6次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第503集  
2007年2月『向中野館遺跡第7・8次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第504集  
2008年1月『飯岡才川遺跡第12次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第515集  
2008年1月『矢盛遺跡第10・11次・向中野館遺跡第9次・台太郎遺跡第58次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第516集  
2008年2月『飯岡才川遺跡第7・13次・細谷地遺跡第12次・矢盛遺跡第9次発掘調査報告書-一般国道46号盛岡西バイパス建設事業関連遺跡発掘調査-』第508集  
2008年2月『細谷地遺跡第13次・第14次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第513集  
2008年2月『細谷地遺跡第15次発掘調査報告書-盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査-』第514集  
2008年3月『平成19年度発掘調査報告書』第524集〔細谷地遺跡18次,矢盛遺跡14次〕

#### <盛岡市教育委員会>

1998年3月『盛岡市埋蔵文化財調査年報-平成5・6年度-』〔南仙北遺跡12・13・14次〕  
2002年3月『盛岡市内遺跡群-平成13年度発掘調査報告-』〔台太郎遺跡40・41次〕  
2005年3月『盛岡市内遺跡群-平成15年度・16年度発掘調査報告-』〔台太郎遺跡55次〕  
2007年3月『盛南地区遺跡群発掘調査報告書 I -盛岡南新都市開発整備事業平成5～12年度発掘調査①-大宮北遺跡・小幅遺跡・宮沢遺跡・鬼柳A遺跡』〔大宮北遺跡8・9次, 小幅遺跡8・12・17次, 宮沢遺跡5次, 鬼柳A遺跡5次〕

# 目次

## 第1章 経過

第1節 調査の経過	1
第2節 発掘調査作業の経過	2
第3節 資料整理作業の経過	2
第4節 調査体制	3

## 第2章 遺跡群の位置と環境

第1節 地理的環境	5
第2節 歴史的環境	6

## 第3章 調査成果

第1節 稲荷遺跡（第1次・2次調査）	7
第2節 本宮熊堂A遺跡（第2次・2次補足調査）	8
第3節 本宮熊堂B遺跡（第3次・3次補足・8次・12次調査）	9
第4節 野古A遺跡（第6次・6次補足・7次・8次・11次調査）	13
第5節 飯岡沢田遺跡（第1次・2次調査）	21
第6節 飯岡才川遺跡（第1次調査）	22
第7節 向中野館遺跡（第1次・2次調査）	23
第8節 細谷地遺跡（第2次調査）	24
第9節 矢盛遺跡（第2次調査）	25
第10節 南仙北遺跡（第15～17次・22～24次・27次・28次・30～32次・35次調査）	27

第4章 調査成果のまとめ	39
--------------	----

挿図

表

写真図版

抄録

# 挿図目次

第1図	盛南地区遺跡群位置図	45
第2図	地形分類と遺跡分布図	46
第3図	稲荷・本宮熊堂A・本宮熊堂B遺跡全体図	47
第4図	野古A遺跡全体図	51
第5図	飯岡沢田・飯岡才川遺跡全体図	55
第6図	向中野館・細谷地遺跡全体図	59
第7図	矢盛遺跡全体図	63
第8図	南仙北遺跡全体図	67
第9図	本宮熊堂B遺跡第8次調査区全体図	71
第10図	本宮熊堂B遺跡第8次調査RG070・074溝跡	72
第11図	本宮熊堂B遺跡第8次調査RG070・071・072・073溝跡	73
第12図	本宮熊堂B遺跡第12次調査区全体図	74
第13図	本宮熊堂B遺跡第12次調査RA027竪穴住居跡	75
第14図	本宮熊堂B遺跡第12次調査RA028竪穴住居跡	76
第15図	本宮熊堂B遺跡第12次調査RA029竪穴住居跡	77
第16図	本宮熊堂B遺跡第12次調査RA030竪穴住居跡	78
第17図	本宮熊堂B遺跡第12次調査RA031竪穴住居跡	79
第18図	野古A遺跡第6次調査区全体図	80
第19図	野古A遺跡第6次調査RA005・007竪穴住居跡	81
第20図	野古A遺跡第6次調査RA006竪穴住居跡平面図	82
第21図	野古A遺跡第6次調査RA006竪穴住居跡断面図	83
第22図	野古A遺跡第6次調査RA006竪穴住居跡炭化材出土状況平面図	84
第23図	野古A遺跡第6次調査RB001掘立柱建物跡, RD002・003・004・005・006・007・008土坑	85
第24図	野古A遺跡第6次調査RB002掘立柱建物跡, RD009・010・011土坑	86
第25図	野古A遺跡第6次調査RD012土坑, RG001溝跡, RX001円形周溝	87
第26図	野古A遺跡第6次調査RZ001竪穴状遺構	88
第27図	野古A遺跡第11次調査区全体図	89
第28図	野古A遺跡第11次調査RA008・009・010・011竪穴住居跡, RD016土坑	90
第29図	野古A遺跡第11次調査RA012・013竪穴住居跡, RD015土坑, RG005・006・007溝跡	91
第30図	矢盛遺跡第2次調査区全体図	92
第31図	南仙北遺跡第15次調査区全体図	93
第32図	南仙北遺跡第15次調査RA012竪穴住居跡, RD133陥し穴	94
第33図	南仙北遺跡第22次調査区全体図	95
第34図	南仙北遺跡第22次調査RA013竪穴住居跡	95

第35図	南仙北遺跡第27次調査区全体図	96
第36図	南仙北遺跡第27次調査RD114・115・116・117・118土坑, RG115・116・117・118溝跡, RG119方形周溝	97
第37図	南仙北遺跡第27次調査RB001掘立柱建物跡, RD119・120土坑	98
第38図	南仙北遺跡第28次調査区全体図	99
第39図	南仙北遺跡第28次調査RD122・123土坑, RD124陥し穴, RG120溝跡	100
第40図	南仙北遺跡第28次調査RD121土坑, RG121・122溝跡	101
第41図	南仙北遺跡第30次調査RA3001・3002竪穴住居跡, RD3001土坑, RG3001・3002・3003溝跡	102
第42図	南仙北遺跡第31次調査区全体図	103
第43図	南仙北遺跡第32次調査区全体図	104
第44図	南仙北遺跡第32次調査RG131・133・134・138溝跡	105
第45図	南仙北遺跡第32次調査RG131・132・136・137溝跡	106
第46図	南仙北遺跡第32次調査RG138溝跡	107
第47図	南仙北遺跡第32次調査RD128土坑, RG130・145・146溝跡	108
第48図	南仙北遺跡第32次調査RG139・140・141・142・143・144溝跡	109
第49図	南仙北遺跡第35次調査区全体図	110
第50図	南仙北遺跡第35次調査RA017竪穴住居跡	110
第51図	本宮熊堂B遺跡第12次調査RA027出土遺物(1)	111
第52図	本宮熊堂B遺跡第12次調査RA027出土遺物(2)	112
第53図	本宮熊堂B遺跡第12次調査RA027出土遺物(3)	113
第54図	本宮熊堂B遺跡第12次調査RA028出土遺物	114
第55図	本宮熊堂B遺跡第12次調査RA029出土遺物	114
第56図	本宮熊堂B遺跡第12次調査RA030出土遺物(1)	115
第57図	本宮熊堂B遺跡第12次調査RA030出土遺物(2)	116
第58図	野古A遺跡第6次調査RA005出土遺物	117
第59図	野古A遺跡第6次調査RA006出土遺物(1)	117
第60図	野古A遺跡第6次調査RA006出土遺物(2)	118
第61図	野古A遺跡第6次調査RA006出土遺物(3)	119
第62図	野古A遺跡第11次調査RA008出土遺物	120
第63図	野古A遺跡第11次調査RA009出土遺物	120
第64図	野古A遺跡第11次調査RA010出土遺物	121
第65図	野古A遺跡第11次調査RA011出土遺物	121
第66図	野古A遺跡第11次調査RA012出土遺物	122
第67図	野古A遺跡第11次調査RA013出土遺物	122
第68図	南仙北遺跡第15次調査RA012出土遺物	123
第69図	南仙北遺跡第28次調査出土遺物	123
第70図	南仙北遺跡第35次調査RA017出土遺物	123
第71図	南仙北遺跡第30次調査RA3001出土遺物	124
第72図	南仙北遺跡第32次調査出土遺物	125

第73図	本宮熊堂B遺跡第12次調査出土土器集成図(1)	126
第74図	本宮熊堂B遺跡第12次調査出土土器集成図(2)	127
第75図	野古A遺跡第6次調査出土土器集成図	128
第76図	野古A遺跡第11次調査出土土器集成図	129
第77図	南仙北遺跡第15・30・32・35次調査出土土器集成図	130

## 表目次

第1表	盛南地区遺跡群調査一覧表〔平成5～12年度〕(1)	133
第2表	盛南地区遺跡群調査一覧表〔平成5～12年度〕(2)	134
第3表	本宮熊堂B遺跡第8次調査土層観察表	135
第4表	本宮熊堂B遺跡第12次調査土層観察表(1)	136
第5表	本宮熊堂B遺跡第12次調査土層観察表(2)	137
第6表	野古A遺跡第6次調査土層観察表(1)	138
第7表	野古A遺跡第6次調査土層観察表(2)	139
第8表	野古A遺跡第6次調査土層観察表(3)	140
第9表	野古A遺跡第6次調査土層観察表(4)	141
第10表	野古A遺跡第6次調査土層観察表(5)	142
第11表	野古A遺跡第6次調査土層観察表(6)	143
第12表	野古A遺跡第6次調査土層観察表(7)	144
第13表	矢盛遺跡第2次調査土層観察表	145
第14表	南仙北遺跡第27次調査土層観察表	146
第15表	南仙北遺跡第28次調査土層観察表	147
第16表	南仙北遺跡第30次調査土層観察表	148
第17表	南仙北遺跡第31次調査土層観察表	148
第18表	南仙北遺跡第32次調査土層観察表	149
第19表	南仙北遺跡第35次調査土層観察表	149
第20表	本宮熊堂B遺跡第12次調査出土土器観察表	150
第21表	野古A遺跡第11次調査出土土器観察表	151
第22表	野古A遺跡第6次調査出土土器観察表	152
第23表	南仙北遺跡第15・28・30・32・35次調査出土土器観察表	152
第24表	本宮熊堂B遺跡第12次調査出土土器検討表	153
第25表	野古A遺跡第6次・11次調査RA008～011出土土器検討表	154

# 写真図版目次

第1図版	本宮熊堂B遺跡第12次調査出土遺物	157
第2図版	本宮熊堂B遺跡第12次調査出土土器(1)	158
第3図版	本宮熊堂B遺跡第12次調査出土土器(2)	159
第4図版	本宮熊堂B遺跡第12次調査出土土器(3)	160
第5図版	本宮熊堂B遺跡第12次調査出土土器(4)	161
第6図版	野古A遺跡第6次・11次調査出土遺物	162
第7図版	野古A遺跡第6次調査出土土器(1)	163
第8図版	野古A遺跡第6次調査出土土器(2)	164
第9図版	野古A遺跡第11次調査出土土器(1)	165
第10図版	野古A遺跡第11次調査出土土器(2)	166
第11図版	南仙北遺跡第15次・28次・30次調査出土土器	167
第12図版	南仙北遺跡第32次調査出土土器	168
第13図版	南仙北遺跡第35次調査出土土器	169
第14図版	墨書・刻書土器	170

# 第1章 経過

## 第1節 調査の経過

「盛岡南新都市開発整備事業」は、北東北の中核都市および岩手県の県都として担うべき都市機能の充実を図るため、旧城下町から発展して形成された既存の中心市街地の南西部に新市街地を開発整備し、既成市街地・盛岡駅西口地区（旧国鉄跡地）・盛岡南地区を結ぶ「軸状都心」を形成することで、都市構造をよりよく改めようと策定された土地区画整理事業である。

平成2年9月に岩手県・盛岡市・都南村（現盛岡市、平成4年4月合併）の3者が、地域振興整備公団（以下「公団」と呼ぶ、現独立行政法人都市再生機構）に対して事業申請を行い、公団は実施計画を作成、翌平成3年12月に当時の建設大臣および国土庁長官から実施許可が下り、事業が開始された。

埋蔵文化財の取り扱いについては、昭和50年の国土庁長官・建設省からの行政指導に則して、公団と岩手県・盛岡市・都南村は「覚書」、およびその「確認書」において以下のように文書を取り交わしている。

「盛岡南新都市開発整備事業に関する覚書」（平成3年12月11日） 記の7(3)

県、市及び村は、環境の保全及び文化財の保護につき、協力して所要の調整を行い、事業の推進を図るものとする。

「盛岡南新都市開発整備事業に関する覚書の確認書」（平成3年12月11日） 記の5

「覚書」の記の7の(3)の文化財保護における埋蔵文化財発掘調査について、国庫補助事業及び公共施設管理者負担金の対象となる都市計画道路に係る敷地の調査については、公団が県、市及び村に委託するものとし、その他の敷地については市及び村において調査するものとする。

このため、県、市及び村は、土地区画整理事業の認可までに、公団からの委託分を含めた埋蔵文化財発掘調査計画を立案し、これを県、市、村及び公団で確認の上、他機関への委託を含めた調査の実施に必要な体制を確保することにより、事業の円滑な推進を図るものとする。

なお、事業のスケジュールが調査実施者の都合により遅延した場合には、県、市及び村は、適切な方策を講ずるものとする。

上記に基づく協議の結果、遺跡の要調査範囲を確定する試掘確認調査を市教育委員会が実施し、その結果を受けての本調査を市、村及び公団から委託を受けて財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター（以下「県埋文センター」と呼ぶ）が実施することとなった。

しかし、本調査対象面積が広大であることから、平成10年度以降は市教育委員会も本調査の実施を開始。平成11年度以降は市教育委員会も公団と受委託契約を締結し、県埋文センターと市教育委員会の両者が調整を図りながら本調査を実施することで、現在に至っている。

## 第2節 発掘調査作業の経過

盛岡南新都市開発整備事業にともなう埋蔵文化財の発掘調査は、平成4年度から継続して実施されている。土地区画整理事業の工事計画や進捗にあわせて、埋蔵文化財包蔵地の範囲確認や遺構密度を確認するための試掘確認調査を実施し、その成果を受けて効率的な本調査が実施できるよう調整を行っている。しかし、地権者との交渉や農地補償等の問題から、埋蔵文化財包蔵地範囲の全域について、試掘確認調査を実施することは現実的に不可能であり、状況に即した対応を行っている。

本書で報告の対象としている各遺跡の平成5～12年度の調査成果の概要は、第1・2表のとおりである。

## 第3節 資料整理作業の経過

当市教育委員会が、本事業の本調査を始めたのは、平成10年度からである。また平成11年度からは公団と発掘調査の受委託契約を締結し、公団施工範囲（都市計画道路分）の本調査も実施してきた。この際は、予算措置の問題や職員体制が十分でないことを考慮して、年度ごとの発掘調査報告書の刊行は断念することとし、報告書刊行は事業の進捗を見ながら順次まとめて行うものとし、年度内はその基礎となる資料整理作業のみを行っていた。

平成12年12月24日午前0時30分頃、市立厨川小学校敷地内にあった文化財調査室にて火災が発生し、昭和30年建設の老朽化した木造2階建ての旧校舎は全焼した。市教育委員会では昭和57年度から文化財調査室として埋蔵文化財の資料整理・収蔵保管の拠点として使用してきた場所である。

当然、本事業の発掘調査成果（図面・写真・出土資料の一部）も収蔵されており、罹災により調査成果の完全復元はきわめて難しい状況となった。

市教育委員会は、文化庁の指導及び補助事業の採択を受け、埋蔵文化財の調査研究・収蔵管理・普及活用を目的として、新たな拠点となる埋蔵文化財センターとして、博物館施設が集積する本宮地区の（仮称）盛岡市中央公園内に「盛岡市遺跡の学び館」を建設、平成16年6月に開館した。その間も、本事業にともなう発掘調査と資料整理作業、および罹災資料の復元作業を継続して行い、現在に至っている。

本事業関連遺跡発掘調査報告書を刊行するにあたり、以下の指針をもって実施することとしている。

- ①平成5～12年度の発掘調査に係る罹災資料について、速やかに再整理と報告書刊行を行う。
- ②平成5～12年度発掘調査報告書は、膨大な量の資料が罹災したこともあり、1冊の報告書として報告することは現実的に困難なため、数遺跡ごとに分冊刊行することで年次計画を立て優先的に報告する。
- ③平成13年度以降事業終了年度までの調査成果は、上記報告書刊行の進捗状況を見ながら、数遺跡または数年度ずつをまとめて分冊とし、報告する。

本報告書は、上記指針に基づく2分冊目の報告書である。なお、報告にあたっては、罹災し復元不可能な部分はその旨を明記した表現を行っている。

## 第4節 体制

〔委託者〕 地域振興整備公団（～平成16年6月）、独立行政法人都市再生機構（平成17年7月～）

〔調査主体〕 盛岡市教育委員会

〔事務局〕 盛岡市教育委員会事務局文化課（平成5～18年度）、歴史文化課（平成19年度～）

〔調査〕 盛岡市教育委員会事務局文化課文化財係（平成5～15年度）、  
盛岡市遺跡の学び館（平成16年度～）

〔助言〕 文化庁、岩手県教育委員会、財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〔協力〕 発掘調査、資料整理、罹災資料復元及び報告書編集にあたり、盛岡市都市整備部盛岡南整備課・下水道部建設課、地権者・地元関係者の方々、そして多くの作業員・県内外文化財関係職員の方々より多大なる協力を得た。記して感謝申し上げる。

〔発掘調査担当者（本書詳細掲載分、氏名は調査当時）〕

稲荷遺跡	第1次調査（平成6年度）	似内啓邦・三浦陽一
	第2次調査（平成8年度）	津嶋知弘
本宮熊堂A遺跡	第2次調査（平成6年度）	似内啓邦・三浦陽一
	第2次補足調査（平成8年度）	津嶋知弘
本宮熊堂B遺跡	第3次調査（平成7年度）	似内啓邦・黒須靖之
	第3次補足調査（平成8年度）	津嶋知弘
	第8次調査（平成11年度）	似内啓邦・今野公顕
	第12次調査（平成12年度）	平澤祐子
野古A遺跡	第6次調査（平成5年度）	似内啓邦
	第6次補足調査（平成6年度）	津嶋知弘
	第7次調査（平成6年度）	三浦陽一・黒須靖之
	第8次調査（平成8年度）	津嶋知弘
	第11次調査（平成12年度）	似内啓邦
飯岡沢田遺跡	第1次調査（平成7年度）	似内啓邦・黒須靖之
	第2次調査（平成8年度）	津嶋知弘
飯岡才川遺跡	第1次調査（平成8年度）	八木光則・津嶋知弘
向中野館遺跡	第1次調査（平成7年度）	似内啓邦・黒須靖之
	第2次調査（平成8年度）	津嶋知弘
細谷地遺跡	第2次調査（平成8年度）	津嶋知弘
矢盛遺跡	第2次調査（平成11年度）	似内啓邦・今野公顕・平澤祐子
南仙北遺跡	第15次調査（平成7年度）	藤岡光男・太田代由美子
	第16次調査（平成7年度）	似内啓邦・黒須靖之
	第17次調査（平成7年度）	藤岡光男
	第22次調査（平成8年度）	三浦陽一
	第23次調査（平成8年度）	津嶋知弘

南仙北遺跡	第 24 次調査 (平成 8 年度)	室野秀文
	第 27 次調査 (平成 10 年度)	八木光則・津嶋知弘・平澤祐子
	第 28 次調査 (平成 10 年度)	藤岡光男・菊池与志和
	第 30 次調査 (平成 10 年度)	八木光則
	第 31 次調査 (平成 10 年度)	八木光則
	第 32 次調査 (平成 10 年度)	似内啓邦・三浦陽一・今野公顕
	第 35 次調査 (平成 12 年度)	今野公顕・岩城志麻

**盛岡市教育委員会文化財保護関係職員 (平成 20 年度)**

教育長 八巻 恒雄  
 教育部長 宇夫方正人  
 教育次長 菊地 誠

**歴史文化課 (事務局)**

課長	武藤英富
課長補佐(文化財・史跡担当)	千葉良高
課長補佐(埋蔵文化財担当, 兼務)	佐藤和男
副主幹	千田和文
主査 (兼務)	杉浦雄治
文化財主査 (兼務)	室野秀文
文化財主査 (兼務)	菊地幸裕
文化財主査 (兼務)	津嶋知弘
文化財主任	三浦陽一
文化財主任 (兼務)	神原雄一郎
文化財主任	権頭祐子
文化財主任	今野公顕
文化財主任	花井正香
文化財主事 (兼務)	佐々木亮二
文化財調査員	鎌田聖美
文化財調査員	高橋 史
文化財調査員	小西治子

**遺跡の学び館 (施設)**

館長(兼務)	武藤英富
館長補佐	佐藤和男
主査	杉浦雄治
文化財主査	室野秀文
文化財主査	菊地幸裕
文化財主査	津嶋知弘
文化財主任	神原雄一郎
文化財主事	佐々木亮二
文化財調査員	吉田里和
文化財調査員	浅沼のぞみ
文化財調査員	鈴木賢治
学芸調査員	相馬容子
学芸調査員	佐々木逸人

## 第2章 遺跡群の位置と環境

### 第1節 地理的環境

盛岡市は岩手県の中央部に位置する。平成4年4月に南に隣接する都南村と、平成18年1月に北に隣接する玉山村と合併し、人口300,746人(平成17年国勢調査人口)、面積886.47km<sup>2</sup>の県庁所在地である。平成20年4月には中核市へ移行している。

現在、市街地南西部の313.5haを対象に「盛岡南新都市開発整備事業」に係る土地区画整理事業が実施されている。事業主体は独立行政法人都市再生機構(旧地域振興整備公団)で、平成3年12月に事業認可を受け、平成7年11月より着工している。これにともない、事業区域内の埋蔵文化財発掘調査を平成4年度から県埋文センターと市教育委員会が実施している。

「盛南地区遺跡群」は、盛岡南新都市開発整備事業区域内に所在する計17遺跡、大宮北遺跡・小幅遺跡・宮沢遺跡・鬼柳A遺跡・稲荷遺跡・本宮熊堂A遺跡・本宮熊堂B遺跡・野古A遺跡・飯岡沢田遺跡・飯岡才川遺跡・台太郎遺跡・向中野館遺跡・細谷地遺跡・矢盛遺跡・焼野遺跡・夕覚遺跡・南仙北遺跡が該当し、盛岡市本宮字大宮・字小幅・字宮沢・字鬼柳・字熊堂・字稲荷・字野古、下鹿妻字北、向中野字千刈田・字台太郎・字向中野・字八日市場・字野原・字才川・字細谷地・字鶴子・字幅、飯岡新田1地割沢・2地割・3地割・4地割、南仙北2丁目などに所在する(第1図)。

盛岡は、岩手県から宮城県を南流する北上川に中津川・雫石川・築川といった支流の合流点である北上盆地の北端にあり、本遺跡群は、北上川の西岸とその支流である雫石川の南岸に広がる沖積段丘上に立地する(第2図)。雫石川は奥羽山脈から東流し、鳥泊山と箱ヶ森に挟まれた北の浦付近(市内上太田)で急激に流路を狭められ、その狭窄部を抜け北上盆地に入り、北上川と合流する。雫石川の北岸には岩手山を供給源とする火山砕石流堆積物と火山灰層がのる台地が発達していることにより、狭窄部以東の南岸に流路転換が顕著に見られ、沖積段丘(砂礫段丘Ⅲ)が発達している。

沖積段丘は、水成砂礫層を基底とし、その上に水成シルト層、そして表土が覆っている。基本層はおおむねこの3層に分類されるが、砂礫層の上面高をはじめ、それぞれの層相・層厚は地点によって大きく異なる。また、このシルト層は旧河道ばかりでなく、微高地などにも堆積している。このことは、この低位沖積段丘は、雫石川が周辺の山地から供給される砂礫やシルトによって堆積され、さらに河道の定まらない雫石川の下刻や堆積を繰り返されたことによるものと言える。雫石川の旧河道は幾筋も確認されており、連続する大きなものは4条、そのほかにも網目状に細かな旧河道も確認されており、複雑な河道変遷を示す。それらに画された微高地に、古代を中心とした遺跡が分布している。

## 第2節 歴史的環境

本遺跡群の立地する沖積段丘上では、縄文時代～古墳時代にかけての遺構遺物の発見は少なく、遺跡のほとんどは7世紀中葉以降の集落遺跡といえる。

縄文・弥生時代の遺構遺物は、本宮熊堂A遺跡や台太郎遺跡で縄文時代晩期を中心とする竪穴住居跡や遺物包含層が検出されている。その他の各遺跡からは遺物が散見する程度であり、主体的なものではない。また、詳細な時期を特定する要素は乏しいが、飯岡才川遺跡など多くの遺跡で縄文時代の陥し穴が確認されている。

古墳時代末、7世紀中葉の遺構遺物は、数は多くはないが台太郎遺跡などで確認されている。これ以降集落が継続的に営まれる。奈良時代、8世紀中葉以降竪穴住居跡を主体とした集落跡が増加する。この時期の集落は、大型竪穴住居を中心としてその周囲に中～小型の竪穴住居が数棟ずつまとまりをもって分布する傾向がある。

9世紀、平安時代初頭の延暦22年(803)には、本遺跡群の西方に「志波城」(下太田方八丁他)が造営される。志波城は東北経営のために朝廷が造営した古代城柵であり、当時「蝦夷(エミシ)」と呼ばれていた人々の社会に大きな影響を与えたと考えられる。征夷大將軍であった坂上田村麻呂が朝廷の命を受け造営した志波城は、北側を流れる雫石川の度重なる洪水の被害を受け、およそ10年で文室綿麻呂の建議により徳丹城(矢巾町西徳田)に移転したことが記録に見られる。その後、徳丹城は9世紀中葉までにはその機能を停止し、本地域も含む北上盆地一帯は、鎮守府胆沢城(奥州市水沢区九蔵田)による一城統治の体制となる。

以降、9世紀中葉から本地域では竪穴住居を主体とした集落数が増加の一途をたどる。それにともない竪穴住居の規模の大小差は縮小するようになり、重複が著しく見られるようになる傾向がある。その中でも、向中野館遺跡の低湿地から古代の祭祀に関係すると考えられる遺物の出土や、飯岡沢田遺跡・飯岡才川遺跡の円形周溝墓群や火葬骨蔵器など、本地域内の集落機能使の分化もみられる。

また、9世紀後葉から10世紀中葉にかけては、地域の拠点的な集落も姿を現すようになる。細谷地遺跡では、微高地の南斜面に沿うように2×2間の総柱の掘立柱建物跡が東西に並立し、倉庫群が存在したと考えられる。また大宮北遺跡や、本地域の北西、志波城跡の北東に隣接する林崎遺跡で、規模の大きな官衙的な掘立柱建物を計画的に配置した集落も発見されており、在地有力者の拠点と考えられる。

11～12世紀にかけての様相ははっきりしないが、12世紀末～13世紀初頭頃のものと考えられるかわらけが、大宮遺跡の大溝跡から多量に出土している。13世紀後半には、台太郎遺跡で不整五角形の平面形となる居館が営まれ、地域を支配した豪族の存在が想定される。さらに同遺跡では、土坑墓群や宗教施設と考えられる遺構も検出されており、出土遺物から15世紀頃までの存続が考えられる。また向中野館遺跡や矢盛遺跡でも、堀跡が検出されており、出土遺物やその平面形から16世紀代を中心とする居館と考えられている。

江戸時代に入ると、雫石川は現在の流路となり、旧河道の東側には奥州道中(街道)や仙北組町が開かれ、本地域は水田地帯に農家が点在する農村地帯となる。各遺跡からは曲屋などの掘立柱建物跡や土坑墓、南仙北遺跡では道路跡などの近世の遺構が発見されており、この姿は盛南開発が行われる直前の本地域の様子と大きく違いが無いものと考えられる。

# 第3章 調査成果

## 第1節 稲荷遺跡（第1次・2次調査）

### 1. 遺跡の立地

稲荷遺跡は、803年に造営された古代城柵である志波城跡の南東約1.2kmに位置し、北と東に本宮熊堂B遺跡、南に野古A遺跡、西に鬼柳A遺跡が周囲に位置している。志波城跡や周囲の遺跡と同様に低位沖積段丘上にあり、幅20～50m、比高差1m程度の細かな旧河道によって分断された微高地上に立地している。遺跡範囲は東西約430m、南北約270mをはかる（第3図）。

### 2. 調査内容

#### (1) 第1次調査（平成6年度）

今次調査区は、遺跡の北部、南部、東部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積14,595㎡について、重機により幅約2mの試掘トレンチ74本を設定し（調査面積2,143㎡）、黄褐色シルト上面まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、遺跡南部と東部に縄文時代、古代、近世と推定される遺構・遺物が検出されたため、その範囲を要本調査地区とし、その他の範囲は調査終了地区とした（第3図）。

#### (2) 第2次調査（平成8年度）

今次調査区は、遺跡の西部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積2,134㎡について、重機により幅約1.5mの試掘トレンチ12本を設定し（調査面積234㎡）、耕作土直下のシルト漸移層上面まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、調査区北部に古代と推定される遺構・遺物が検出されたため、その範囲を要本調査地区とし、その他の範囲は調査終了地区とした（第3図）。

## 第2節 本宮熊堂A遺跡（第2次・2次補足調査）

### 1. 遺跡の立地

本宮熊堂A遺跡は、志波城跡の南東約1.5kmに位置し、南に本宮熊堂B遺跡と隣接しているが、1mほど低い面となっている。志波城跡や周囲の遺跡と同様に低位沖積段丘上にあり、その北東縁辺部にあたり、遺跡の北側は雫石川旧河道に面している。遺跡範囲は東西約200m、南北約200mをはかる（第3図）。

### 2. 調査内容

#### (1) 第2次調査（平成6年度）

今次調査区は、遺跡の北半部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積13,290㎡について、重機により幅約2mの試掘トレンチ81本を設定し（調査面積2,835㎡）、黄褐色シルト上面まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、調査区中央部と東部に縄文時代、古代と推定される遺構・遺物が検出されたため、その部分を要本調査地区とし、その他の部分は調査終了地区とした（第3図）。

#### (2) 第2次補足調査（平成8年度）

今次調査区は、遺跡の南半部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積1,679㎡について重機により、幅約1.5mの試掘トレンチ36本を設定し（調査面積1,679㎡）、調査区の南半部では水田耕作土直下のややグライ化した粘土質シルト上面まで、また北半部では水田耕作土直下の黄褐色シルト上面まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、調査区北半部では検出面で古代の遺構が検出され、また粘土質シルト層より縄文時代晩期と古代の土器が出土した。また調査区北半部では検出面で古代の遺構が検出され、また黄褐色シルト層より縄文時代晩期と古代の土器が出土した。このため、全範囲を要本調査地区とした（第3図）。

## 第3節 本宮熊堂B遺跡（第3次・3次補足・8次・12次調査）

### 1. 遺跡の立地

本宮熊堂B遺跡は、志波城跡の南東約1.5kmに位置し、北に本宮熊堂A遺跡、南に野古A遺跡、西に稲荷遺跡が位置している。志波城跡や周囲の遺跡と同様に低位沖積段丘上にあり、その北東縁辺部にあたり、遺跡の東側は雫石川旧河道に面している。遺跡範囲は東西約620m、南北約380mをはかる（第3図）。

### 2. 調査内容

#### (1) 第3次調査（平成7年度）

今次調査区は、遺跡の東部及び中央部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積6,323㎡について重機により、幅約2mの試掘トレンチ40本を設定し（調査面積2,759㎡）、表土直下まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、両調査区ともに古代と推定される遺構・遺物が検出されたため、全範囲を要本調査地区とした（第3図）。

#### (2) 第3次補足調査（平成8年度）

今次調査区は、遺跡の東部・中央部・西部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積26,011㎡について重機により、幅約1.5mの試掘トレンチ87本を設定し（調査面積3,422㎡）、表土直下の黄褐色シルト層または砂質シルト層上面まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、西部調査区の一部を除き各調査区から古代と推定される遺構・遺物が検出されたため、その部分を要本調査地区とし、その他の部分は調査終了地区とした（第3図）。

#### (3) 第8次調査（平成11年度）

今次調査区は、遺跡の東部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した。調査面積は1,289㎡。重機により表土を除去し、黒褐色～黄褐色シルト層上面で遺構検出を行った。調査区内の旧地形は、南から北へと傾斜している。

#### a. 遺構と遺物

検出された遺構は、古代以降の溝跡5条・遺物包含層である（第9図）。

#### ・溝跡

RG070（第10・11図）

位置 調査区北東部 重複関係 RG071・072・073・074(旧)

規模 幅0.3～1.1m・深さ0.15～0.5m・延長約35.6m以上（調査区外）、北西から南東方向に走る

埋土 第3表 出土遺物 土師器甕、須恵器坏、あかやき土器坏、破片で摩滅している

**RG071** (第11図)

**位置** 調査区北東部 **重複関係** RG070(新), RG072

**規模** 幅0.4～0.7 m・深さ0.25～0.3 m・延長約15.5 m以上(調査区外), 東北東から西南西方向に走る

**埋土** 第3表 **出土遺物** 土師器高台付坏

**RG072** (第11図)

**位置** 調査区北部 **重複関係** RG071・073

**規模** 幅0.3～0.4 m・深さ約0.2 m・延長約7.4 m, 東西方向に走りRG070と071を結ぶ

**埋土** 第3表 **出土遺物** なし

**RG073** (第11図)

**位置** 調査区北部 **重複関係** RG070(新), RG072

**規模** 幅約0.4 m・深さ0.15～0.3 m・延長約3.0 m, 南東から北西方向に走りRG070と072を結ぶ

**埋土** 第3表 **出土遺物** なし

**RG074** (第10図)

**位置** 調査区東部中央 **重複関係** RG070(新)

**規模** 幅0.4～0.8 m・深さ0.15～0.4 m・延長約10.5 m以上(調査区外), 南東から北西方向に走る

**埋土** 第3表 **出土遺物** なし

・遺物包含層

遺構検出面のうち, 調査区南西隅を除く全面が希薄な遺物包含層となっていることをサブトレンチにて確認した(第10図)。出土遺物は, 土師器坏・甕, あかやき土器坏・高台付坏・甕, 須恵器甕の破片であり, 摩滅しているものが多いことから, 二次堆積によるものと考えられる(土層は第3表を参照)。

(4) 第12次調査(平成12年度)

今次調査区は, 遺跡の東部に位置し, 盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した。調査面積は1,663㎡。重機により表土を除去し, 黄褐色シルト層及び黒色土上面で遺構検出を行った。調査区は西側のA区, 東側のB区に分かれ, A区よりB区が一段低くなっている。

a. 遺構と遺物

調査の結果, 平安時代の竪穴住居跡5棟, 柱穴1口, 遺物包含層を検出した(第12図)。

・竪穴住居跡

**RA027** (第13図)

**位置** 調査区A区北西部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形

**規模** 東西約4.5 m, 南北約4.3 m, 深さ0.3～0.4 m

**カマド方向** E20.5° S, 東カマド, 長い煙道(1.25 m) **埋土** 第4表

**カマド** 両袖残存，石を使用して構築

**床の状態** カマド部分に炊き口の焼け面，床構築土あり **貯蔵穴** カマド南隣に1基

**出土遺物** (第51～53図，第20表) 土師器坏(001・002)・高台付坏(012)・甕・小型甕，あかやき土器坏(003～011)・高台付坏(012～015)・鉢(016)・甕(017～021)・小型甕，須恵器坏，墨書「田」(あかやき土器坏，011)，軽石(砥石?)

**時期** 平安時代(9世紀後半)

#### RA028 (第14図)

**位置** 調査区A区中央部 **重複** なし **平面形** 不整隅丸方形

**規模** 東西6.3～7.2m，南北約6.9m，深さ0.35～0.45m

**カマド方向** E36.5°S，東カマド，長い煙道(0.65m) **埋土** 第4表

**床の状態** 床面構築土あり **柱穴** 主柱穴4口，直径0.6～0.8m，深さ0.15～0.45m

**出土遺物** (第54図，第20表) 土師器坏(022～024)・高台付坏・甕・小型甕，あかやき土器坏(025～027)・高台付坏，須恵器坏・甕(028)，墨書土器「(不明)」(あかやき土器坏，027)

**時期** 平安時代(9世紀後半)

#### RA029 (第15図)

**位置** 調査区B区南西部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形

**規模** 東西約4.5m，南北約4.7m，深さ約0.05m(ほとんど削平)

**カマド方向** E23.5°S，東カマド，長い煙道(1.55m)

**埋土** 第4表，最上層(A1層)に白色火山灰を含む

**床の状態** 床面構築土あり，中央に硬化面あり **貯蔵穴** カマド北隣に1基(Pit3)

**柱穴**

	Pit1	Pit2	Pit4	Pit5
直径	0.5～0.75m	約0.4m	0.7～0.8m	約0.6m
深さ	0.5m	0.4m	—	0.4m
平面形	不整楕円形	不整円形	不整円形	—
特徴	柱痕跡あり	柱痕跡あり	—	柱痕跡あり

**出土遺物** (第55図，第20表) 土師器坏・甕(030)，あかやき土器坏(029)・甕，須恵器坏・甕

**時期** 平安時代(9世紀後半)

#### RA030a・b (第16図)

**位置** 調査区B区西部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形

**規模** 東西約7.9m，南北約7.5m，深さ0.1～0.35m

**カマド方向** E36.0°S，東カマド，長い煙道(1.77m)

**埋土** 第5表，a期・b期埋土ともに白色火山灰を含む

**床の状態** 断面よりカマド部分に上下2枚の炊き口の焼け面が確認できることから，同じ位置での2時期の

カマド（a・b期）の存在が考えられる。壁際に周溝あり。カマド北隣に貯蔵穴1基（Pit3）があり、土器がまとまって出土している。

**柱穴** Pit14は主柱穴の一つと考えられ、直径約0.4m・深さ0.5m。その他10口以上の柱穴がある。

**出土遺物**（第56・57図，第20表）土師器坏（031～033）・大型坏（034）・甕（046）・小型甕，あかやき土器坏（035～044）・高台付坏（045）・甕（047），須恵器坏・甕（048・049），軽石（砥石？），鉄製品（刀子？）

**時期** 平安時代（9世紀後半）

#### **RA031**（第17図）

**位置** 調査区B区南西部 **重複関係** なし **平面形** 不整隅丸方形

**規模** 東西約4.2m，南北約3.8m，深さ約0.05m（ほとんど削平）

**カマド方向** 東カマド，長い煙道約1.4m **埋土** 第5表

**床の状態** カマド部分に炊き口の焼け面，カマド南隣と西壁南側に貯蔵穴2基（Pit1・2）

**出土遺物** 土師器坏・甕，あかやき土器坏，須恵器甕・瓶 **時期** 平安時代

#### ・ピット

##### **P1**（第17図）

**位置** 調査区B区南西部 **平面形** 不整円形 **規模** 直径約0.5m，深さ0.15m，柱痕跡あり

**埋土** 第5表

#### ・遺物包含層（第12図）

**位置** 調査区B区東半部（第8次調査区より続くもの） **土層** 第5表，Ⅱ層に白色火山灰を含む

**規模** 北西から南東にかけて幅8～9mの帯状，層厚0.1～0.2m（遺物の出土はⅡa・Ⅱb層のみ）

**出土遺物** 土師器坏・高台付坏・甕，あかやき土器坏・高台付坏・甕，須恵器坏・甕，摩滅した破片が多い

## 第4節 野古A遺跡（第6次・6次補足・7次・8次・11次調査）

### 1. 遺跡の立地

野古A遺跡は、志波城跡の南東約1.3kmに位置し、北西に稲荷遺跡、北東に本宮熊堂B遺跡、南東に飯岡沢田遺跡が囲んでいる。なお、本遺跡と後述する飯岡沢田遺跡は、現在は近世に開削された農業用水路である鹿妻新堰により分断されているものの、本来の地形的には一連の集落遺跡であると考えられる。志波城跡や周囲の遺跡と同様に低位沖積段丘上にあり、その北東縁辺部にあたり、遺跡の東側は雫石川旧河道に面している。遺跡範囲は東西約640m、南北約400mをはかる（第4図）。

### 2. 調査内容

#### (1) 第6次・6次補足調査（平成5・6年度）

今次調査区は、遺跡の東部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業区域内の現地換地の住宅新築に伴う本調査として実施した。平成5年度の本調査終了後に建築位置の変更が生じたため、平成6年度に拡張部分の補足調査を実施することとなったものである。調査面積は2ヶ年合計で550㎡である。重機により表土を除去し、黄褐色土上面にて遺構検出を行った。

なお、本調査にあたっては、調査区北側にあった東北電力仙北変電所との境界杭を基準点とした任意座標の2mメッシュグリッドを使用している。

#### a. 遺構と遺物

調査の結果、奈良時代の竪穴住居跡1棟、平安時代の竪穴住居跡1棟・掘立柱建物跡2棟、古代の竪穴住居跡1棟・土坑11基・溝跡1条・円形周溝1基・竪穴状遺構1基・柱穴7口を検出した（第18図）。

#### ・竪穴住居跡

**RA005**（第19図）

**位置** 調査区南西部 **重複関係** なし **平面形** 不整隅丸方形

**規模** 東西4.6～5.2m、南北4.2～4.5m、深さ0.4～0.45m

**カマド方向** 東カマド、長い煙道（1.4m） **埋土** 第6表、中層（B1層）に白色火山灰を含む

**カマド** 両袖残存 **床の状態** カマド部分に焚口の焼け面、西壁南部に炭化物の塊

**貯蔵穴** 北東隅と南東隅に貯蔵穴2基（Pit1・2）

**出土遺物**（第58図、第21表） 土師器坏・甕、あかやき土器坏・甕・小型甕（050）、須恵器甕・長頸瓶

**時期** 平安時代（10世紀前半?）

**RA006**（第20・21・22図）

**位置** 調査区南東部 **重複関係** RD005（新）、RX001 **平面形** 隅丸方形

**規模** 東西約7.0m、南北約7.0m、深さ0.75～0.85m

**カマド方向** 西カマド、長い煙道（トンネル状、1.2m）

**埋土** 第6～8表, 上層(A層)に白色火山灰を含む **カマド** 両袖残存

**床の状態** カマド部分に焚き口の焼け面, カマド東部に焼け面, 周溝及び仕切り状の溝あり, 埋土下層(C層)一面に炭化材と焼土(第22図)。焼失家屋と考えられる。

**貯蔵穴** カマド南隣(Pit20), 東壁南部(Pit12), 北壁東部(Pit5・6・7)に計5基

**柱穴** 主柱穴4口(Pit1・2・3・4)

	Pit1	Pit2	Pit3	Pit4
直径	約0.35m	約0.3m	0.35～0.4m	約0.3m
深さ	0.8m	0.7m	0.8m	0.65m
平面形	不整円形	不整円形	不整円形	不整円形
特徴	柱痕跡あり	—	柱痕跡あり	—

**出土遺物**(第58図, 第21表) 土師器坏(A層はロクロ使用, B・C層は丸底)・高台付坏・小型鉢(051・052), 甕(053～060)・球胴甕(061), あかやき土器(A層のみ)坏・甕・小型甕, 須恵器(A層のみ)坏・甕

**時期** 奈良時代(8世紀前半?)

**RA007**(第19図)

**位置** 調査区南西部 **重複関係** なし(大部分が調査区外) **平面形** 隅丸方形?

**規模** 東西3.8m以上, 南北1.0m以上(調査区外)

建築工事の掘削外のため, 検出のみとし保存措置とした。

・掘立柱建物跡

**RB001**(第23図)

**位置** 調査区西部 **重複関係** RD003 **構造** 1間×1間

**規模** 柱間約1.8m等間 **柱穴埋土** 第9表

**柱穴**

	柱穴1	柱穴2	柱穴3	柱穴4
直径	0.2～0.25m	約0.25m	0.2～0.25m	0.2～0.3m
深さ	0.2m	0.2m	0.15m	0.15m
平面形	不整円形	不整円形	不整円形	不整円形
特徴	柱痕跡あり	—	—	柱痕跡あり

**時期** 平安時代

**RB002**(第24図)

**位置** 調査区北東部 **重複関係** RD011 **構造** 1間×1間

**規模** 桁行柱間約2.7m, 梁行柱間西側約1.8m・東側約1.65m

**建物方向** 東西棟 **柱穴埋土** 第9表, 一部白色火山灰を含む

柱穴

	柱穴 1	柱穴 2	柱穴 3	柱穴 4
直径	0.3～0.35m	0.35～0.4m	0.3～0.35m	0.2～0.3m
深さ	0.15m	0.2m	0.15m	0.2m
平面形	不整円形	不整円形	不整円形	不整円形
特徴	柱痕跡あり	—	—	—

時期 平安時代

・土坑

RD002 (第23図)

位置 調査区西部 重複関係 なし 平面形 不整楕円形

規模 長軸1.8m, 短軸1.0m, 深さ0.15m 埋土 第9表

出土遺物 あかやき土器坏・甕

RD003 (第23図)

位置 調査区西部 重複関係 RB001 平面形 隅丸長方形

規模 長辺2.25m, 短辺0.75m, 深さ約0.35m, 底面に浅いピット1口

埋土 第9表, 礫を多く含む

形状と埋土の状況から土坑墓の可能性はある。

RD004 (第23図)

位置 調査区中央部 重複関係 RD007 (新) 平面形 不整円形

規模 直径0.9～1.0m, 深さ約0.25m 埋土 第9表

出土遺物 土師器坏, あかやき土器坏

RD005 (第23図)

位置 調査区中央部 重複関係 RA006 (旧) 平面形 不整円形

規模 直径1.0～1.1m, 深さ約0.25m 埋土 第9表, 白色火山灰を含む

出土遺物 土師器坏, あかやき土器坏

RD006 (第23図)

位置 調査区中央部 重複関係 RD007 (新) 平面形 不整円形

規模 直径約0.9m, 深さ約0.2m 埋土 第9表 出土遺物 あかやき土器坏

RD007 (第23図)

位置 調査区中央部 重複関係 RD004 (旧), RD006 (新) 平面形 不整楕円形

規模 長軸1.55m, 短軸0.9m, 深さ0.1～0.15m 埋土 第9表

**RD008** (第23図)

**位置** 調査区中央部 **重複関係** なし **平面形** 不整円形

**規模** 直径 1.05 ~ 1.2 m, 深さ 0.15 ~ 0.2 m **埋土** 第9表

**RD009** (第24図)

**位置** 調査区北東部 **重複関係** なし **平面形** 不整楕円形

**規模** 長軸 1.9 m, 短軸 1.3 m, 深さ 0.8 m

**埋土** 第10表, 上層 (A2層) に白色火山灰含む, 下半 (C層) は人為堆積

**底面** 凹凸あり, 西部に袋状ピット **出土遺物** 土師器坏・甕, あかやき土器坏 (C層)

埋土下半が人為堆積であり, 土坑墓の可能性はある。

**RD010** (第24図)

**位置** 調査区北東部 **重複関係** なし **平面形** 不整長方形? (調査区外)

**規模** 東西 1.7 m, 南北 0.7 m以上 (調査区外), 深さ 0.6 m

**埋土** 第10表

**底面** 掘削時の鋤痕跡と考えられる浅い小ピット多数

埋土が人為堆積であることから, 土坑墓の可能性はある。

**RD011** (第24図)

**位置** 調査区北東部 **重複関係** RB002 **平面形** 不整楕円形

**規模** 長軸 1.55m, 短軸 0.65 m, 深さ 0.3 m **埋土** 第10表

**底面** 皿状で小ピットがみられる

**RD012** (第25図)

**位置** 調査区南西部 **重複関係** なし **平面形** 不整楕円形? (調査区外)

**規模** 長軸 1.0 m以上 (調査区外), 短軸 1.1 m, 深さ 0.4 m **埋土** 第10表

**出土土器** 土師器坏・甕

・溝跡

**RG001** (第25図)

**位置** 調査区南西部 **重複関係** なし

**規模** 幅 0.3 ~ 0.45 m, 長さ 8.8 m, 深さ約 0.05 m, ほぼ東西に走る **埋土** 第10表

**出土遺物** あかやき土器坏, 須恵器甕

・円形周溝

**RX001** (第25図)

**位置** 調査区東部 **重複関係** RZ001 (新) **平面形** 不整円形

**規模** 全体直径約 5.9 m, 溝幅 0.6 ~ 0.75 m, 深さ 0.4 ~ 0.45 m **埋土** 第10表

**底面** 掘削時の鋤痕跡と考えられる浅い小ピット多数 **出土遺物** 土師器甕  
形状から円形周溝墓と考えられる。

・ 竪穴状遺構

RZ001 (第25図)

**位置** 調査区東部 **重複関係** RX001 (旧) **平面形** 不整隅丸方形

**規模** 南北3.8m, 東西3.8m, 深さ1.2～1.3m

**埋土** 第10～12表, 上部(A1層,B1・2・5層,C1層)に白色火山灰を含む, 下半(B～E層)が人為堆積

**床の状態** 底面に浅い小ピット15口(Pit1～15), 床面構築土あり

**出土遺物** 土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器甕・長頸瓶

埋土下半が人為堆積であり, 深さがあることから大規模な土坑墓(集団墓?)の可能性が考えられる。

・ ピット

調査区東部に3口, 北東部に2口, 北西部に2口の計7口のピットを確認した。埋土土層は第12表を参照。白色火山灰を含むものがある(P1・2・4・7)。

	P1	P2	P3	P4
<b>位置</b>	調査区東部	調査区東部	調査区東部	調査区北東部
<b>直径</b>	0.25～0.3m	0.25～0.3m	0.3～0.45m	0.3～0.35m
<b>深さ</b>	0.2m	0.15m	0.4m	0.25m
<b>平面形</b>	不整円形	不整円形	不整楕円形	不整円形
<b>特徴</b>	—	—	—	—

	P5	P6	P7
<b>位置</b>	調査区北東部	調査区南西部	調査区南西部
<b>直径</b>	0.35～0.45m	0.3m	0.35～0.5m
<b>深さ</b>	0.15m	0.2m	0.3m
<b>平面形</b>	不整楕円形	不整円形	不整楕円形
<b>特徴</b>	—	—	柱痕跡あり

(2) 第7次調査(平成6年度)

今次調査区は, 遺跡の北西部に位置し, 盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積10,878㎡について, 重機により幅約2mの試掘トレンチ52本を設定し(2,602㎡), 遺構・遺物の有無を確認した。その結果, 調査区南半部に古代と推定される遺構・遺物が検出されたため, その部分を要本調査地区とし, その他の部分は調査終了地区とした(第4図)。

### (3) 第8次調査（平成8年度）

今次調査区は、遺跡の中央及び南東部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積 29,955㎡について、重機により幅約 1.5 m の試掘トレンチ 109 本を設定し(4,442㎡)、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、中央部の一部を除き、両調査区に古代と推定される遺構・遺物が検出されたため、その部分を要本調査地区とし、その他の部分は調査終了地区とした（第4図）。

### (4) 第11次調査（平成12年度）

今次調査区は、遺跡の東端部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した。調査面積は 1,080㎡である。重機により表土を除去し、調査区中央部では黄褐色土、南北端部では黄褐～黒褐色土上面にて遺構検出を行った。なお、現地調査の図面・写真資料のほとんどが罹災・焼失しているため、遺構の記述は可能な部分のみとした。

#### a. 遺構と遺物

調査の結果、奈良時代の竪穴住居跡 4 棟、平安時代の竪穴住居跡 3 棟、古代の土坑 2 基・溝跡 7 条を検出した（第27図）。

#### ・竪穴住居跡

##### RA008（第28図）

**位置** 調査区北西部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形 **規模** 東西 5.3 m, 南北 5.0 m

**カマド方向** E27.5° S, 東カマド（短い煙道 0.4 m）

**床面施設** 柱穴 6 口, 貯蔵穴 2 基（東壁北端, カマド北隣）

**出土遺物**（第62図, 第22表）土師器坏(062)・甕(066・067), あかやき土器坏(063～065)・甕, 須恵器甕, 墨書「(不?)」(065, あかやき土器坏), 刻書「」(062, 土師器坏)

**時期** 平安時代（10世紀前半）

##### RA009（第28図）

**位置** 調査区北東部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形 **規模** 東西 4.3 m, 南北 3.6 m

**カマド方向** E28.5° S, 東カマド（長い煙道 1.3 m） **床面施設** 貯蔵穴 1 基（東壁南端）

**出土遺物**（第63図, 第22表）土師器甕, あかやき土器坏(068・069)・高台付坏(070・071), 砥石（軽石）

**時期** 平安時代（10世紀前半）

##### RA010（第28図）

**位置** 調査区中央西部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形 **規模** 東西 4.1 m, 南北 4.0 m

**カマド方向** E26.0° S, 東カマド（長い煙道 0.9 m） **床面施設** 貯蔵穴 1 基（東壁南端）

**出土遺物**（第64図, 第22表）土師器坏(072～075)・高台付坏・甕(076), あかやき土器坏, 須恵器坏・甕

**時期** 平安時代（10世紀前半）

**RAO11** (第28図)

**位置** 調査区中央西部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形 **規模** 東西4.0 m, 南北3.5 m

**カマド方向** E28.0° S, 東カマド (長い煙道0.9 m) **床面施設** 貯蔵穴1基 (東壁南端)

**出土遺物** (第65図, 第22表) 土師器坏(077)・甕, あかやき土器坏(078・079)・甕(080)

**時期** 平安時代 (10世紀前半)

**RAO12** (第29図)

**位置** 調査区南部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形 **規模** 東西4.0 m, 南北3.7 m

**カマド方向** N39.0° W, 北カマド (長い煙道1.1 m) **床面施設** 貯蔵穴2基 (北壁東端・南壁中央)

**出土遺物** (第66図, 第22表) 土師器坏(081)・甕(082・083)・小型甕(085)・球胴甕(084), 砥石

**時期** 奈良時代 (8世紀前半)

**RAO13** (第29図)

**位置** 調査区南部 **重複関係** RGO07と重複 **平面形** 隅丸方形 (推定)

**規模** 南北3.8 m・東西2.2 m以上 (削平)

**カマド方向** W36.0° N, 西カマド (長い煙道1.4 m)

**出土遺物** (第67図, 第22表) 土師器坏(086)・高台付坏(087)・甕・球胴甕

**時期** 奈良時代 (8世紀前半)

**RAO14** (第28図)

**位置** 調査区中央東部, 検出のみ (平成13年度に県埋文センターが第12次調査RAO14 竪穴住居跡として調査・報告している)。

**時期** 奈良時代 (8世紀)

・土坑

**RD015** (第29図)

**位置** 調査区南部 **重複関係** なし **平面形** 不整円形 **規模** 長軸1.7 m・短軸1.5 m

**RD016** (第28図)

**位置** 調査区中央西部 **重複関係** なし **平面形** 不整楕円形? (調査区外)

**規模** 長軸1.7 m以上 (調査区外)・短軸1.0 m

・溝跡

**RGO05** (第29図)

**位置** 調査区南部 **重複関係** なし

**規模** 幅約0.3～0.5 m・延長約5.5 m, 北北東から南南西方向に走る

**RG006** (第29図)

**位置** 調査区南部 **重複関係** なし

**規模** 幅約 0.3～0.4 m・延長約 2.0 m, 南北方向に走る

**RG007** (第29図)

**位置** 調査区南部 **重複関係** RA013 竪穴住居跡と重複

**規模** 幅約 0.4 m・延長約 12.6 m, 北東から南西方向に走る

**RG008** (第28図)

**位置** 調査区南部 **重複関係** RG009 溝跡と重複

**規模** 幅約 1.4～2.0 m・延長約 18.8 m以上 (調査区外), 北西から南東方向に走る

**RG009** (第28図)

**位置** 調査区北部 **重複関係** RG008 溝跡と重複

**規模** 幅約 1.0～1.5 m・延長約 14.3 m以上 (調査区外), 北西から南東方向に走る

**RG010** (第28図)

**位置** 調査区北部 **重複関係** なし

**規模** 幅約 0.7 m以上 (調査区外)・延長約 14.2 m以上 (調査区外), 北西から南東方向に走る

**RG011** (第28図)

**位置** 調査区北部 **重複関係** なし

**規模** 幅約 0.8～1.3 m・延長約 14.2 m以上 (調査区外), 北西から南東方向に走る

## 第5節 飯岡沢田遺跡（第1次・2次調査）

### 1. 遺跡の立地

飯岡沢田遺跡は、志波城跡の南東約1.8kmに位置し、北西に野古A遺跡、東に台太郎遺跡、南に飯岡才川遺跡が囲んでいる。なお、前述のとおり本遺跡と野古A遺跡は、現在は近世に開削された農業用水路である鹿妻新堰により分断されているものの、本来の地形的には一連の集落遺跡であったと考えられる。志波城跡や周囲の遺跡と同様に低位沖積段丘上にあり、その北東部にあたり、遺跡の東側は旧河道に面している。遺跡範囲は東西約340m、南北約310mをはかる（第5図）。

### 2. 調査内容

#### (1) 第1次調査（平成7年度）

今次調査区は、遺跡の西端に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積2,197㎡について、重機により幅約2mの試掘トレンチ10本を設定し（調査面積384㎡）、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、遺構・遺物が検出されなかったため、全範囲について調査終了地区とした（第5図）。

#### (2) 第2次調査（平成8年度）

今次調査区は、遺跡の北部及び南部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積31,649㎡について、重機により幅約1.5mの試掘トレンチ82本を設定し（調査面積2,965㎡）、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、調査区北東部から古代と推定される遺構・遺物が検出された一方、調査区南東部の大部分で遺構・遺物が検出されなかった。そのため、遺構・遺物の検出された調査区については要本調査地区とし、その他の部分は調査終了地区とした（第5図）。

## 第6節 飯岡才川遺跡（第1次調査）

### 1. 遺跡の立地

飯岡才川遺跡は、志波城跡の南東約2.1kmに位置し、北西に飯岡沢田遺跡、北に台太郎遺跡、南東に向中野館遺跡・細谷地遺跡、南西に矢盛遺跡が囲んでいる。志波城跡や周囲の遺跡と同様に低位沖積段丘上にあり、その南東部にあたり、遺跡の北東側は旧河道に面している。遺跡範囲は東西約610m、南北約300mをはかる（第5図）。

### 2. 調査内容

#### (1) 第1次調査（平成8年度）

今次調査区は、遺跡の西半部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積42,195㎡について、重機により幅約2.5mの試掘トレンチ29本・幅約1.5mの試掘トレンチ21本を設定し（調査面積5,672㎡）、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、調査区の一部を除き広い範囲から古代と推定される遺構・遺物が検出されたため、その部分を要本調査地区とし、その他の部分は調査終了地区とした（第5図）。

## 第7節 向中野館遺跡（第1次・2次調査）

### 1. 遺跡の立地

向中野館遺跡は、志波城跡の南東約2.4kmに位置し、北に台太郎遺跡、西に飯岡才川遺跡、南に細谷地遺跡が位置する。周囲の遺跡と同様に低位沖積段丘上にあり、遺跡の東側は北上川旧河道に面している。遺跡範囲は東西約100m、南北約220mをはかる。遺跡内に土塁の残存がみられ、中世における在地領主の居館跡と考えられる（第6図）。

### 2. 調査内容

#### (1) 第1次調査（平成7年度）

今次調査区は、遺跡の北部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積3,762㎡について、重機により幅約2mの試掘トレンチ15本を設定し（調査面積991㎡）、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、古代と推定される遺構・遺物が検出されたため、全範囲を要本調査地区とした（第6図）。

#### (2) 第2次調査（平成8年度）

今次調査区は、遺跡の北部・南部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積880㎡について、重機により幅約1.5mの試掘トレンチ4本、及び2×2mグリット16箇所を設定し（調査面積110㎡）、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、北部と南部西半から古代と推定される遺構・遺物が検出されたため、その部分を要本調査地区とし、その他の部分は調査終了地区とした（第6図）。

## 第8節 細谷地遺跡（第2次調査）

### 1. 遺跡の立地

細谷地遺跡は、志波城跡の南東約2.5kmに位置し、北に向中野館遺跡が隣接、北西に飯岡才川遺跡、南西に矢盛遺跡、南東に南仙北遺跡が囲んでいる。なお、志波城跡や周囲の遺跡と同様に低位沖積段丘上にあり、その南端縁辺部にあたり、遺跡の東側は北上川旧河道に面している。遺跡範囲は東西約600m、南北約280mをはかる（第6図）。

### 2. 調査内容

#### (1) 第2次調査（平成8年度）

今次調査区は、遺跡の東部・西部に点在して位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積13,576㎡について、重機により幅約1.5mの試掘トレンチ26本、及び2×2mグリット6箇所を設定し（調査面積975㎡）、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、一部の調査区を除き、縄文時代晩期～弥生時代後期と推定される遺物包含層、及び古代と推定される遺構・遺物が検出されたため、その部分を要本調査地区とし、その他の部分は調査終了地区とした（第6図）。

## 第9節 矢盛遺跡（第2次調査）

### 1. 遺跡の立地

矢盛遺跡は、志波城跡の南東約2.2kmに位置し、北に飯岡才川遺跡、北東に細谷地遺跡が囲み、南東やや離れた位置に夕覚遺跡がある。志波城跡や周囲の遺跡と同様に低位沖積段丘上にあり、その南東部にあたり、遺跡の周囲は旧河道に面している。遺跡範囲は東西約450m、南北約500mをはかる（第7図）。

### 2. 調査内容

#### (1) 第2次調査（平成11年度）

今次調査区は、遺跡の中央部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業区域内の現地換地の住宅新築に伴う本調査として実施した。調査面積は131㎡。重機により表土を除去し、黄褐色土上面で遺構検出を行った。調査区東半部の大部分と西半部の一部が、既存建築物の基礎及び水道管等工事により攪乱を受けていた。

なお、本調査にあたっては、任意座標の2mメッシュグリッドを使用している。

#### a. 遺構と遺物

検出された遺構は、近世以降の柱列跡1列・溝跡3条・柱穴である（第30図）。

#### ・柱列跡

RC001（第30図）

位置 調査区西部 重複関係 なし 構造 2間

規模 全長3.66m（芯々）、柱間西から1.88m＋1.78m（芯々） 方向 ほぼ東西方向

#### 柱穴

	柱穴1	柱穴2	柱穴3
直径	約0.55m	約0.45m	約0.45m
深さ	0.4m	0.25m	0.3m
平面形	不整円形	不整円形	不整円形
特徴	柱痕跡あり	—	柱痕跡あり

埋土 第13表

#### ・溝跡

RG002（第30図）

位置 調査区中央 重複関係 RG003(新), RG004

規模 幅0.3～0.9m・深さ0.3～0.4m・延長約13.0m以上（調査区外）、東西方向に走る

埋土 第13表

**RG003** (第30図)

**位置** 調査区南西部 **重複関係** RG002 (旧)

**規模** 幅0.85～1.0 m・深さ約0.5 m・延長4.8 m以上 (調査区外) **埋土** 第13表

**RG004** (第30図)

**位置** 調査区西部 **重複関係** RG002 (新)

**規模** 幅0.3～0.45 m・深さ約0.15 m・延長4.0 m

・柱穴

**P1～3** (第30図)

**位置** 調査区西部 **重複関係** RG002 (新) **平面形** 不整円形～不整楕円形

**規模** 直径0.4～0.45 m, 深さ0.25～0.35 m

## 第10節 南仙北遺跡 (第15～17次・22～24次・27次・28次・30～32次・35次調査)

### 1. 遺跡の立地

南仙北遺跡は、志波城跡の南東約2.5kmに位置し、西方やや離れた位置に細谷地遺跡がある。低位沖積段丘上にあり、遺跡の北側から北東側にかけては北上川の旧河道に面しているが、南西側は平坦面が続き明瞭な地形の差異はみられない。また、遺跡の中央部に東西方向の小規模な旧河道が入り込んでいる。現在は、JR東北本線及び東北新幹線により遺跡範囲が東西に分断されており、その西半部が盛岡南新都市開発整備事業区域となっている。遺跡範囲は東西約200m、南北約500mをはかる(第8図)。

### 2. 調査内容

#### (1) 第15次調査 (平成7年度)

今次調査区は、遺跡の南東部に位置し、住宅新築に伴う本調査として実施した。調査面積は77㎡。重機により表土を除去し、遺構検出を行った。なお、現地調査の図面・写真資料のほとんどが罹災・焼失しているため、遺構の記述は可能な部分のみとした。

#### a. 遺構と遺物

調査の結果、縄文時代の陥し穴1基、奈良時代の竪穴住居跡1棟を検出した(第31図)。

#### ・ 陥し穴

RD133 (第32図)

位置 調査区東部 重複関係 RA012(新) 平面形 溝状、南北方向

規模 幅0.1～0.5m、長さ3.9m、深さ0.7m

#### ・ 竪穴住居跡

RA012 (第32図)

位置 調査区中央 重複関係 RD133(旧) 平面形 隅丸方形

規模 南北4.9m、東西1.6m カマド方向 W5.5°N、西カマド(長い煙道1.2m)

カマド 両袖残存 柱穴 主柱穴4口(pit1・2・3・4) 貯蔵穴 東壁中央に1基

出土遺物 (第68図、第23表) 土師器甕(088・089)・多条沈線甕(090)

時期 奈良時代(8世紀前半)

#### (2) 第16次調査 (平成7年度)

今次調査区は、遺跡の西部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積6,583㎡について、重機により幅約2mの試掘トレンチ26本を設定し(調査面積1,445㎡)、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、調査区東部から古代と推定される遺構・遺物が検出されたため、その部分を要本調査地区とし、その他の部分は調査終了地区とした(第8図)。

### (3) 第 17 次調査 (平成 7 年度)

今次調査区は、遺跡の南東部に位置し、住宅新築に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積 423 m<sup>2</sup>について、重機により幅約 1.5 m の試掘トレンチ 4 本を設定し (調査面積 94m<sup>2</sup>)、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、調査区内から古代と推定される遺構・遺物が検出されたため、全範囲を要本調査地区とした (第 8 図)。

### (4) 第 22 次調査 (平成 8 年度)

今次調査区は、遺跡の南東部に位置し、住宅新築に伴う本調査として実施した。調査面積は 59m<sup>2</sup>。重機により表土を除去し、遺構検出を行った。

#### a. 遺構と遺物

調査の結果、古代の竪穴住居跡 1 棟を検出した (第 33 図)。

#### ・ 竪穴住居跡

**RAO13** (第 34 図)

**位置** 調査区東部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形? (調査区外)

**規模** 南北 2.8 m 以上, 東西 1.7 m 以上 (調査区外), 削平されている

**カマド方向** 北カマド? **床の状態** カマド焚き口と考えられる焼け面あり

### (5) 第 23 次調査 (平成 8 年度)

今次調査区は、遺跡の北西部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積 1,480m<sup>2</sup>について、重機により幅約 1.5 m の試掘トレンチ 3 本を設定し (調査面積 108m<sup>2</sup>)、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、古代と推定される遺構・遺物が検出されたため、全範囲を要本調査地区とした (第 8 図)。

### (6) 第 24 次調査 (平成 8 年度)

今次調査区は、遺跡の南東部に位置し、住宅増築に伴う試掘確認調査として実施した。増築部分について、幅約 0.6 m の試掘トレンチ 3 本を設定し (調査面積 7m<sup>2</sup>)、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、試掘トレンチ内から古代と推定される遺構が検出されたが、基礎掘削範囲外であったため、本調査は行わず、保存措置とした。(第 8 図)。

### (7) 第 27 次調査 (平成 10 年度)

今次調査区は、遺跡の北東部に位置し、住宅新築に伴う本調査として実施した。事前の試掘調査で 5 本のトレンチ (T01~05) を入れたところ、遺構・遺物が確認されたため、建築工事による基礎掘削が行われる 2 箇所を本調査対象とし、その他遺構を確認した範囲 (T01・02) は掘削制限による保存措置とした。本調査面積は 346m<sup>2</sup>。重機により表土を除去し、遺構検出を行った。

#### a. 遺構と遺物

調査の結果、西側のA区・東側のB区から古代以降と考えられる掘立柱建物跡1棟・土坑7基・溝跡4条・方形周溝1基・柱穴跡26口を検出した。また、試掘トレンチT01・02ではこの他に土坑3基・溝跡1条を検出した（第35図）。

#### ・掘立柱建物跡

**R B O O 1**（第37図）

**位置** 調査区B区北東部 **重複関係** なし **構造** 桁行・梁行とも1間以上（調査区外）

**規模** 南北側柱筋柱間2.4m，東西側柱筋柱間2.4m **建物方向** N15.0° E（西側柱筋）

**柱穴**

	柱穴1	柱穴2	柱穴3
直径	約0.4m	0.45m	約0.4m
深さ	0.2m	0.45m	0.35m
平面形	不整円形	不整円形	不整円形
特徴	柱痕跡あり	柱痕跡あり	柱痕跡あり

#### ・土坑

**R D 1 1 4**（第36図）

**位置** 調査区A区北西部 **重複関係** R G 1 1 5（新） **平面形** 不整楕円形

**規模** 長軸1.1m以上（調査区外），短軸1.4m，深さ0.35m **埋土** 第14表

**R D 1 1 5**（第36図）

**位置** 調査区A区北部 **重複関係** P 6，P 9 **平面形** 不整楕円形

**規模** 長軸2.2m，短軸1.3m，深さ0.25～0.4m **埋土** 第14表

**底面の状態** 凹凸あり **出土遺物** あかやき土器甕

**R D 1 1 6**（第36図）

**位置** 調査区A区北部 **重複関係** R G 1 1 9（新） **平面形** 不整楕円形

**規模** 長軸1.9m，短軸1.0m，深さ0.15～0.25m

**埋土** 第14表，下層（B層上面）に白色火山灰を含む

**底面の状態** 凹凸あり

**R D 1 1 7**（第36図）

**位置** 調査区A区東部 **重複関係** R G 1 1 9（同時存在？） **平面形** 不整楕円形

**規模** 長軸1.2m，短軸1.0m **床の状態** 中央に小ピット1口

**RD118** (第36図)

**位置** 調査区A区南西部 **重複関係** なし **平面形** 不整形

**規模** 直径約0.55 m, 深さ0.2 m **埋土** 第14表

**RD119** (第37図)

**位置** 調査区B区中央部 **重複関係** なし **平面形** 不整形

**規模** 直径0.6～0.7 m, 深さ0.35 m **埋土** 第14表

**RD120** (第37図)

**位置** 調査区B区南部 **重複関係** なし **平面形** 不整形? (調査区外)

**規模** 直径1.15 m以上 (調査区外) **埋土** 第14表

・溝跡

**RG115** (第36図)

**位置** 調査区A区西部 **重複関係** RD114 (旧)

**規模** 幅0.4～0.6 m, 延長10.2 m以上 (調査区外), 深さ0.15 m, 南北方向に走る **埋土** 第14表

**RG116** (第36図)

**位置** 調査区A区西部 **重複関係** RG117 (新), RG119 (旧)

**規模** 幅約0.5 m, 延長9.6 m以上 (調査区外), 深さ0.2 m, 南北方向に走る **埋土** 第14表

**RG117** (第36図)

**位置** 調査区A区西部 **重複関係** RG116 (旧), RG119 (旧)

**規模** 幅約1.0 m, 延長10.9 m以上 (調査区外), 深さ0.4 m **埋土** 第14表

**RG118** (第36図)

**位置** 調査区A区中央部 **重複関係** RG119 (旧), P8

**規模** 幅0.4～0.5 m, 延長6.6 m以上 (調査区外), 深さ0.4 m **埋土** 第14表

・方形周溝

**RG119** (第36図)

**位置** 調査区A区中央部 **重複関係** RG116・117・118 (新), RD116・117

**平面形** 溝により隅丸方形を区画

**規模** 全体南北7.5～7.6 m, 東西約7.1 m, 溝幅0.15～0.3 m, 深さ0.3 m **埋土** 第14表

**底面の状態** 小ピットを多数検出

・ピット

調査区A区内に11口、B区内に23口の計34口のピットを確認した。埋土土層は第14表を参照。

	P 1	P 2	P 3	P 4	P 5	P 6
位置	A区北西部	A区北西部	A区北西部	A区北部	A区北部	A区北部
重複	なし	RG117	RG116・117	なし	なし	RD115
直径	0.2m	0.4～0.45m	0.35m	0.4m	0.25～0.35m	0.3m
深さ	—	—	—	—	—	—
平面形	不整形	不整形	不整形	不整形	不整形	不整形
特徴	—	柱痕跡あり	柱痕跡あり	—	—	—

	P 7	P 8	P 9	P 10	P 11	P 12
位置	A区北部	A区中央部	A区中央部	A区中央部	A区南部	B区北西部
重複	RD115	なし	RG118	なし	なし	なし
直径	0.3m	0.45～0.5m	0.5m	0.4m	0.45～0.5m	0.25～0.3m
深さ	—	—	—	0.4m	—	0.2m
平面形	不整形	不整形	不整形	不整形	不整形	不整形
特徴	—	柱痕跡あり	柱痕跡あり	柱痕跡あり	柱痕跡あり	—

	P 13	P 14	P 15	P 16	P 17	P 18
位置	B区北西部	B区北西部	B区北西部	B区北西部	B区北西部	B区北東部
重複	なし	なし	なし	なし	なし	—
直径	0.2～0.25m	0.2m	0.2m	0.2m	0.3～0.35m	0.45～0.55m
深さ	0.35m	0.1m	0.05m	0.1m	0.25m	—
平面形	不整形	不整形	不整形	不整形	不整形	不整形
特徴	柱痕跡あり	—	—	—	—	—

	P 19	P 20	P 21	P 22	P 23	P 24
位置	B区北東部	B区北西部	B区北東部	B区南西部	B区南西部	B区南西部
重複	なし	なし	なし	なし	なし	なし
直径	0.35～0.4m	0.25～0.35m	0.15～0.2m	0.5m	0.15m	0.45～0.55m
深さ	0.45m	0.2m	0.15m	0.3m	—	—
平面形	不整形	不整形	不整形	不整形	不整形	不整形
特徴	—	—	—	柱痕跡あり	—	—

	P 25	P 26	P 27	P 28	P 29	P 30
位置	B 区南西部	B 区南西部	B 区南西部	B 区南西部	B 区南西部	B 区南西部
重複	なし	なし	なし	なし	なし	なし
直径	0.25m	0.15m	0.2～0.3m	0.2m	0.2m	0.2m
深さ	0.2m	0.1m	0.15m	0.05m	0.2m	0.15m
平面形	不整円形	不整円形	不整楕円形	不整円形	不整円形	不整円形
特徴	柱痕跡あり	—	—	—	—	柱痕跡あり

	P 31	P 32	P 33	P 34
位置	B 区南部	B 区南部	B 区南部	B 区南部
重複	なし	なし	なし	なし
直径	0.15m	0.2m	0.15m	0.15m
深さ	0.15m	0.25m	—	—
平面形	不整円形	不整円形	不整円形	不整円形
特徴	—	—	—	—

#### (8) 第 28 次調査 (平成 10 年度)

今次調査区は、遺跡の北東部に位置し、住宅新築に伴う本調査として実施した。事前の試掘調査でトレンチを入れたところ、遺構・遺物が確認されたため、建築工事による基礎掘削が行われる範囲を本調査対象とし、その他遺構を確認した部分は掘削制限による保存措置とした。調査面積は 732㎡。重機により表土を除去し、遺構検出を行った。

##### a. 遺構と遺物

調査の結果、縄文時代の陥し穴 1 基、古代以降の土坑 3 基、溝跡 3 条を検出した。また、試掘トレンチではこの他に竪穴住居跡 3 棟・土坑 4 基・溝跡 2 条を検出した (第 38 図)。

##### ・ 陥し穴

RD 1 2 4 (第 39 図)

位置 調査区西部 重複関係 なし 平面形 溝状

規模 幅 0.25～0.6 m, 長さ 3.6 m, 南北方向 埋土 第 15 表

##### ・ 土坑

RD 1 2 1 (第 40 図)

位置 調査区北東部 重複関係 なし 平面形 不整円形

規模 直径 0.85～0.9 m, 深さ約 0.8 m 埋土 第 15 表

**RD122** (第39図)

**位置** 調査区西部 **重複関係** なし **平面形** 不整円形  
**規模** 直径1.1～1.2 m, 深さ約0.2 m **埋土** 第15表

**RD123** (第39図)

**位置** 調査区西部 **重複関係** なし **平面形** 不整円形  
**規模** 直径約1.2 m, 深さ約0.3 m

・溝跡

**RG120** (第39図)

**位置** 調査区西部 **重複関係** なし  
**規模** 幅0.8～1.5 m, 延長24.4 m以上(調査区外), 深さ0.1～0.3 m **埋土** 第15表  
**出土遺物** (第69図, 第23表) 須恵器甕(092)

**RG121** (第40図)

**位置** 調査区東部 **重複関係** なし  
**規模** 幅0.4～1.05 m, 延長9.6 m以上(調査区外), 深さ0.2～0.35 m, 東西方向に走る **埋土** 第15表

**RG122** (第40図)

**位置** 調査区東部 **重複関係** なし **埋土** 第15表  
**規模** 幅2.3～3.1 m, 延長10.4 m以上(調査区外), 深さ約0.3 m, 東西方向から南東方向へ曲がる

・ピット

**P1** (第39図)

**位置** 調査区北西部 **重複関係** なし **平面形** 不整楕円形 **規模** 直径0.3～0.4 m  
**出土遺物** (第69図, 第23表) 土師器坏(埋土上面, 091)

**(9) 第30次調査(平成10年度)**

今次調査区は、遺跡の北東部に位置し、公共下水道建設に伴う試掘調査として実施し、遺構を検出した部分のみ遺構の精査を行った。調査面積は346㎡。工事と同時に重機により舗装路盤及び旧表土を除去し、遺構検出を行った。

**a. 遺構と遺物**

調査の結果、A～F区の6箇所では奈良時代の竪穴住居跡1棟、古代の竪穴住居跡1棟、古代以降の土坑1基・溝跡3条を検出した(第8図)。なお、各遺構の記録は任意座標での平板測量にて行い、高さも任意のレベルを使用した。

・ 竪穴住居跡

RA3001 (第41図)

位置 調査区D区 重複関係 なし 平面形 不整隅丸方形? (調査区外)

規模 南北3.4~3.8m, 東西1.25m以上 (調査区外), 深さ0.3~0.5m

カマド方向 北カマド, 長い煙道(1.0m) 埋土 第16表 カマド 両袖残存

出土土器 (第71図, 第23表) 土師器甕(095)・小型甕(096)・球胴甕(097)

時期 奈良時代(8世紀後半)

RA3002 (第41図)

位置 調査区E区 重複関係 なし 平面形 隅丸方形? (北西隅部分のみ)

規模 東西0.5m以上, 南北0.2m以上 (調査区外), 深さ0.45m

RD3001 (第41図)

位置 調査区C区 重複関係 なし 平面形 不整楕円形 規模 長軸0.6m, 短軸0.45m

RG3001 (第41図)

位置 調査区A区 重複関係 なし 規模 幅0.5m, 延長1.2m以上 (調査区外)

RG3002 (第41図)

位置 調査区B区 重複関係 なし 規模 幅0.5~1.1m, 延長0.7m以上 (調査区外)

RG3003 (第41図)

位置 調査区F区 重複関係 なし

規模 幅1.15m, 延長1.35m以上 (調査区外), 深さ0.25m, 北西から南東方向に走る 埋土 第16表

(10) 第31次調査(平成10年度)

今次調査区は、遺跡の北東部に位置し、住宅新築に伴う試掘確認調査として実施した。調査面積は517㎡。重機により表土を全面除去、遺構検出とサブトレンチで土層を観察し、掘削制限により保存措置とした。

a. 遺構と遺物

調査の結果、古代の溝跡3条を検出した(第42図)。

・ 溝跡

RG3101 (第42図)

位置 調査区北部 重複関係 RG3102(旧)

規模 幅約2.1m, 延長16.8m以上(調査区外), 深さ0.4~0.5m, ほぼ東西に走る 埋土 第17表

出土土器 トレンチからあかやき土器坏, 須恵器坏・甕

**RG3102** (第42図)

**位置** 調査区北部 **重複関係** RG3101 (新)

**規模** 幅1.3 m以上, 延長16.8 m以上 (調査区外), 深さ0.4 ~ 0.5 m, 蛇行しながらほぼ東西に走る

**埋土** 第17表

**RG3101** (第42図)

**位置** 調査区南部 **重複関係** RG3102 (旧)

**規模** 幅4.8 m以上, 延長16.8 m以上 (調査区外), 深さ0.4 ~ 0.5 m, 蛇行しながらほぼ東西に走る

**埋土** 第17表

**(11) 第32次調査 (平成11年度)**

今次調査区は, 遺跡の北西部に位置し, 盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した。調査面積は550㎡。重機により表土を除去し, 黄褐色土上面にて遺構検出を行った。

**a. 遺構と遺物**

調査の結果, 平安時代の溝跡2条, 古代以降の土坑1基, 溝跡15条を検出した (第43図)。

**・土坑**

**RD128** (第47図)

**位置** 調査区南東部 **重複関係** なし **平面形** 溝状

**規模** 幅0.35 ~ 0.4 m, 長さ3.2 m, 深さ0.35 m

**・溝跡**

**RG130** (第47図)

**位置** 調査区北西部 **重複関係** なし

**規模** 幅0.5 ~ 2.1 m, 延長27.0 m以上 (調査区外), 深さ0.15 ~ 0.2 m

**埋土** 第18表, 上層(A4層)に白色火山灰を含む

**出土土器** 土師器坏, あかやき土器坏

**時期** 平安時代

**RG131** (第44・45図)

**位置** 調査区北部 **重複関係** RG136

**規模** 幅1.1 ~ 2.1 m, 延長39.5 m以上 (調査区外), 深さ0.1 ~ 0.5 m, 東西方向に走る **埋土** 第18表

**底面の状態** ゆるやかな皿状, 底面に土器片が多数散布

**出土土器** (第72図, 第23表) 土師器坏・高台付坏・甕・小型甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏(098 ~ 102)・甕

**時期** 平安時代(9世紀後半)

**RG132** (第45図)

**位置** 調査区北部 **重複関係** なし

**規模** 幅0.35～0.65 m, 延長13.8 m, 深さ約0.05 m, 途中1箇所途切れやや曲がりながら東西方向に走る

**RG133** (第44図)

**位置** 調査区北東部 **重複関係** なし

**規模** 幅0.25～0.3 m, 延長2.0 m, 深さ約0.05 m, 少し曲がりながらほぼ東西方向に走る

**RG134** (第44図)

**位置** 調査区北東部 **重複関係** なし

**規模** 幅0.25～0.35 m, 延長2.8 m, 深さ約0.05 m

**RG135** (第44図)

**位置** 調査区北東部 **重複関係** なし

**規模** 幅0.2～0.35 m, 延長8.9 m, 深さ約0.05 m, ほぼ東西に走る

**出土遺物** あかやき土器甕, 須恵器坏

**RG136** (第45図)

**位置** 調査区北部 **重複関係** RG131

**規模** 幅0.3～0.5 m, 延長10.4 m, 深さ0.05～0.1 m, 途中1箇所途切れながら南北方向に走る

**RG137A・B・C** (第45図)

**位置** 調査区北部 **重複関係** なし **埋土** 第18表

**規模** 3本の溝が南北に並行, 幅0.3～0.4 m, 延長1.3～1.7 m, 深さ約0.1, 北東から南西方向に走る

**RG138** (第44・46図)

**位置** 調査区北部 **重複関係** なし **埋土** 第18表

**規模** 幅0.2～0.9 m, 延長70 m以上(調査区外), 深さ0.1～0.2 m, 途中2箇所途切れ北東から南西方向にやや屈曲しながら走る

**出土土器** 土師器高台付坏, あかやき土器坏, 須恵器坏

**RG139** (第48図)

**位置** 調査区北東部 **重複関係** RG141・142 **埋土** 第18表

**規模** 幅0.5～0.6 m, 延長22 m以上(調査区外), 深さ0.35 m, 北端で1箇所途切れ北西から南東方向に走る

**RG140** (第48図)

**位置** 調査区北東部 **重複関係** なし (RG139と並行) **埋土** 第18表

**規模** 幅0.2～0.35 m, 延長10.3 m, 深さ約0.05 m, 途中5箇所ですて切れ北西から南東方向に走る

**RG141** (第48図)

**位置** 調査区北東部 **重複関係** RG139 **埋土** 第18表

**規模** 幅約0.25 m, 延長2.6 m, 深さ約0.05 m, 南北方向に走りRG139に結合する

**RG142** (第48図)

**位置** 調査区北東部 **重複関係** RG139 **埋土** 第18表

**規模** 幅0.4～0.5 m, 延長3.4 m, 深さ約0.2m, 南北方向にやや屈曲しながら走りRG139に結合する

**RG143** (第48図)

**位置** 調査区北東部 **重複関係** なし **埋土** 第18表

**規模** 幅0.45～1.0 m, 延長8.1 m以上 (調査区外), 深さ約0.2 m, 北西から南東方向に走る

**出土遺物** あかやき土器甕

**RG144** (第48図)

**位置** 調査区北東部 **重複関係** なし **埋土** 第18表

**規模** 幅0.25～0.35 m, 延長1.8 m, 深さ約0.05 m, 北西から南東方向に走る

**RG145** (第47図)

**位置** 調査区西部 **重複関係** RG146 (新) **埋土** 第18表

**規模** 幅0.35～0.4 m, 延長5.2 m, 深さ約0.1 m, 東西方向に走る

**RG146** (第47図)

**位置** 調査区西部 **重複関係** RG145 (旧)

**規模** 幅0.4～0.55 m, 延長3.0 m以上 (調査区外), 深さ約0.15 m, 南北方向に走る

**(12) 第35次調査 (平成12年度)**

今次調査区は、遺跡の北東部に位置し、住宅新築に伴う本調査として実施した。調査面積は145㎡。重機により表土を除去し、黄褐色～黒色土上面で遺構検出を行った。

**a. 遺構と遺物**

調査の結果、縄文時代の陥し穴1基、奈良時代の竪穴住居跡1棟、古代以降の土坑2基、柱穴10口を検出した (第49図)。

・ 陥し穴

**R D 1 2 9** (第 49 図)

**位置** 調査区南東部 **重複関係** なし **平面形** 溝状

**規模** 幅 0.4 ~ 0.6 m, 長さ 2.5 m 以上 (調査区外), 深さ 1.2 m

・ 竪穴住居跡

**R A O 1 7** (第 50 図)

**位置** 調査区北西部 **重複関係** 隅丸方形 **平面形** 隅丸方形

**規模** 南北 2.7 m, 東西 2.8 m, 深さ約 0.35 m

**カマド方向** N20.0° W, 北カマド, 長い煙道 (トンネル状, 0.5 m 以上, 調査区外) **埋土** 第 19 表

**カマド** 両袖残存 **床の状態** カマド焚き口焼け面, 床面中央と西部に焼け面, 床面西部に炭化材あり

**出土遺物** (第 70 図, 第 23 表) 土師器坏 (093)・甕 (094), 砥石 1 個

**時期** 奈良時代 (8 世紀後半 ~ 9 世紀初頭?)

・ 土坑

**R D 1 3 0** (第 49 図)

**位置** 調査区南東部 **重複関係** なし **平面形** 不整楕円形 **規模** 長軸 0.9 m, 短軸 0.35 m

・ ピット

**P 1 ~ 1 0** (第 49 図)

**位置** 調査区南西部 **重複関係** P 1 と P 2, P 4 と P 5 **平面形** 不整円形

**規模** 直径 0.25 ~ 0.4 m

## 第4章 調査成果のまとめ

盛岡市教育委員会で行った平成5～12年度の盛南地区遺跡群の発掘調査により、第3章に記述した内容の成果を得ることができた。

以下、古代集落の一部をある程度まとめて調査することのできた本宮熊堂B遺跡第12次調査、野古A遺跡第6・11次調査の主な遺構と遺物について、まとめを記述する。

### 1. 本宮熊堂B遺跡第12次調査

**竪穴住居跡：** 本調査では、A区で2棟、B区で3棟の計5棟の竪穴住居跡を精査している。時期については、後述するように出土土器の様相から平安時代・9世紀後半と考えられる。おずれもカマド方向は東カマドであり、RA030については同位置でのカマドの作り替え（a・b期）がある。竪穴住居跡の規模についてみると、RA031はほとんど削平されており正確な規模が不明なので除外すると、RA028・030が一辺6.3～7.9mと大型であり、RA027・029は一辺4.3～4.7mであり小型といえる。

本宮熊堂B遺跡については、本調査区周辺一帯を県埋文センターが広く発掘調査を行っており（第3図）、奈良時代・8世紀後半の竪穴住居跡群、及び平安時代9世紀後半～10世紀前半の竪穴住居跡群と掘立柱建物跡数棟が発見されている。これら遺構の分布については、8世紀後半の遺構が遺跡中央部分にまとまっているのに対し、9世紀後半～10世紀前半の遺構は旧河道縁辺に近い遺跡東側に移動しているようである（津嶋2004）。本調査区の竪穴住居跡もこの傾向の中にあるものといえる。

**出土土器：** RA027～030竪穴住居跡より、土師器・あかやき土器・須恵器がまとめて出土している（第73・74図、第20表）。

坏類は、土師器・あかやき土器が主体であり、台付のものもみられる。実測図化を行った土師器坏・あかやき土器坏のうち、特殊な大型坏である034を除く29点について、器高・口径・底径等の数値分布を検討したのが第24表である。ちなみに、土師器大型坏である034は、器高9.0cm・口径26.0cmと他の坏の約2倍の大きさを持つ珍しい器種であり、非常に丁寧な作りであることから、特殊な用途に用いられたものと考えられる。

甕類についてみると、あかやき土器が主体であり、ロクロを用いない土師器は046のように粗い調整のつくりとなっている。

以上のような様相から、本宮熊堂B遺跡第12次調査竪穴住居跡群から出土した土器群は、9世紀後半（第4四半期？）と考えられる。

### 2. 野古A遺跡第6・11次調査

**竪穴住居跡：** 第6次調査で2棟、第11次調査で6棟の計8棟の竪穴住居跡を精査している。時期については、後述するように出土土器の様相から、第6次調査RA006・第11次調査RA012・013が奈良時代・8世紀前半、第6次調査RA005・第11次調査RA008～011が平安時代・10世紀前半と

考えられる。奈良時代のRA006・012・013のカマド方向は、すべて北にふれた西カマドである。竪穴住居跡の規模は、RA006が一辺7.0mと大型であり、RA012・013は一辺3.8～4.0mであり小型といえる。特にRA006は、平面規模が大きい上に竪穴の深さが0.75～0.85mと深く、4口のしっかりした支柱穴、それに連結するような周溝と仕切り状の溝があるという、典型的な奈良時代の家父長クラスの竪穴住居といえる。一方、平安時代のRA005・008～011のカマド方向は、南にふれた東カマドと、奈良時代とは180度反対方向となっている。竪穴住居跡の規模は、RA005・008が一辺4.5～5.3mと中型であり、RA009～011が一辺3.5～4.1mと小型である。

野古A遺跡は、地形的に南東に隣接する飯岡沢田遺跡と一体の集落遺跡であり、本報告の第6・11次調査区周辺一帯を県埋文センターが広く発掘調査を行っており（第4・5図）、7世紀末～8世紀の竪穴住居跡群、9世紀後半～10世紀前半の竪穴住居跡群と掘立柱建物跡、9世紀前半～後半の馬蹄形状円形周溝墓・平面形長方形土坑墓多数が発見されている。これらの分布は、遺跡範囲全体に奈良時代・7世紀末～8世紀の竪穴住居跡群が分布し、その後平安時代・9世紀になると周辺の地形で最も標高の高い遺跡中央部（飯岡沢田遺跡北西部）に墓域が形成され、9世紀後半～10世紀前半の竪穴住居跡群は墓域を避けるように、その東西（野古A遺跡東部と飯岡沢田遺跡南東部）に分かれて分布しているようである（津嶋2004）。第6次調査区は、この9世紀の墓域から離れた場所に位置するが、円形周溝墓と考えられるRX001、埋土が人為堆積であり土坑墓の可能性が高いRD003・009・010、また同様に埋土が人為堆積であり集団墓の可能性のある竪穴状で掘り込みが深いRZ001というように、墓制に関連する遺構が集中している。これら遺構の時期については、確実な出土遺物がなく明確ではないが、埋土上層に白色火山灰が含まれており、RA006竪穴住居跡の埋土堆積の傾向と類似することから、奈良時代・8世紀代を想定しておきたい。ちなみに、RD009土坑は底面に袋状ピットがあり、また罹災のため現存しないが埋土上層からコハク製の管玉状装飾品が出土しており、時代は遡るものの、市内の永福寺山遺跡で発見された北方の後北武期の土坑墓（盛岡市教委1997）を想起させる。

**出土土器：** RA005・006・008～012竪穴住居跡より、土師器・あかやき土器・須恵器が出土している。（第75・76図、第21・22表）。

RA006では床面及び埋土下層に多量の炭化材とともに多くの土師器甕がつぶれた状態で出土しており、一般的な長胴甕のほか球胴甕がみられる。また、RA012・013からはロクロ未使用の丸底で内外面ミガキ調整の土師器杯、柱状高台をもつ土師器高台付杯、土師器球胴甕が出土している。これらの様相から、野古A遺跡第6次調査RA006竪穴住居跡・第11次調査RA012・013竪穴住居跡出土の土器群は、8世紀前半（第2四半期？）と考えられる。

RA005・008～011についてみると、杯類は、土師器・あかやき土器が主体であり、台付のものもみられる。実測図化を行った土師器杯・あかやき土器杯のうち、11点について、器高・口径・底径等の数値分布を検討したのが第25表である。

甕類は、あかやき土器及び粗い調整の土師器がみられる。

以上のような様相から、野古A遺跡第6次調査RA005竪穴住居跡・第11次調査RA008～011竪穴住居跡出土の土器群は、杯類に前述した本宮熊堂B遺跡第12次調査竪穴住居跡群出土土器群より新しい要素（底径の小型化）がみられることから、10世紀前半（第1四半期？）と考えられる。

### 3. 墨書土器

本宮熊堂B遺跡第12次調査で2点、野古A遺跡第11次調査で1点の墨書土器と1点の刻書土器が出土している。文字はそれぞれ、「田」(011),「(不明)」(027),「(不?)」(065),「𠩺」(062)である。盛南地区遺跡群の中では、県埋文センターが行った向中野館遺跡第5・6次調査において100点以上の墨書・刻書土器が出土しており、その報告書の中で盛南地区遺跡群の調査でそれまで出土した墨書・刻書土器の集成・検討を行っている(県埋文センター2002,第503集)。これによると、墨書の「田」は向中野館遺跡第5・6次調査で1点出土しているが、「不」の例はないようである。また刻書の「𠩺」はある種の記号であろうが、例はないようである。盛南地区遺跡群の中では小幅遺跡、本宮熊堂B遺跡、野古A遺跡、飯岡才川遺跡、向中野館遺跡、細谷地遺跡、台太郎遺跡と、堅穴住居跡が多数ある9～10世紀の古代集落のほぼすべてから墨書・刻書土器が出土している。当然ながら、当該地域への文字の普及は、延暦22年(803)の志波城造営とそれに伴う蝦夷(エミシ)への律令統治の開始が契機と考えられるわけであるが、上記のような様相は、特定の移民集落のみに識字者が存在したわけではないことを示していると考えられ、律令統治下で集落を営む在地の俘囚の多くが、文書行政を行う官衙である「志波城(803～812年頃まで)」「徳丹城(812年頃～9世紀中頃)」及びその附属施設に多数、下級役人として仕えていた状況を想定することができるのではないだろうか。

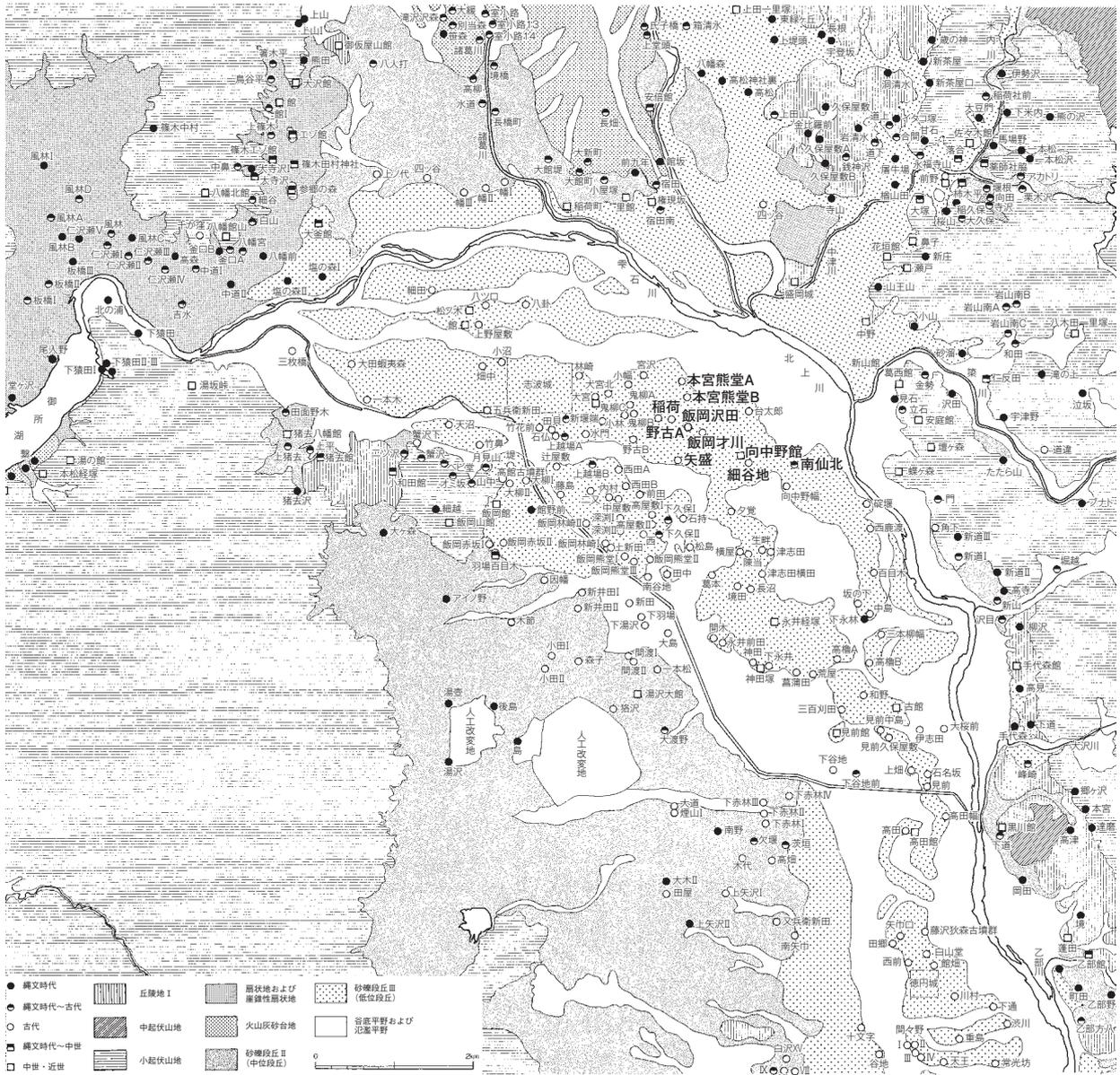
#### 引用文献

津嶋知弘 1994 「志波城と蝦夷社会」『古代蝦夷と律令国家』高志書院

盛岡市教育委員会 1997 『永福寺山遺跡－昭和40・41年発掘調査報告書－』

# 插图





第2図 地形分類と遺跡分布図



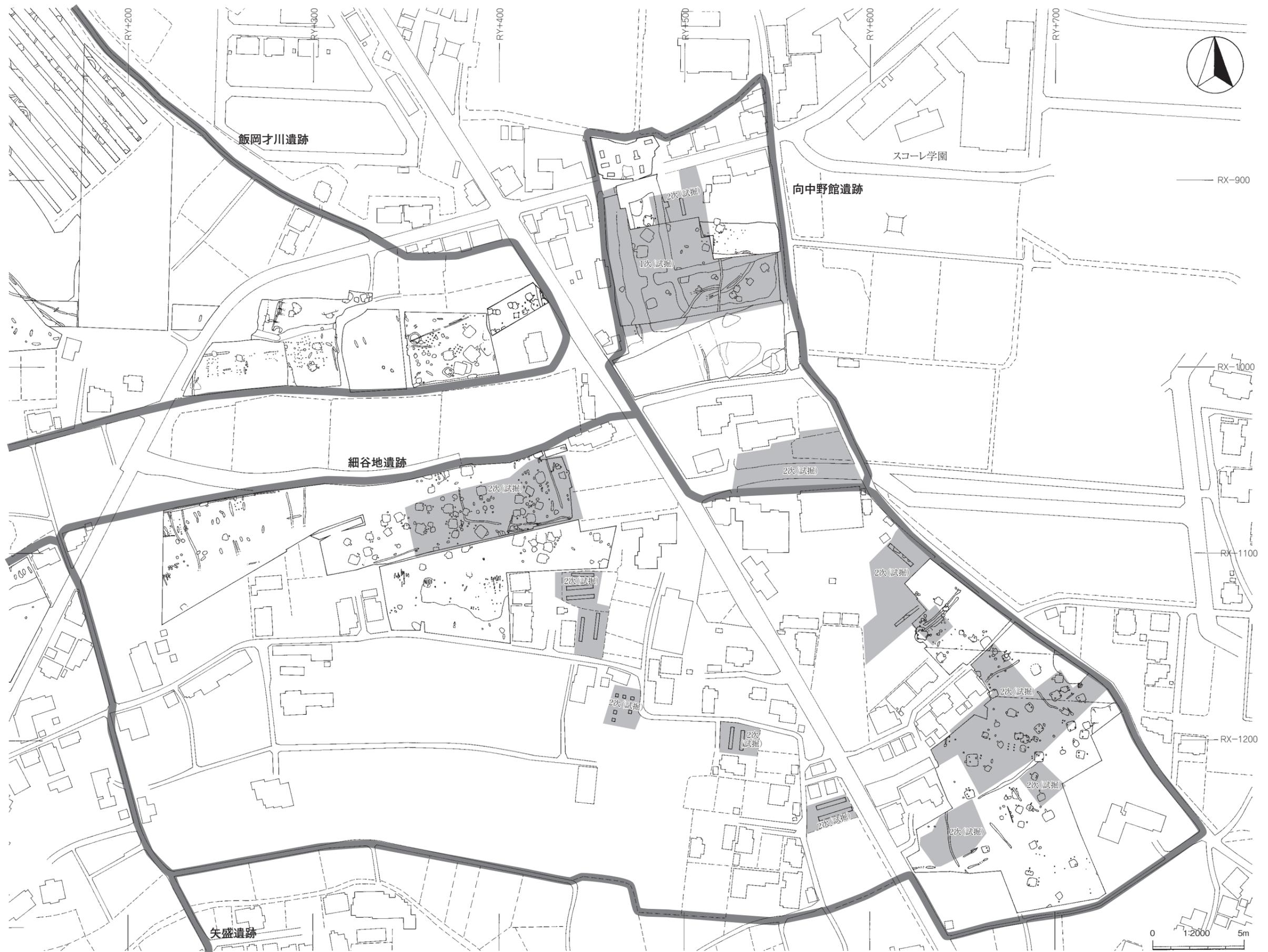
第3図 稻荷・本宮熊堂A・本宮熊堂B遺跡全体図



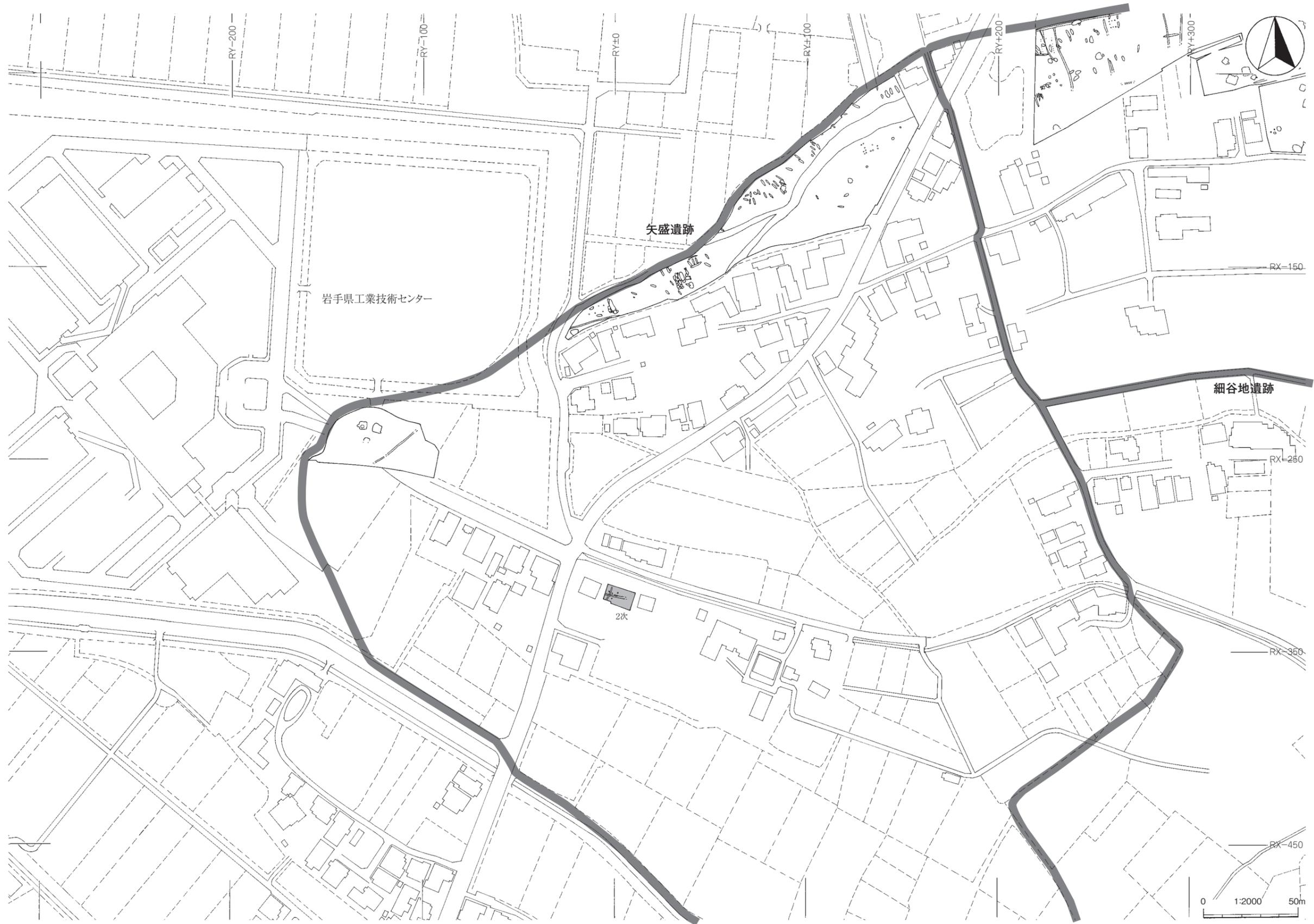
第4図 野古A遺跡全体図



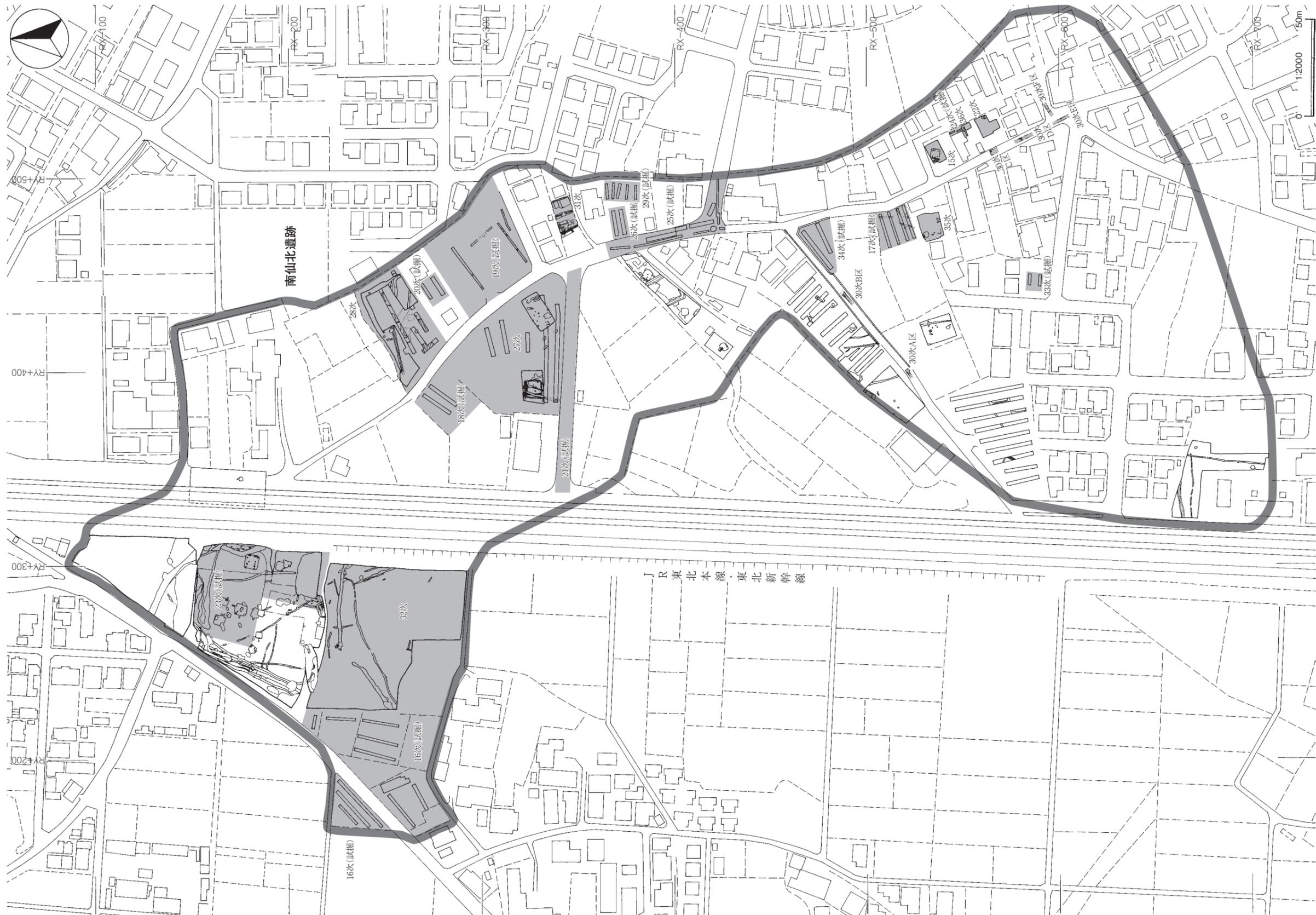
第5図 飯岡沢田・飯岡才川遺跡全体図 (〔 〕内は飯岡才川遺跡調査座標値)



第6図 向中野館・細谷地遺跡全体図



第7図 矢盛遺跡全体図



第 8 図 南仙北遺跡全体図

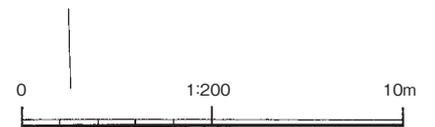
RY+870

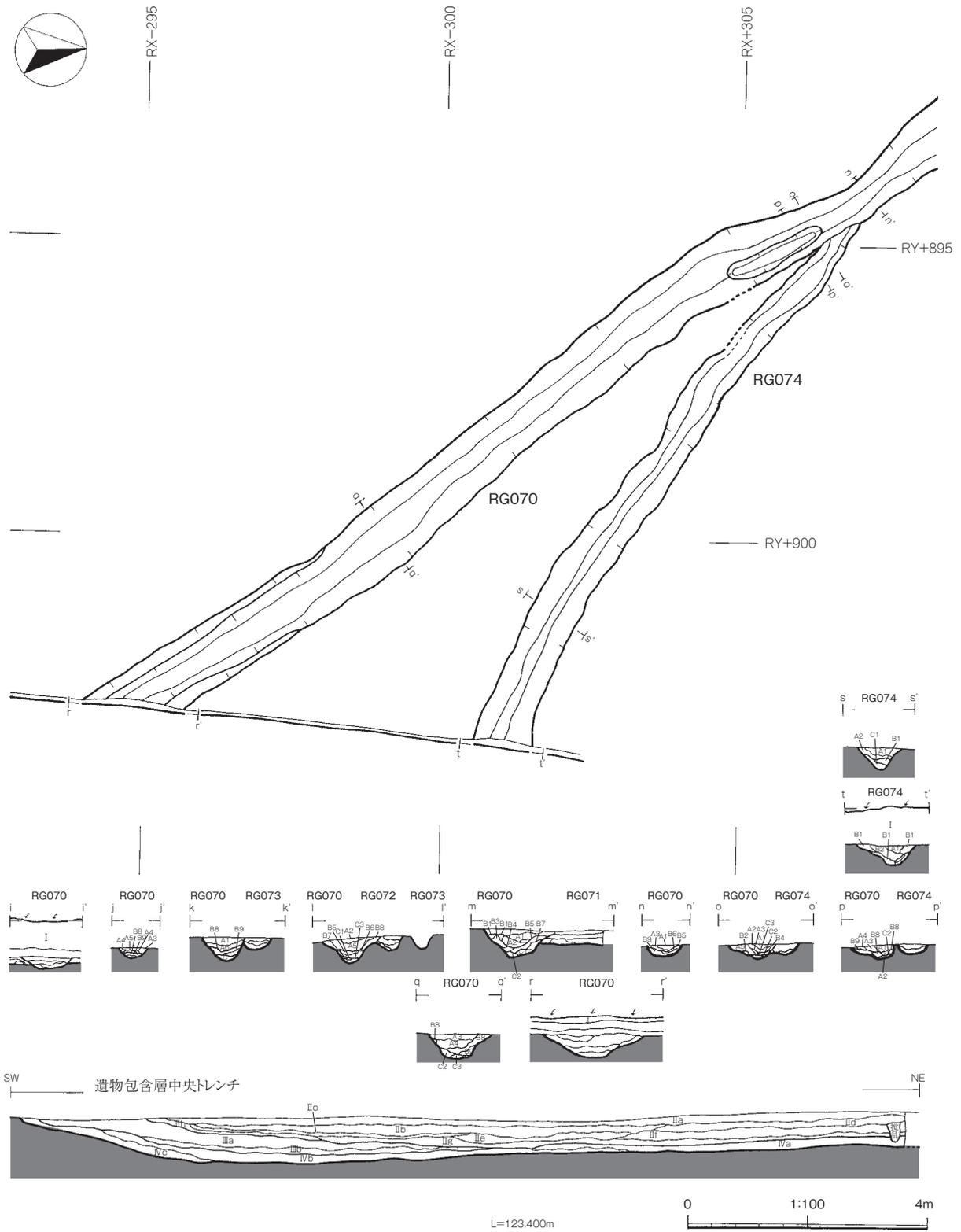
RY+880

RY+890

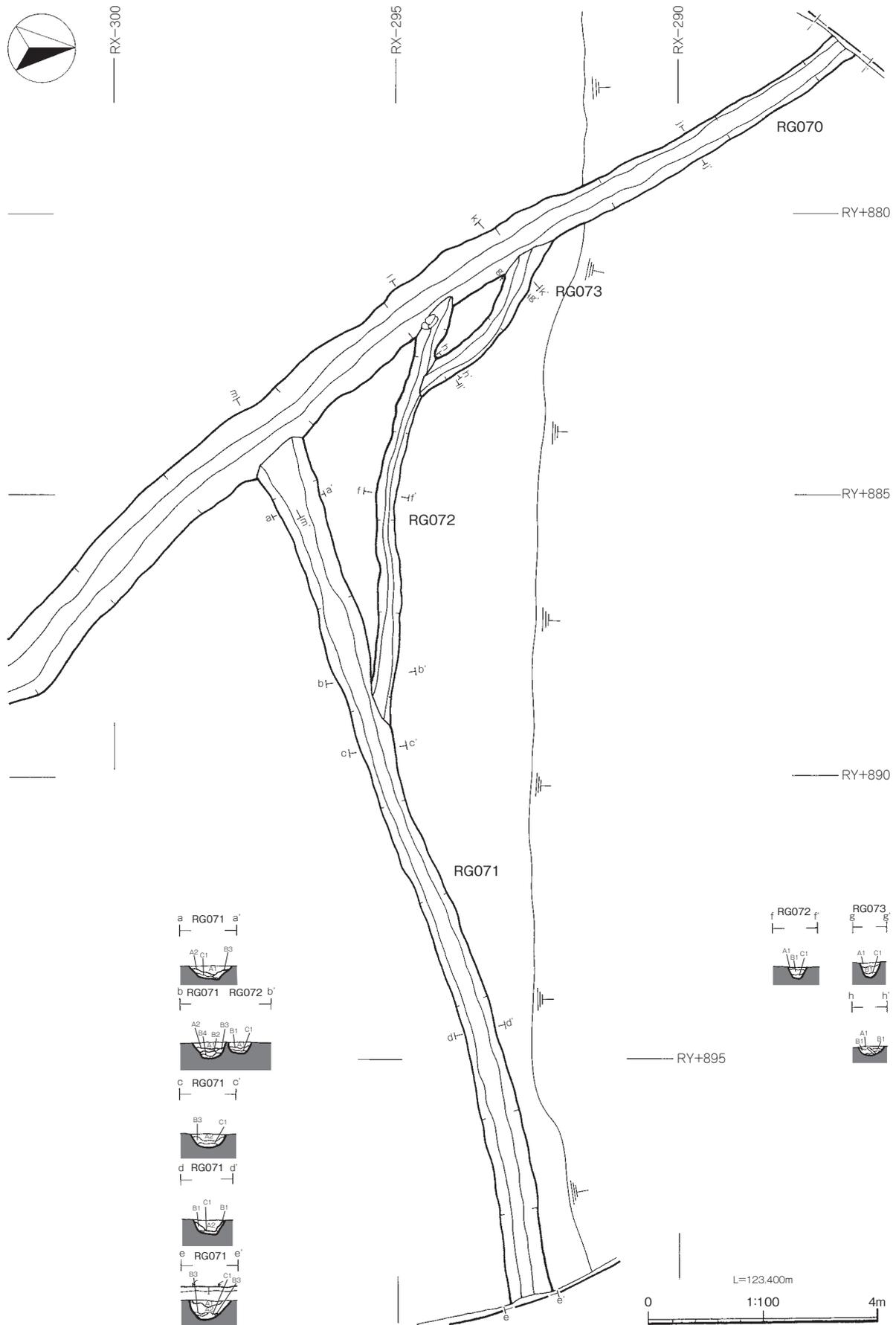


第9図 本宮熊堂B遺跡第8次調査区全体図

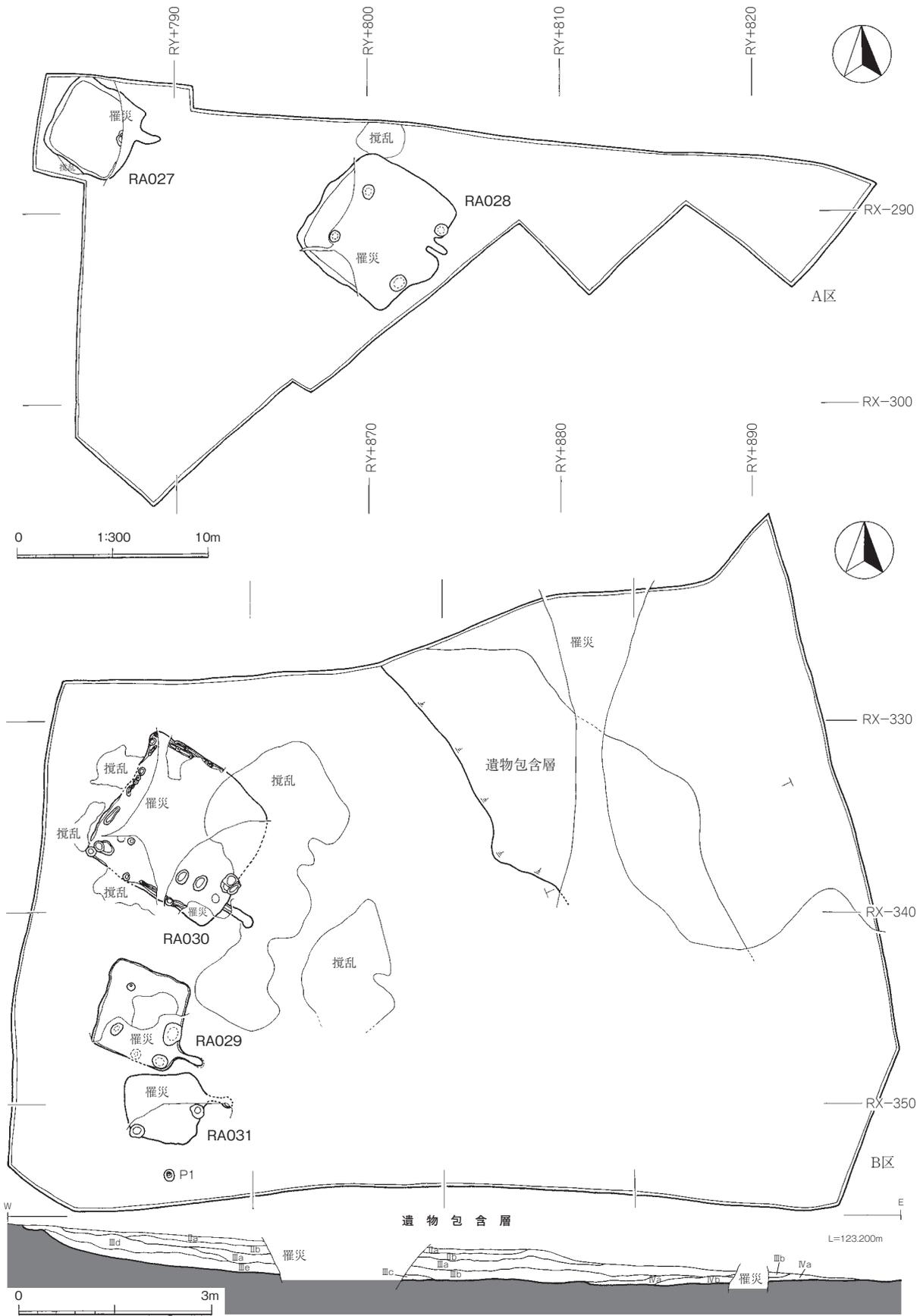




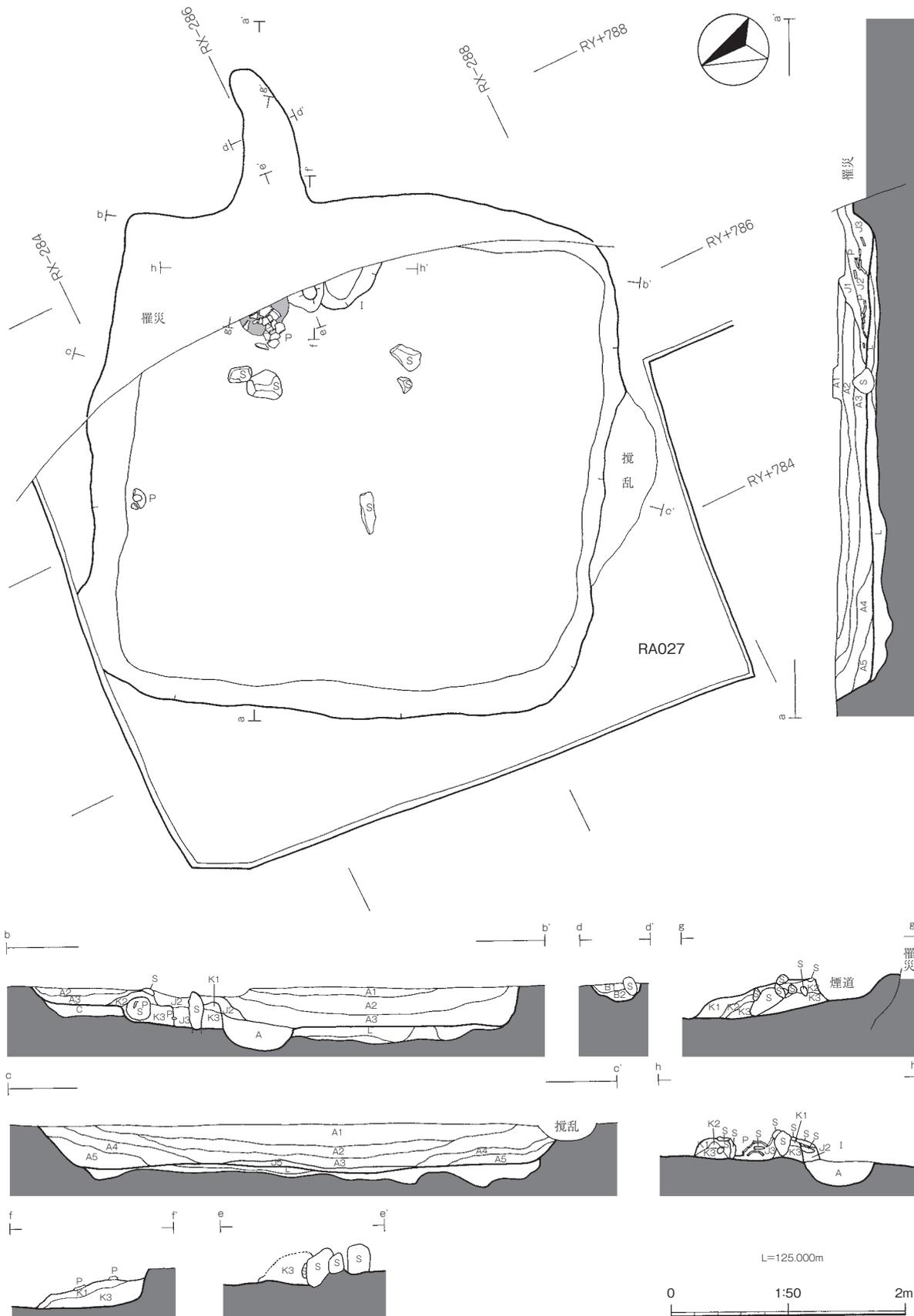
第10図 本宮熊堂B遺跡第8次調査 RG070・074 溝跡



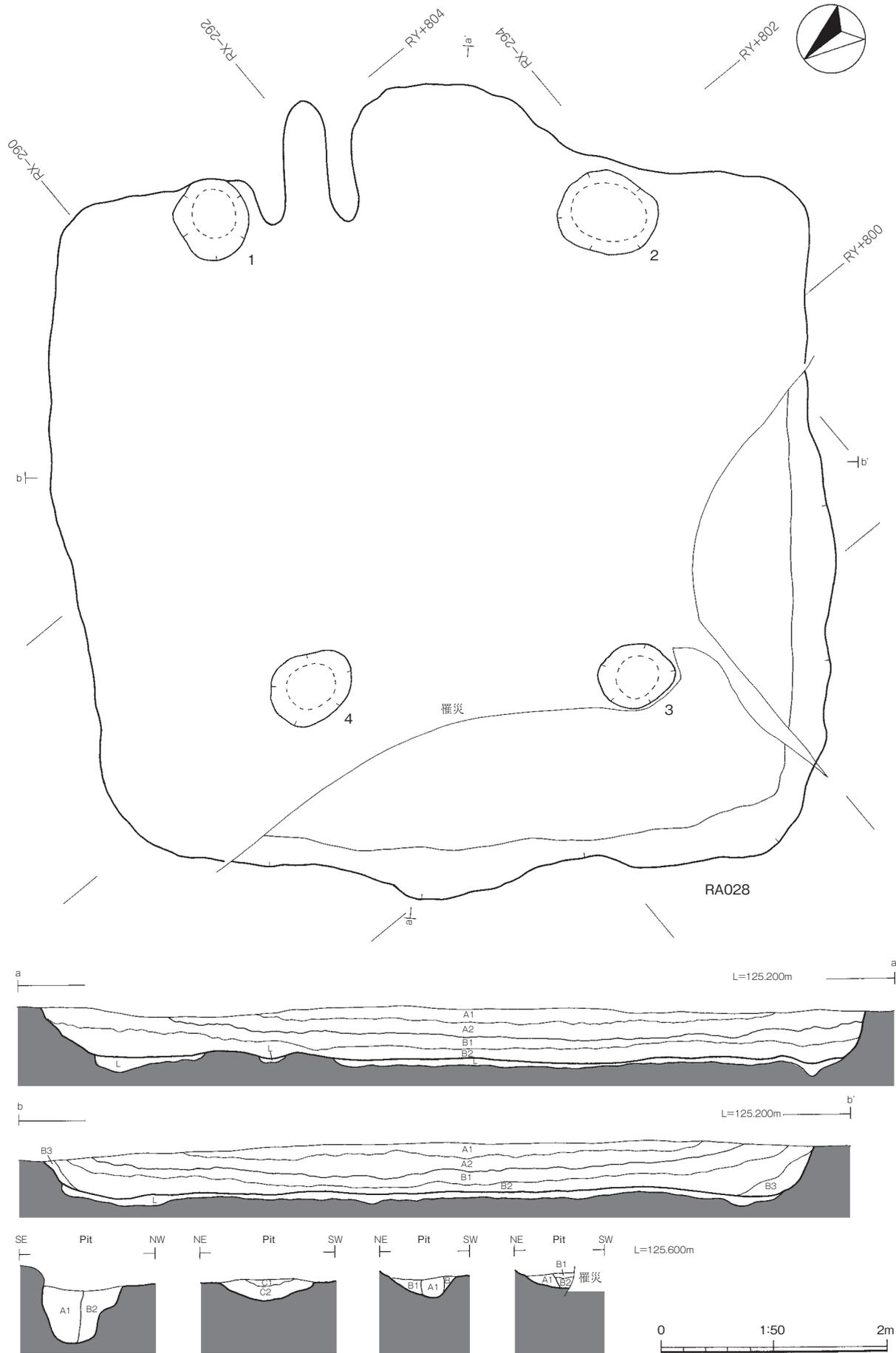
第 11 図 本宮熊堂 B 遺跡第 8 次調査 RG070・071・072・073 溝跡



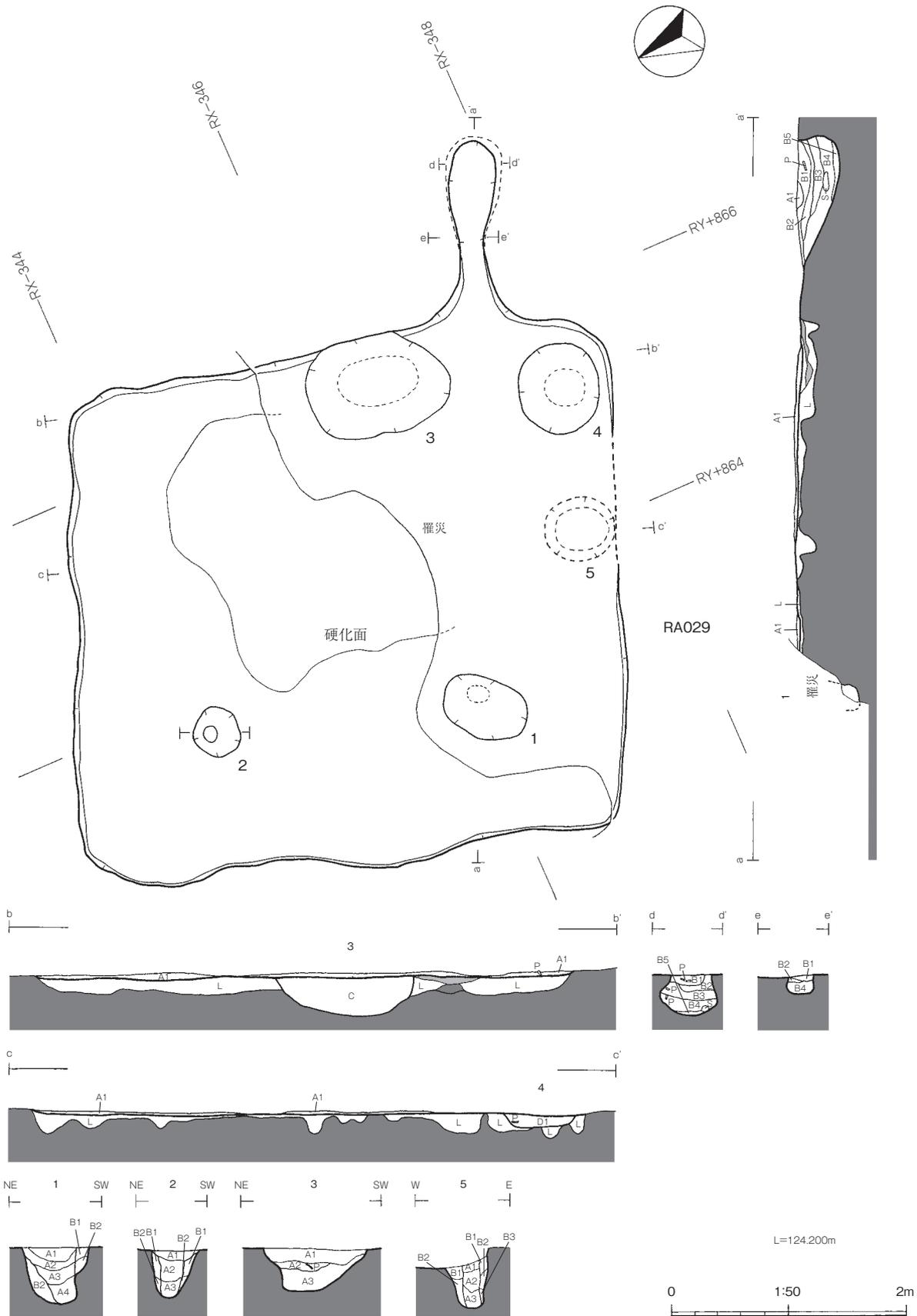
第 12 図 本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査区全体図



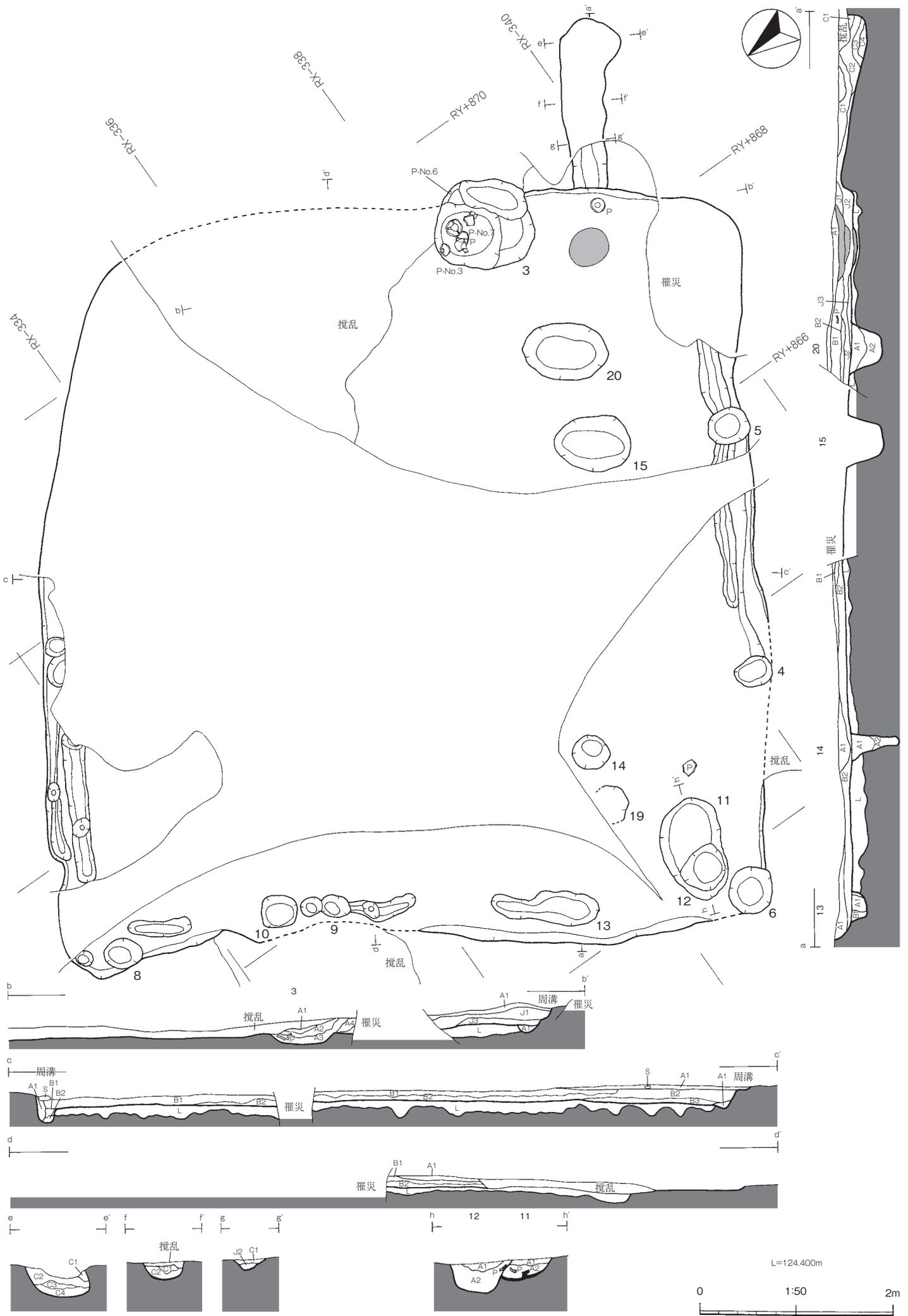
第 13 図 本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査 RA027 竪穴住居跡



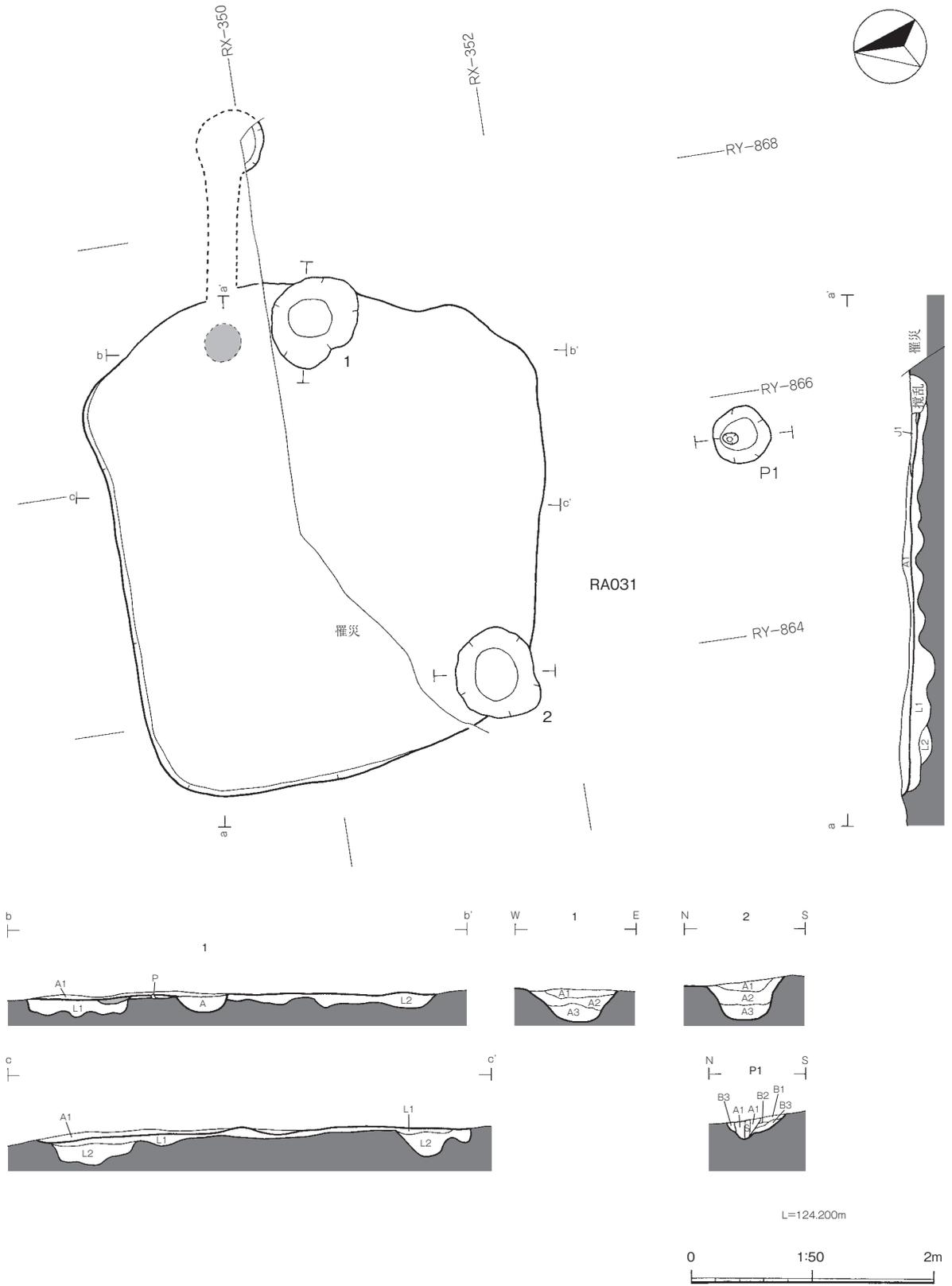
第 14 図 本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査 RA028 竪穴住居跡



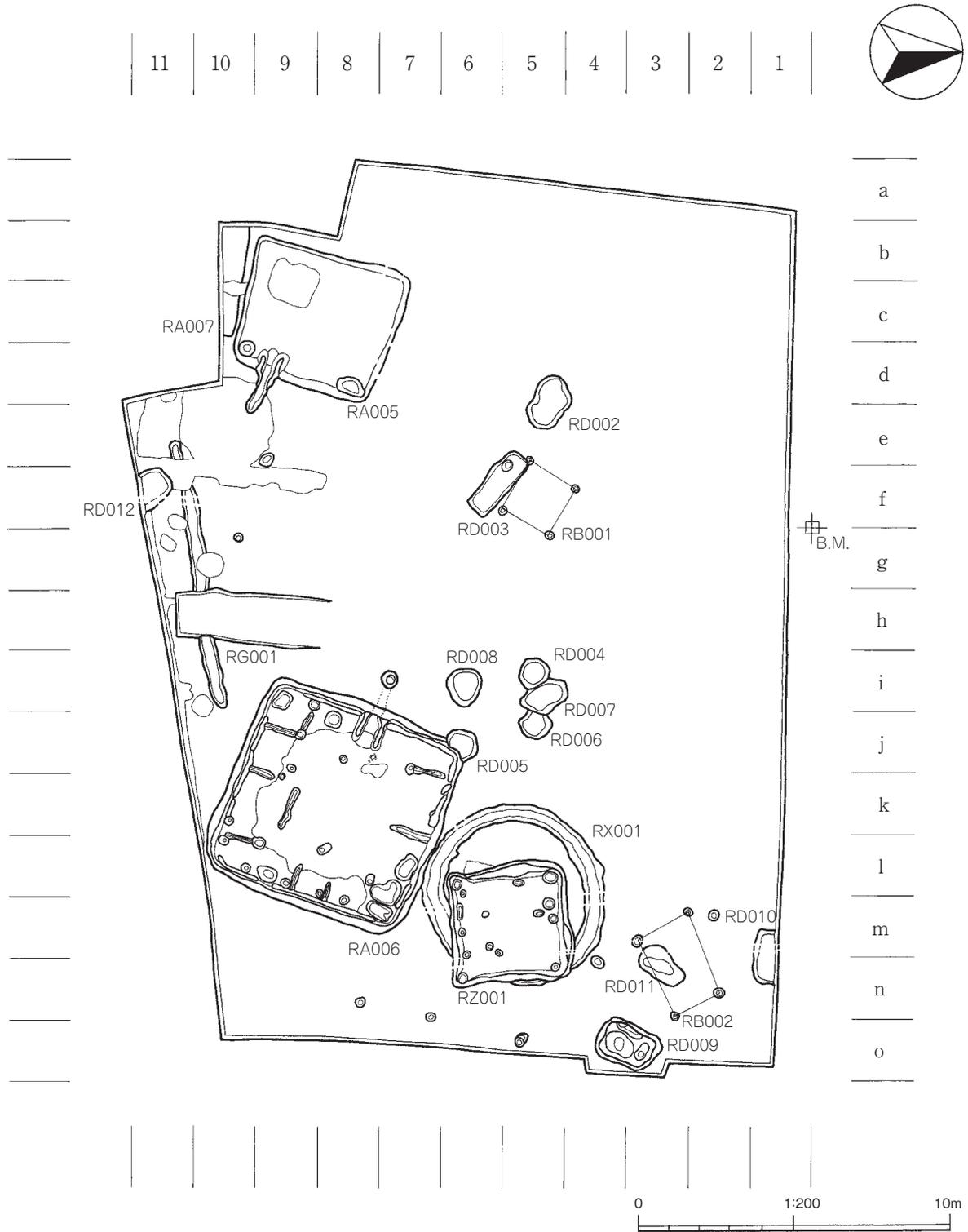
第 15 図 本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査 RA029 竪穴住居跡



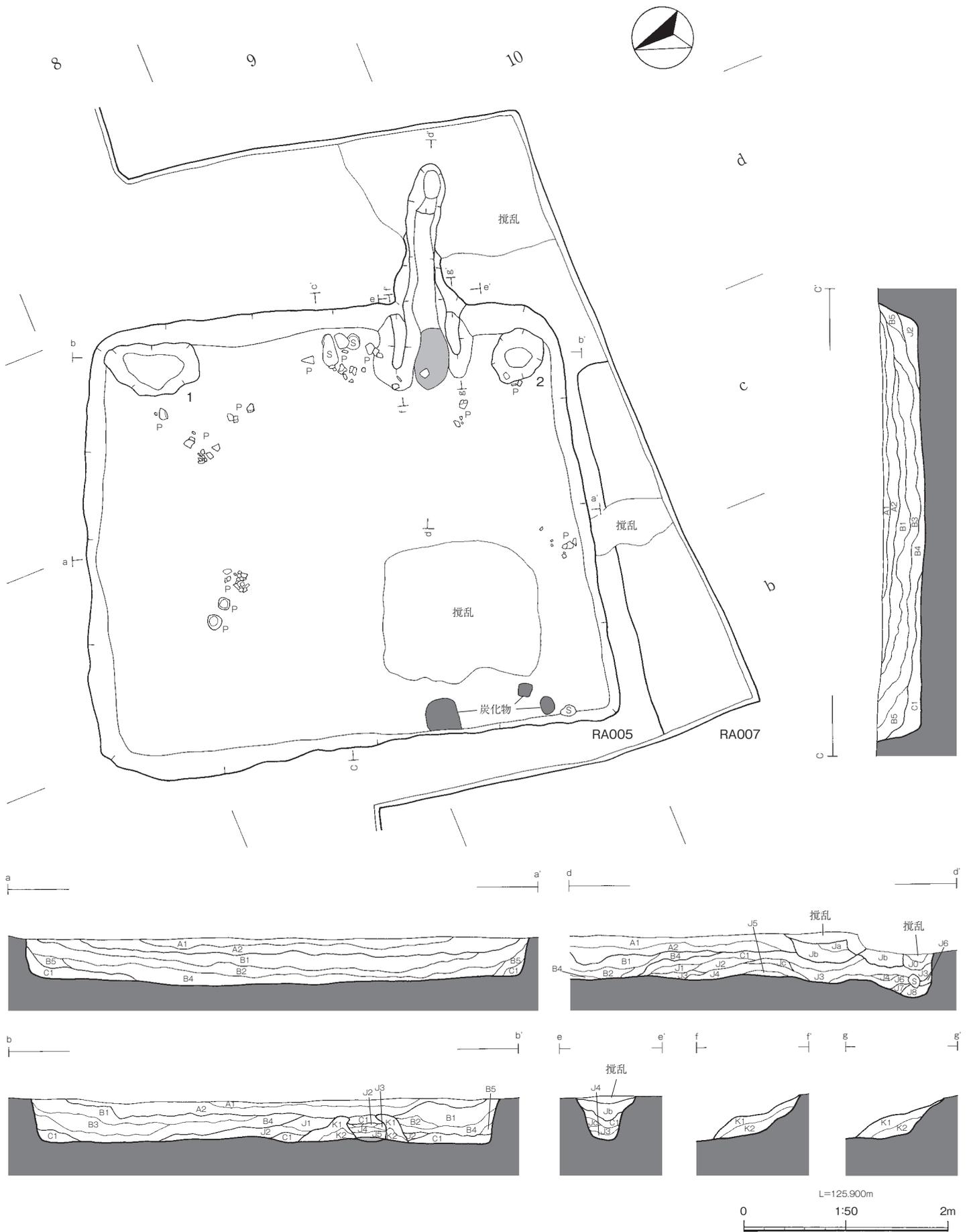
第 16 図 本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査 RA030 竪穴住居跡



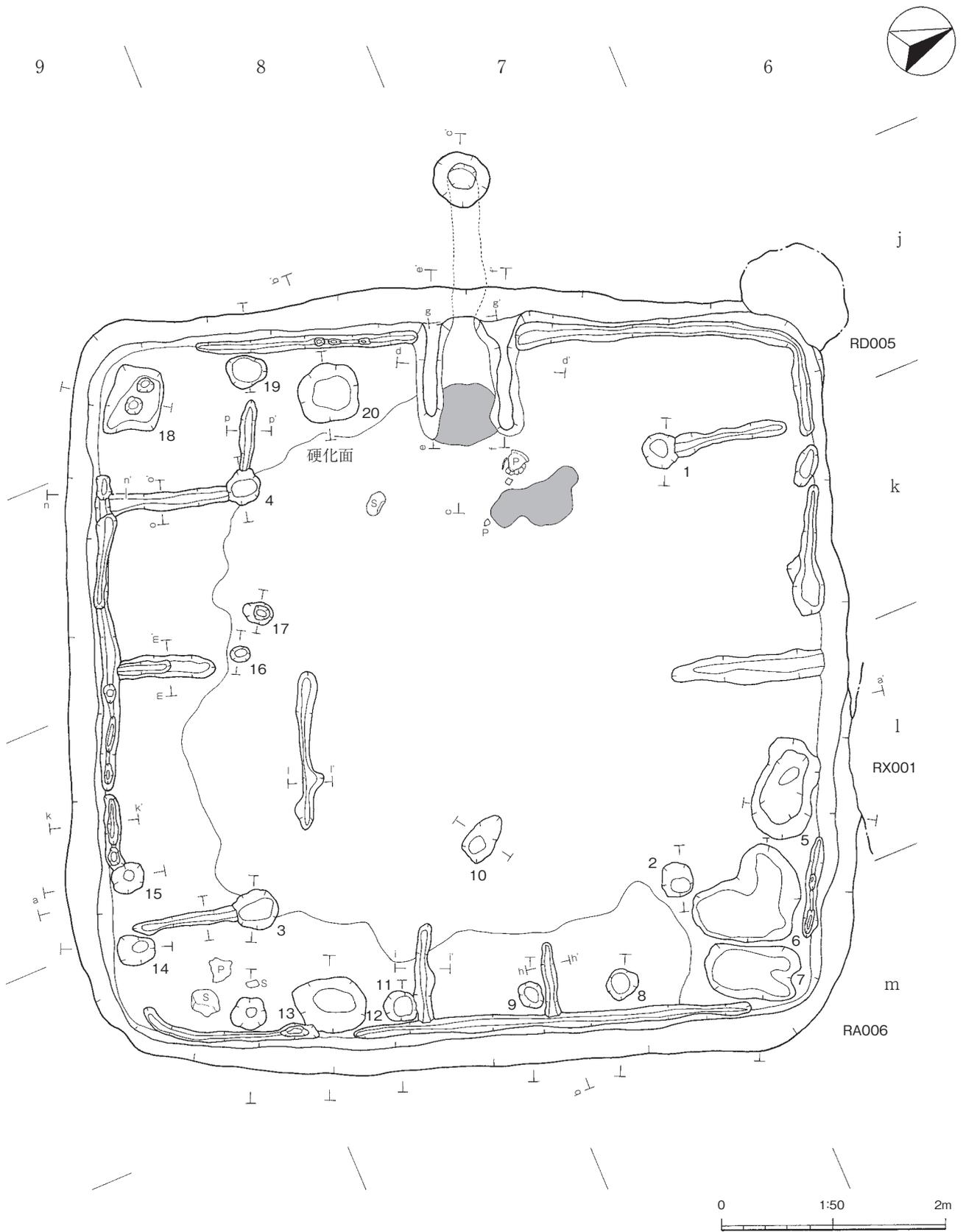
第 17 図 本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査 RA031 竪穴住居跡



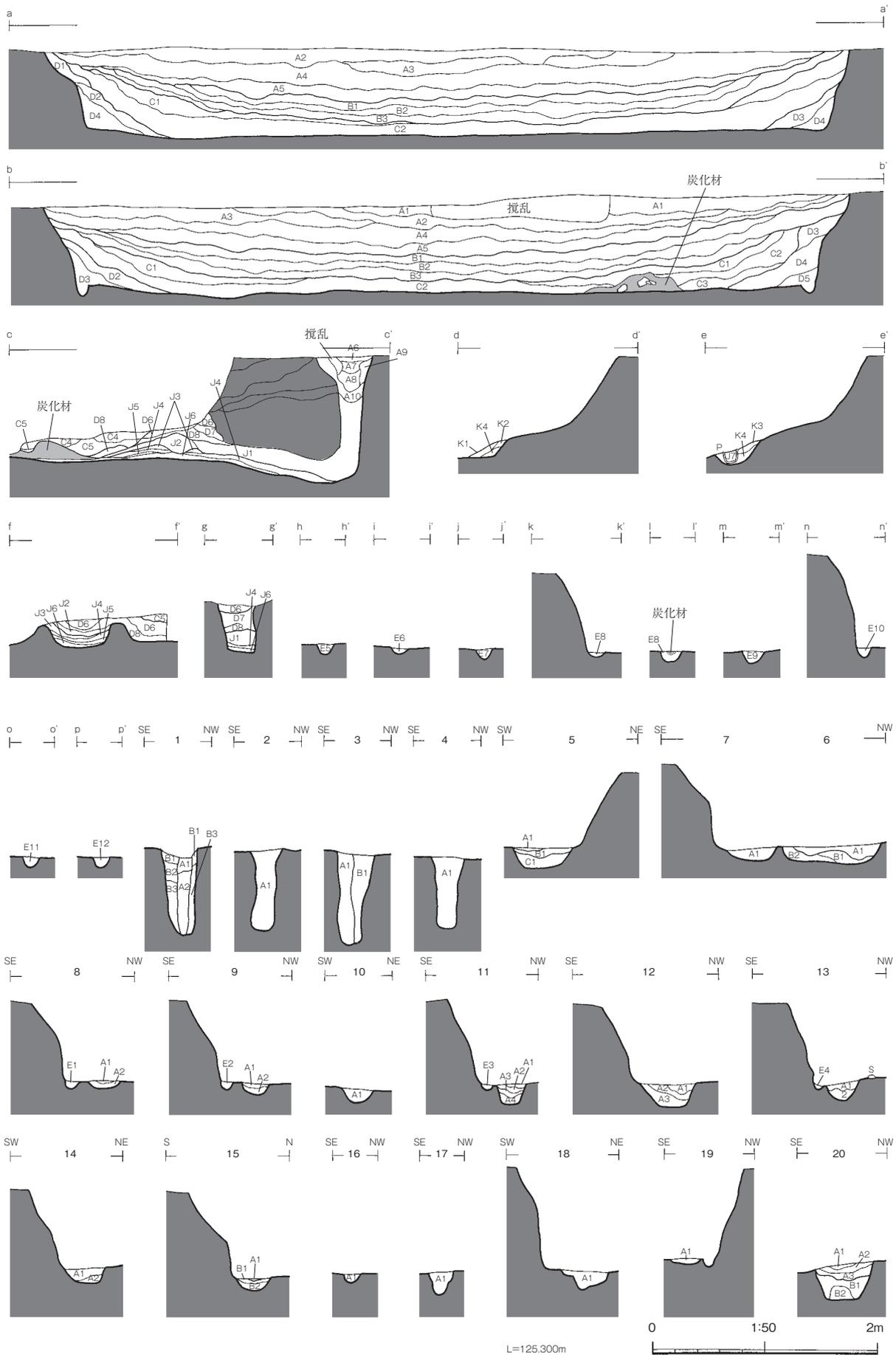
第 18 図 野古 A 遺跡第 6 次調査区全体図



第 19 図 野古 A 遺跡第 6 次調査 RA005・007 竪穴住居跡



第 20 図 野古 A 遺跡第 6 次調査 RA006 竪穴住居跡平面図



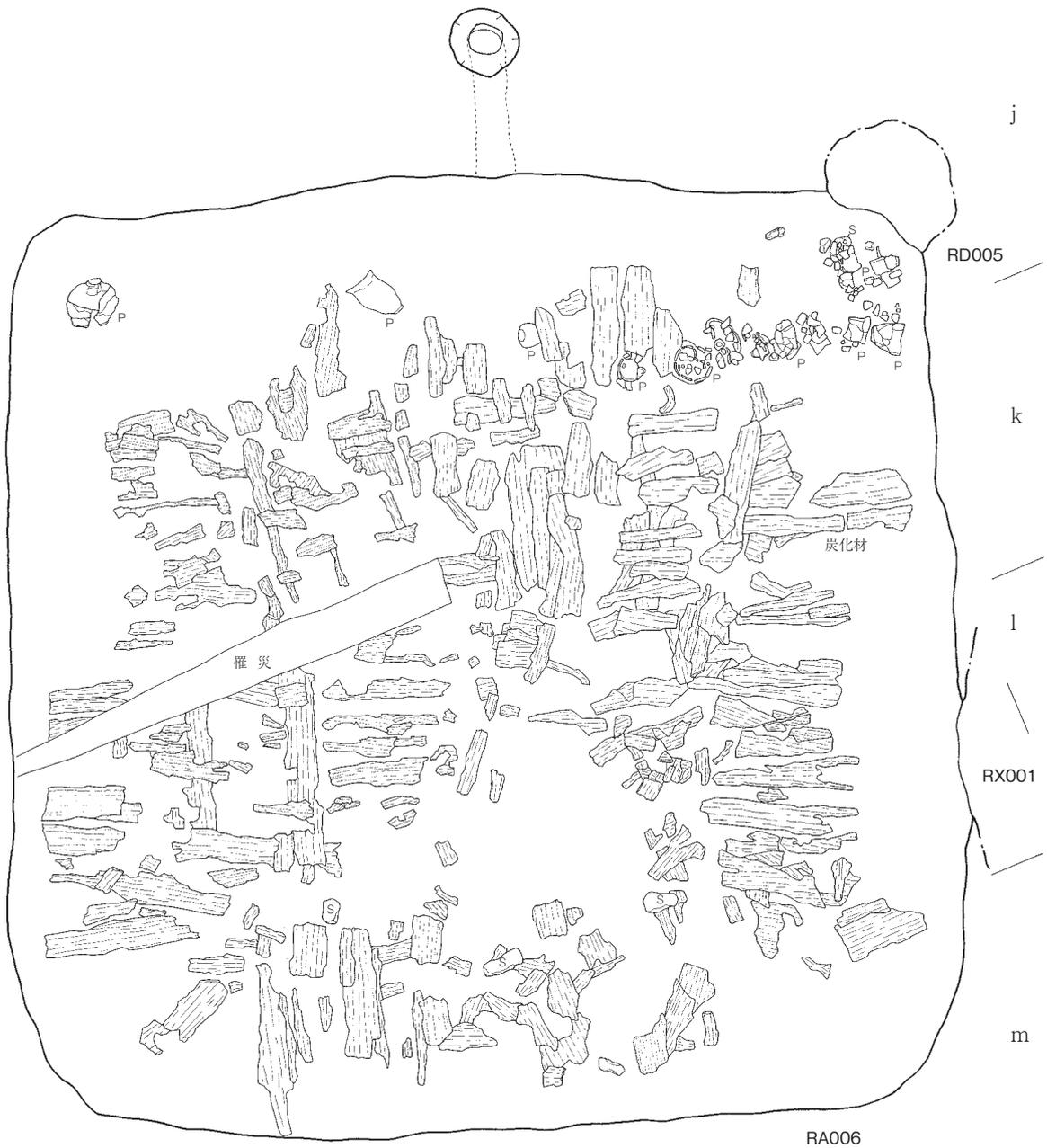
第 21 図 野古A遺跡第6次調査 RA006 竪穴住居跡断面図

9

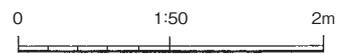
8

7

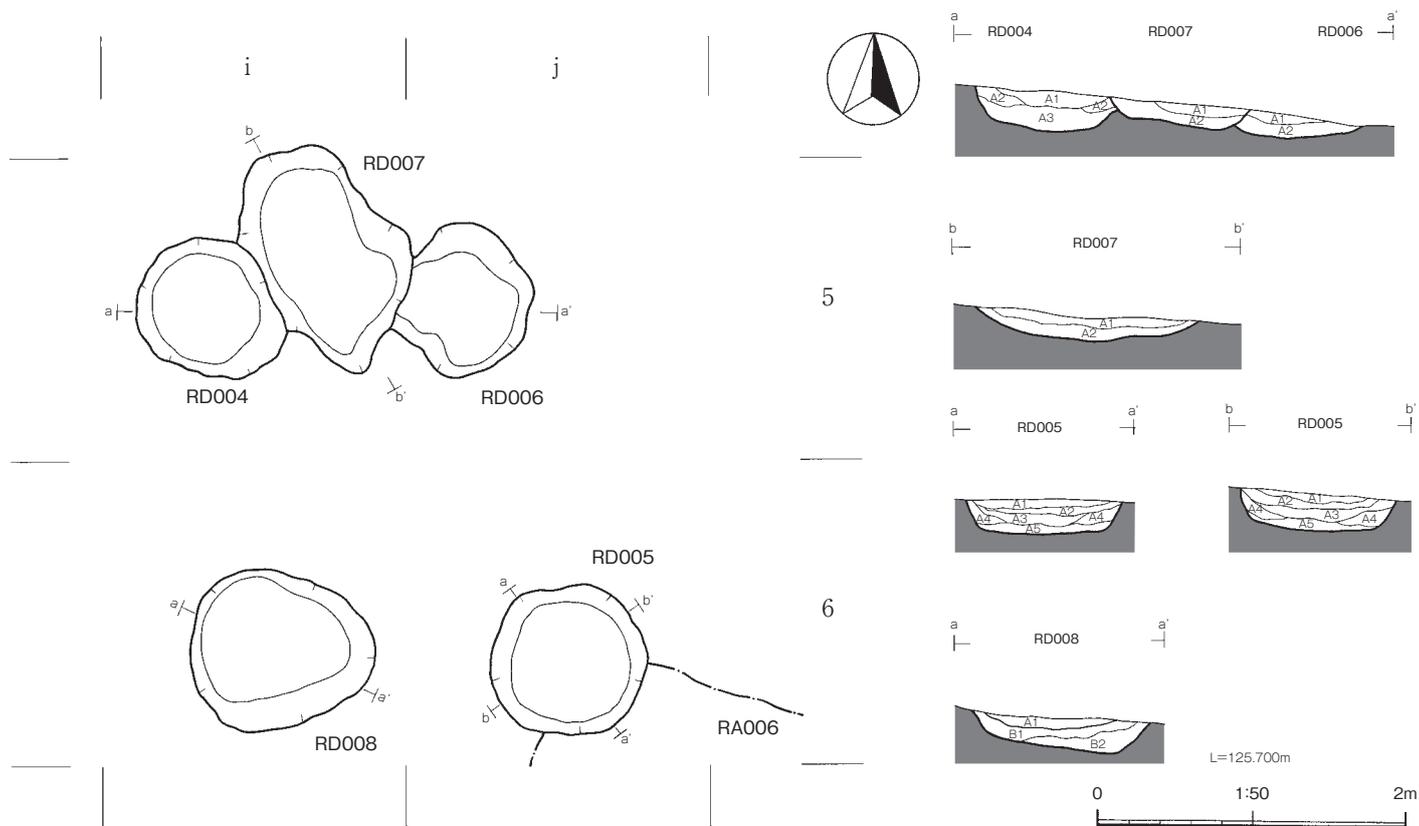
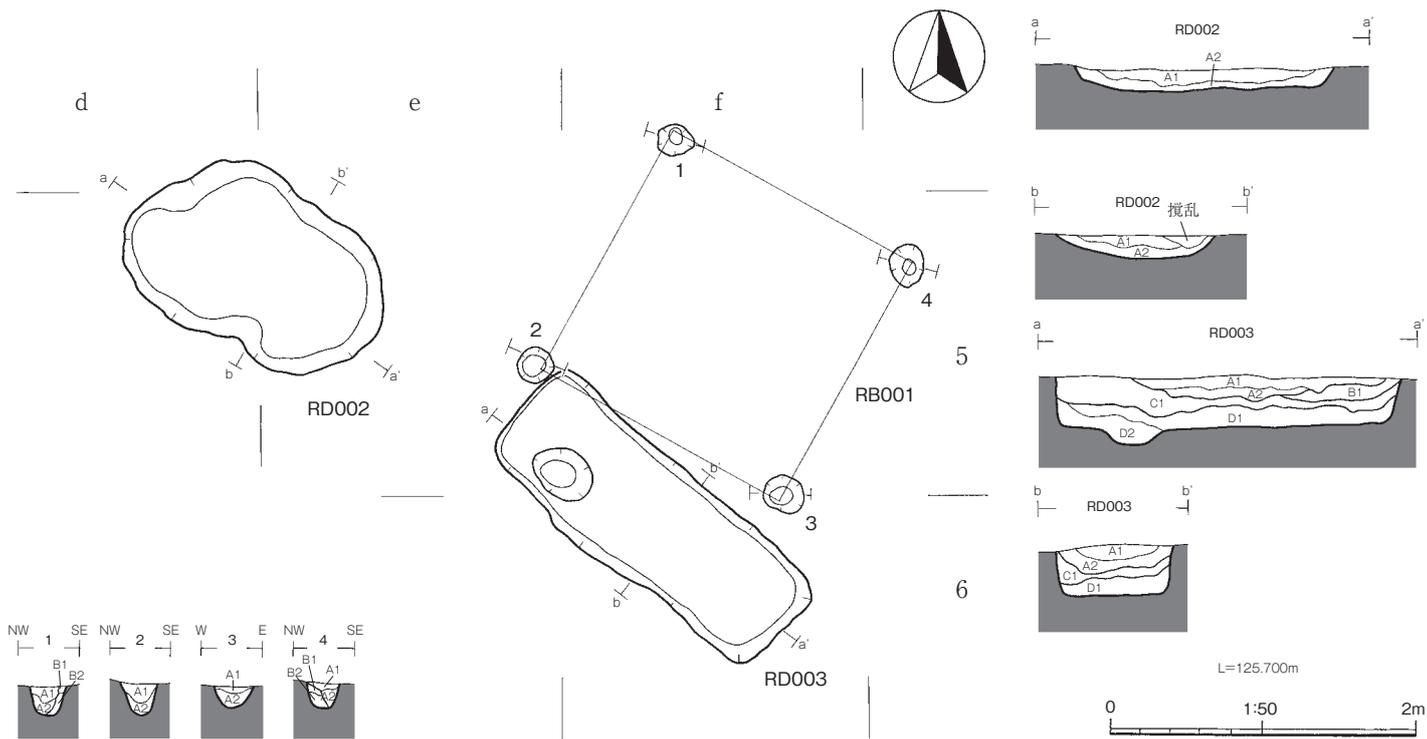
6



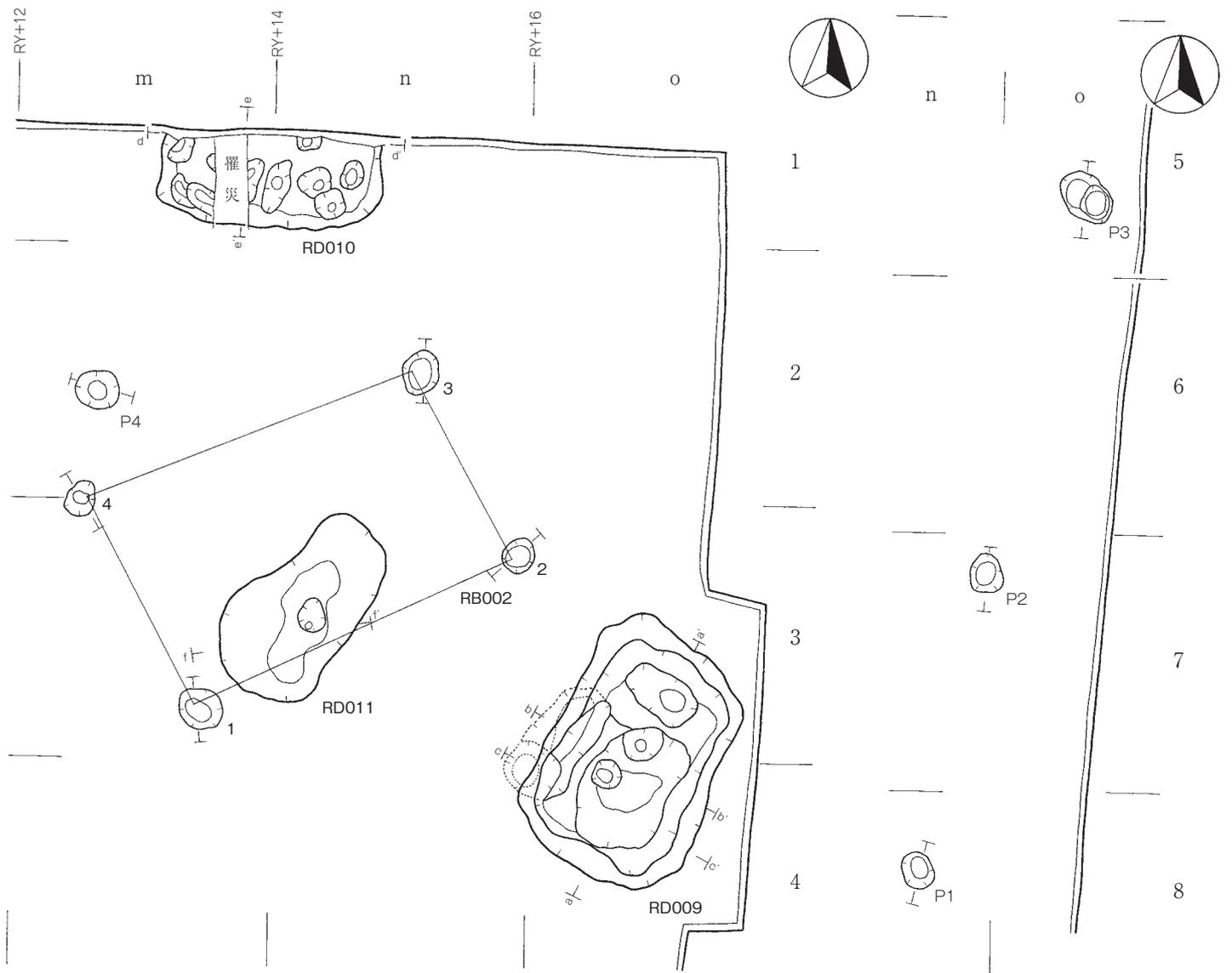
RA006



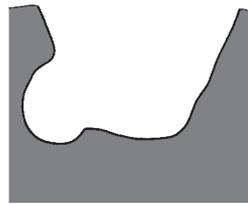
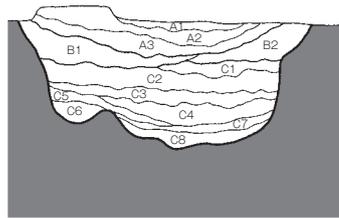
第 22 図 野古 A 遺跡第 6 次調査 RA006 竪穴住居跡炭化材出土状況平面図



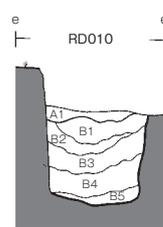
第 23 図 野古 A 遺跡第 6 次調査 RB001 掘立柱建物跡, RD002・003・004・005・006・007・008 土抗



a RD009 a' b RD009 b' c RD009 c'

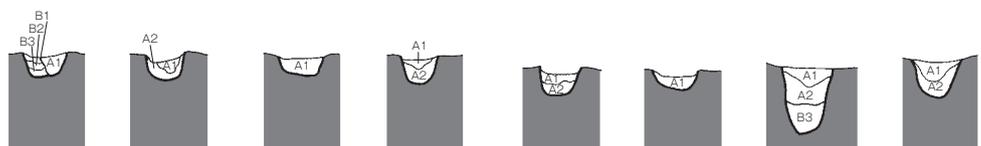


d RD010 d'

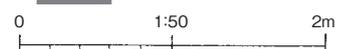


f RD011 f'

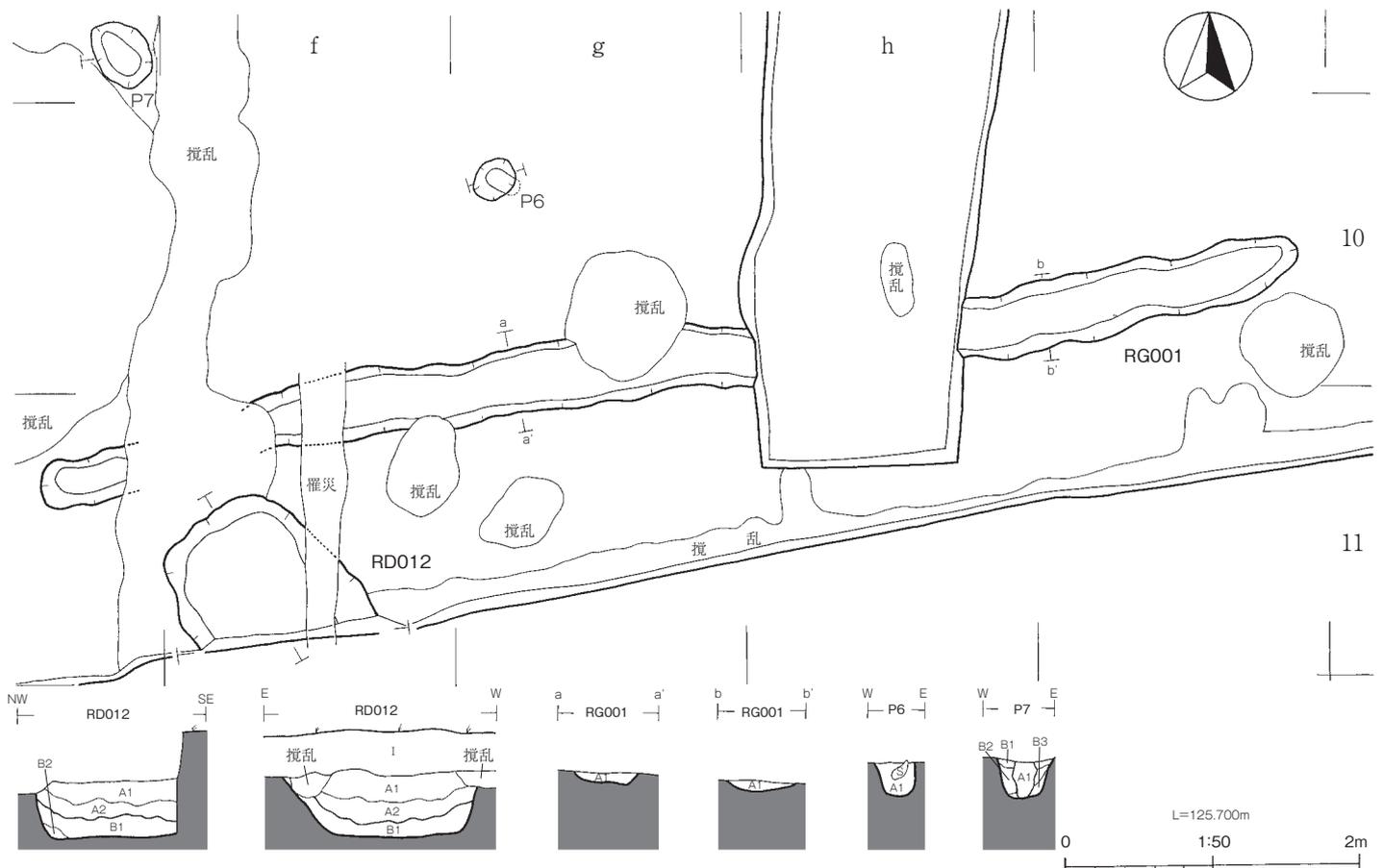
N 1 S NW 2 SE N 3 S NW 4 SE N P1 S N P2 S N P3 S W E P4



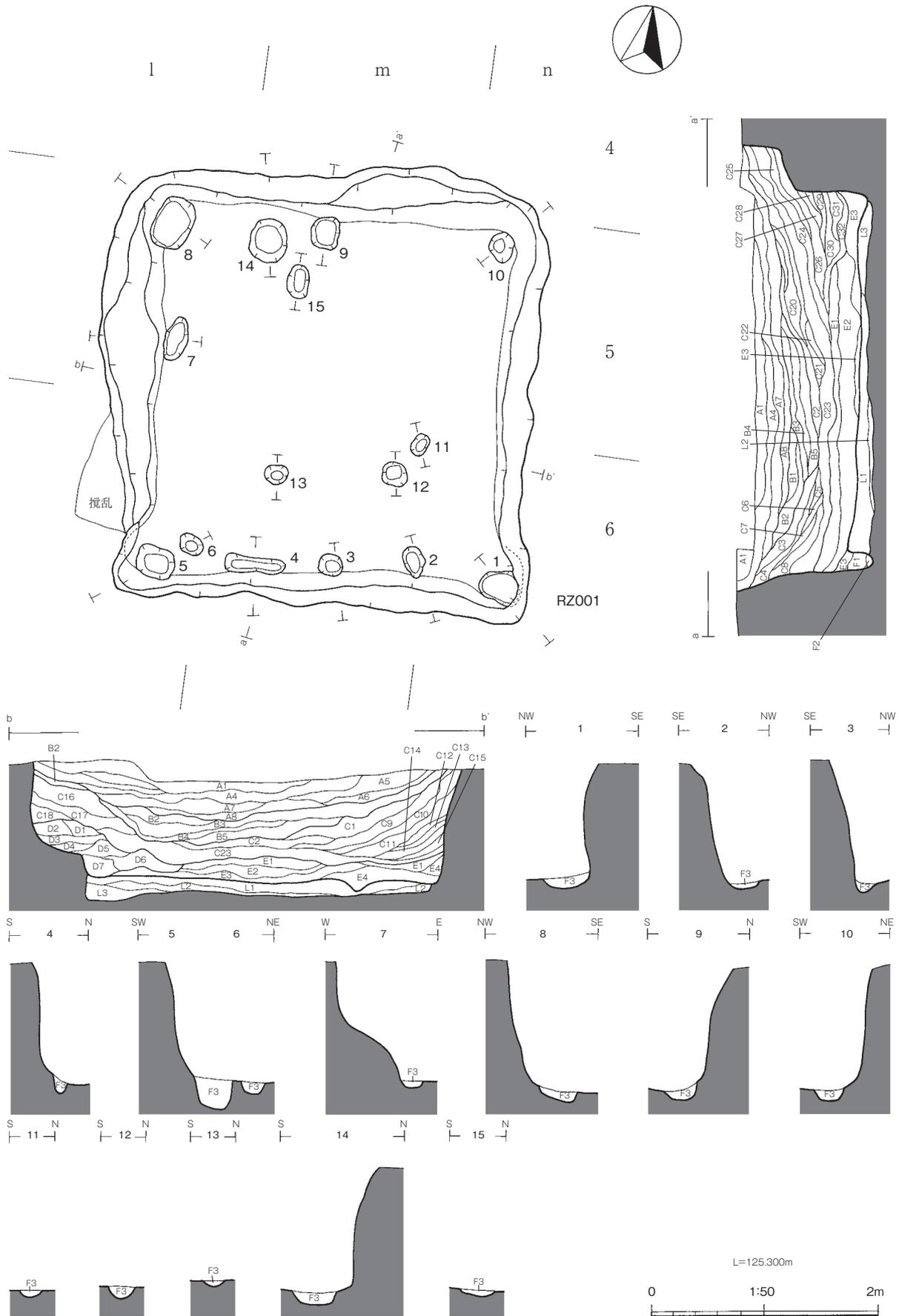
L=125.700m



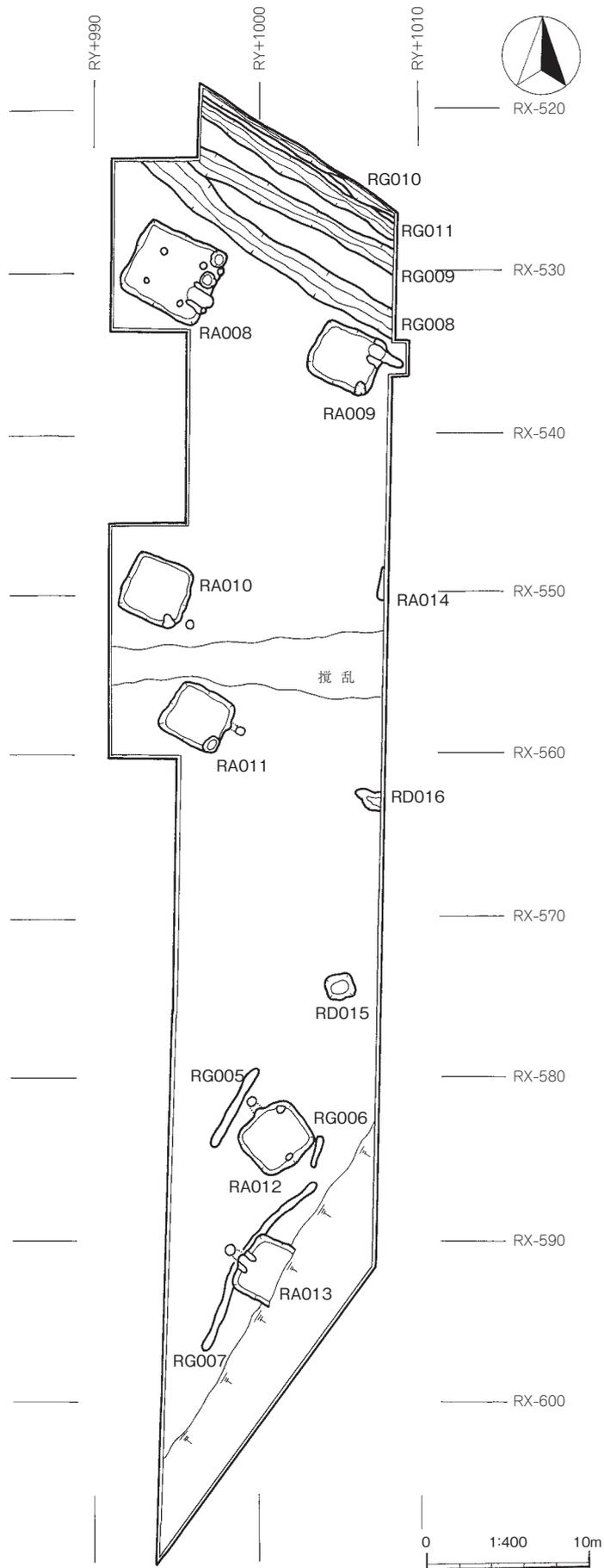
第 24 図 野古 A 遺跡第 6 次調査 RB002 掘立柱建物跡, RD009・010・011 土坑



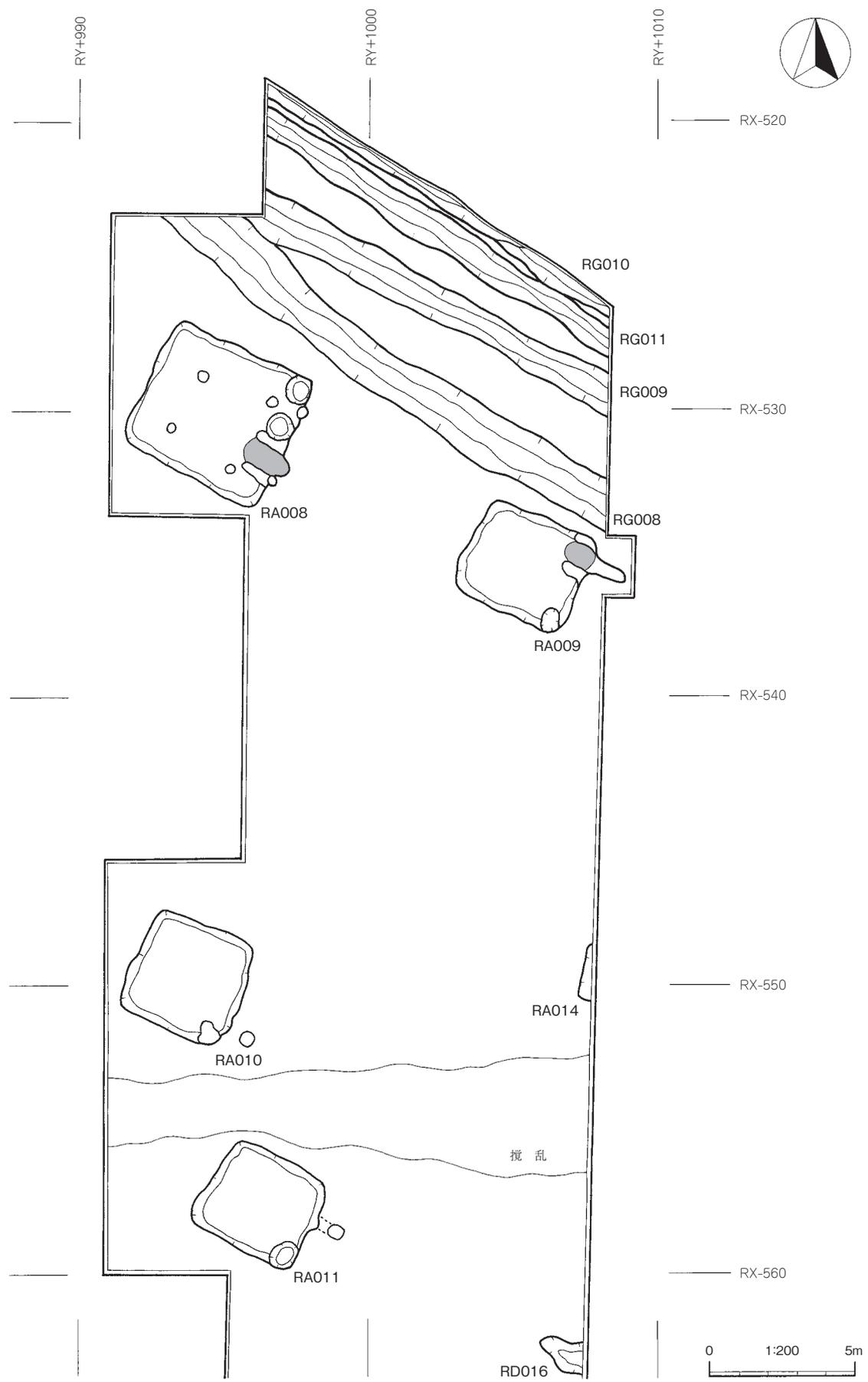
第25図 野古A遺跡第6次調査 RD012 土坑, RG001 溝跡, RX001 円形周溝



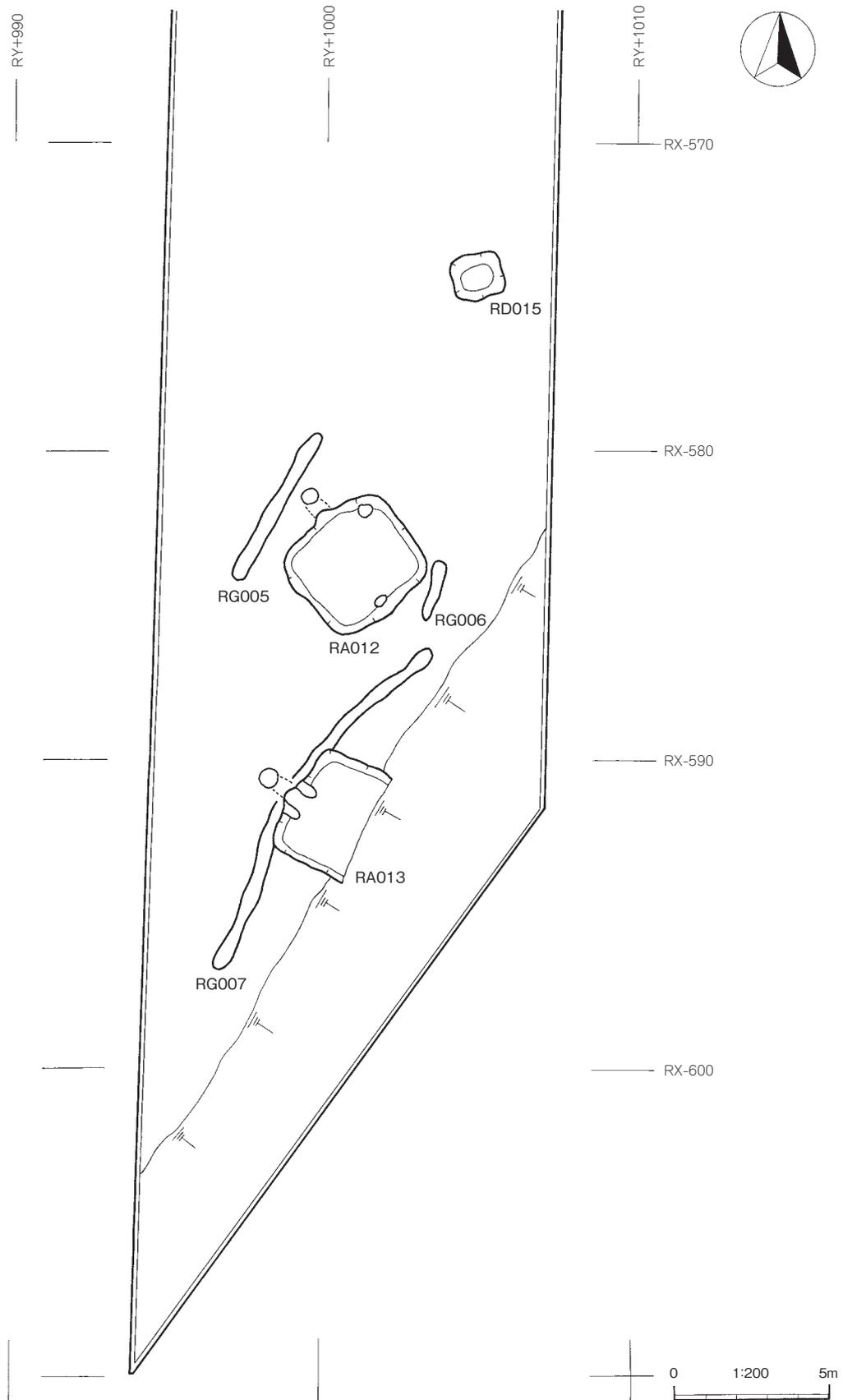
第 26 図 野古 A 遺跡第 6 次調査 RZ001 竪穴状遺構



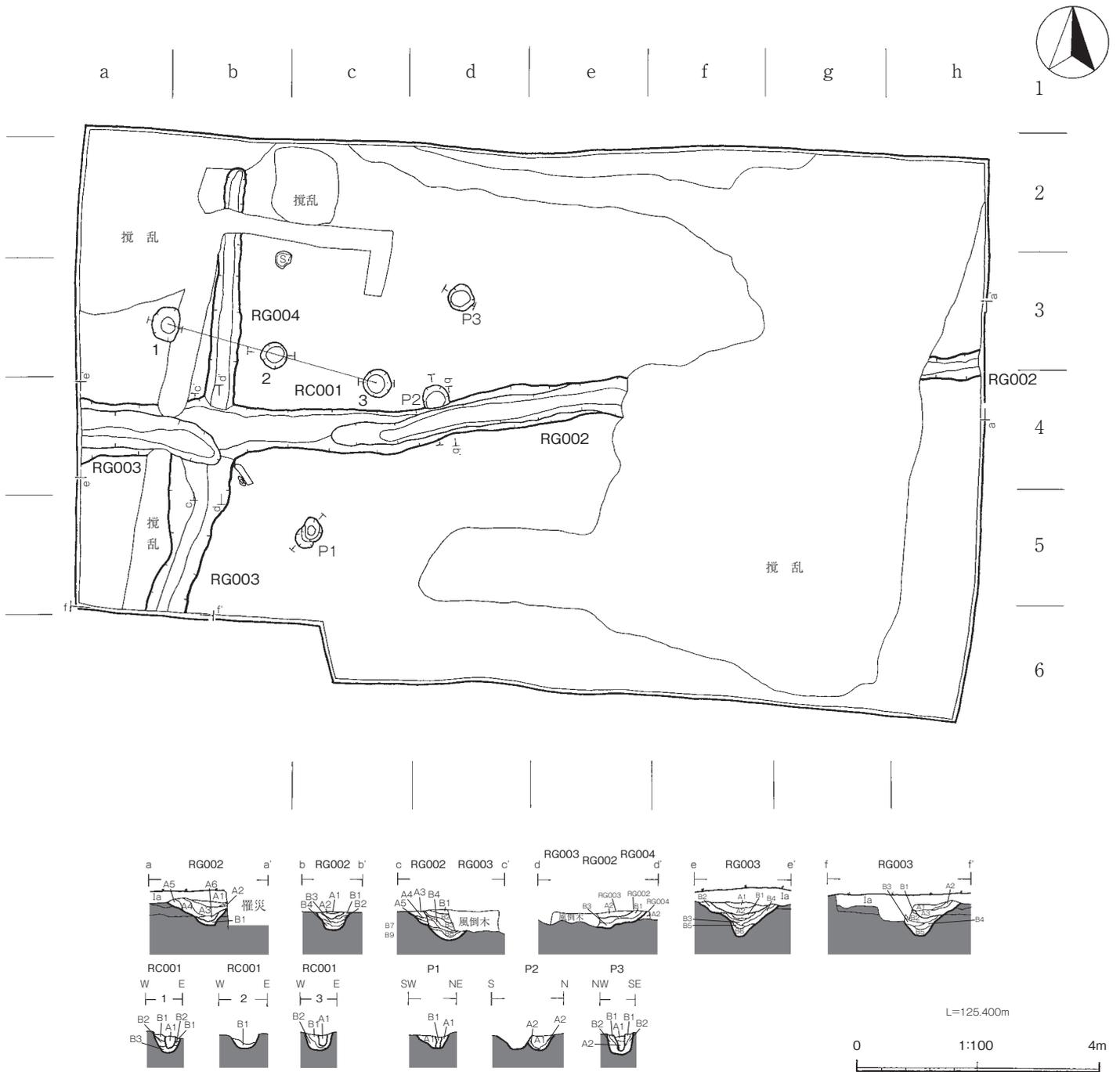
第 27 図 野古 A 遺跡第 11 次調査区全体図



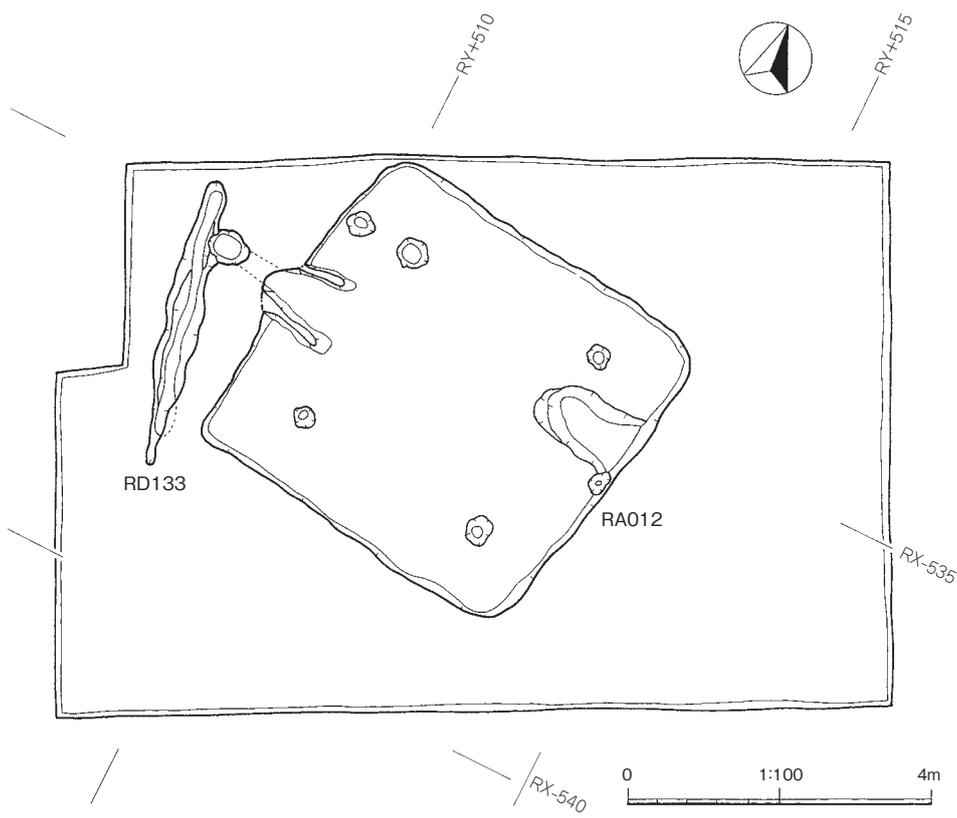
第 28 図 野古 A 遺跡第 11 次調査 RA008・009・010・011 竪穴住居跡, RD016 土坑



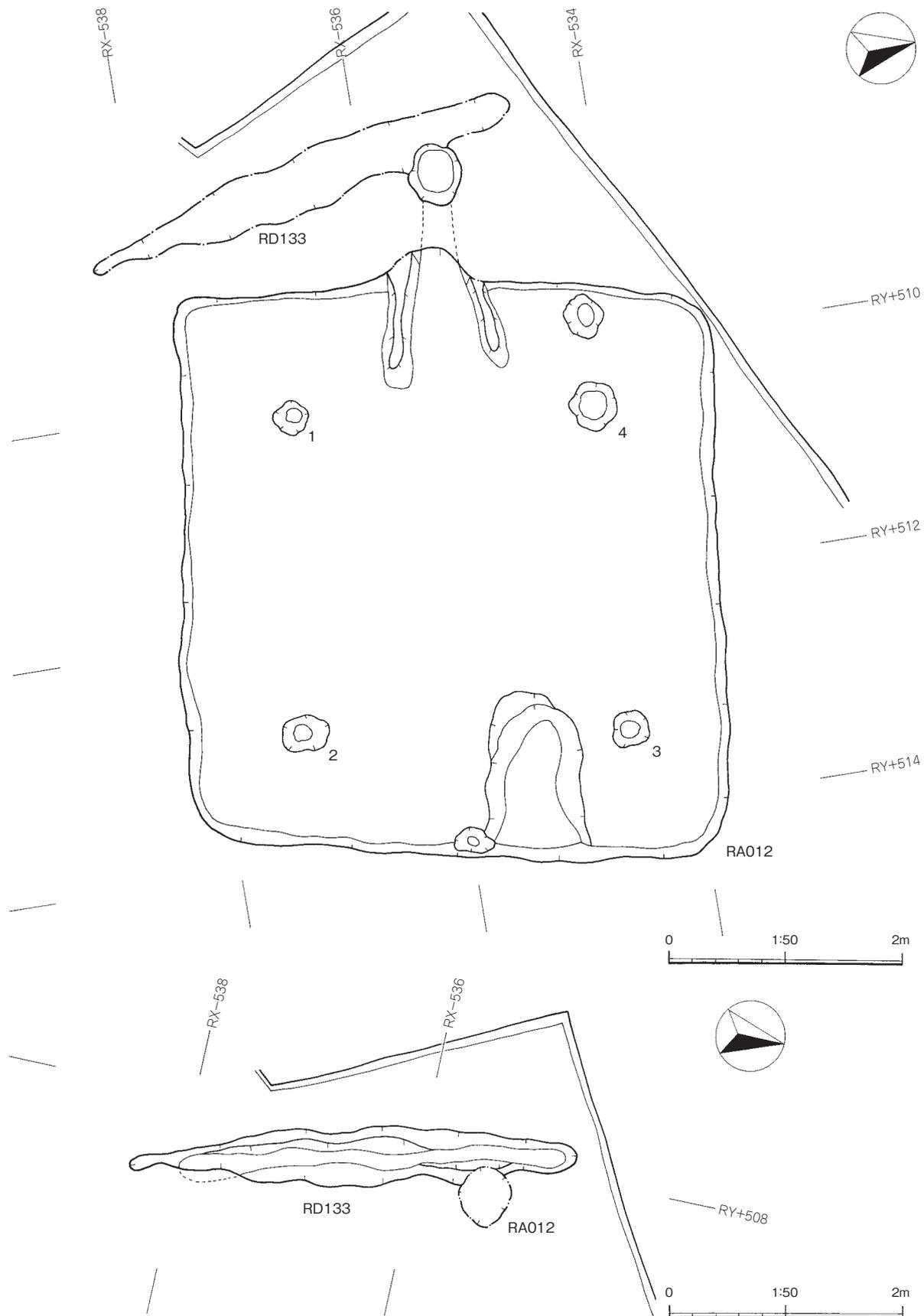
第 29 図 野古 A 遺跡第 11 次調査 RA012・013 竪穴住居跡, RD015 土坑, RG005・006・007 溝跡



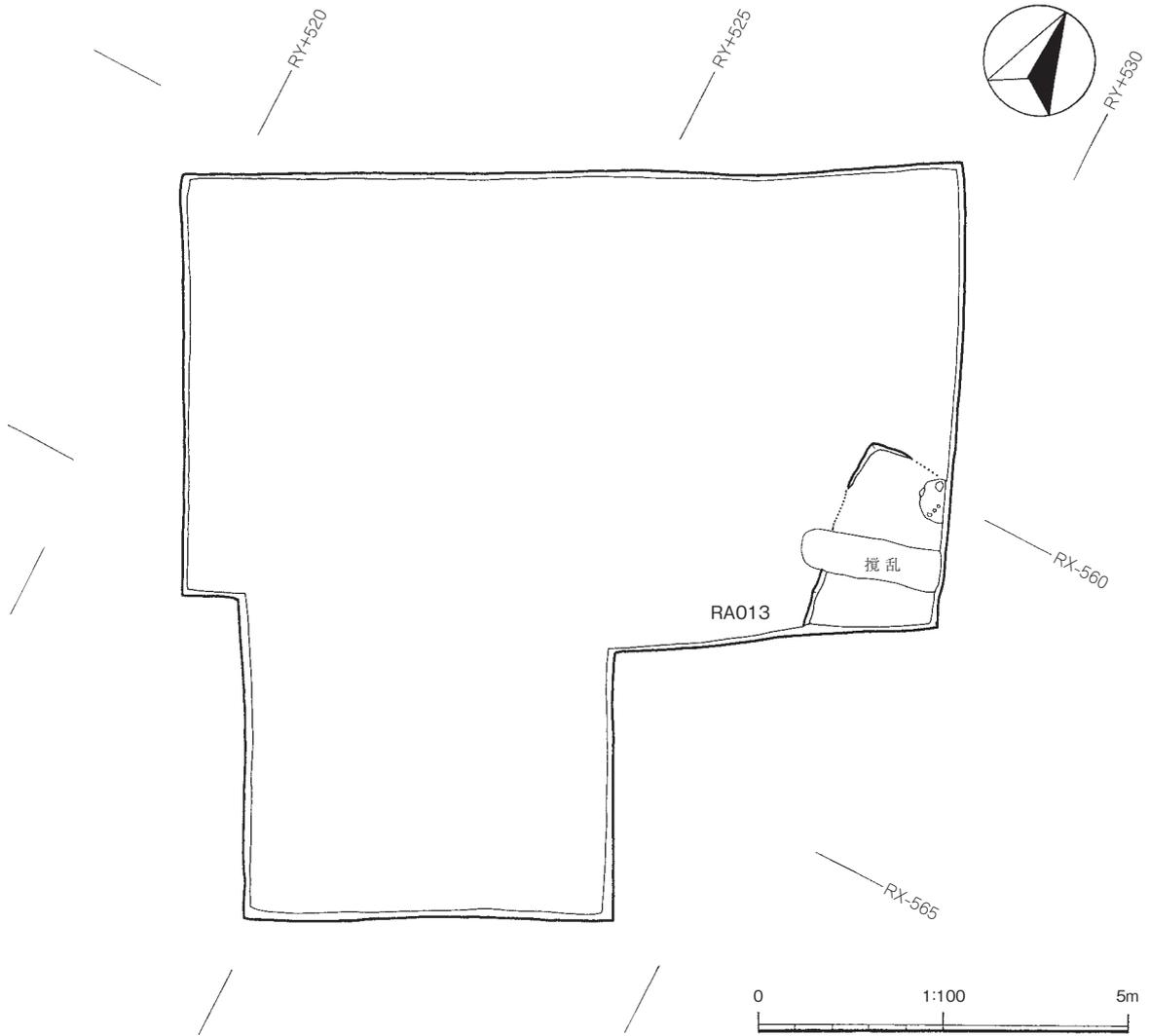
第 30 図 矢盛遺跡第 2 次調査区全体図



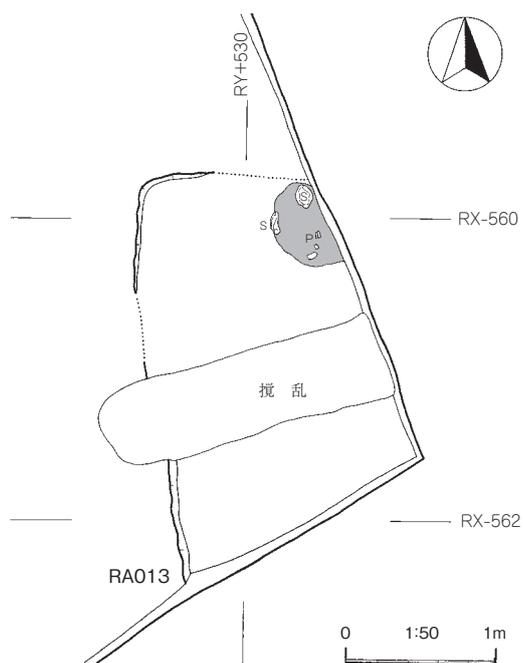
第 31 図 南仙北遺跡第 15 次調査区全体図



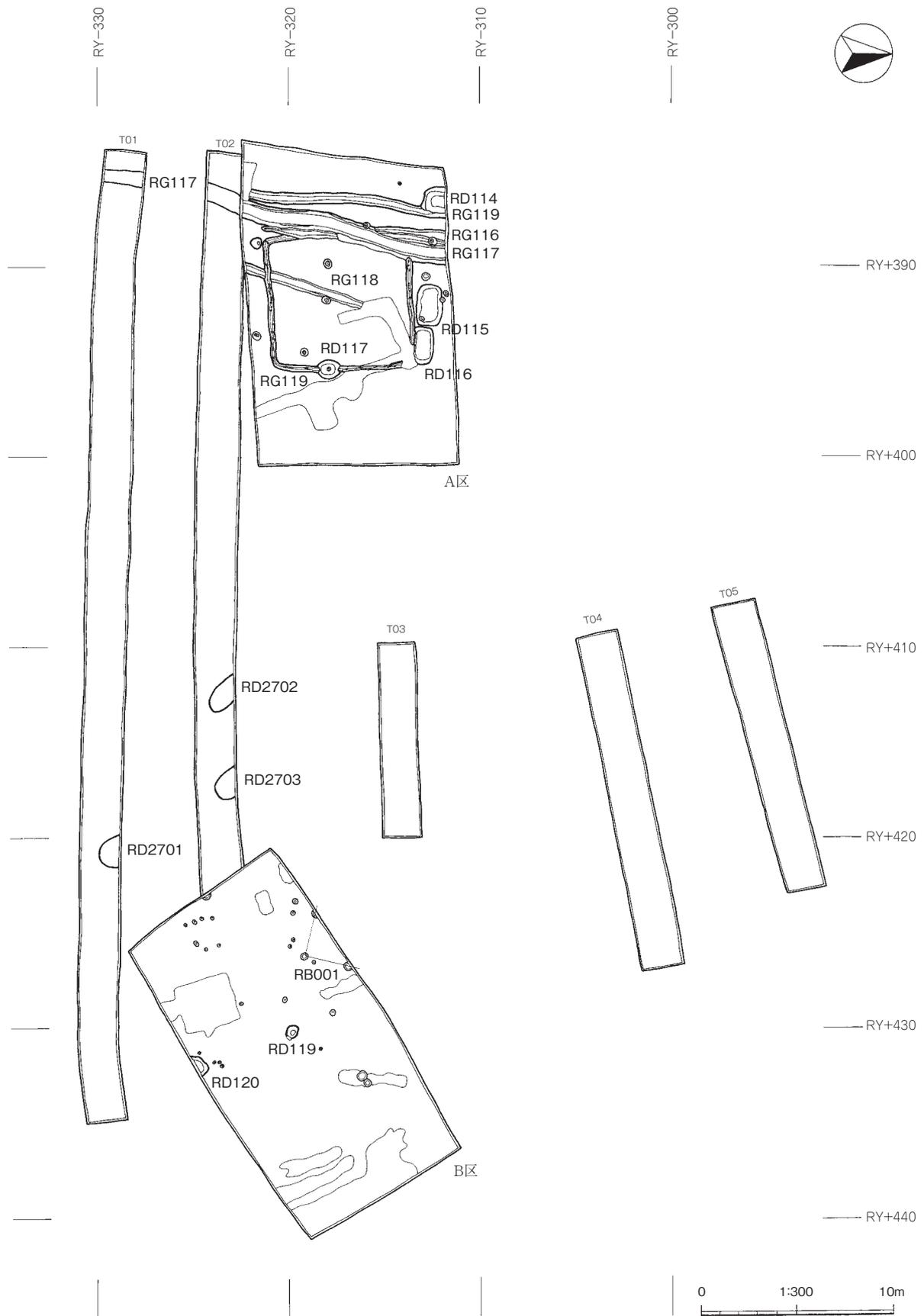
第 32 図 南仙北遺跡第 15 次調査 RA012 竪穴住居跡, RD133 陥し穴



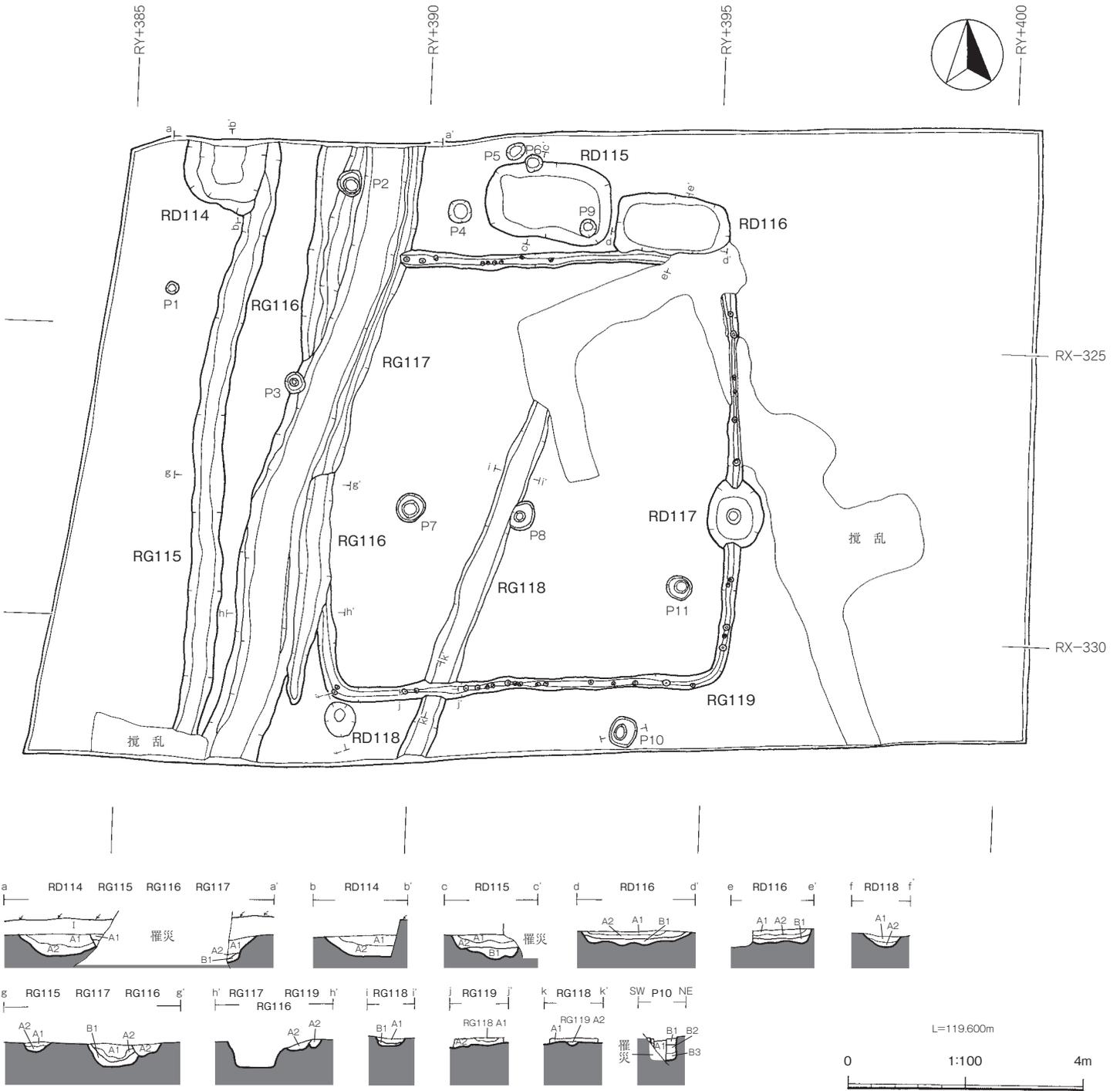
第 33 図 南仙北遺跡第 22 次調査区全体図



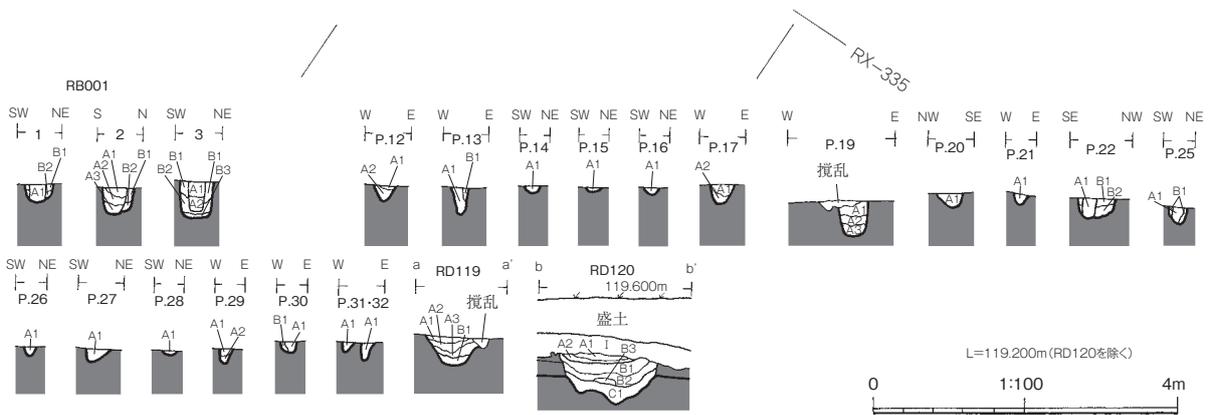
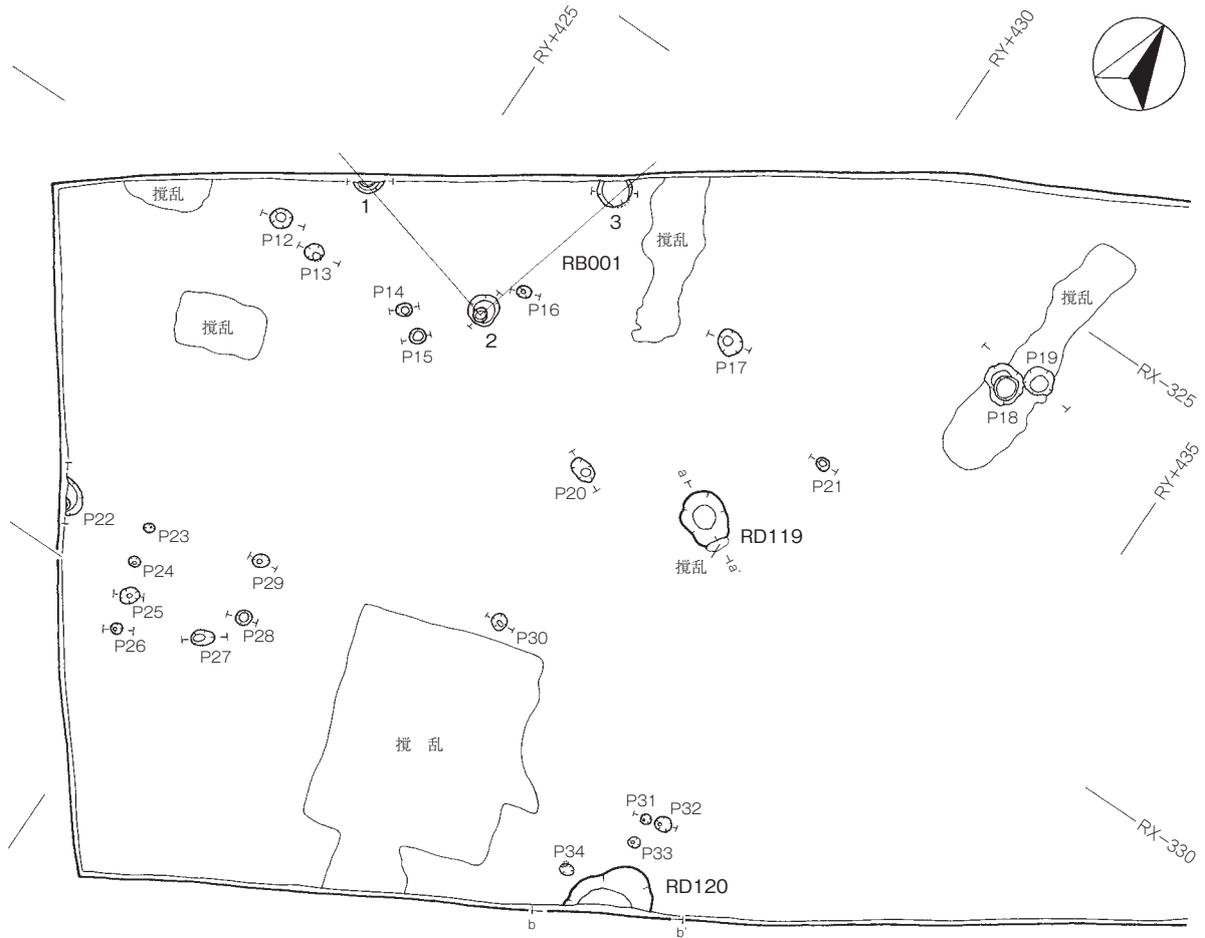
第 34 図 南仙北遺跡第 22 次調査 RA013 竪穴住居跡



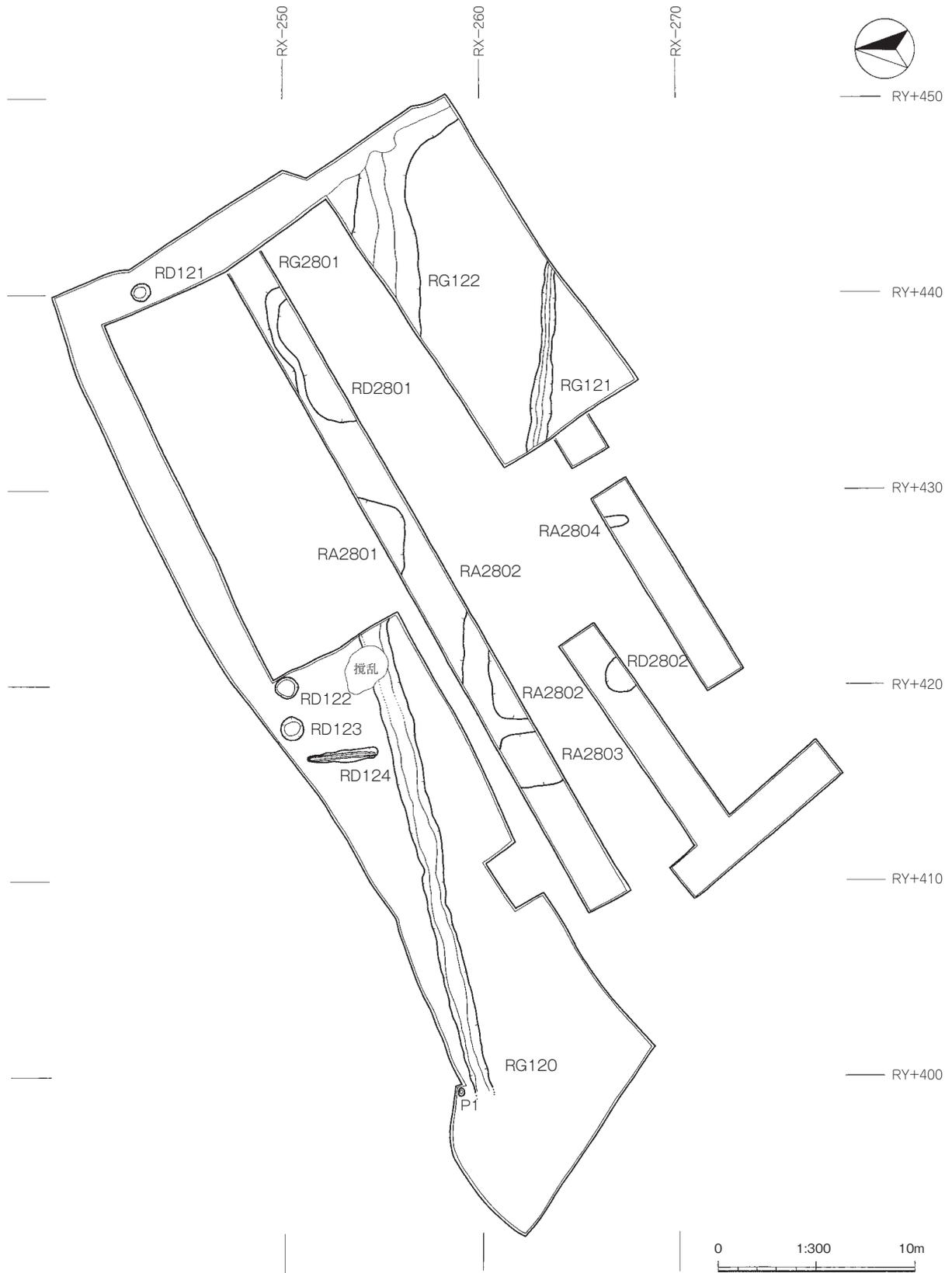
第 35 図 南仙北遺跡第 27 次調査区全体図



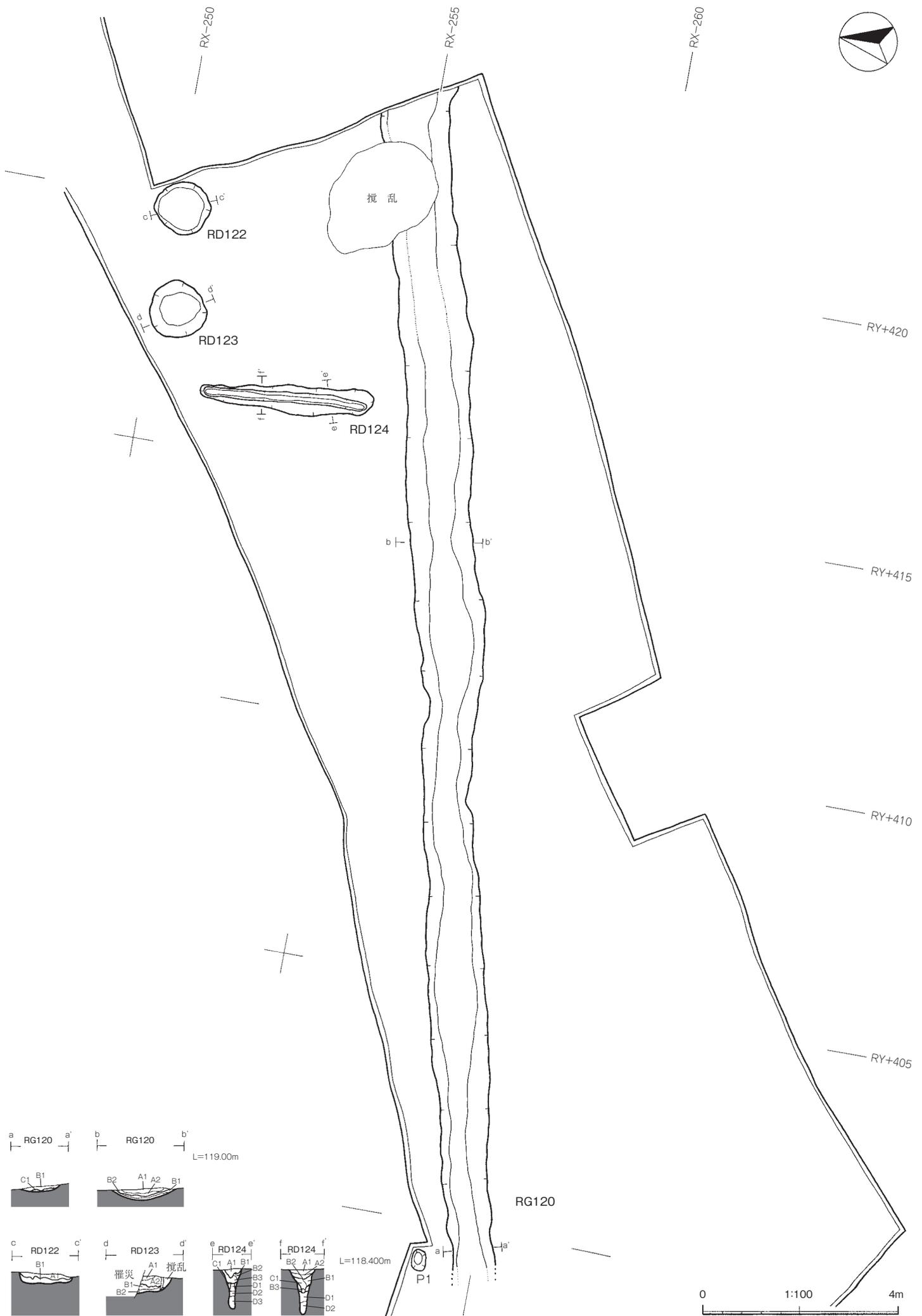
第36図 南仙北遺跡第27次調査  
RD114・115・116・117・118土坑，RG115・116・117・118溝跡，RG119方形周溝



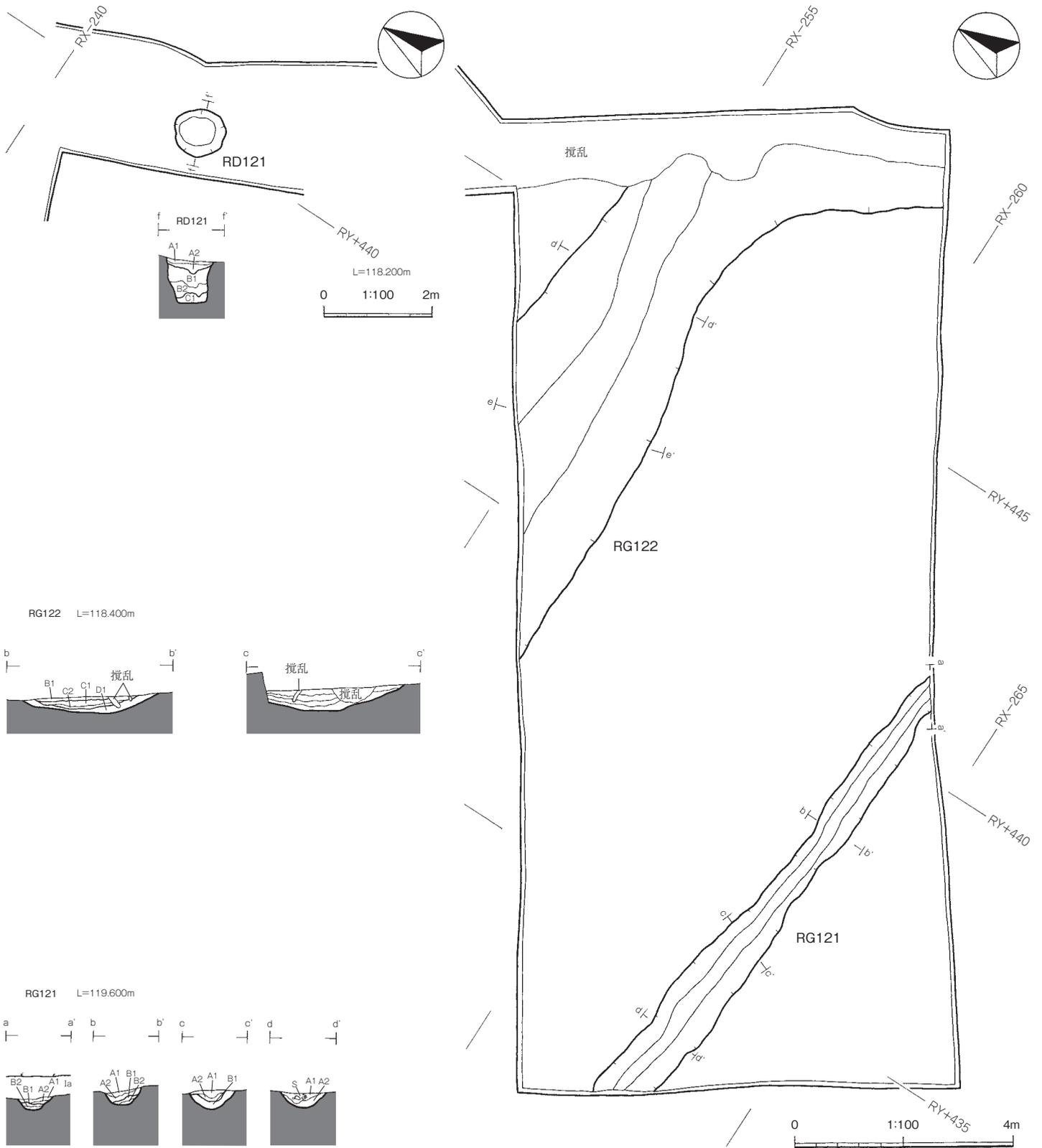
第 37 図 南仙北遺跡第 27 次調査 RB001 掘立柱建物跡, RD119・120 土坑



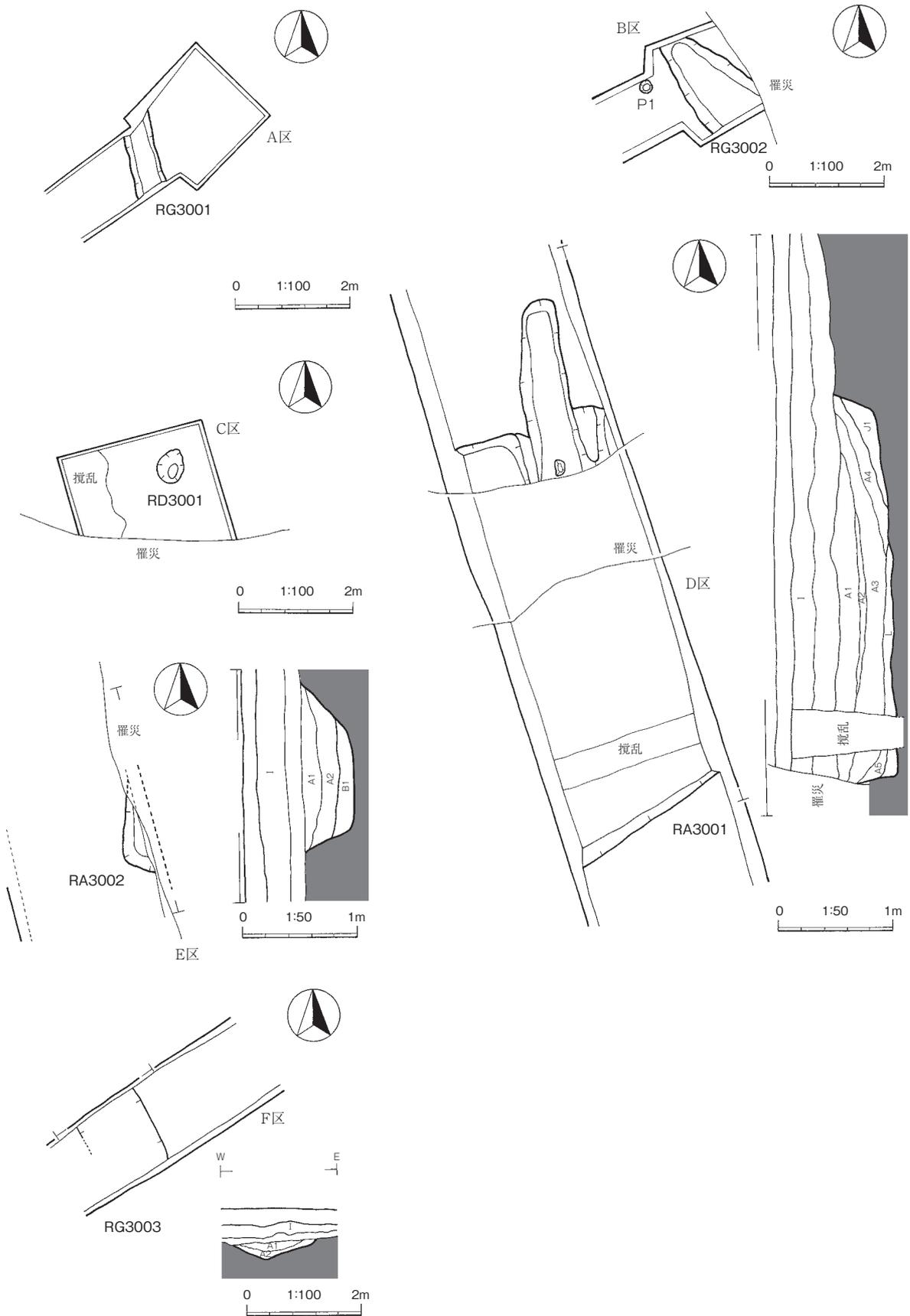
第 38 図 南仙北遺跡第 28 次調査区全体図



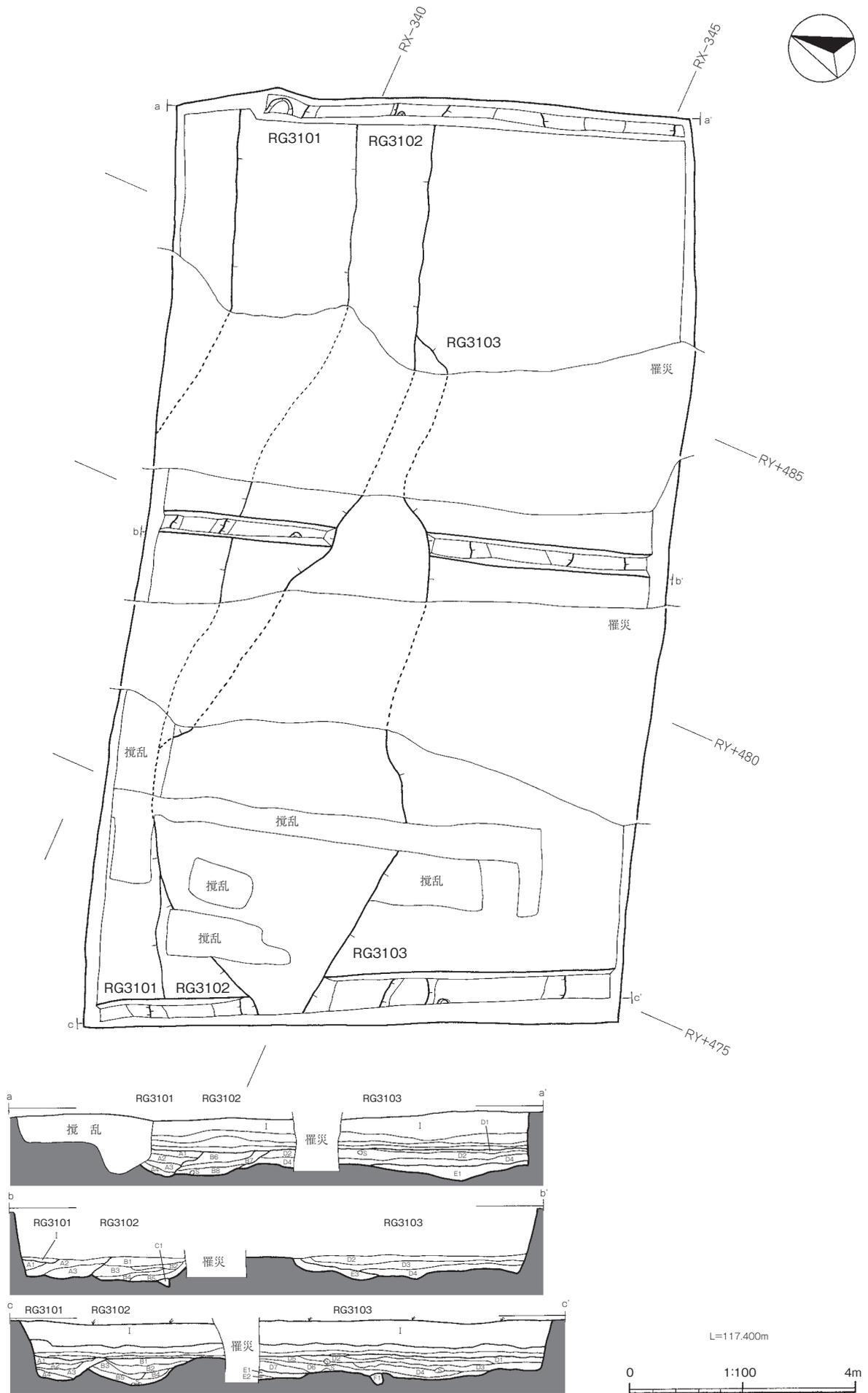
第 39 図 南仙北遺跡第 28 次調査 RD122・123 土坑, RD124 陥し穴, RG120 溝跡



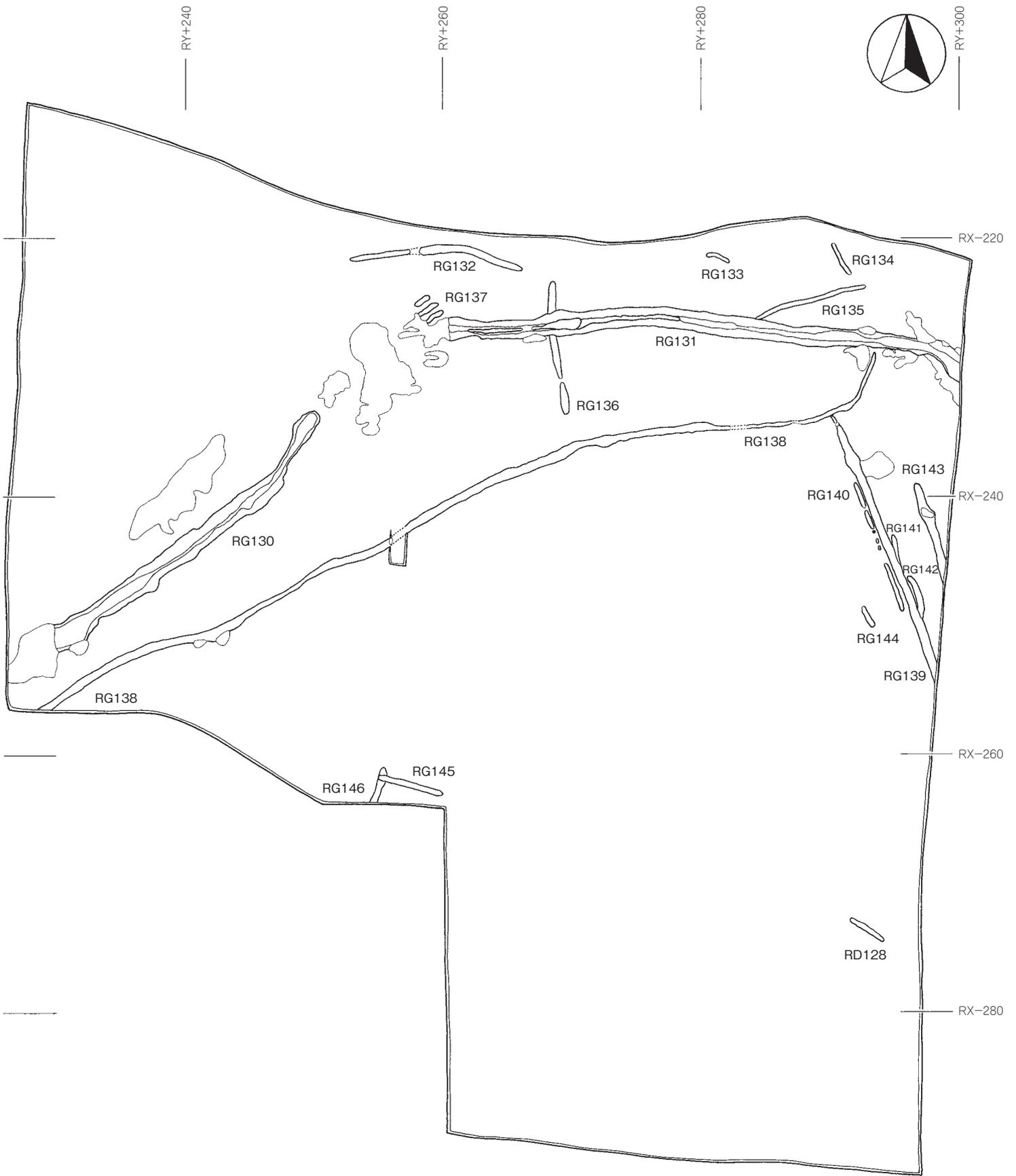
第 40 図 南仙北遺跡第 28 次調査 RD121 土坑, RG121・122 溝跡



第 41 図 南仙北遺跡第 30 次調査 RA3001・3002 豎穴住居跡, RD3001 土坑, RG3001・3002・3003 溝跡

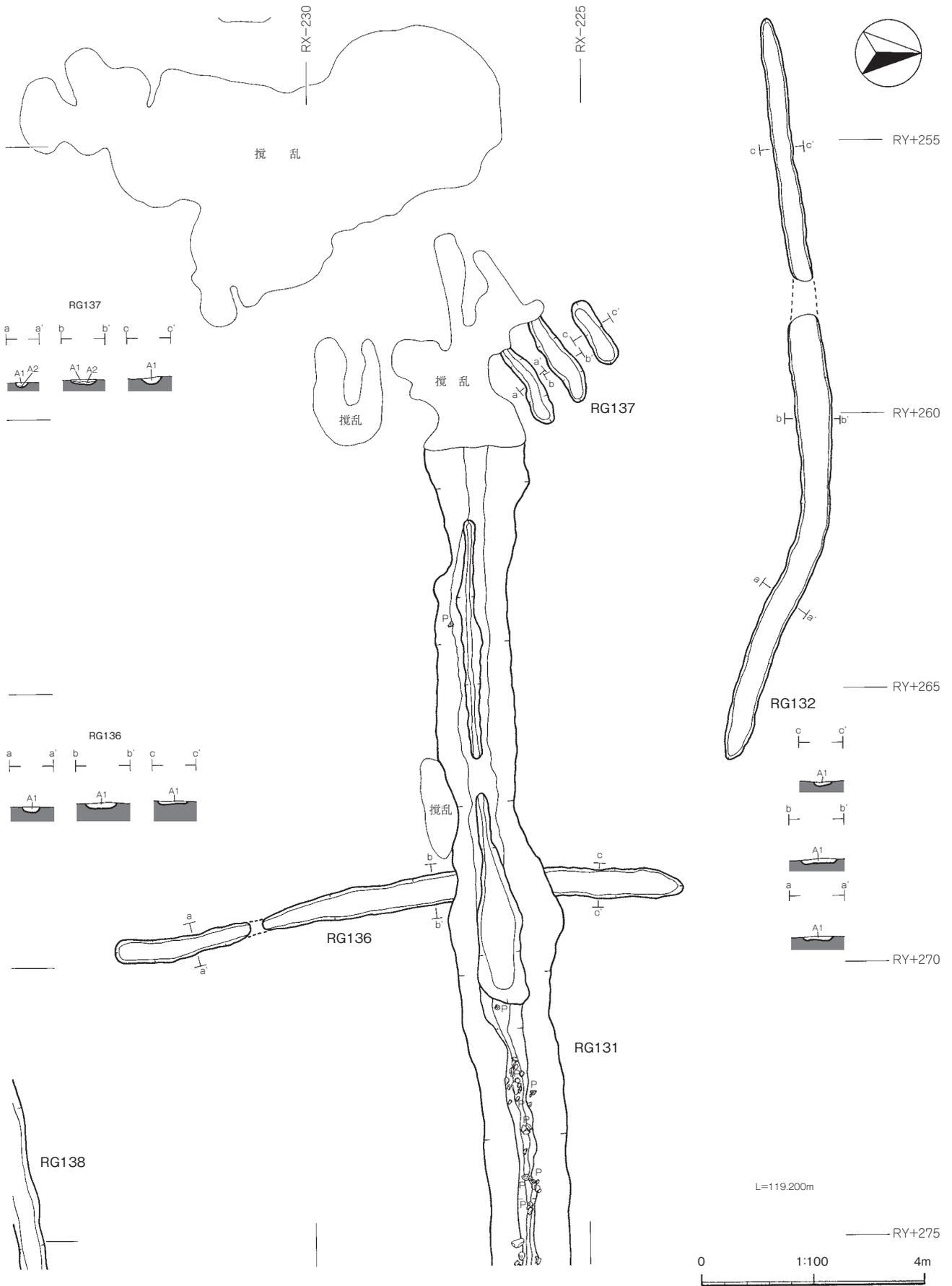


第 42 図 南仙北遺跡第 31 次調査区全体図

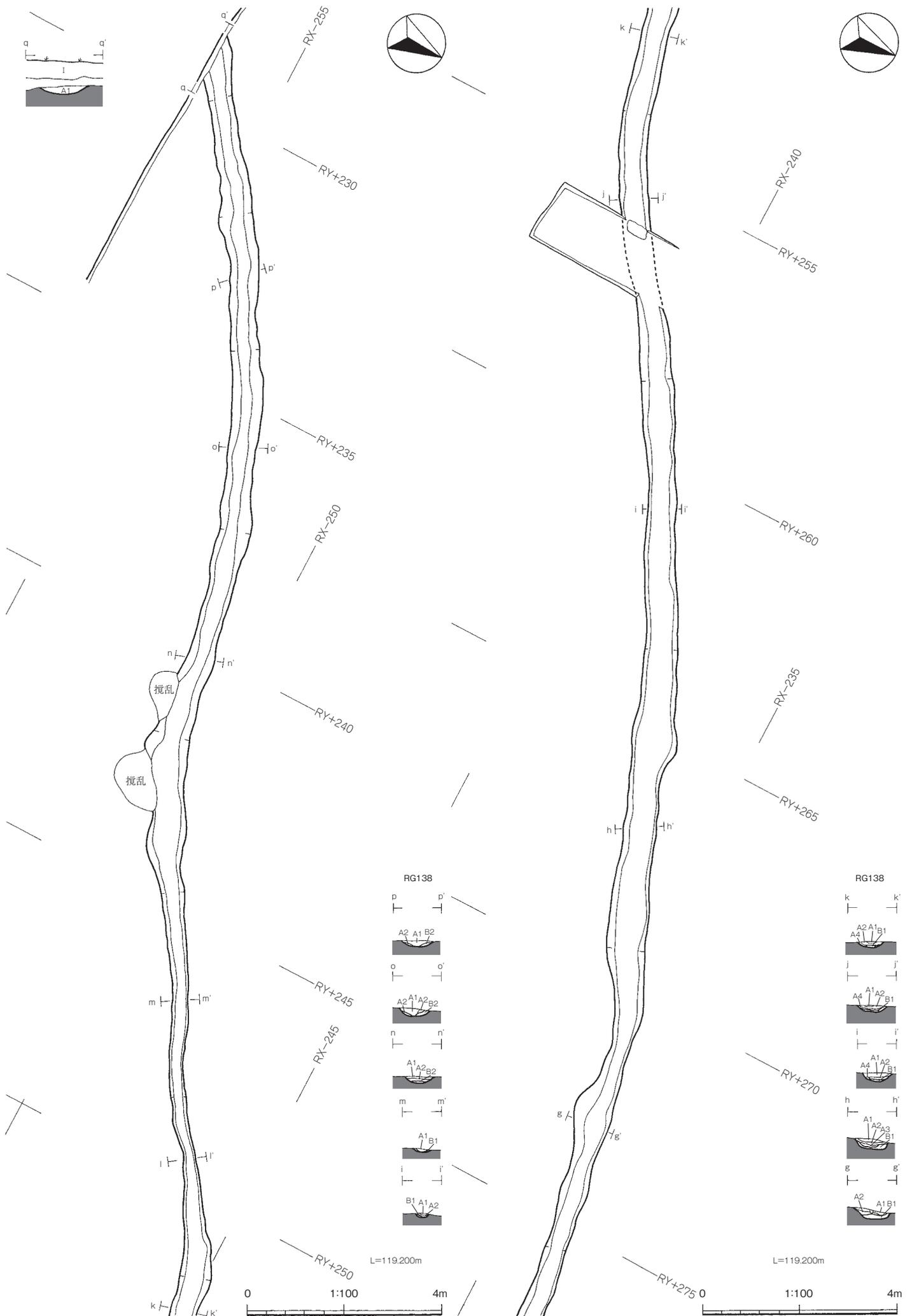


第 43 図 南仙北遺跡第 32 次調査区全体図

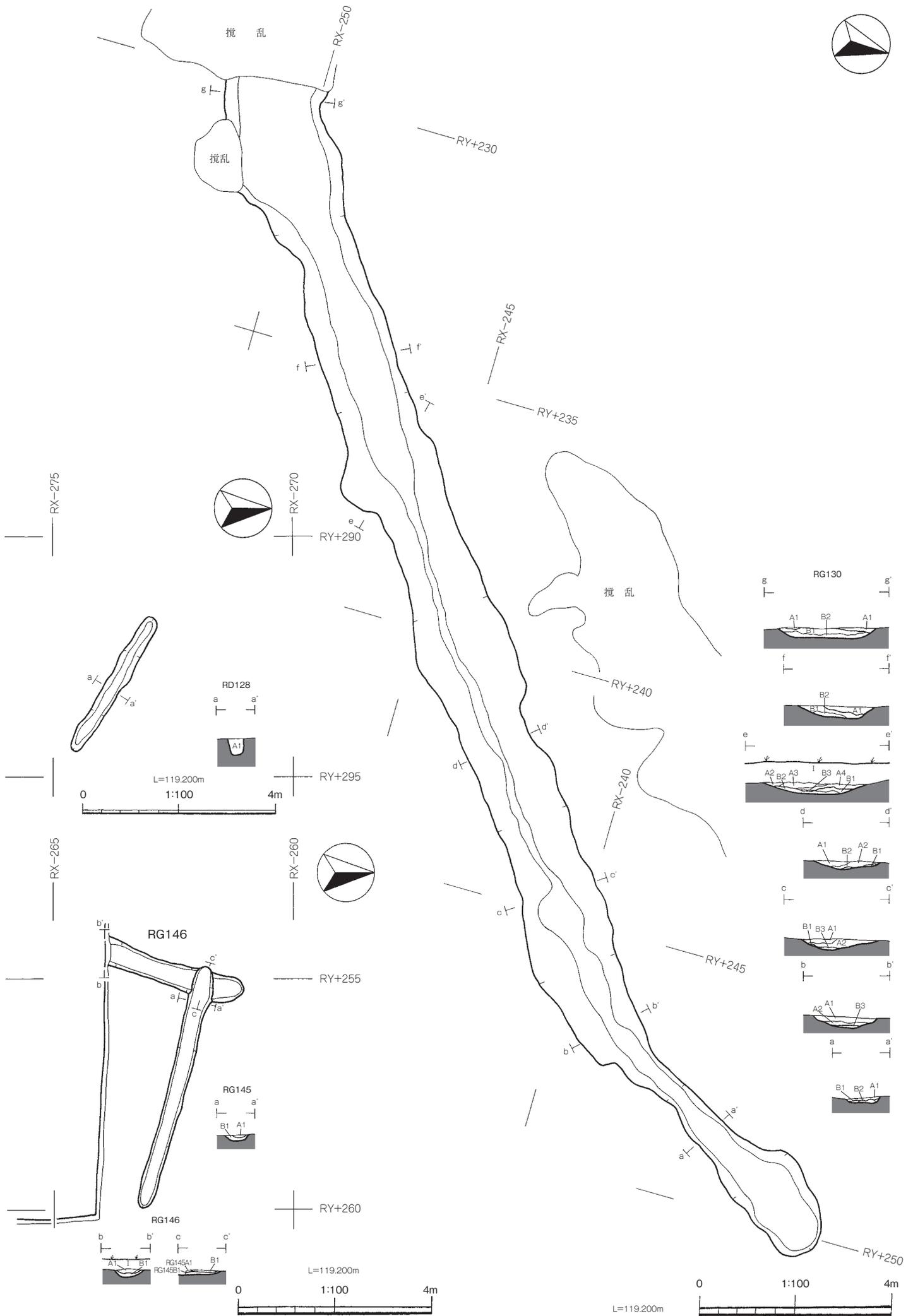




第 45 图 南仙北遺跡第 32 次調査 RG131・132・136・137 溝跡

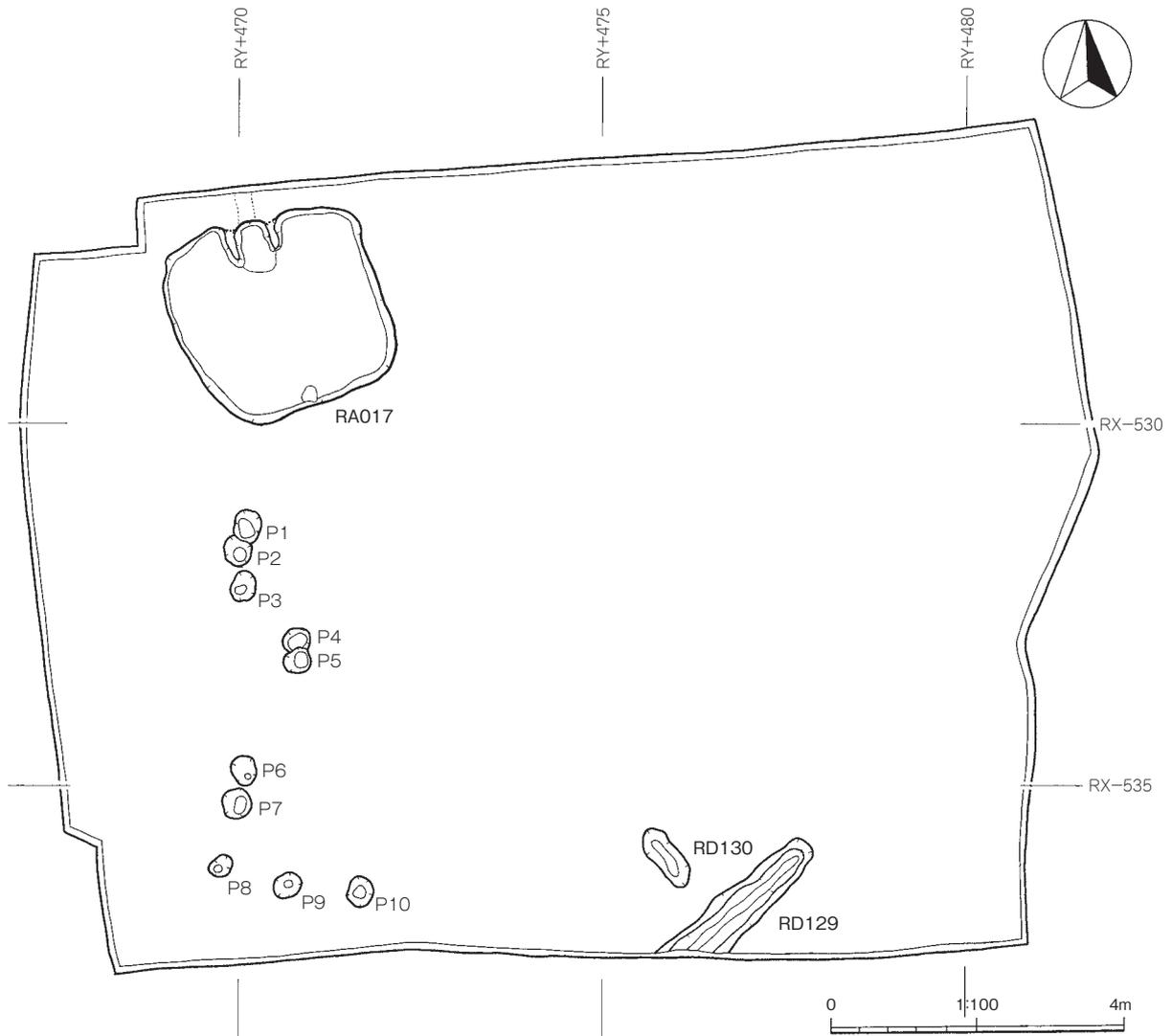


第 46 図 南仙北遺跡第 32 次調査 RG138 溝跡

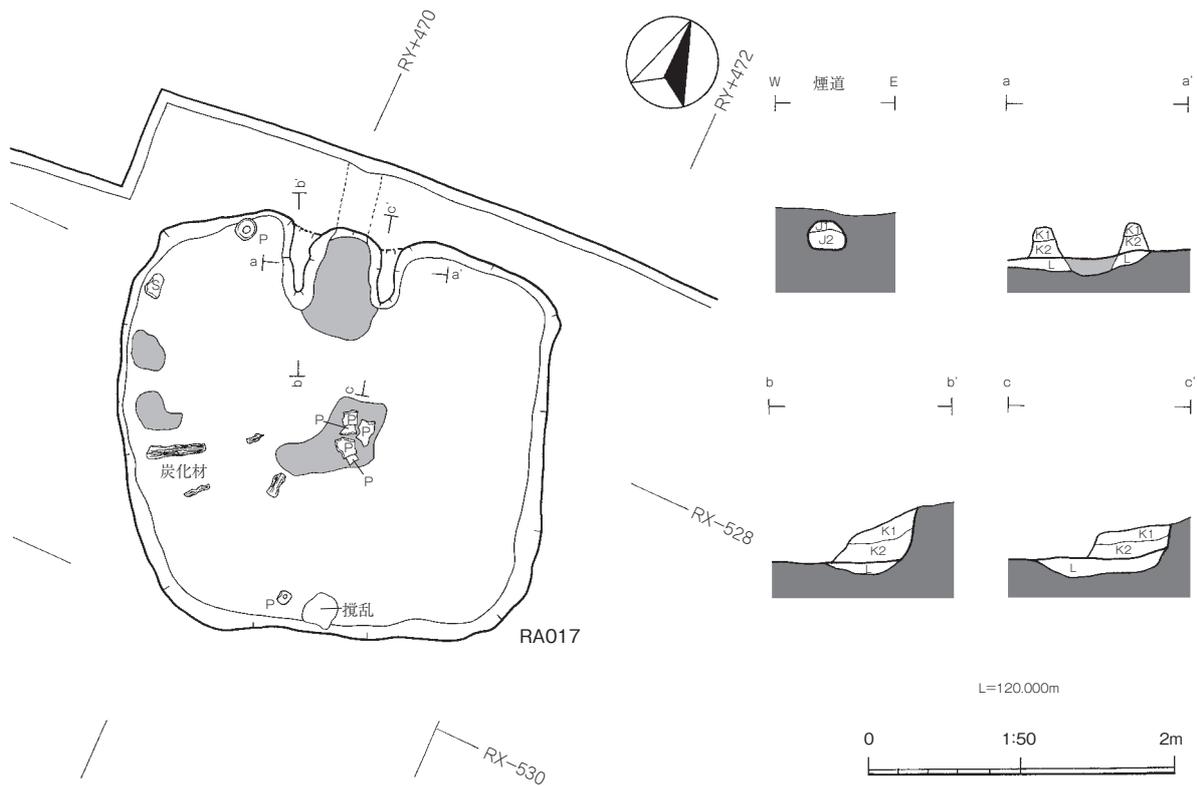


第 47 図 南仙北遺跡第 32 次調査 RD128 土坑, RG130・145・146 溝跡

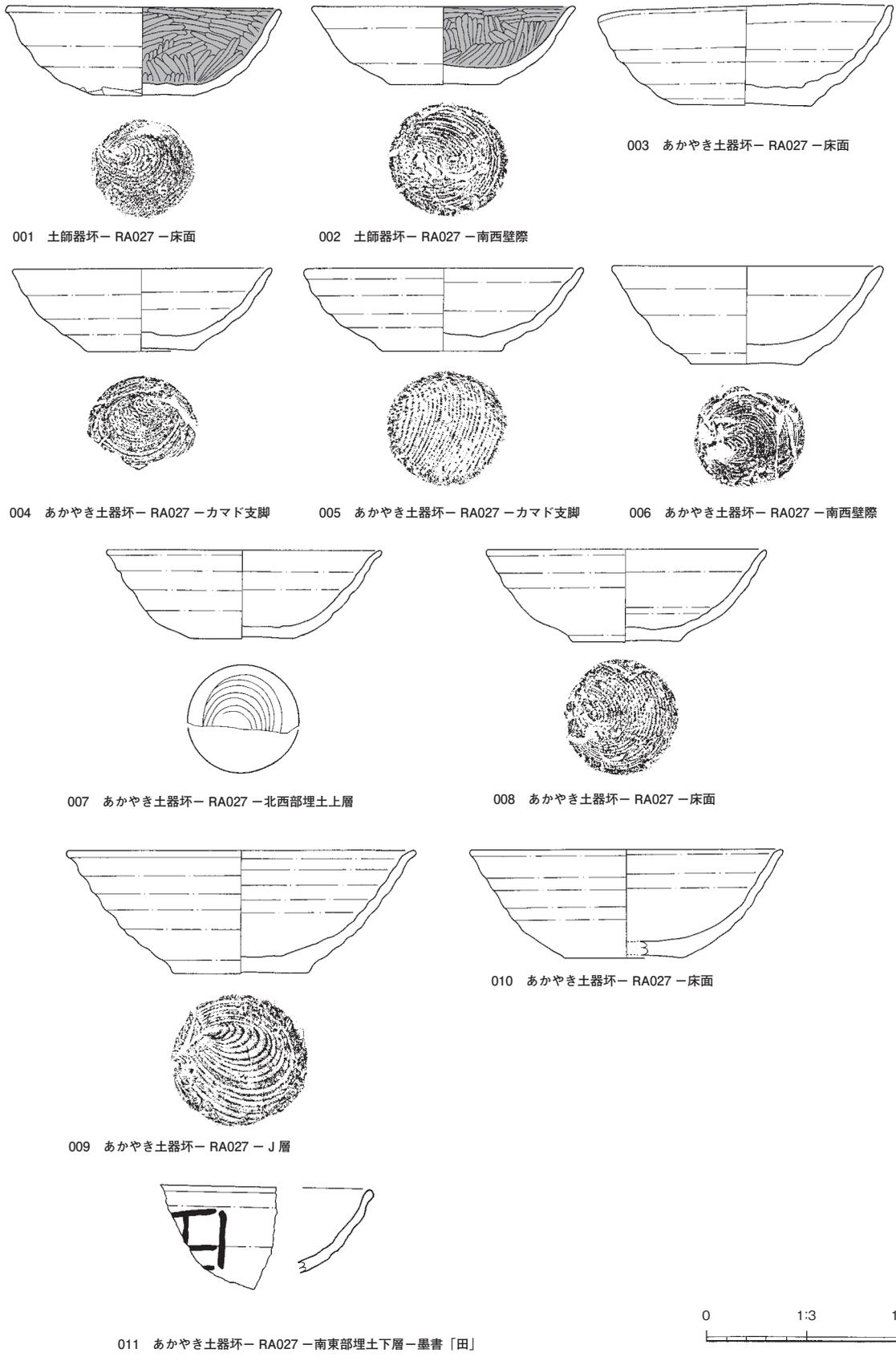




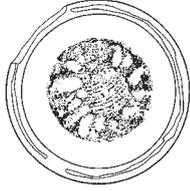
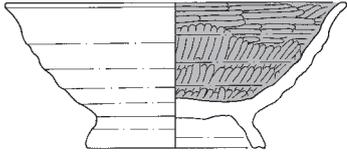
第 49 图 南仙北遺跡第 35 次調査区全体図



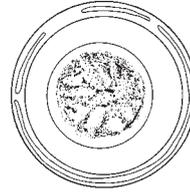
第 50 图 南仙北遺跡第 35 次調査 RA017 豎穴住居跡



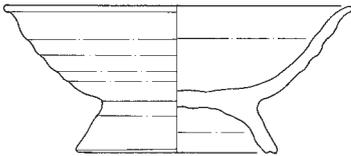
第 51 図 本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査 RA027 出土遺物 (1)



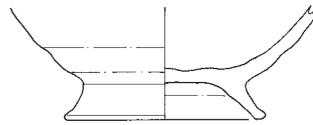
012 土師器高台付坏 - RA027 - 床面



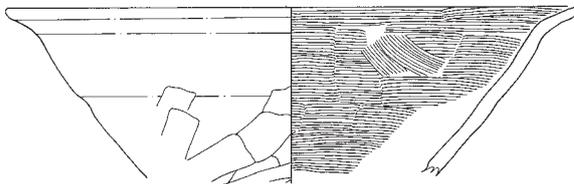
013 あかやき土器高台付坏 - RA027 - カマド支脚



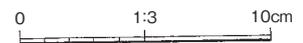
014 あかやき土器高台付坏 - RA027 - 南東部埋土下層



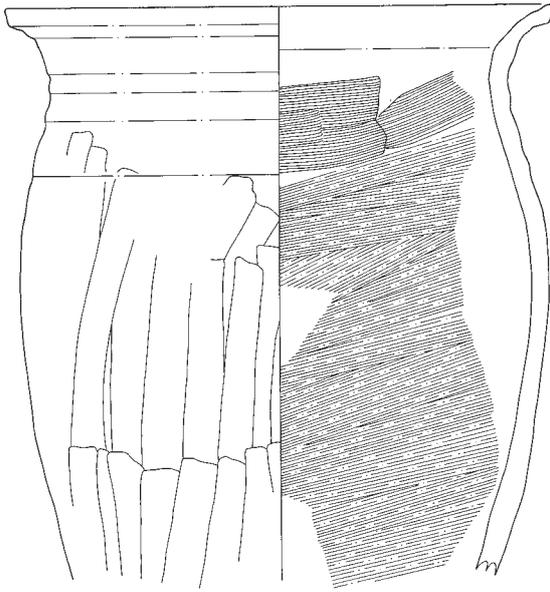
015 あかやき土器高台付坏 - RA027 - 北東部 J 層



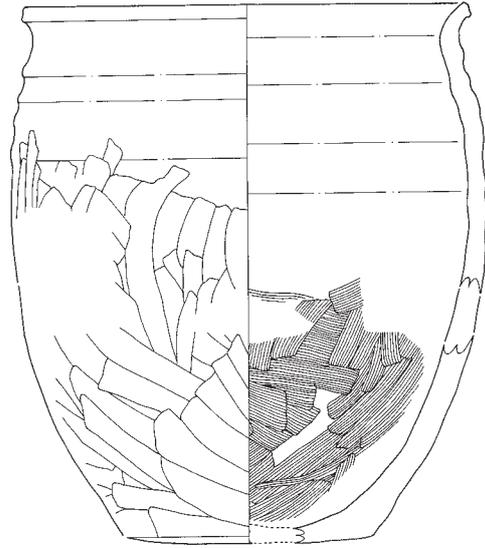
016 あかやき土器鉢 - RA027 - 南西部 L 層



第 52 図 本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査 RA027 出土遺物 (2)



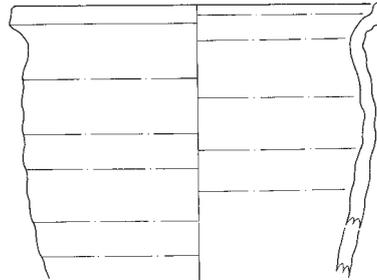
017 あかやき土器甕 - RA027 - カマド南袖部分 J 層



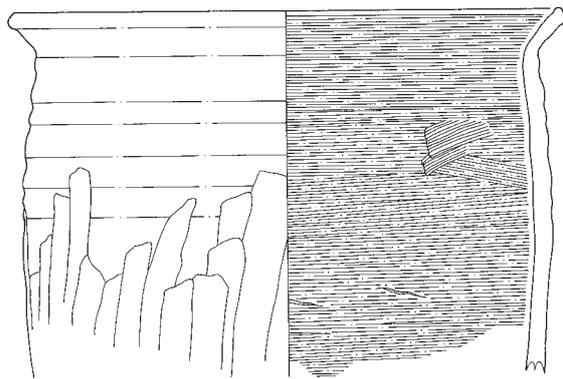
018 あかやき土器甕 - RA027 - J 層



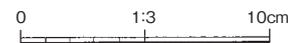
019 あかやき土器甕 - RA027 - カマド北袖 k1 層



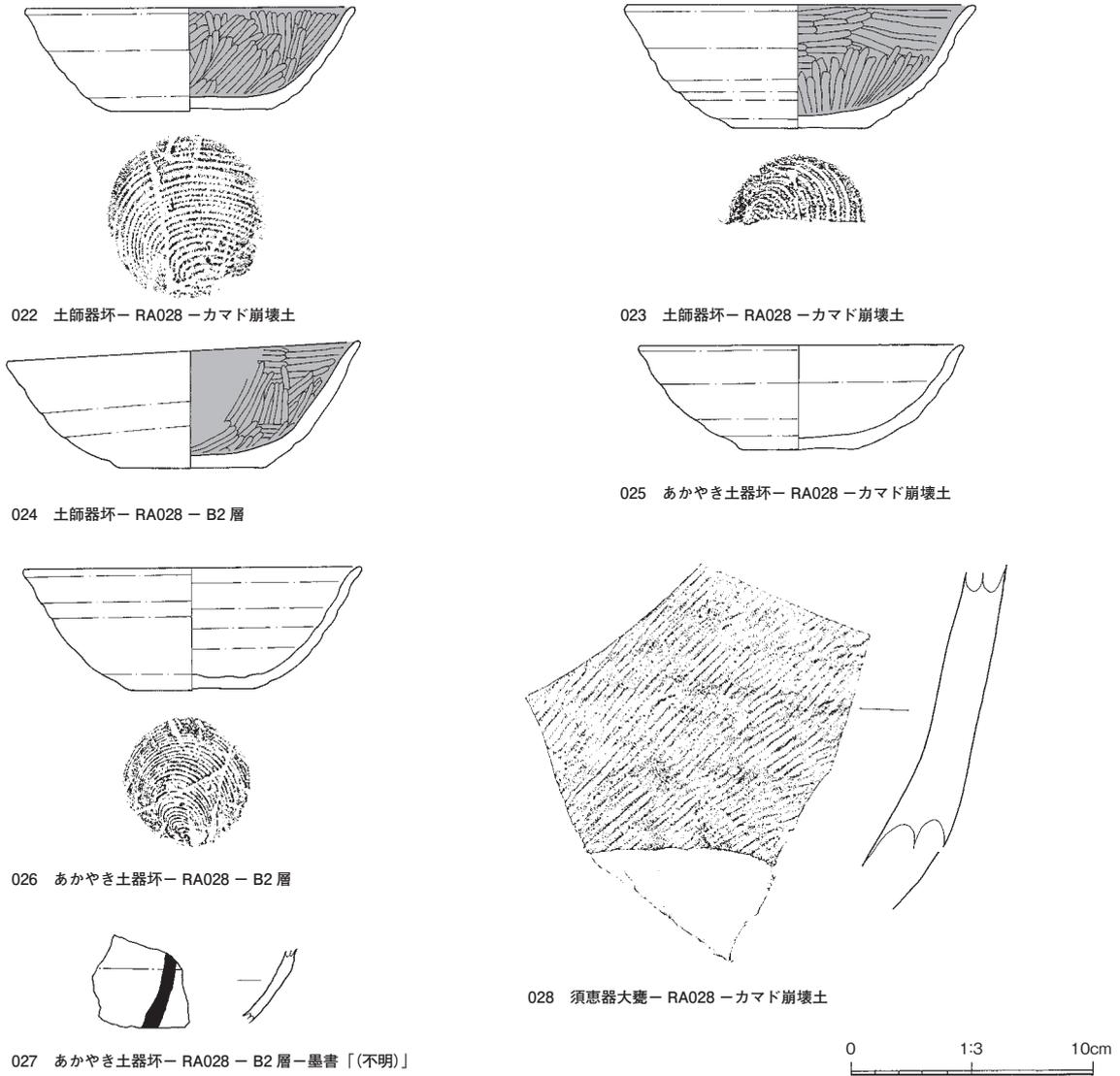
021 あかやき土器甕 - RA027 - カマド支脚



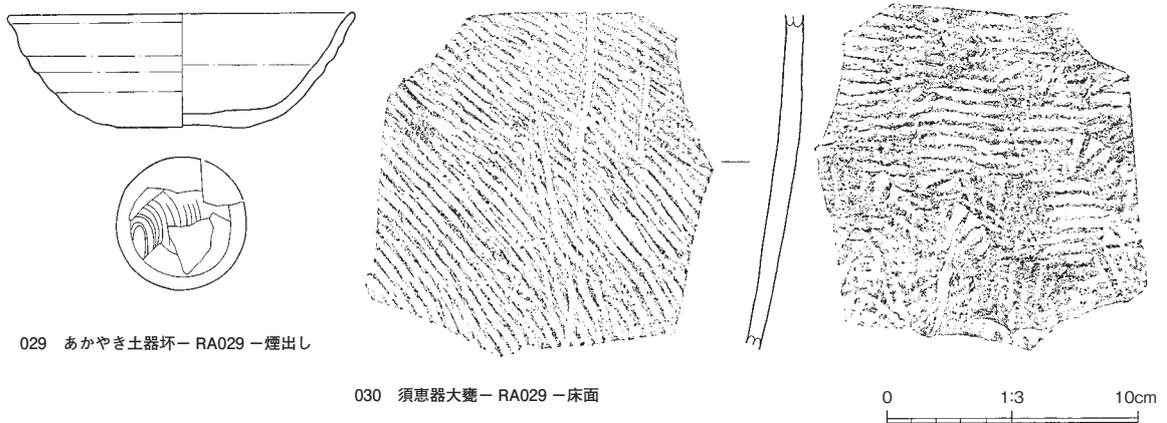
020 あかやき土器甕 - RA027 - 床面



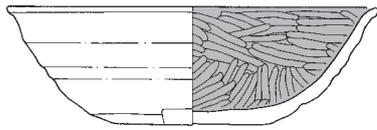
第 53 図 本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査 RA027 出土遺物 (3)



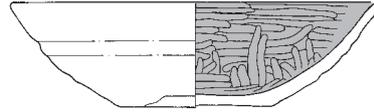
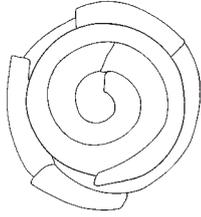
第 54 図 本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査 RA028 出土遺物



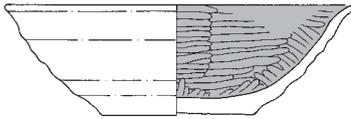
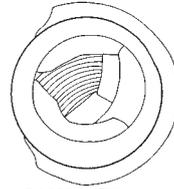
第 55 図 本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査 RA029 出土遺物



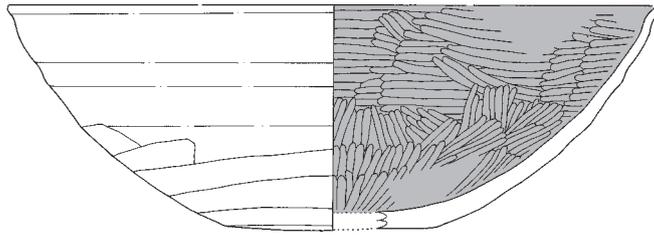
031 土師器坏 - RA030 - J層



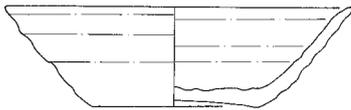
032 土師器坏 - RA030 - 床面



033 土師器坏 - RA030 - 貯蔵穴 Pit3 埋土



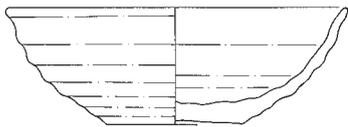
034 土師器大型坏 - RA030 - 床面



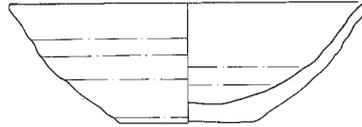
035 あかやき土器坏 - RA030 - 煙出し



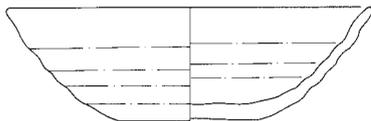
036 あかやき土器坏 - RA030 - 貯蔵穴 Pit3 埋土 (No.6)



037 あかやき土器坏 - RA030 - 床面



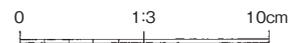
038 あかやき土器坏 - RA030 - 貯蔵穴 Pit3 埋土 (No.3)

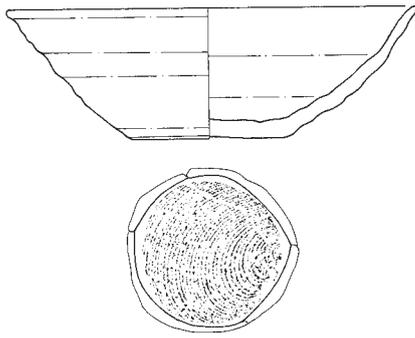


039 あかやき土器坏 - RA030 - 南東部床面

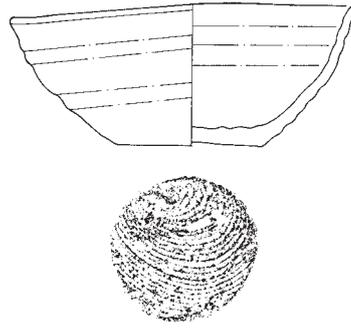


040 あかやき土器坏 - RA030 - 南東部床面





041 あかやき土器環- RA030 - L層



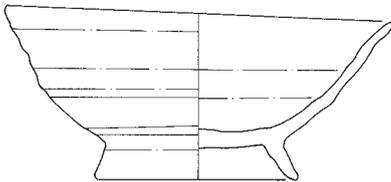
042 あかやき土器環- RA030 - B2層



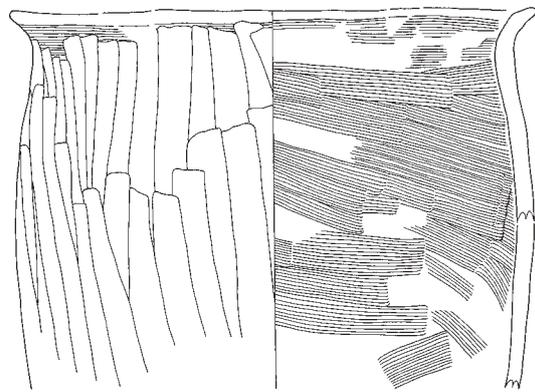
043 あかやき土器環- RA030 -南東部床面



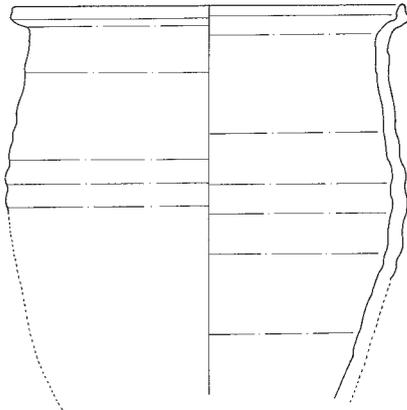
044 あかやき土器環- RA030 - B1層



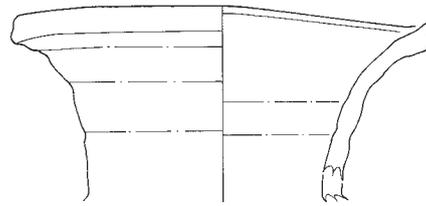
045 あかやき土器高台付環- RA030 -貯蔵穴 Pit3埋土 (No.7)



046 土師器甕- RA030 -床面



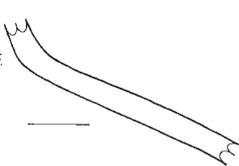
047 あかやき土器甕- RA030 - B2層



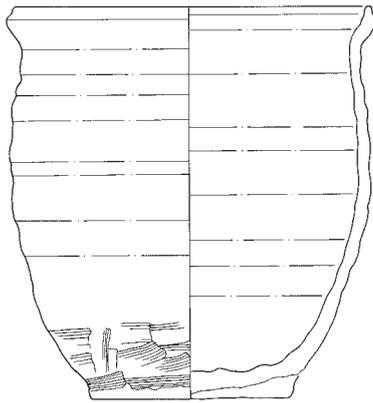
048 須恵器甕- RA030 - B1層



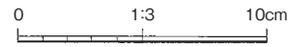
049 須恵器大甕- RA030 - B2層



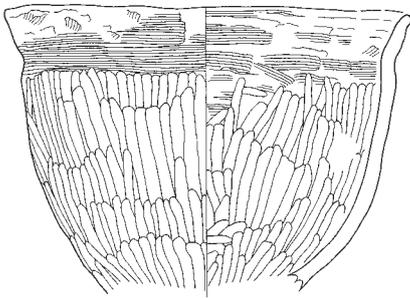
第 57 図 本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査 RA030 出土遺物 (2)



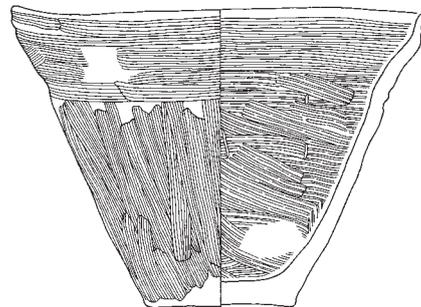
050 あかやき土器甕 - RA005 - 床面 (No.17)



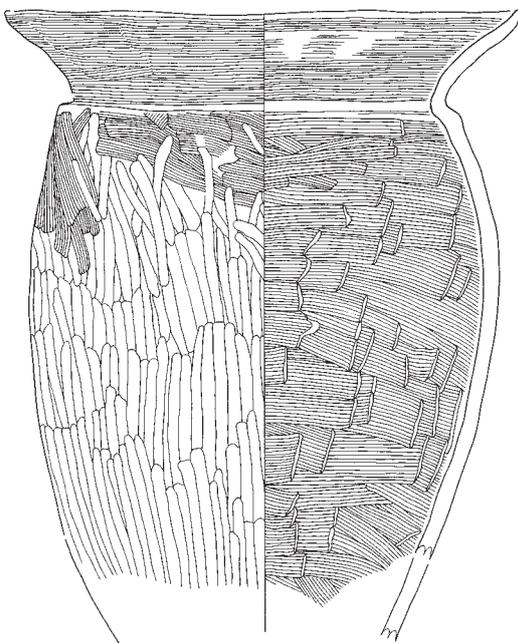
第 58 図 野古 A 遺跡第 6 次調査 RA005 出土遺物



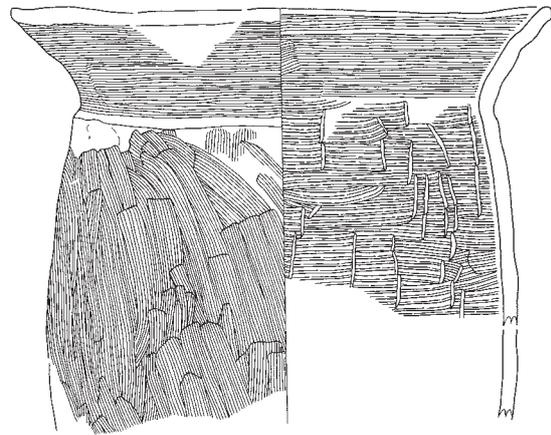
051 土師器鉢 - RA006 - 床面 (No.16)



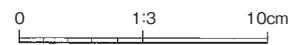
052 土師器鉢 - RA006 - B1 層



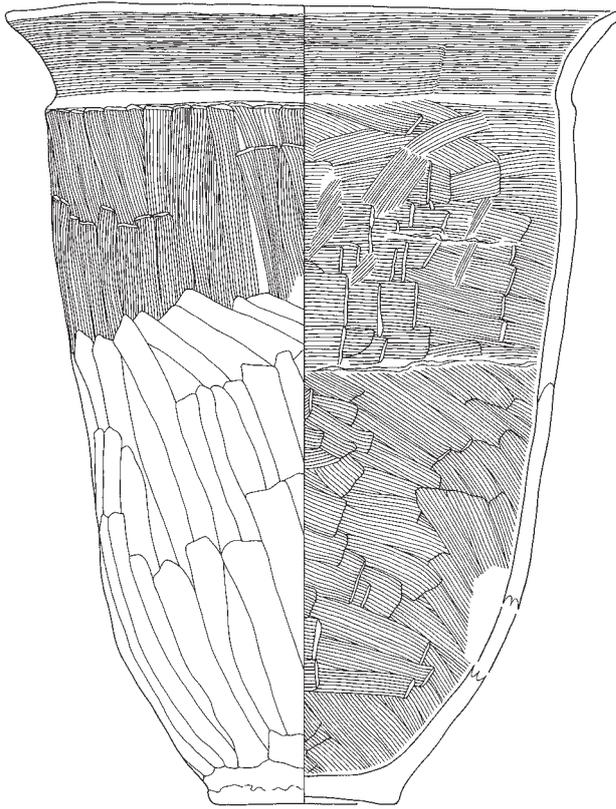
053 土師器甕 - RA006 - 床面 (No.10)



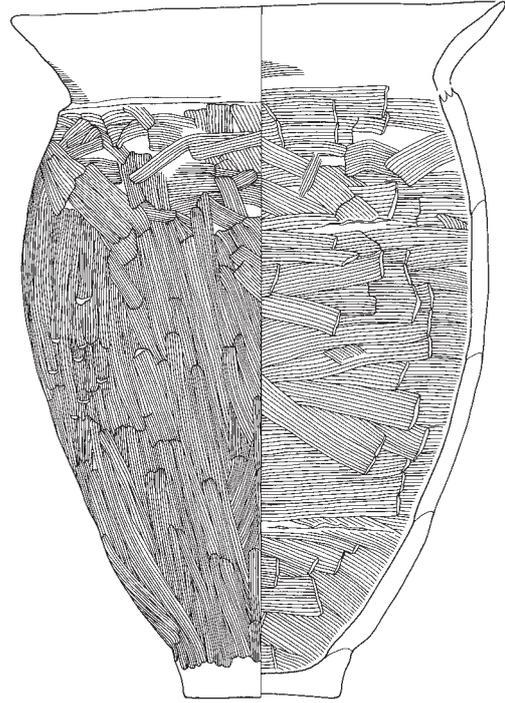
054 土師器甕 - RA006 - 床面 (No.11)



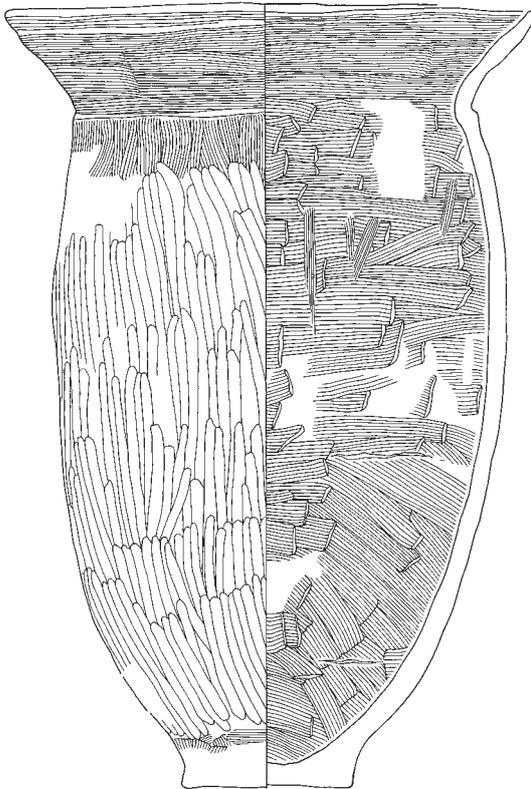
第 59 図 野古 A 遺跡第 6 次調査 RA006 出土遺物 (1)



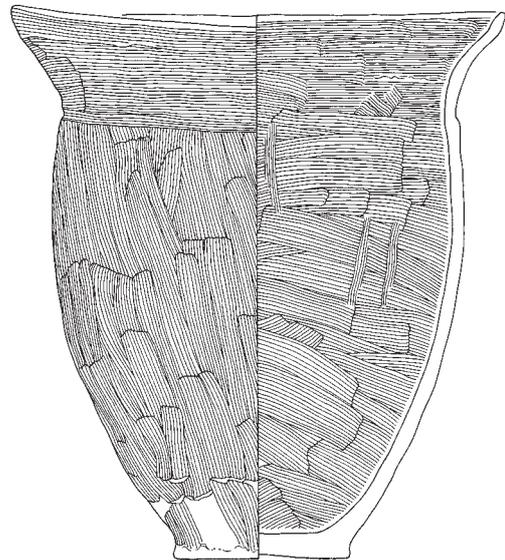
055 土師器甕 - RA006 - 床面 (No.1)



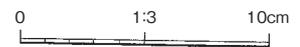
056 土師器甕 - RA006 - 床面 (No.12)

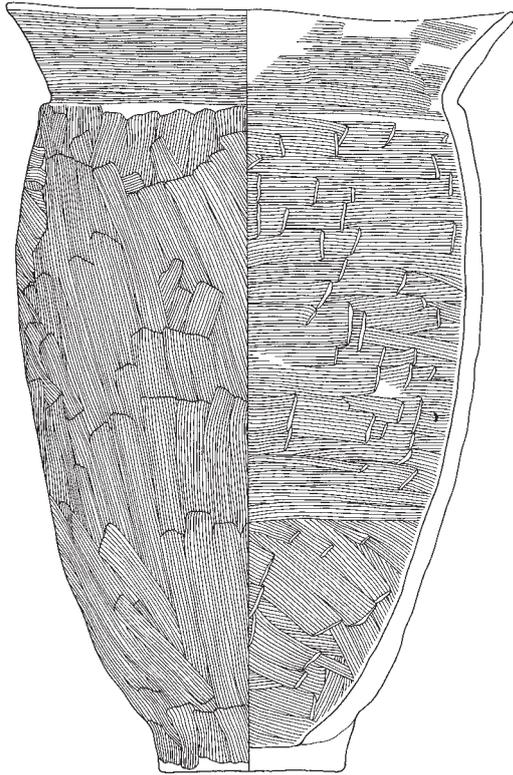


057 土師器甕 - RA006 - 床面 (No.7)

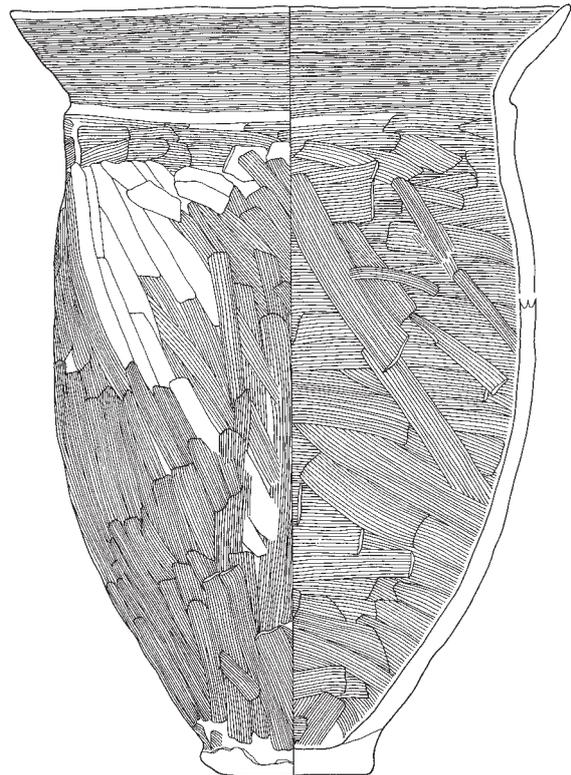


058 土師器甕 - RA006 - 床面 (No.4)





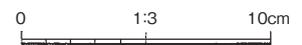
059 土師器甕 - RA006 - カマド南袖



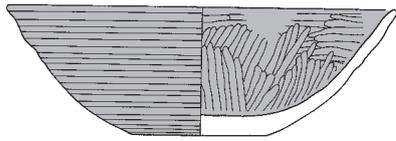
060 土師器甕 - RA006 - カマド北袖



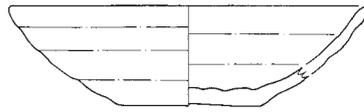
061 土師器球胴甕 - RA006 - 床面 (No.9)



第 61 図 野古 A 遺跡第 6 次調査 RA006 出土遺物 (3)



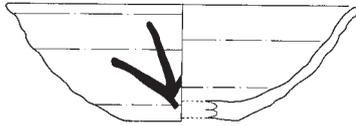
062 土師器環 - RA008 - D層



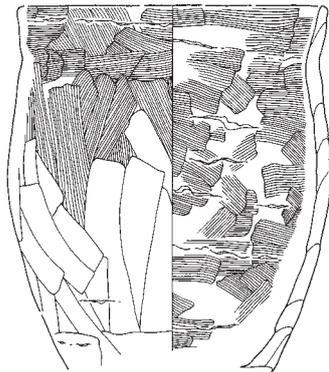
063 あかやき土器環 - RA008 - Pit4 埋土



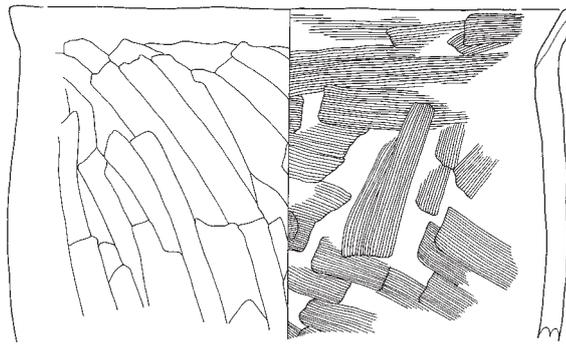
064 あかやき土器環 - RA008 - 埋土上面



065 あかやき土器環 - RA008 - C層 - 墨書「(?)」



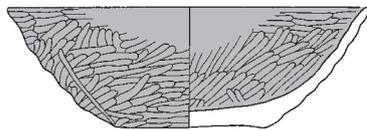
066 土師器甕 - RA008 - カマド袖構築土



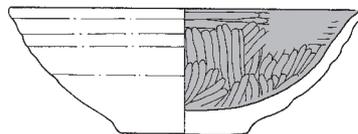
067 土師器甕 - RA008 - カマド火焼面



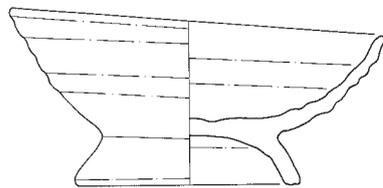
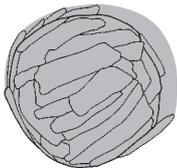
第 62 図 野古 A 遺跡第 11 次調査 RA008 出土遺物



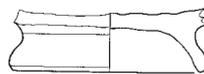
068 土師器環 - RA009 - A層



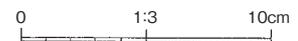
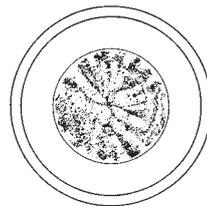
069 土師器環 - RA009 - カマド北袖構築土



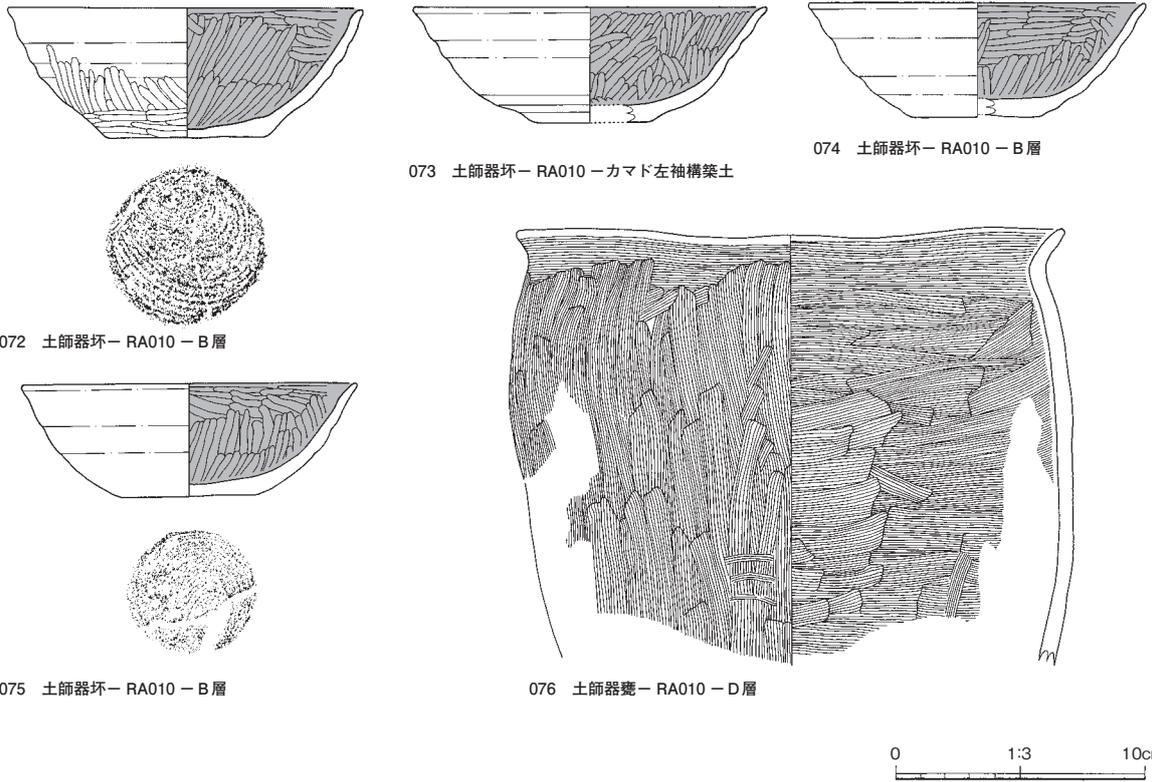
070 あかやき土器高台付環 - RA009 - B層



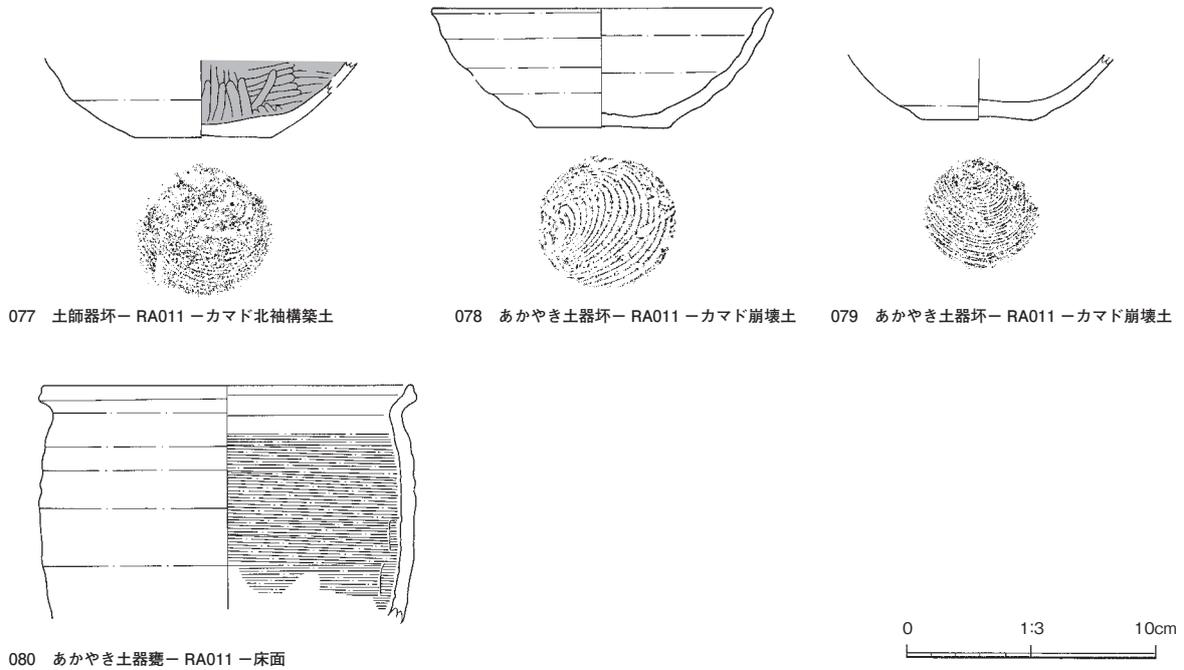
071 あかやき土器高台付環 - RA009 - カマド焚口



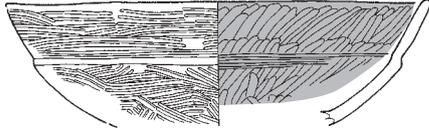
第 63 図 野古 A 遺跡第 11 次調査 RA009 出土遺物



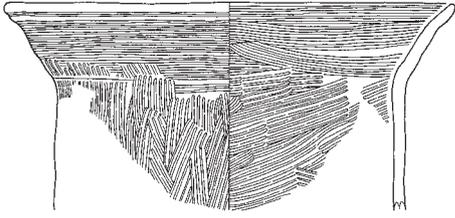
第 64 図 野古 A 遺跡第 11 次調査 RA010 出土遺物



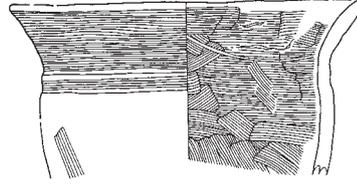
第 65 図 野古 A 遺跡第 11 次調査 RA011 出土遺物



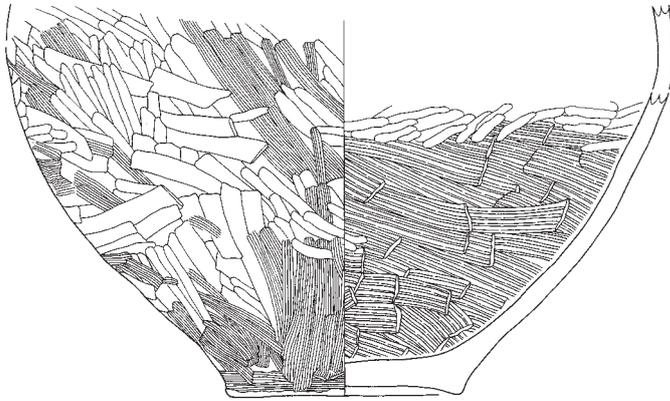
081 土師器坏 - RA012 - 煙道底面



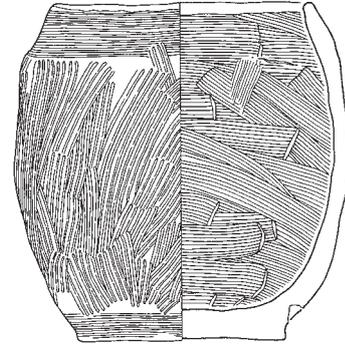
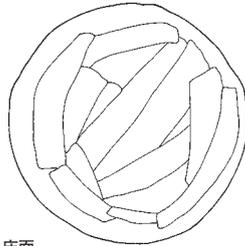
082 土師器甕 - RA012 - カマド北袖構築土



083 土師器甕 - RA012 - A層



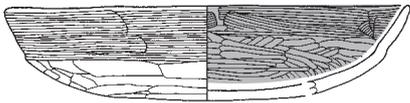
084 土師器球胴甕 - RA012 - 床面



085 土師器甕 - RA012 - カマド焚口B層



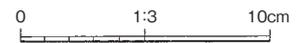
第 66 図 野古 A 遺跡第 11 次調査 RA012 出土遺物



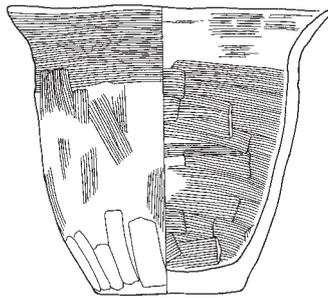
086 土師器球胴甕 - RA013 - カマド焚口B層



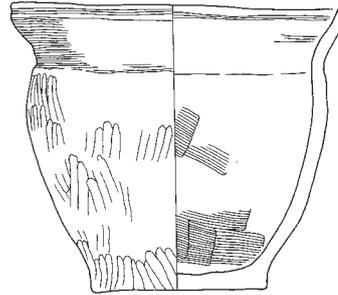
087 土師器高台付坏 - RA013 - B層



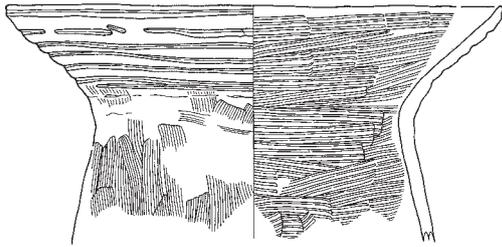
第 67 図 野古 A 遺跡第 11 次調査 RA013 出土遺物



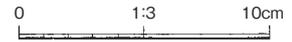
088 土師器小型甕 - RA012 - 埋土



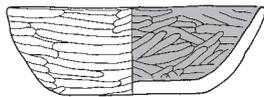
089 土師器小型甕 - RA012 - 埋土



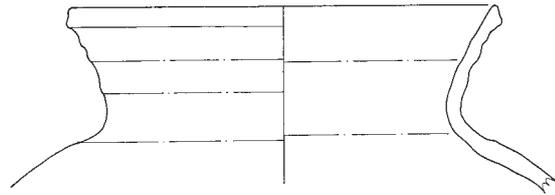
090 土師器甕 - RA012 - 床面 Pit 埋土



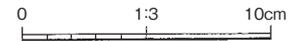
第 68 図 南仙北遺跡第 15 次調査 RA012 出土遺物



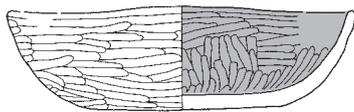
091 土師器坏 - P1 - 埋土上面



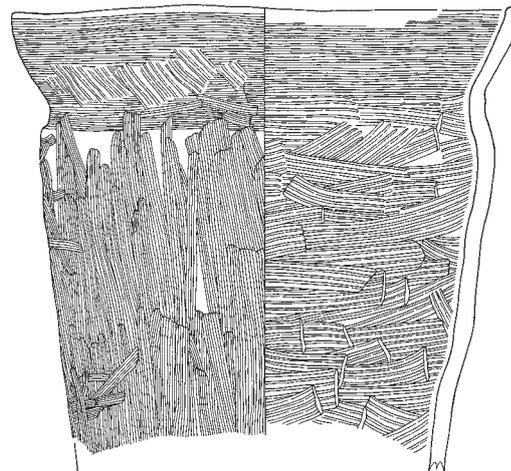
092 須恵器甕 - RG120 - A2 層



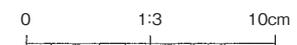
第 69 図 南仙北遺跡第 28 次調査出土遺物



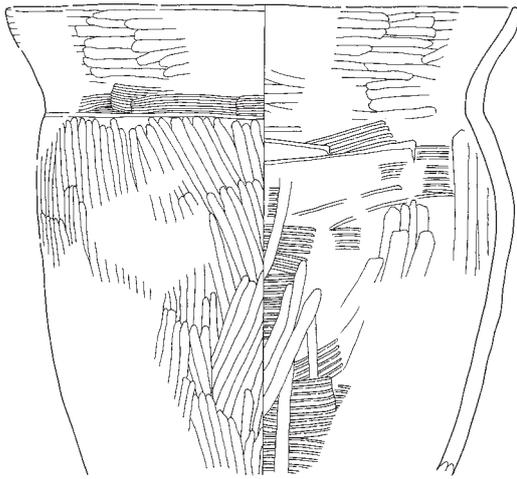
093 土師器坏 - RA017 - 床面



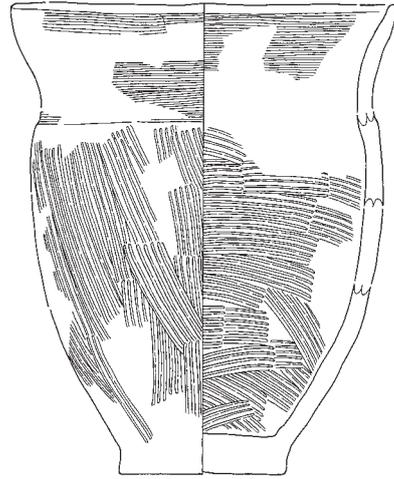
094 土師器甕 - RA017 - 床面



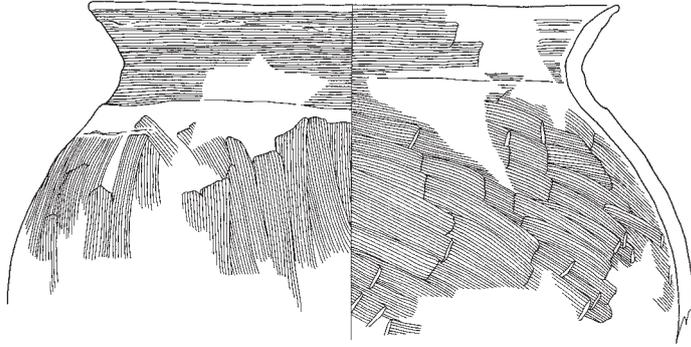
第 70 図 南仙北遺跡第 35 次調査 RA017 出土遺物



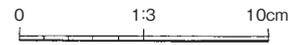
095 土師器甕 - RA3001 - カマド崩壊土



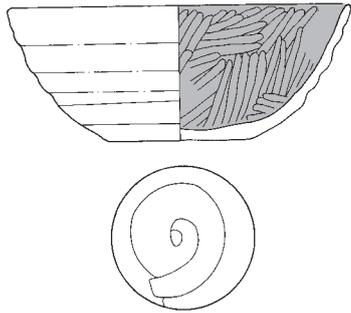
096 土師器甕 - RA3001 - カマド崩壊土



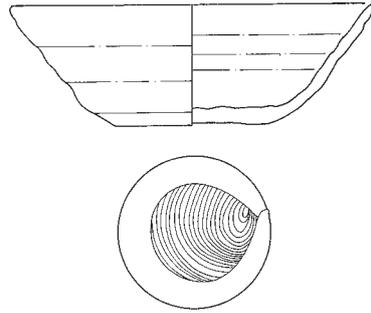
097 土師器球胴甕 - RA3001 - 埋土



第 71 図 南仙北遺跡第 30 次調査 RA3001 出土遺物



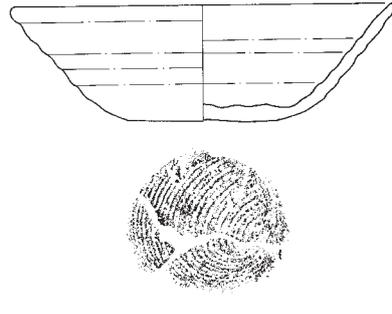
098 土師器坏-RG131-底面



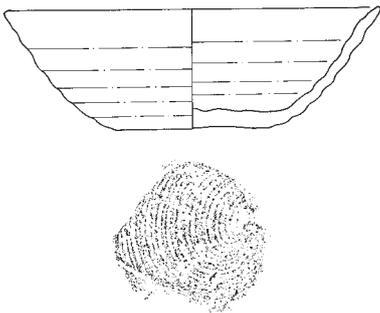
099 須惠器坏-RG131-B層



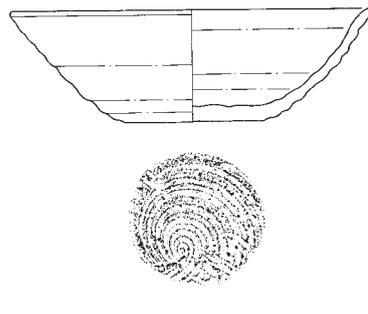
100 須惠器坏-RG131-B1層



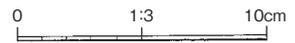
101 須惠器坏-RG131-埋土上面



102 須惠器坏-RG131-埋土上面

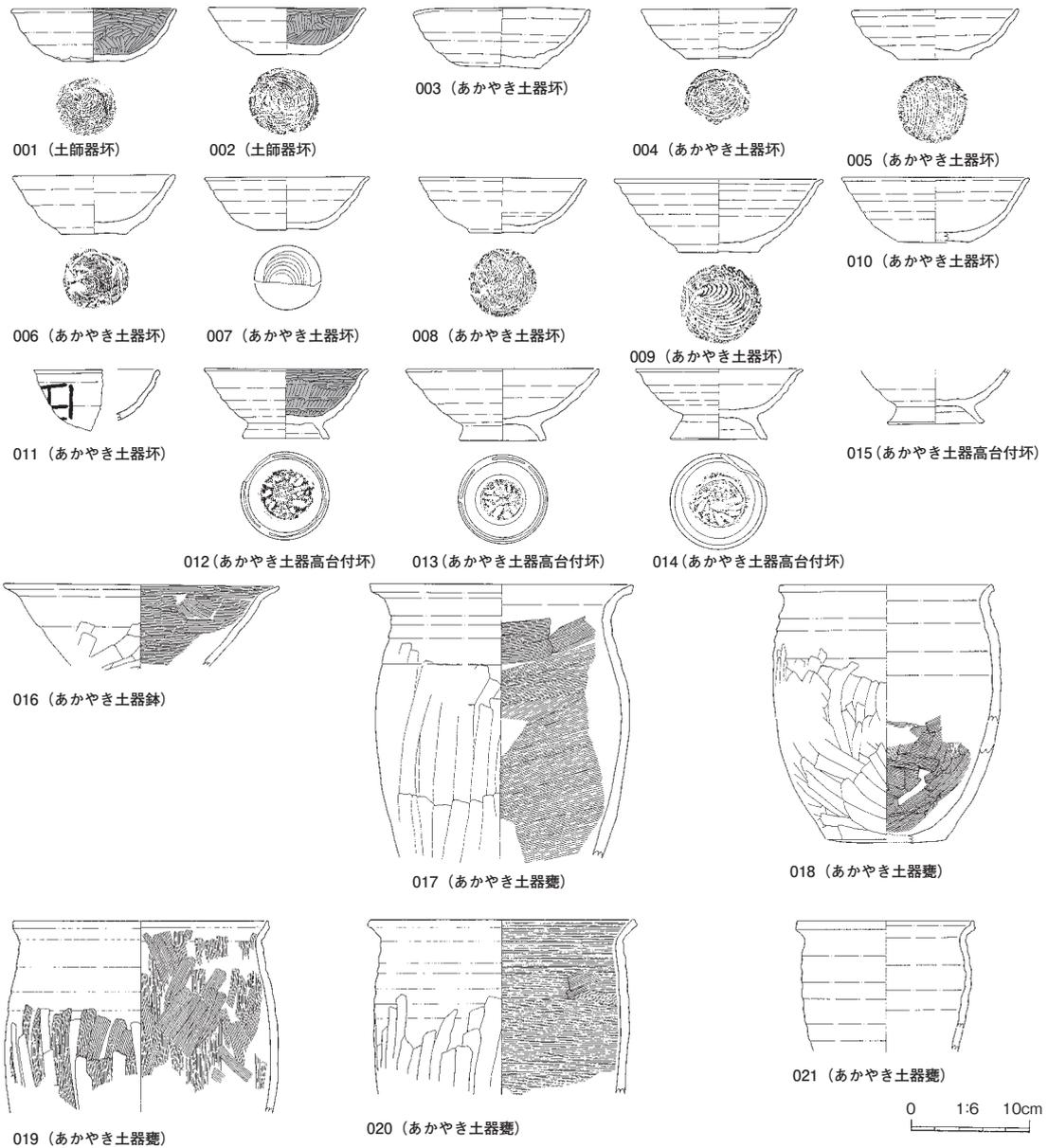


103 須惠器坏-調査区内搅乱

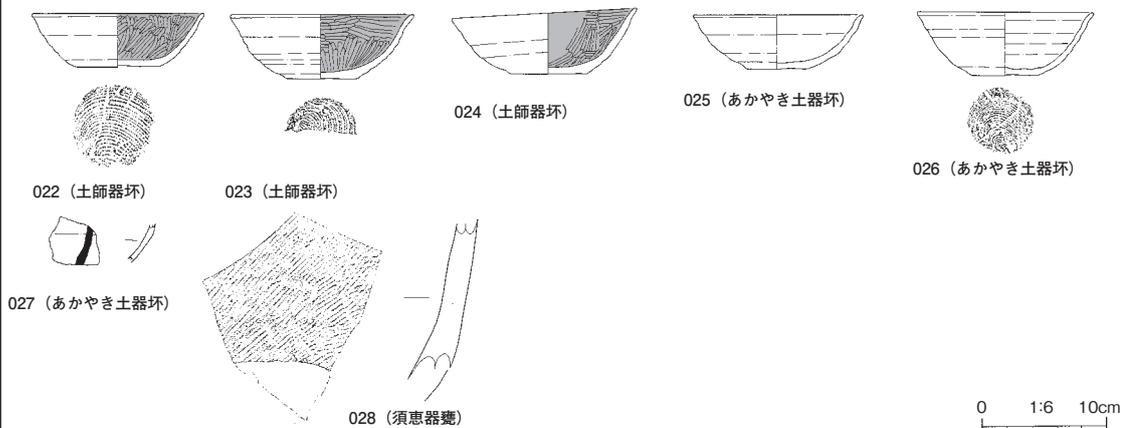


第 72 図 南仙北遺跡第 32 次調査出土遺物

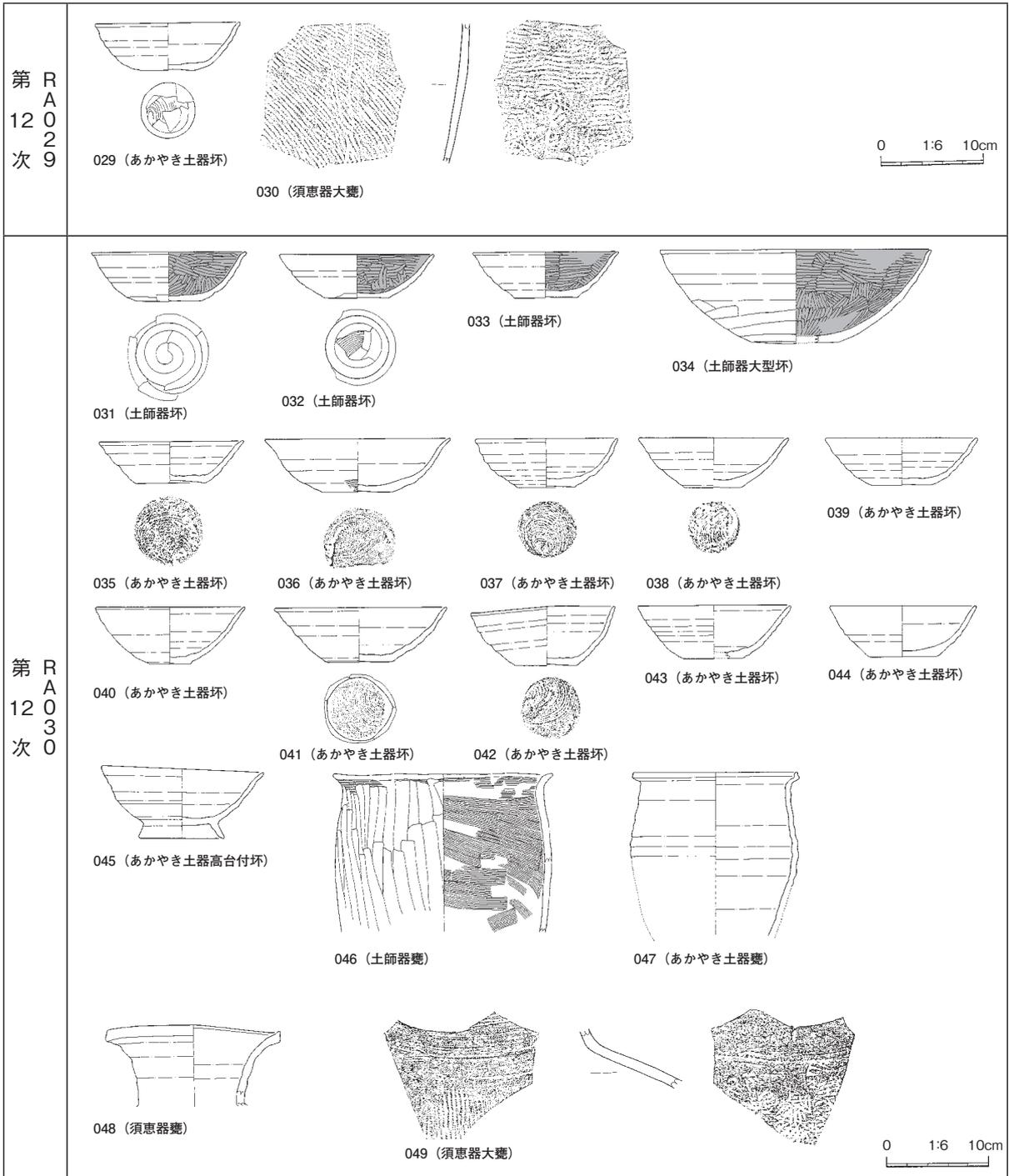
第 R A  
12 O 2  
次 7



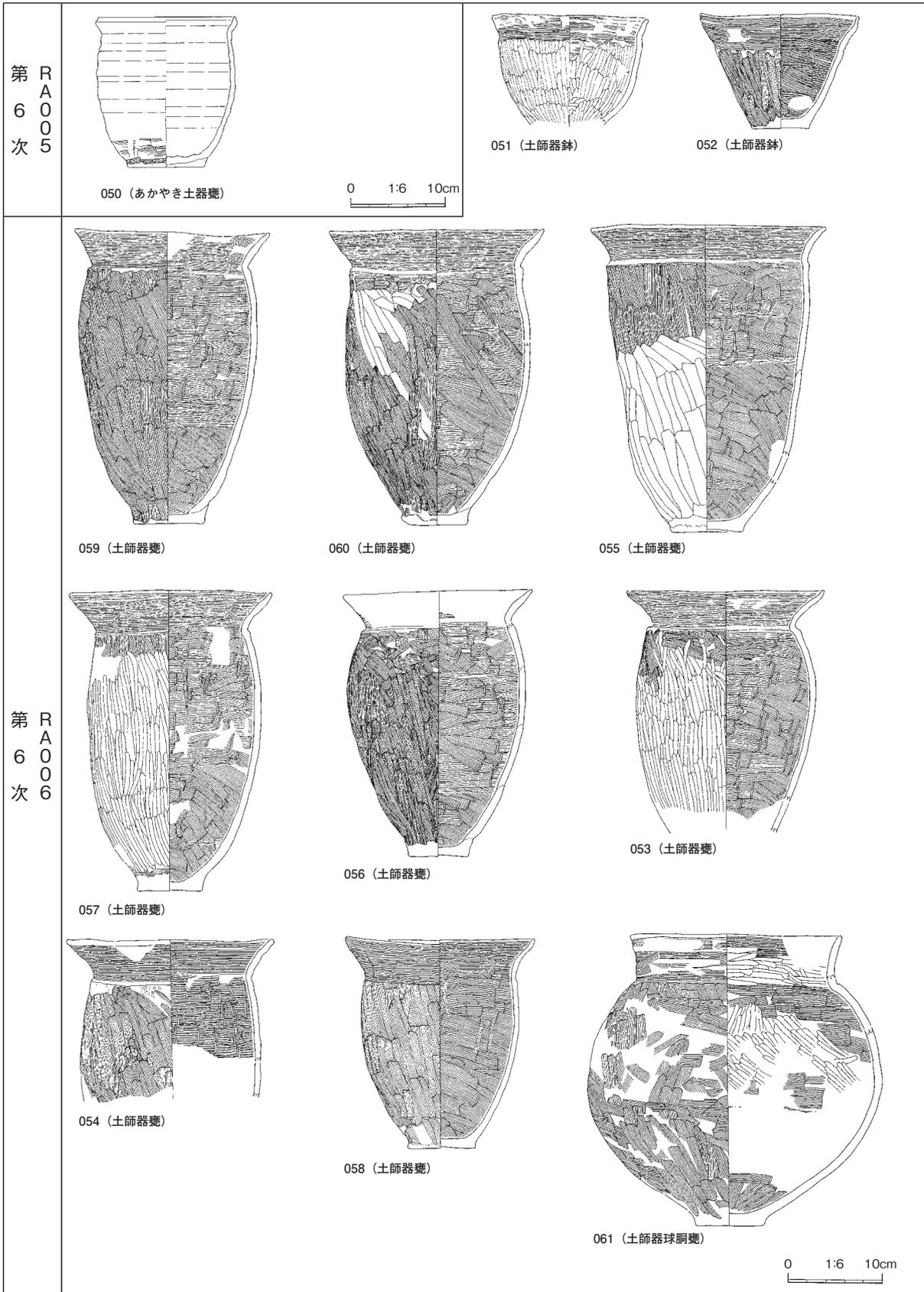
第 R A  
12 O 2  
次 8



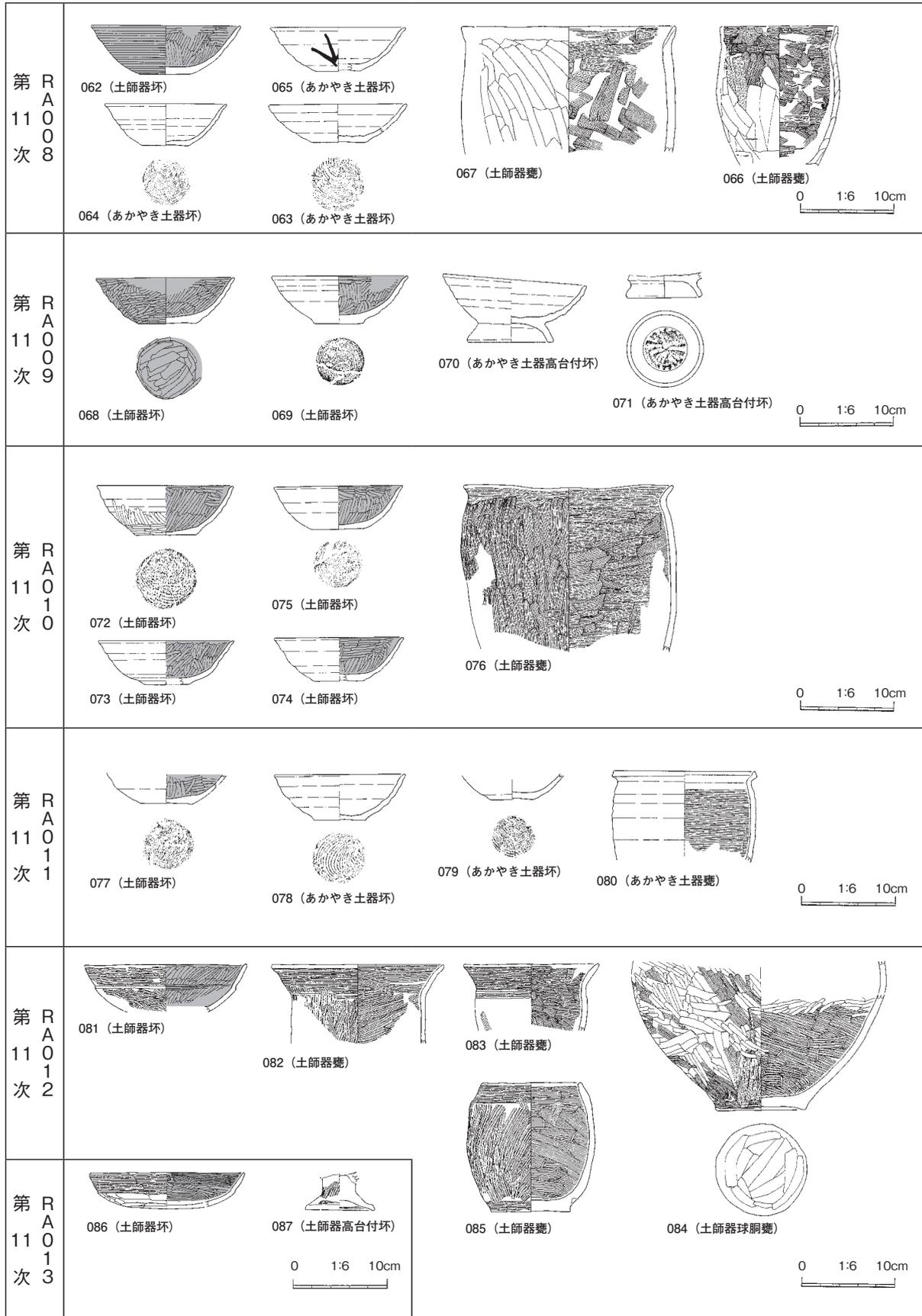
第 73 図 本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査出土土器集成図 (1)



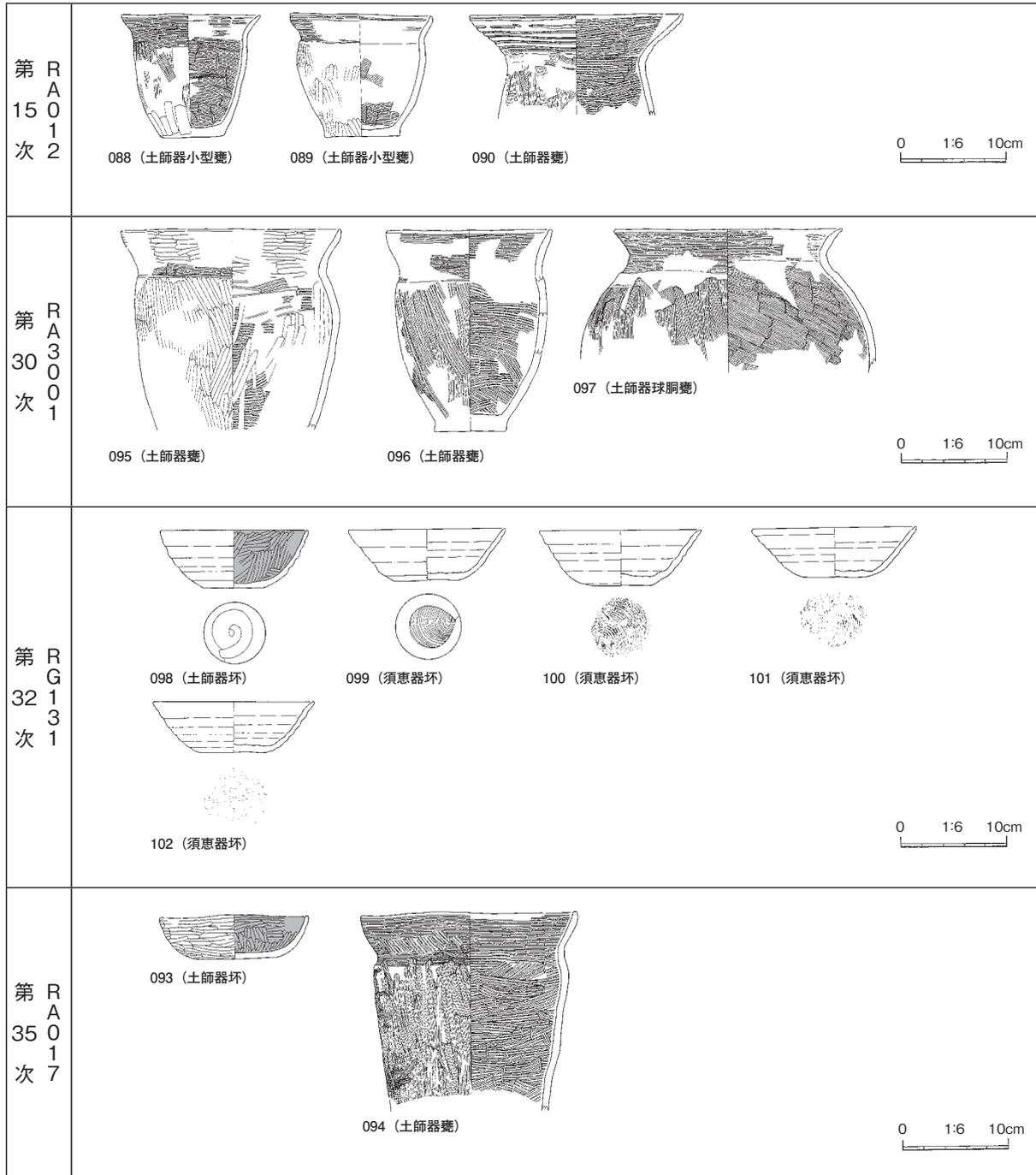
第 74 図 本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査出土土器集成図 (2)



第 75 図 野古 A 遺跡第 6 次調査出土土器集成図



第 76 図 野古 A 遺跡第 11 次調査出土土器集成図



第 77 図 南仙北遺跡第 15・30・32・35 次調査出土土器集成図

表

遺跡名	略号	回数	年度	調査方法	所在地	面積 (㎡)	調査期間	遺構・遺物	調査原因	調査主体	報告書		
稲荷	01N	1	H6	試掘確認	本宮字稲荷16-3他	2,143 (対象14,595)	1994.5.30~ 1994.11.7	古代土坑・溝跡・柱穴	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書		
		2	H8	試掘確認	本宮字稲荷26-13他	234 (対象2,138)	1996.4.22	古代土坑・溝跡	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書		
		3	H9	本調査	本宮字稲荷26-3他	1,066	1997.5.12~ 1997.5.30	平安時代溝跡2	土地区画整理 (盛南開発)	県埋文	県282集		
本宮熊堂A (※注)	OKD	2	H6	試掘確認	本宮字熊堂65-3他	2,835 (対象13,290)	1994.11.7~ 1994.12.9	古代土坑・溝跡・柱穴 縄文時代晩期土器	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書		
		2補	H8	試掘確認	本宮字熊堂69-12他	1,679 (対象9,970)	1996.5.14~ 1996.5.16	縄文時代遺物包含層 古代土坑・溝跡・柱穴	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書		
		6	H8	本調査	本宮字熊堂65-3他	15,110	1996.7.3~ 1996.10.24	縄文時代竪穴住居跡1・焼土遺構2・土 坑20・遺物包含層	土地区画整理 (盛南開発)	県埋文	県281集		
		7	H8	本調査	本宮字熊堂65-3他	3,800	1996.9.2~ 1996.10.23	古代以降掘立柱建物跡1・土坑2・溝 跡、縄文時代晩期遺物包含層	土地区画整理 (都市計画道路)	県埋文	県266集		
本宮熊堂B (※注)	OKO	1	H5	本調査	本宮字稲荷3-20他	14,400	1993.4.7~ 1993.8.12	奈良時代竪穴住居跡2・土坑2、平安時 代竪穴住居跡7・土坑12・溝跡4	土地区画整理 (盛南開発)	県埋文	県226集		
		3	H7	試掘確認	本宮字熊堂地内	2,759 (対象6,323)	1995.9.18~ 1995.9.21	古代竪穴住居跡・土坑・溝跡・柱穴	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書		
		3補	H8	試掘確認	本宮字熊堂37他	3,422 (対象26,011)	1996.4.23~ 1996.5.7	古代竪穴住居跡・土坑・溝跡・柱穴	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書		
		4	H9	本調査	本宮字熊堂49他	4,181	1997.7.1~ 1997.10.22	奈良時代竪穴住居跡1、平安時代竪穴 住居跡7・竪穴状遺構5・土坑4・溝跡2、 中世以降掘立柱建物跡1・土坑17・溝跡 2	土地区画整理 (盛南開発)	県埋文	県308集		
		5	H9	本調査	本宮字熊堂31-1	2,910	1997.8.18~ 1997.10.15	奈良時代竪穴住居跡2、平安時代竪穴 住居跡4・溝跡2、近世以降土坑1	土地区画整理 (都市計画道路)	県埋文	県293集		
		8	H11	本調査	向中野字千刈田4-6他	1,289	1999.5.10~ 1999.6.30	古代以降溝跡5・遺物包含層	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書		
		9	H12	本調査	本宮字野古62	186	2000.5.18~ 2000.5.31	なし	土地区画整理 (盛南開発)	県埋文	県370集		
		10	H12	本調査	本宮字稲荷1他	3,235	2000.4.14~ 2000.6.16	縄文時代陥し穴1、奈良時代竪穴住居 跡4・土坑2、平安時代溝跡1、古代土坑 6・溝跡3	土地区画整理 (都市計画道路)	県埋文	県377集		
		11	H12	本調査	本宮字熊堂36-1他	660	2000.5.1~ 2000.5.17	平安時代竪穴状遺構1・溝跡2、焼土遺 構1	土地区画整理 (国道)	県埋文	県370集		
		12	H12	本調査	向中野字千刈田4-1他	1,663	2000.10.20~ 2000.11.29	平安時代竪穴住居跡5・柱穴・遺物包含 層	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書		
		野古A	ONK	6	H5	本調査	下鹿妻字北52	550	1993.10.04~ 1993.10.29	奈良時代竪穴住居跡1、平安時代竪穴 住居跡1・掘立柱建物2、古代竪穴住居 跡1・土坑11・溝跡1・円形周溝1・竪穴状 遺構1・柱穴	住宅新築 (区画整理区内)	市教委	本書
				6補	H6	本調査	下鹿妻字小林45-3		1994.8.17~ 1994.9.13				
7	H6			試掘確認	本宮字野古53-3他	2,602 (対象10,878)	1994.11.7~ 1994.12.9	古代土坑・溝跡・柱穴	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書		
8	H8			試掘確認	下鹿妻北32-1他	4,442 (対象29,955)	1996.4.8~ 1996.4.16	古代竪穴住居跡・土坑・溝跡・柱穴	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書		
9	H9			本調査	本宮字野古46-1他	11,087	1997.5.29~ 1997.6.30	平安時代土坑3・溝跡3	土地区画整理 (盛南開発)	県埋文	県282集		
10	H9			本調査	本宮字野古50-4他	1,700	1997.7.1~ 1997.7.31	平安時代土坑1・溝跡1	土地区画整理 (都市計画道路)	県埋文	県282集		
11	H12			本調査	下鹿妻字北44-1他	1,080	2000.8.21~ 2000.9.30	奈良時代竪穴住居跡3、平安時代竪穴 住居跡4、古代土坑2・溝跡7	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書		
飯岡沢田	ISD	1	H7	試掘確認	下鹿妻字北地内	384 (対象2,197)	1995.9.21~ 1995.9.22	なし	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書		
		2	H8	試掘確認	飯岡新田1地割79-2他	2,965 (対象31,649)	1996.10.28~ 1996.11.1	古代竪穴住居跡・土坑・溝跡・柱穴	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書		
飯岡才川	ISW	1	H8	試掘確認	飯岡新田2地割80他	5,672 (対象42,195)	1996.7.24~ 1996.8.2 1996.11.5~ 1996.11.11	古代竪穴住居跡・土坑・溝跡・円形周 溝・焼土	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書		
		2	H10	本調査	飯岡新田2地割1-2他	5,600	1998.4.8~ 1998.6.15	縄文時代陥し穴3、近世掘立柱建物跡 1・溝跡7	県施設建設 (区画整理区内)	県埋文	県311集		
		3	H12	本調査	飯岡新田2地割110-1他	1,582	2000.7.17~ 2000.11.29	平安時代竪穴住居跡8・竪穴状遺構4・ 掘立柱建物跡4・土坑23・溝跡8・円形周 溝2、近世土坑墓3	土地区画整理 (盛南開発)	県埋文	県393集		
		4	H12	本調査	飯岡新田2地割110-1他	288	2000.8.1~ 2000.8.14	平安時代土坑2・溝跡2	土地区画整理 (都市計画道路)	県埋文	県370集		

※注：本宮熊堂A遺跡と本宮熊堂B遺跡については、両遺跡を通した一連の調査回数となっている。

第1表 盛南地区遺跡群発掘調査一覧表〔平成5～12年度〕(1)

遺跡名	略号	回数	年度	調査方法	所在地	面積	期間	遺構・遺物	調査原因	調査主体	報告書
向中野館	OMN	1	H7	試掘確認	飯岡新田2地割才川地内	991 (対象3,762)	1995.9.25~ 1995.9.29	古代竪穴住居跡・土坑・溝跡・柱穴	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		2	H8	試掘確認	飯岡新田2地割126-2他	110 (対象880)	1996.11.14~ 1996.11.15	古代竪穴住居跡・土坑・遺物包含層	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		3	H10	本調査	飯岡新田2地割124-1他	2,944	1998.5.19~ 1998.8.7	平安時代竪穴住居跡10, 中世土坑9・溝跡3	土地区画整理 (盛南開発)	県埋文	県338集
		4	H10	本調査	飯岡新田2地割124-1他	911	1998.5.19~ 1998.8.7	平安時代竪穴住居跡5, 中世土坑4・堀跡4	土地区画整理 (都市計画道路)	県埋文	県321集
遺跡名	略号	回数	年度	調査方法	所在地	面積	期間	遺構・遺物	調査原因	調査主体	報告書
細谷地	OHY	2	H8	試掘確認	向中野字細谷地40-11他	975 (対象13,576)	1996.11.14~ 1996.11.15	古代竪穴住居跡・土坑・溝跡	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		3	欠番	—	—	—	—	—	—	—	—
		4	H12	本調査	飯岡新田2地割71-10他	9,147 (5次調査含む)	2000.6.14~ 2000.11.8	縄文時代陥し穴23, 平安時代竪穴住居跡39・掘立柱建物跡, 近世掘立柱建物跡2他(5次調査含む)	土地区画整理 (盛南開発)	県埋文	県414集
遺跡名	略号	回数	年度	調査方法	所在地	面積	期間	遺構・遺物	調査原因	調査主体	報告書
矢盛	IYM	2	11	本調査	飯岡新田4地割1-2	131	1999.8.26~ 1999.9.2	近世以降柱列跡1・溝跡3・柱穴3	住宅新築 (区画整理区内)	市教委	本書
遺跡名	略号	回数	年度	調査方法	所在地	面積	期間	遺構・遺物	調査原因	調査主体	報告書
南仙北	OMS	12	H6	本調査	南仙北2丁目68-1	387	1994.6.7~ 1994.6.17	平安時代竪穴住居跡1・土坑3・溝跡1, 古代土坑3	住宅新築	市教委	市年報
		13	H6	本調査	南仙北2丁目66-2	290	1994.10.13~ 1994.10.28	平安時代竪穴住居跡4, 中世溝跡1	住宅新築	市教委	市年報
		14	H6	本調査	南仙北2丁目226-8他	1,060	1994.12.5~ 1994.12.8	古代溝跡3・土坑1・柱穴1	宅地造成	市教委	市年報
		15	H7	本調査	南仙北2丁目109-4他	77	1995.8.8~ 1995.8.11	縄文時代陥し穴跡1, 奈良時代竪穴住居跡1	住宅新築	市教委	本書
		16	H7	試掘確認	向中野字鶴子地内	1,445 (対象6,583)	1995.9.28~ 1995.10.6	古代土坑, 溝跡, 柱穴	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		17	H7	試掘確認	南仙北2丁目234-1	94 (対象423)	1995.12.19	古代竪穴住居跡・土坑・溝跡・柱穴	住宅新築	市教委	本書
		18	H7	試掘確認	南仙北2丁目414-2他	94 (対象423)	1996.3.7	なし	事務所増築	市教委	本書
		19	H8	本調査	南仙北2丁目101-1	対象1,200	1996.9.2~ 1996.9.11	近現代溝跡3	宅地造成	市教委	本書
		20	H8	試掘確認	南仙北2丁目101-3他	36 (対象574)	1996.5.27	なし	住宅増築	市教委	本書
		21	H8	試掘確認	南仙北2丁目4	80 (対象819)	1996.10.2~ 1996.10.4	なし	市道建設	市教委	本書
		22	H8	本調査	南仙北2丁目11-36	59	1996.11.11~ 1996.11.15	古代竪穴住居跡1	住宅新築	市教委	本書
		23	H8	試掘確認	向中野字鶴子25-4他	108 (対象1,480)	1996.11.20~ 1996.11.21	古代竪穴住居跡・土坑・溝跡	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		24	H8	試掘確認	南仙北2丁目11-38	7	1996.12.16	古代土坑1	住宅増築	市教委	本書
		25	H9	試掘確認	南仙北2丁目地内	160	1997.7.10~ 1997.7.24	なし	市道建設	市教委	本書
		26	H9	試掘確認	南仙北2丁目106-1・6	48 (対象558)	1998.2.16	なし	住宅新築	市教委	本書
		27	H10	本調査	南仙北2丁目78-1・2	346	1998.4.6~ 1998.4.17	古代以降掘立柱建物跡1, 土坑7, 溝跡4, 方形周溝1, 柱穴	住宅新築	市教委	本書
		28	H10	本調査	南仙北2丁目101-2他	732	1998.4.6~ 1998.4.13	縄文時代陥し穴1, 古代以降土坑3・溝跡3	住宅新築	市教委	本書
		29	H10	試掘確認	南仙北2丁目106-1・6	46 (対象120)	1998.4.14	なし	住宅新築	市教委	本書
		30	H10	本調査	南仙北2丁目235地先	362	1998.6.18~ 1998.7.30	奈良時代竪穴住居跡1, 古代竪穴住居跡1, 古代以降土坑1・溝跡3	公共下水道建設	市教委	本書
		31	H10	試掘確認	南仙北2丁目104他	517	1998.7.6~ 1998.7.10	古代溝跡3	住宅新築	市教委	本書
		32	H11	本調査	向中野字鶴子地内	550	1999.9.6~ 1999.9.30	平安時代溝跡2条, 古代以降土坑1・溝跡15	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		33	H11	試掘確認	南仙北2丁目229-31	46 (対象224)	1999.9.14	なし	住宅新築	市教委	本書
		34	H12	本調査	南仙北2丁目235-1他	82 (対象250)	2000.6.5	なし	住宅新築	市教委	本書
		35	H12	本調査	南仙北2丁目233-4	145	2000.6.8~ 2000.6.22	縄文時代陥し穴1, 奈良時代竪穴住居跡1, 古代土坑2・柱穴	住宅新築	市教委	本書
		36	H12	本調査	南仙北2丁目109-5	15	2000.8.21	なし	住宅増築	市教委	本書

第2表 盛南地区遺跡群発掘調査一覧表〔平成5～12年度〕(2)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RG070	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	赤褐色酸化鉄	-	粒状	10	中～硬	中～密	自然堆積土
	A2	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	赤褐色酸化鉄	-	粒状	40	中～硬	中～密	
	A3	7.5YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	40	硬	中～密	
			SiCLシルト質埴壤土	7.5YR4/4褐色	SiCL	-	20			
	A4	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	-	-	-	中～硬	中～密	
	A5	7.5YR3/1黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	2.5YR4/4にぶい赤褐色	-	φ2-5mm粒状	10	-	-	
	A6	7.5YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	赤褐色酸化鉄	-	極小粒状	40	中～硬	中～密	
	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	7.5YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	50	中	中	遺構壁崩落土
	B2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	7.5YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	30	-	-	
	B3	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	赤褐色酸化鉄	-	粒状	10	中	中	
	B4	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	7.5YR4/4褐色	-	-	50	中～硬	中～密	
	B5	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	赤褐色酸化鉄	-	φ1mm粒状	5	中～硬	密	
	B6	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	赤褐色酸化鉄	-	φ1mm粒状	15	中～硬	密	
	B7	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	赤褐色酸化鉄	-	粒状	30	中～硬	密	
	B8	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	5YR3/6暗赤褐色	-	φ1mm粒状	5	中～硬	中～密	
			SiCLシルト質埴壤土	7.5YR4/4褐色	-	φ1mm粒状	1	中～硬	中～密	
	B9	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	5YR3/6暗赤褐色	-	φ1mm粒状	1	中～硬	中～密	
	C1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	赤褐色酸化鉄	-	-	30	中～硬	密	水性堆積土
C2	7.5YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	7.5YR4/4褐色	-	-	5	中～硬	中～密		
C3	7.5YR1.7/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	-	-	-	-	中～硬	密		
RG071	A1	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	1	中～硬	中～密	
	B1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	-	-	-	中～硬	密	
	B2	-	-	-	-	-	-	-	-	
	B3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	-	-	-	中～硬	中～密	
	C1	7.5YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/2灰黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	25	中～硬	中～密	
RG072・073	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	7.5YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	10	中～硬	中～密	
	B1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	-	-	-	-	中～硬	中～密	
	C1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	-	-	-	中～硬	中～密	
RG074	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	-	-	-	-	中	中	
	A2	7.5YR1.7/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	-	-	-	-	中～硬	中～密	
	B1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	5	中～硬	中～密	
	B2	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	5	中～硬	中～密	
遺物包含層 中央トレンチ	C1	10YR1.7/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/3にぶい黄褐色	-	-	15	中	密	グライ化
	II a	7.5YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	-	粉状	5	硬	密	
	II b	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	-	-	-	-	中	中	
	II c	10YR1.7/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	-	-	-	-	中～硬	中～密	
	II d	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	-	-	-	中～硬	中～密	
	II e	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	-	-	-	中～硬	中～密	
	II f	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	-	-	-	中～硬	中～密	
	II g	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	-	-	-	中～硬	中～密	
	II h	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	-	-	-	中～硬	中～密	
	III a	10YR1.7/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	-	-	-	-	中	中	
	III b	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	-	-	-	中	中	
	IV a	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	-	-	-	中～硬	中～密	
	IV b	10YR1.7/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	-	-	-	-	中～硬	中～密	
IV c	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	-	-	10	中～硬	中		

第3表 本宮熊堂B遺跡第8次調査土層観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA027	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	20	中	中	
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	20	中	中	
	A3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	30	中	密	
	A4	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	20	中	中	
	A5	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	中	中	
	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	20	中	密	煙道埋土
	B2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	20	中	中	
	J1	7.5YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	7.5YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	20	中	中	
	J2	7.5YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	5YR5/8明赤褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5	中	密	カマド崩壊土
	J3	5YR4/4いぶい赤褐色	SiCLシルト質埴壤土	5YR4/8赤褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	20	中	密	
	J4	5YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	5YR3/2暗赤褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	30	中	中	
	J5	7.5YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	7.5YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	20	硬	密	
	K1	5YR3/2暗赤褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	20	中	中	
K2	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	40	中	密	カマド構築土	
K3	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	20	軟	中		
L	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	7.5YR5/6明褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	20	中	中	床構築土	
RA027Pit1	A	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	—	塊状	20	中	密	貯蔵穴埋土
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA028	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	30	中	中	
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	20	中	密	
	B1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	80	中	密	
	B2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	30	中	密	
	B3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	40	中	密	
L	10YR2/3黒褐色	SiLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	30	中	密	床構築土	
RA028Pit1	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	20	中	中	柱痕跡
	B1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	中	密	礫多く含む
RA028Pit2	C1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	7.5YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	20	中	中	
	C2	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	中	粗	
RA028Pit3	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	中	中	柱痕跡
	B1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	中	密	
RA028Pit4	A1	—	—	—	—	—	—	—	—	
	B1	—	—	—	—	—	—	—	—	※注記罹災
	B2	—	—	—	—	—	—	—	—	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA029	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	硬	密	
				白色火山灰		粒~塊状	10			
	B1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	7.5YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	中	密	
	B2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	7.5YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	30	軟~中	中	
				5YR4/4いぶい赤褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5			
	B3	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	軟~中	中	煙道埋土
	B4	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	20	軟	中	
B5	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	中	中		
L	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	20	中	密	床構築土	
RA029Pit1	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	20	中	密	
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	2	中	密	柱痕跡
	A3	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	15	軟	粗	
	A4	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	20	軟	粗	
	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	30	中	密	
	B2	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	30	軟	中	
RA029Pit2	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	中	密	
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	中	密	柱痕跡
	A3	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	20	軟	中	
	B1	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	30	中	中	
	B2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	30	軟	粗	
RA029Pit3	C1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	20	中	密	
	C2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	20	中	中	
	C3	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	30	軟	中	貯蔵穴埋土
RA029Pit4	D1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	20	中	中	

第4表 本宮熊堂B遺跡第12次調査土層観察表(1)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA030	A1	10YR5/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	20	-	-	b期埋土
				白色火山灰		粒~塊状	-			
	B1	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	30	-	-	a期埋土
				白色火山灰		粒~塊状	-			
	B2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	30	-	-	
	B3	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	20	中	中	
	J1	5YR3/3暗赤褐色	SiCLシルト質埴壤土	5YR5/6明赤褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	中	中	a期カマド崩壊土
	J2	5YR3/2暗赤褐色	SiCLシルト質埴壤土	5YR5/6明赤褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	中	密	
	J3	7.5YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	5YR3/2暗赤褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	20	中	密	
	C1	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	硬	密	b期煙道埋土
C2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	5YR3/2暗赤褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	30	中	中		
C3	7.5YR4/2灰褐色	SiCLシルト質埴壤土	7.5YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	20	硬	密		
C4	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	7.5YR4/2灰褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	30	中	密		
L	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	20	-	-	a期床構築土	
RA030Pit3	A1	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	-	-	-	b期貯蔵穴埋土
	A2	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	-	-	-	
	A3	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	-	-	-	-	-	
	A4	-	-	-	-	-	-	-	-	※注記罹災
RA030Pit12	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	30	中	密	a期貯蔵穴埋土
	A2	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	中	中	
RA030Pit13	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	中	密	周溝板痕跡
	B1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	15	硬	密	周溝埋土
RA030Pit14	A1	-	-	-	-	-	-	-	-	※注記罹災
	A2	-	-	-	-	-	-	-	-	
RA030Pit20	A1	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	20	軟	中	a期貯蔵穴埋土
				10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	15			
	A2	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	15	軟	粗	
				10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	15			
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA031	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	20	中	中	カマド崩壊土
	B1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	20	中	密	
	J1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	7.5YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	20	中	粗	
	J2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	5YR5/8明赤褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	30	中	中	
	L1	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	中	密	
	L2	10YR5/6黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	30	中	密	
RA031Pit1	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	7.5YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	30	軟	粗	貯蔵穴埋土
	A2	5YR4/4にぶい赤褐色	SiCLシルト質埴壤土	7.5YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	30	中	中	
				10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	20			
A3	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	中	中		
RA031Pit2	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	軟	粗	貯蔵穴埋土
				10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5			
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
P1	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5	軟	粗	柱痕跡
	B1	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	中	中	
	B2	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	中	中	
	B3	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	中	密	
遺物包含層	II a	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	3	中	密	遺物出土
				白色火山灰		粒状	5			
	II b	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	-	硬	密	
				白色火山灰		粉~粒状	1			
	III a	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	1	硬	密	遺物出土なし
	III b	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	φ3~5cm塊状	10	中	密	
	III c	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	φ5~8cm塊状	40	中	密	
				10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	φ3~5cm塊状	5			
	III d	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	1	中	密	
	III e	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	1	中	密	
IV a	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	φ3~4cm塊状	40	硬	密		
IV b	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	硬	密		

第5表 本宮熊堂B遺跡第12次調査土層観察表(2)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA005	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	20	中~硬	粗~中	礫少し含む
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	中~硬	粗~中	
	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~大塊状	40	中~硬	粗~中	礫多量に含む
	B2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	10	軟~中	中~密	
	B3	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	軟~中	中~密	やや粘性あり
	B4	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~大塊状	50	中~硬	粗	礫多量に含む
	B5	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	40	中~硬	粗	
	C1	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	軟~中	中~密	
	J0	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	中~硬	中~密	煙道堆積土
	J1	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	20	中~硬	中~密	
	J2	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	40	中~硬	中~密	
	J3	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	50	軟~中	粗	
	J4	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	40	軟~中	粗	
	J5	5YR4/4にぶい赤褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	40	中~硬	密	カマド崩壊土
	J6	5YR3/4暗赤褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	小粒状	10	軟~中	粗~中	
	J7	5YR4/4にぶい赤褐色	SiCLシルト質埴壤土	7.5YR3/3暗褐色	SiLシルト質壤土	粒状	20	軟~中	粗~中	
	J8	5YR3/4暗赤褐色	SiCLシルト質埴壤土	7.5YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	小粒状	10	軟~中	粗~中	
	Ja	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	20	中~硬	中~密	煙道天井崩壊土
	Jb	10YR5/8黄褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	5	中~硬	中~密	
	K1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	20	中~硬	粗	カマド構築土
K2	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	—	中~硬	中~密		

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA006	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	15	硬	密	
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	2	硬	密	
	A3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	硬	密	
	A4	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	20	硬	密	
	A5	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	15	硬	密	
	A6	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/4にぶい黄褐色	白色火山灰	粒状	15	軟~中	中~密	
	A7	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒状	15	軟~中	中~密	
	A8	10YR2/1黒色	SiLシルト質壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	軟~中	中~密	
	A9	10YR2/3黒褐色	SiLシルト質壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	軟~中	中~密	
	A10	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	20	軟~中	中~密	
	B1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	15	硬	密	
	B2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	2	硬	密	
	B3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	15	硬	密	
	B4	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	7	硬	密	
	B5	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	—	5	硬	密	
	B6	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	2	硬	密	

第6表 野古A 遺跡第6次調査土層観察表(1)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA006	C1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	7. 5YR2/3極暗褐色	焼土	粉状	20	中～硬	中～密	
				炭化材		多く含む				
	C2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	5YR4/6赤褐色	焼土	含む		中～硬	中～密	
				10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉～粒状	10			
	C4	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	小塊状	20	軟～中	中～密	
				焼土・炭化物		多く含む				
	C5	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	塊状	40	軟～中	中～密	
	D1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	—		硬	密	
	D2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	—		—	密	
	D3	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	5	硬	密	
	D4	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	10	硬	密	
				10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉～粒状	5			
	D5	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	20	中～硬	中～密	
	D6	10YR1.7/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	—	5	中～硬	中～密	
	D7	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	50	軟～中	粗～中	
	D8	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	—	10	軟～中	中～密	
	J1	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	小塊状	10	中～硬	中～密	
	J2	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	小塊状	15	中～硬	中～密	
	J3	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	中～硬	中～密	
				焼土		—	20			
J4	5YR3/4暗赤褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	中～硬	中～密		
			焼土・炭化物		多く含む					
J5	7. 5YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒状	20	中～硬	中		
			焼土・炭化物		多く含む					
J6	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	中～硬	中～密		
			焼土		—	20				
J7	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	—	中～硬	粗～中		
			焼土		少し含む					
K1	—	シルト	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒～塊状	—	—	—		
K2	—	シルト	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒～塊状	—	—	—		
			5YR4/4にぶい赤褐色	—	塊状	—				
K3	7. 5YR2/3極暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒状	30	軟～中	粗～中		
			炭化物		含む					
K4	5YR2/3極暗赤褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	軟～中	密		
			焼土・炭化物		多く含む					
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA006Pit1	A1	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒状	20	軟～中	粗～中	
				焼土・炭化物		多く含む				
	A2	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	軟	粗	
				焼土・炭化物		多く含む				
	B1	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	—	20	硬	中～密	
B2	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	—	10	硬	中～密		
B3	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	—	10	硬	中～密		
RA006Pit2	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉～粒状	15	中	中	
RA006Pit3	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	5	中	中	
				焼土・炭化物		含む				
B1	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5	中～硬	中～密	
				10YR4/4褐色	焼土	塊状	10			
RA006Pit4	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	中	中	
				焼土・炭化物		多く含む				
RA006Pit5	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	—	5	—	—	
				5YR4/6赤褐色	焼土	粒状	5			
	B1	5YR4/6赤褐色	焼土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉～粒状	—	硬	密	
C1	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	10YR4/6褐色	—	—	—	硬	密		

第7表 野古A遺跡第6次調査土層観察表(2)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA006Pit6	A1	5YR4/6赤褐色	焼土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	10	硬	密	貯蔵穴
				10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10			
				炭化物・土器		多く含む				
	B1	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5	硬	密	
				炭化物		含む				
	B2	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	2	硬	密	
5YR4/6赤褐色				焼土	塊状	10				
RA006Pit7	A1	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	5	硬	密	貯蔵穴
				焼土・炭化物		含む				
RA006Pit8	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	10	硬	密	
	A2	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	2	硬	密	
RA006Pit9	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	20	硬	密	
	A2	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	硬	密	
RA006Pit10	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	10	中~硬	中~密	
				炭化物		含む				
RA006Pit11	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	5	中	中	
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	30	中~硬	中~密	
	A3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	5	中	中	
	A4	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	30	中~硬	中~密	
RA006Pit12	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	2	硬	密	貯蔵穴
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	5	硬	密	
	A3	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	5	硬	密	
RA006Pit13	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	10	硬	密	
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	5	硬	密	
RA006Pit14	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	硬	密	
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	20	硬	密	
RA006Pit15	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	硬	密	
				焼土粒		含む				
	B1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	30	硬	密	
B2	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	5	硬	密		
RA006Pit16	A1	-	-					-	-	※注記罹災
RA006Pit17	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	炭化物		含む		中~硬	中~密	
RA006Pit18	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	10	硬	密	貯蔵穴
RA006Pit19	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5	硬	密	
				10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5			
RA006Pit20	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	硬	密	貯蔵穴
				炭化物・土器		多く含む				
				A2	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色			
	炭化物・土器		多く含む							
	A3	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	5	硬	密	
				炭化物・土器		多く含む				
B1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	中~硬	中~密		
B2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	40	硬	密		
RA006周溝	E1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	15	硬	密	
	E2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	10	硬	密	
	E3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	硬	密	
	E4	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	5	硬	密	
	E5	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	20	硬	密	
	E6	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	2	硬	密	
				焼土粒・炭化物		含む				
	E7	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	10	硬	密	
	E8	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	硬	密	
				焼土・炭化材		含む				
	E9	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	中~硬	中~密	
	E10	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	硬	密	
E11	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	10	硬	密		
E12	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	硬	密		
			焼土・炭化材		含む					

第8表 野古A遺跡第6次調査土層観察表(3)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RB001柱穴1	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	—	—	—	—	—	—	柱痕跡
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	—	—	—	—	—	—	
	B1	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	—	—	—	—	—	—	
	B2	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	—	—	—	—	—	—	
RB001柱穴2	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	中～硬	中～密	
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	中～硬	中	
RB001柱穴3	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	中	中～密	
	A2	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	中	中～密	
RB001柱穴4	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	軟～中	粗～中	柱痕跡
	A2	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	40	軟～中	粗	
	B1	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	小塊状	20	中	中	
	B2	10YR2/3黒褐色	SiLシルト質壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	中	中	
RB002柱穴1	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	—	—	—	—	柱痕跡
	B1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	—	—	—	—	
	B2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	—	—	—	—	
	B3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	—	—	—	—	
RB002柱穴2	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	20	硬	密	
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	白色火山灰	粉状	5	硬	密		
RB002柱穴3	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉～粒状	10	硬	密	
	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	白色火山灰	粉状	5	硬	密		
RB002柱穴4	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉～粒状	15	中～硬	中～密	
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	白色火山灰	粉状	5	硬	密		
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RD002	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	中～硬	中～密	
	A2	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	塊状	30	中～硬	中～密	
RD003	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	塊状	30	中～硬	粗～中	礫多く含む
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	中～硬	粗～中	
	B1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	中～硬	粗～中	
	C1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	小塊状	30	中～硬	粗～中	
	D1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	軟～中	中～密	
	D2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	軟～中	中～密	
RD004	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	軟～中	中～密	礫やや多く含む
	A2	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	軟～中	中～密	
	A3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	軟～中	中～密	
RD005	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	軟～中	中～密	
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	白色火山灰	やや多く含む	5	軟～中	中～密		
	A3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	—	5	中～硬	中～密	
	A4	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	白色火山灰	粒状	10	中～硬	中～密		
	A5	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	—	20	中～硬	中～密	
RD006	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	粒状	—	軟～中	中～密	
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	小粒～小塊状	—	軟～中	中～密	
RD007	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒～小塊状	5	軟～中	中～密	
	A2	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	軟～中	中～密	
RD008	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	粒状	30	軟～中	中～密	
	B1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒～塊状	—	軟～中	中～密	
	B2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	小塊状	—	軟	密	

第9表 野古A遺跡第6次調査土層観察表(4)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他				
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%							
RD009	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	硬	密	土器多く含む				
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10							
	A3	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	20							
	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	2							
	B2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	10							
	C1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	30							
	C2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	20							
	C3	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	小粒状	5							
	C4	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	10							
	C5	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	10							
	C6	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	30							
	C7	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	5							
	C8	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	5							
				10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	塊状	5							
RD010	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	—	—	人為堆積				
	B1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5	—	—					
	B2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	—	—					
	B3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5	—	—					
	B4	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	—	—					
	B5	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5	—	—					
RD011	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	5	硬	密					
					炭化物	多く含む								
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	5							
				10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	5							
	B1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	15	硬	密					
RD012	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	硬	密	小礫含む				
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	15							
					10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状				5			
	B1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	10							
	B2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	30	硬	密					
RG001	A1	—	—					—	—	※注記罹災				
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他				
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%							
RX001	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	5	硬	密					
					10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状				5			
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10							
					10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状				5			
	A3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10							
					10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状				10			
	A4	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	—	—				硬	密		
	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5				硬	密		
					10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状				2			
	B2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10				硬	密		
				10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5							
	C1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	30	硬	密					
RZ001	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	硬	密					
					10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状				2			
					白色火山灰	少し含む								
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	5				硬	密		
	A3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	5				硬	密		
					10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状				5			
	A4	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5				硬	密		
					10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状				15			
A5	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	硬	密						
	A6	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	5	硬	密					
	A7	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	15	硬	密					
				10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10							
	A8	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	20	硬	密					

第 10 表 野古 A 遺跡第 6 次調査土層観察表 (5)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RZ001	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	硬	密	人為堆積
				白色火山灰		少し含む				
	B2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	10	硬	密	
				白色火山灰		少し含む				
	B3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	15	硬	密	
				焼土・炭化物		少し含む				
	B4	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	中~硬	中~密	
	B5	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~小塊状	10	硬	密	
				白色火山灰		少し含む				
	C1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5	硬	密	
				10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	10			
				白色火山灰		少し含む				
	C2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	20	硬	密	
				10YR3/3暗褐色	SiLシルト質壤土	塊状	10			
	C3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	30	硬	密	
	C4	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	40	硬	密	
	C5	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	硬	密	
	C6	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	20	硬	密	
	C7	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	10	硬	密	
	C8	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	硬	密	
	C9	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5	硬	密	
				10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	30			
	C10	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	10	硬	密	
				10YR5/4にぶい黄褐色	粘土	粒状	2			
	C11	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	20	硬	密	
	C12	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	10	硬	密	
	C13	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	40	硬	密	
	C14	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	20	硬	密	
	C15	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	30	硬	密	
	C16	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	15	硬	密	
	C17	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	硬	密	
	C18	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	2	硬	密	
10YR4/6褐色				SiLシルト質壤土	粉~粒状	10				
C19	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	15	硬	密		
			10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	20				
C20	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	硬	密		
			10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10				
C21	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	2	硬	密		
			10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	15				
C22	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	塊状	10	硬	密		
C23	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	10	硬	密		
			10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	10				
C24	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	30	硬	密		
C25	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	40	硬	密		
C26	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	30	硬	密		
C27	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	5	硬	密		
C28	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	15	硬	密		
C29	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	20	硬	密		
C30	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	40	硬	密		
C31	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	塊状	30	硬	密		
C32	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	硬	密		
D1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	2	硬	密		
			10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	2				
D2	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	小粒状	2	硬	密		
D3	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	5	硬	密		
D4	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	2	硬	密		
D5	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	2	硬	密		
D6	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	10	硬	密		
			10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	2				
D7	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	塊状	5	硬	密		

第 11 表 野古 A 遺跡第 6 次調査土層観察表 (6)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他	
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%				
RZ001	E1	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	硬	密	人為堆積	
				10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉～粒状	5				
				酸化鉄化木根		含む					
	E2	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10				
				10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉～粒状	10				
				酸化鉄化木根		含む					
	E3	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10				
				10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉～粒状	30				
				酸化鉄化木根		含む					
	E4	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10				
				10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉～粒状	5				
				酸化鉄化木根		含む					
L1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	粉～粒状	5	硬	密	床構築土		
			10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	5					
			10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	塊状	20					
			10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	10					
RZ001Pit	F1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	中～硬	中～密		
	F2	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	中～硬	中～密		
				10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5				
F3	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	—	SiLシルト質壤土	粉～粒状	20	中～硬	中～密			
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他	
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%				
P1	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	中～硬	中～密		
	白色火山灰				粉状						
P2	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5	硬	密		
	白色火山灰				粉状						
P3	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	—	—	—	—		
	B1			10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	—	—				—
	B2			10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	—	—				
	B3			10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	—	—				
P4	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉～粒状	10	中～硬	中～密		
				白色火山灰		粉状					
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	2				硬
10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土			塊状	2						
P5	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	硬	密		
				10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	2				
	A2	炭化物		含む							
P6	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	中～硬	中～密		
P7	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	25	硬	密	礫多く含む	
	B1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	5	硬	密	柱痕跡	
				白色火山灰		粒状					
B2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	硬	密			
B3	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SiLシルト質壤土	粉状	5	中～硬	中～密			

第 12 表 野古 A 遺跡第 6 次調査土層観察表 (7)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%			
RC001柱穴1	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	20	中～硬	中～密	柱痕跡
	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	20	中～硬	中～密	
	B2	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	20	中～硬	中～密	
	B3	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	30	中～硬	中～密	
RC001柱穴2	B1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	40	中～硬	中～密	
RC001柱穴3	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	10	-	粗	柱痕跡
	B1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	10	中～硬	中～密	
	B2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	30	中～硬	中～密	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
土色(JIS)	土性(略号)	土色(JIS)	土性(略号)	状態	%					
RG002	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/8明黄褐色	SiLシルト質埴壤土	粒状	1	中	中	
				炭化物		少し含む				
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/8明黄褐色	SiLシルト質埴壤土	粒状	5	中	中	
				炭化物		少し含む				
	A3	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒～塊状	10	中	中	
	A4	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒～塊状	20	中	中	
	A5	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒～塊状	20	軟	粗	
			SiCLシルト質埴壤土	10YR6/8明黄褐色	SiLシルト質埴壤土	粒～塊状	10			
	B1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/8黄褐色	SiLシルト質埴壤土	粒～塊状	10	軟	中	
B2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/8黄褐色	SiLシルト質埴壤土	粒～塊状	15	軟	中		
B3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/8黄褐色	SiLシルト質埴壤土	粒～塊状	20	軟	中		
B4	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/8黄褐色	SiLシルト質埴壤土	粒～塊状	30	軟	中		
RG003	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	20	硬	密	
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	30	硬	密	
	B1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/8明黄褐色	SiLシルト質埴壤土	粒状	1	硬	密	
	B2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/8明黄褐色	SiLシルト質埴壤土	粒状	5	硬	密	
	B3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/8明黄褐色	SiLシルト質埴壤土	粒状	5	中	中	
	B4	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/8明黄褐色	SiLシルト質埴壤土	粒～塊状	10	中	中	
	B5	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/8明黄褐色	SiLシルト質埴壤土	粒～塊状	5	中	中	
	B6	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/8明黄褐色	SiLシルト質埴壤土	粒～塊状	20	中	中	
	B7	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/8明黄褐色	SiLシルト質埴壤土	粒～塊状	30	軟～中	粗～中	
B8	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/8明黄褐色	SiLシルト質埴壤土	粒状	1	軟～中	粗～中		
B9	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/8明黄褐色	SiLシルト質埴壤土	粒～塊状	20	中	中		

第13表 矢盛遺跡第2次調査土層観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RD114	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	10	硬	密	
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	5	硬	密	
RD115	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	5	硬	密	
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	5	硬	密	土器出土
	B1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	20	硬	密	
RD116	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	5	硬	密	
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	5	硬	密	
	B1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	20	硬	密	
				白色火山灰		上面に含む				
RD117	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※注記罹災
RD118	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	1	中	中	
	A2	10YR3/2暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	20	中	中	
RD119	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	2	硬	密	
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	2	硬	密	
	A3	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	5	硬	密	
	B1	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	20	硬	密	
RD120	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	2	硬	密	
				焼土・炭化物		少し含む				
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	5	硬	密	
				焼土・炭化物		少し含む				
	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	2	硬	密	
	B2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	5	硬	密	
B3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	5	硬	密		
C1	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	30	硬	密		
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%					
RG115	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	2	硬	密	
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	5	-	-	
RG116	A2	-	-	-	-	-	-	-	-	※注記罹災
RG117	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	2	硬	密	
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉~粒状	5	硬	密	
	B2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	20	硬	密	
RG118	A1	-	-	-	-	-	-	-	-	※注記罹災
	B1	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5	硬	密	
RG119	A1	-	-	-	-	-	-	-	-	※注記罹災
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	5	硬	密	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%					
P11	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	-	-	-	-	-	柱痕跡
	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	-	-	-	-	-	
	B2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	-	-	-	-	-	
	B3	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	-	-	-	-	-	-	
P12	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	2	硬	密	
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	5	硬	密	
P13	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	15	硬	密	柱痕跡
	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	5	硬	密	
P14	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	10	硬	密	
P15	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	10	硬	密	
P16	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	10	硬	密	
P17	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	5	硬	密	
	A2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	20	硬	密	
P19	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	硬	密	焼土少し含む
	A2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	20	硬	密	
	A3	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	30	硬	密	
P20	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	15	硬	密	
P21	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	10	硬	密	
P22	A1	10YR3/2暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	20	中	密	柱痕跡
	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/2暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	硬	密	
	B2	10YR3/2暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	10	硬	密	
				10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	5			
P25	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉~粒状	5	硬	密	柱痕跡
	B1	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	40	硬	密	
P26	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	10	硬	密	
P27	A1	-	-	-	-	-	-	-	-	※注記罹災
P29	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	5	硬	密	
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	20	硬	密	
P30	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	硬	密	柱痕跡
	B1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	塊状	20	硬	密	
P31	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	10	硬	密	
P32	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	10	硬	密	

第14表 南仙北遺跡第27次調査土層観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RD121	A1	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	CL埴壤土	塊状	30	軟~中	粗~中	φ1cm小石含む
	A2	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	中~硬	中	
	B1	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	CL埴壤土	粉状	40	中~硬	中	
	B2	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/4にぶい黄褐色	CL埴壤土	粒状	30	中	中	
	C1	10YR4/4褐色	CL砂壤土						軟	粗
RD122	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	中	粗~中	
	B1	10YR6/4にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	20	中	中	
RD123	A1	—	—	—	—	—	—	—	—	※注記罹災
	A2	—	—	—	—	—	—	—	—	
	B1	—	—	—	—	—	—	—	—	
	B2	—	—	—	—	—	—	—	—	
RD124	A1	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5~10	軟~中	粗~中	φ0.5cm小石含む
	A2	10YR4/4褐色	SC砂質埴土	10YR4/6褐色	CL埴壤土	粒~塊状	10	中	中	
	B1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SC砂質埴土	粒状	10	中	中	
	B2	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5~10	軟~中	粗~中	
	C1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10~20	中	中	
	D1	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	CL埴壤土	粒~塊状	30~40	中	粗~中	
	D2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	20~30	中	中	
	D3	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	30~40	軟~中	粗~中	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RG120	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	5	硬	中~密	
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	2	硬	密	
	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	硬	密	
	B2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒~塊状	30	硬	密	
	C1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	粒状	30	硬	密	
RG121	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	CL埴壤土	粒~塊状	10~20	軟~中	粗~中	砂・小石やや多く含む
	A2	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	5~10	軟~中	粗~中	小石やや多く含む
	B1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土					中	粗	砂礫・粘土含む
	B2	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土					中~硬	粗~中	
RG122	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	10	軟~中	粗~中	
	B1	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	30	中	中	
	C1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	10~20	軟~中	粗~中	
	C2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒~塊状	20~30	軟~中	粗~中	
	D1	10YR4/3にぶい黄褐色	SiCLシルト質埴壤土					中	中	やや粘性あり

第 15 表 南仙北遺跡第 28 次調査土層観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA3001	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土					中	—	
	A2	10YR1.7/1黒色	SiCLシルト質埴壤土					中	—	
	A3	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土					中	—	
	A4	—	—					—	—	
	A5	—	—					—	—	※注記罹災
	J1	—	—					—	—	
	L	10YR3/3暗褐色	SiCシルト質埴土	10YR2/2黒褐色		粉状	5	中	中	床構築土
				10YR4/4褐色	粉状	20				
RA3002	A1	—	—					—	—	※注記罹災
	A2	—	—					—	—	
	B1	—	—					—	—	
RG3003	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色		小粒状	5	中	中	
				10YR2/1黒色		小粒状	5			
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色		小粒状	5	中	中	
				10YR2/1黒色		小粒状	10			

第 16 表 南仙北遺跡第 30 次調査土層観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RG3101	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色		粒状	17	中	粗～中	礫含む
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色		粒状	70	中	粗～中	
	A3	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色		粒状	10	中	粗～中	
	A4	10YR2/3黒褐色	SL砂壤土							
RG3102	B1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色		小粒状	7	中	粗～中	
	B2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色		粒状	50	中	粗～中	
	B3	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色		粒状	3	中	粗～中	
	B4	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色		粒状	80	中	粗～中	
	B5	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色		粒状	5	中	粗～中	グライ化
RG3102Pit	C1	10YR2/1黒色	SL砂壤土	10YR2/2黒褐色		粉状	30	軟	粗～中	
RG3103	D1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色		粉～粒状	30	中	粗～中	
	D2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色		粉～粒状	5～10	中	粗～中	
	D3	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色		粉～粒状	5～10	中	粗～中	
	D4	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色		粉～粒状	10～20	中	粗～中	
	D5	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色		粉～粒状	5～10	中	粗～中	
	D6	10YR1.7/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色		粉～粒状	5	中	粗～中	
	D7	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色		粉～粒状	10～30	中	粗～中	
	D8	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色		粉～粒状	10	中	粗～中	
	E1	10YR4/3にぶい黄褐色	SiLシルト質埴土	10YR2/2黒褐色		粉～粒状	10～30	中	中～密	
	E2	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色		粉～粒状	30	中	中～密	
E3	10YR4/6褐色	SiCシルト質埴土	10YR4/3にぶい黄褐色		粉～粒状	20	中	中～密		
RG3103Pit	F1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/3にぶい黄褐色		粉～粒状	5	中	中	

第 17 表 南仙北遺跡第 31 次調査土層観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RD128	A1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RG130	A1	7.5YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	7.5YR2/1黒色	SL砂壤土	—	20	中～硬	中～密	—
	A2	7.5YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	—	—	—	—	中～硬	密	—
	A3	7.5YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	7.5YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	—	30	中～硬	中～密	—
	A4	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR1.7/1黒色	SL砂壤土	—	20	中～硬	中～密	—
				10YR7/2にぶい黄橙色	SiLシルト質壤土	—	10			
	B1	10YR2/1黒色	SL砂壤土	7.5YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	—	10	中～硬	中～密	—
	B2	10YR3/1黒褐色	SiLシルト質壤土	—	—	—	—	中～硬	中～密	グライ化
B3	10YR2/2黒褐色	SL砂壤土	—	—	—	—	中	中	—	
RG131	A1	10YR2/3黒褐色	SiLシルト質壤土	10YR4/6褐色	SL砂壤土	—	40	—	—	—
	A2	10YR2/2黒褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SL砂壤土	—	20	—	—	—
	A3	7.5YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	—	—	—	—	—	—	グライ化
	B1	10YR3/1黒褐色	S砂土	—	—	—	—	—	—	グライ化
RG132	A1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RG133	A1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RG134	A1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RG135	A1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RG136	A1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RG137	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR1.7/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	—	15	中～硬	中～密	—
RG138	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SL砂壤土	小塊状	20	中～硬	中～密	グライ化
	A2	10YR1.7/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiLシルト質壤土	小粒状	5	硬	密	—
	A3	7.5YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SL砂壤土	—	10	硬	密	—
	A4	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色	SL砂壤土	—	30	硬	密	グライ化
RG139	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	粒状	10	中	中	—
	A2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒～塊状	30	中～硬	中～密	—
	B1	10YR4/6褐色	HC重埴土	10YR2/1黒色	SiLシルト質壤土	塊状	15	硬	中～密	—
	B2	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色	SiLシルト質壤土	—	10	中	中	—
RG140	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/8明黄褐色	SiLシルト質壤土	粒～塊状	30	中～硬	中～密	—
RG141	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/8明黄褐色	SiLシルト質壤土	粉状	30	硬	中～密	—
RG142	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	5	中	中	—
	A2	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒～塊状	15	中～硬	中～密	—
	B1	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR7/8黄橙色	SiLシルト質壤土	—	30	硬	中～密	—
RG143	A1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	2	中～硬	中～密	—
	B1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粉状	30	中～硬	中～密	—
RG144	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR7/8黄橙色	SiLシルト質壤土	塊状	30	中～硬	中～密	—
RG145	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	—	20	中～硬	中～密	—
	B1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	—	25	中～硬	密	—
RG146	A1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	B1	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第 18 表 南仙北遺跡第 32 次調査観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA017	K1	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	粉状	5～10	硬	密	カマド構築土
	K2	10YR4/6褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	—	—	—	—	—	—
	J1	—	—	—	—	—	—	—	—	※注記罹災
	J2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	L	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第 19 表 南仙北遺跡第 35 次調査観察表

挿図番号	写真図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	形態		出土		寸法 (cm) ※完形・復元のみ						底部切離等	器面調整		墨書等・特徴		
							区分	器種	平面位置	層位	器高	口径	口径	口径	口径	口径		口径	口径		口径	口径
51	001	2	本宮熊堂B	OKO	O12	RA027	18	土師器	坏	N0.9	床面	4.4	13.8	—	5.0	2.8	3.1	回転系切再調整	底部近くヘラケズリ	ヘラミガキ、黒色処理	胎土に雲母含む	
51	002	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA027	156	あかやき土器	坏	SW区壁	3回目	3.9	13.0	—	5.6	2.3	3.3	回転系切無調整	—	ヘラミガキ、黒色処理	胎土に雲母含む	
51	003	2	本宮熊堂B	OKO	O12	RA027	10	あかやき土器	坏	N0.6	床面	5.1	14.7	—	6.8	2.2	2.9	回転系切無調整	—	—	口縁部歪み	
51	004	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA027	45	あかやき土器	坏	カマド支脚	—	4.1	13.0	—	5.4	2.4	3.2	回転系切無調整	—	—	外面スス状炭化物、内面スス状・コゲ状炭化物	
51	005	2	本宮熊堂B	OKO	O12	RA027	44	あかやき土器	坏	カマド支脚N0.3	—	4.1	14.0	—	6.0	2.3	3.4	回転系切無調整	—	—	—	
51	006	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA027	152	あかやき土器	坏	SE区壁	3回目	4.9	13.6	—	5.6	2.4	2.8	回転系切無調整	—	—	外面スス状炭化物	
51	007	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA027	132	あかやき土器	坏	NW区	1回目	4.5	13.8	—	5.2	2.7	3.1	回転系切再調整	底部周囲ヘラケズリ	—	外面・内面口縁部スス状炭化物	
51	008	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA027	14	あかやき土器	坏	N0.7	床面	4.6	14.0	—	5.4	2.6	3.0	回転系切無調整	—	—	—	
51	009	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA027	6	あかやき土器	坏	N0.4	J	6.1	17.4	—	6.8	2.6	2.9	回転系切無調整	—	—	外面スス状炭化物、胎土に雲母含む	
51	010	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA027	16	あかやき土器	坏	N0.8	床面	5.4	15.6	—	6.0	2.6	2.9	摩擦不明瞭	—	—	—	
51	011	14	本宮熊堂B	OKO	O12	RA027	201	あかやき土器	坏	SE区	5回目	—	—	—	—	—	—	—	—	—	外面体部に墨書「田」	
52	012	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA027	17	土師器	高台付坏	N0.8	床面	4.8	13.8	—	7.0	—	—	回転系切後台部接合	—	ヘラミガキ、黒色処理(やや摩擦)	底部菊花紋	
52	013	2	本宮熊堂B	OKO	O12	RA027	42	あかやき土器	高台付坏	カマド支脚N0.1	—	6.0	16.0	—	7.2	—	—	—	—	—	底部菊花紋	
52	014	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA027	165	あかやき土器	高台付坏	SE区	3回目	5.9	14.0	—	8.0	—	—	—	—	—	底部菊花紋、胎土に雲母含む	
52	015	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA027	75	あかやき土器	高台付坏	NE区	J	—	—	—	8.0	—	—	回転系切後台部接合	—	—	—	
52	016	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA027	28	あかやき土器	鉢	SW区	L	—	23.0	—	—	—	—	—	体部下半ヘラケズリ	ヘラナデ	底部欠損	
53	017	3	本宮熊堂B	OKO	O12	RA027	91	あかやき土器	甕	カマド南袖付近	J	—	22.0	21.2	—	—	—	—	体部下半ヘラケズリ	体部上部ヘラナデ、体部カキメ	内面コゲ状炭化物、摩手	
53	018	3	本宮熊堂B	OKO	O12	RA027	73	あかやき土器	甕	ベルト③	J1	21.4	17.8	19.0	10.0	—	—	ヘラケズリ再調整	ヘラケズリ	ヘラナデ	内面コゲ状炭化物、摩手	
52	019	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA027	86	あかやき土器	甕	カマド北袖	K1	—	21.2	22.7	—	—	—	—	体部下半ヘラナデ+ヘラケズリ	体部上部ヘラナデ	内面コゲ状炭化物	
53	020	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA027	7	あかやき土器	甕	N0.5	床面	—	22.0	21.2	—	—	—	—	体部下半ヘラケズリ	カキメ	外面口縁部スス状炭化物、胎土に雲母含む	
53	021	3	本宮熊堂B	OKO	O12	RA027	49	あかやき土器	甕	カマド支脚	—	—	14.6	14.0	—	—	—	—	—	—	—	
54	022	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA028	10	土師器	坏	2区	J	4.2	13.6	—	6.6	2.1	3.2	回転系切無調整	—	ヘラミガキ、黒色処理	胎土に雲母含む	
54	023	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA028	11	土師器	坏	2区	J	5.1	14.4	—	5.6	2.6	2.8	回転系切無調整	—	ヘラミガキ、黒色処理(黒とび)	胎土に雲母含む	
54	024	4	本宮熊堂B	OKO	O12	RA028	40	土師器	坏	5区	B2	5.2	14.6	—	6.0	2.4	2.8	回転系切無調整	—	ヘラミガキ、黒色処理	胎土に雲母含む	
54	025	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA028	5	あかやき土器	坏	2区	J	4.3	13.4	—	4.8	2.8	3.1	回転系切無調整(摩擦)	—	—	全体に摩擦	
54	026	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA028	19	あかやき土器	坏	1区	B2	5.0	14.0	—	5.2	2.7	2.8	回転系切無調整	—	—	全体に摩擦	
54	027	14	本宮熊堂B	OKO	O12	RA028	50	あかやき土器	坏	ベルト②西側	B2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	体部外面に墨書「(不明)」	
54	028	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA028	13	須恵器	大甕	—	J	—	—	—	—	—	—	—	タタキ(平行文)	ヘラナデ	—	
55	029	4	本宮熊堂B	OKO	O12	RA029	25	あかやき土器	坏	煙出し	—	4.5	13.8	—	5.4	2.6	3.1	回転系切再調整	—	—	胎土に雲母含む	
55	030	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA029	11	須恵器	大甕	N0.10	床面	—	—	—	—	—	—	—	タタキ(平行文)	タタキ(蓮藕文)	—	
56	031	4	本宮熊堂B	OKO	O12	RA030	91	土師器	坏	4区	J	4.7	14.8	—	8.2	1.8	3.1	回転系切後ヘラケズリ再調整	底部近くヘラケズリ	ヘラミガキ、黒色処理	胎土に雲母含む	
56	032	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA030	65	土師器	坏	S側②ベルト	床面	4.2	14.8	—	6.0	2.5	3.5	回転系切後ヘラケズリ再調整	—	ヘラミガキ、黒色処理	胎土に雲母含む	
56	033	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA030	103	土師器	坏	貯蔵穴Pit3	埋土	4.4	14.0	—	6.0	2.3	3.2	回転系切無調整	—	ヘラミガキ、黒色処理	胎土に雲母含む	
56	034	4	本宮熊堂B	OKO	O12	RA030	5	土師器	大型坏	3区N0.8	床面	9.0	26.0	—	8.4	3.1	2.9	回転系切後ヘラケズリ再調整	体部下半ヘラケズリ	ヘラミガキ、黒色処理	胎土に雲母含む	
56	035	5	本宮熊堂B	OKO	O12	RA030	1	あかやき土器	坏	煙出しN0.2	—	4.0	13.9	—	6.4	2.2	3.5	回転系切無調整	—	—	—	
56	036	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA030	3	あかやき土器	坏	貯蔵穴Pit3N0.6	埋土	5.1	17.8	—	6.8	2.6	3.5	回転系切無調整	底部付近一部ヘラナデ	やや摩擦	—	
56	037	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA030	6	あかやき土器	坏	N0.11	床面	4.8	13.8	—	5.4	2.6	2.9	回転系切無調整	—	—	—	
56	038	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA030	2	あかやき土器	坏	貯蔵穴Pit3N0.3	埋土	4.8	14.4	—	5.2	2.8	3.0	回転系切無調整	—	—	—	
56	039	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA030	37	あかやき土器	坏	SE区	床面	4.5	14.6	—	5.6	2.6	3.2	回転系切無調整(摩擦)	—	—	全体に摩擦	
56	040	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA030	36	あかやき土器	坏	SE区	床面	5.4	14.2	—	4.0	3.6	2.6	回転系切無調整(摩擦)	—	—	内面コゲ状炭化物、全体に摩擦	
57	041	5	本宮熊堂B	OKO	O12	RA030	7	あかやき土器	坏	N0.12	L	5.2	16.8	—	6.0	2.8	3.2	回転系切後周囲ヘラケズリ再調整	—	—	全体に摩擦	
57	042	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA030	127	あかやき土器	坏	2区	B2	5.6	13.8	—	5.8	2.4	2.5	回転系切無調整	—	—	内面口縁部コゲ状炭化物、口縁部歪み	
57	043	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA030	38	あかやき土器	坏	SE区	床面	5.1	14.6	—	5.8	2.5	2.9	回転系切無調整(摩擦)	—	—	全体に摩擦	
57	044	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA030	191	あかやき土器	坏	5区	B1	4.9	14.0	—	6.2	2.3	2.9	回転系切無調整(摩擦)	—	—	—	
57	045	5	本宮熊堂B	OKO	O12	RA030	4	あかやき土器	高台付坏	貯蔵穴Pit3N0.7	埋土	6.9	15.5	—	8.0	—	—	—	体部下半ヘラケズリ	—	—	全体に摩擦、口縁部歪み
57	046	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA030	22	土師器	甕	4区	床面	—	21.0	20.8	—	—	—	—	口縁部ナデ、体部ヘラケズリ	口縁部ナデ、体部ヘラケズリ	全体にやや摩擦	
57	047	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA030	159	土師器	甕	6区	B2	—	15.7	16.1	—	—	—	—	—	—	—	—
57	048	5	本宮熊堂B	OKO	O12	RA030	176	須恵器	甕	1区	B1	—	16.7	—	—	—	—	—	—	—	—	口縁部歪み
57	049	—	本宮熊堂B	OKO	O12	RA030	157	須恵器	甕	6区	B2	—	—	—	—	—	—	—	タタキ(平行文)	タタキ(蓮藕文)	—	

第20表 本宮熊堂B遺跡第12次調査出土土器観察表

挿入 番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	平面位置	層位	寸法 (cm) ※完形・復元のみ						底部切離等	器面調整		墨書等・特徴				
											器高	口径	口径	口径	口径/器高	口径/器高		外面	内面					
62	062	9-14	野古A	ONK	O11	RA008	30	土師器	坏	NE区	D	5.1	15.6	-	5.4	2.9	3.1	-	回転ハズレキ、黒色処理	ハズレキ、黒色処理	刻書「𐤀」、胎土に雲母含む			
62	063	-	野古A	ONK	O11	RA008	73	あかやき土器	坏	Pit4	埋土	4.0	14.4	-	5.6	2.6	3.6	-	回転系切無調整	-	胎土に雲母含む			
62	064	-	野古A	ONK	O11	RA008	89	あかやき土器	坏	-	埋土上面	4.4	12.6	-	5.0	2.5	2.9	-	回転系切無調整	-	外面・内面スス状炭化物、胎土に雲母含む			
62	065	14	野古A	ONK	O11	RA008	33	あかやき土器	坏	SW区	C1	4.6	14.0	-	4.6	3.0	3.0	-	底部一部欠損	-	墨書「(不?)」			
62	066	-	野古A	ONK	O11	RA008	15	土師器	小型壺	カマド袖	K	-	12.2	13.0	-	-	-	-	-	ハズレリ+ハズレ	ハズレ	胎土雲母含む、輪積み明瞭		
62	067	-	野古A	ONK	O11	RA008	6	土師器	壺	カマド	火焼面	-	22.2	22.3	-	-	-	-	-	ハズレ	ハズレ	胎土に雲母含む		
形態												寸法 (cm) ※完形・復元のみ						底部切離等	器面調整		墨書等・特徴			
挿入 番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	平面位置	層位	器高	口径	口径	口径	口径/器高	口径/器高	外面	内面						
63	068	9	野古A	ONK	O11	RA009	48	土師器	坏	SE区	A	4.8	14.4	-	6.0	2.4	3.0	-	ヘラミガキ、黒色処理	ハズレキ、黒色処理	ハズレキ、黒色処理	胎土に雲母含む		
63	069	9	野古A	ONK	O11	RA009	6	土師器	坏	カマド北袖	K	5.0	14.0	-	5.2	2.7	2.8	-	回転系切無調整	-	ハズレキ、黒色処理 (黒ビ)	やや摩滅、胎土に雲母含む		
63	070	9	野古A	ONK	O11	RA009	35	あかやき土器	高台付坏	SE区	B	7.5~5.0	14.8	-	9.0	-	-	-	-	-	-	口縁部歪み、胎土に雲母含む		
63	071	-	野古A	ONK	O11	RA009	11	あかやき土器	高台付坏	カマド焚口	-	-	-	-	7.4	-	-	-	-	-	-	底部菊花紋、胎土に雲母含む		
形態												寸法 (cm) ※完形・復元のみ						底部切離等	器面調整		墨書等・特徴			
挿入 番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	平面位置	層位	器高	口径	口径	口径	口径/器高	口径/器高	外面	内面						
64	072	10	野古A	ONK	O11	RA010	20	土師器	坏	NEベルト	B3	5.2	14.2	-	6.2	2.3	2.7	-	回転系切無調整	体部下半ハズレキ	ハズレキ、黒色処理 (黒ビ)			
64	073	-	野古A	ONK	O11	RA010	2	土師器	坏	カマド左袖	K2	4.6	14.2	-	4.8	3.0	3.1	-	一部欠損、回転系切無調整	-	ハズレキ、黒色処理	外面スス状炭化物、胎土に雲母含む		
64	074	-	野古A	ONK	O11	RA010	19	土師器	坏	NE区	B2	4.5	13.4	-	5.0	2.7	3.0	-	一部欠損、回転系切無調整	-	ハズレキ、黒色処理	胎土に雲母含む		
64	075	-	野古A	ONK	O11	RA010	33	土師器	坏	NW区	B	4.5	13.6	-	5.4	2.5	3.0	-	回転系切無調整	-	ハズレキ、黒色処理	胎土に雲母含む		
64	076	-	野古A	ONK	O11	RA010	7	土師器	壺	NW区	D	-	22.0	22.4	-	-	-	-	-	口縁部ナデ、体部ハズレ	ハズレ	内面コゲ状炭化物		
形態												寸法 (cm) ※完形・復元のみ						底部切離等	器面調整		墨書等・特徴			
挿入 番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	平面位置	層位	器高	口径	口径	口径	口径/器高	口径/器高	外面	内面						
65	077	-	野古A	ONK	O11	RA011	2	土師器	坏	カマド北袖	K	-	-	-	5.4	-	-	-	-	回転系切無調整	-	ハズレキ、黒色処理 (黒ビ)	胎土に雲母含む	
65	078	-	野古A	ONK	O11	RA011	8	あかやき土器	坏	カマド付近	J	4.8	13.8	-	5.4	2.6	2.9	-	回転系切無調整	-	-	内面コゲ状炭化物		
65	079	-	野古A	ONK	O11	RA011	9	あかやき土器	坏	カマド付近	J	-	-	-	4.4	-	-	-	-	回転系切無調整	-	-	内面コゲ状炭化物	
65	080	-	野古A	ONK	O11	RA011	16	あかやき土器	壺	SW区	床面	-	14.8	15.1	-	-	-	-	-	-	ハズレ	胎土に雲母含む		
形態												寸法 (cm) ※完形・復元のみ						底部切離等	器面調整		墨書等・特徴			
挿入 番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	平面位置	層位	器高	口径	口径	口径	口径/器高	口径/器高	外面	内面						
66	081	-	野古A	ONK	O11	RA012	5	土師器	坏	燻道	底面	-	17.0	-	-	-	-	-	-	-	丸底(欠損)	ハズレキ、黒色処理		
66	082	-	野古A	ONK	O11	RA012	3	土師器	壺	カマド北袖	K	-	18.0	14.0	-	-	-	-	-	-	口縁部ナデ、体部ハズレ	体部ハズレ、口縁部ハズレ		
66	083	-	野古A	ONK	O11	RA012	21	土師器	壺	NW区	A	-	14.2	-	-	-	-	-	-	-	口縁部ナデ、体部ハズレ	ハズレ	胎土に雲母含む	
66	084	-	野古A	ONK	O11	RA012	1	土師器	壺	NO.2	床面	-	-	-	9.4	-	-	-	-	ヘラケズリ再調整	ハズレ+ハズレキ	ハズレ+ハズレキ		
66	085	10	野古A	ONK	O11	RA012	7	土師器	壺	カマド焚口付近	B2	13.5	10.2	13.4	8.2	1.2	0.8	-	-	木葉痕	口縁部ナデ、体部ハズレ	ハズレ	胎土に雲母含む	
形態												寸法 (cm) ※完形・復元のみ						底部切離等	器面調整		墨書等・特徴			
挿入 番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	区分	器種	平面位置	層位	器高	口径	口径	口径	口径/器高	口径/器高	外面	内面						
67	086	-	野古A	ONK	O11	RA013	11	土師器	坏	カマド焚口付近	B	-	16.0	-	-	-	-	-	-	-	丸底(欠損)	体部ハズレリ、口縁部ハズレ	口縁部ハズレ、体部ハズレ、黒色処理 (黒ビ)	外面コゲ状炭化物
67	087	-	野古A	ONK	O11	RA013	5	土師器	高台付坏	NE区	B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ハズレ	一部ハズレ	柱状高台	

第 21 表 野古 A 遺跡第 11 次調査出土土器観察表

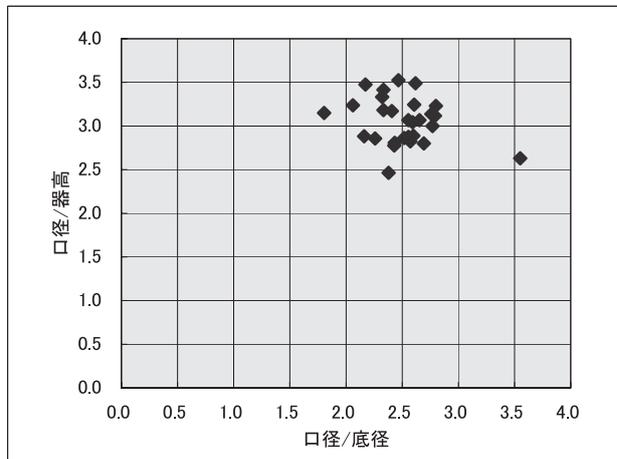
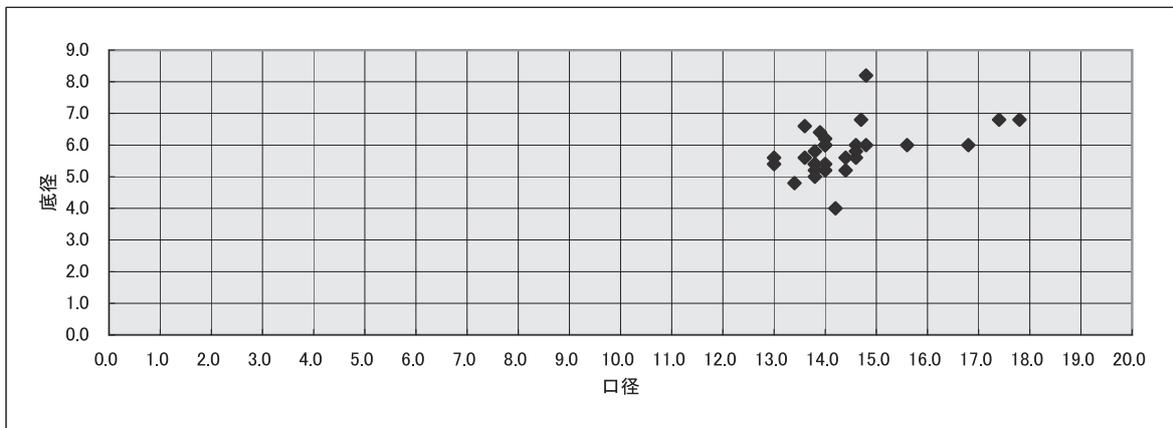
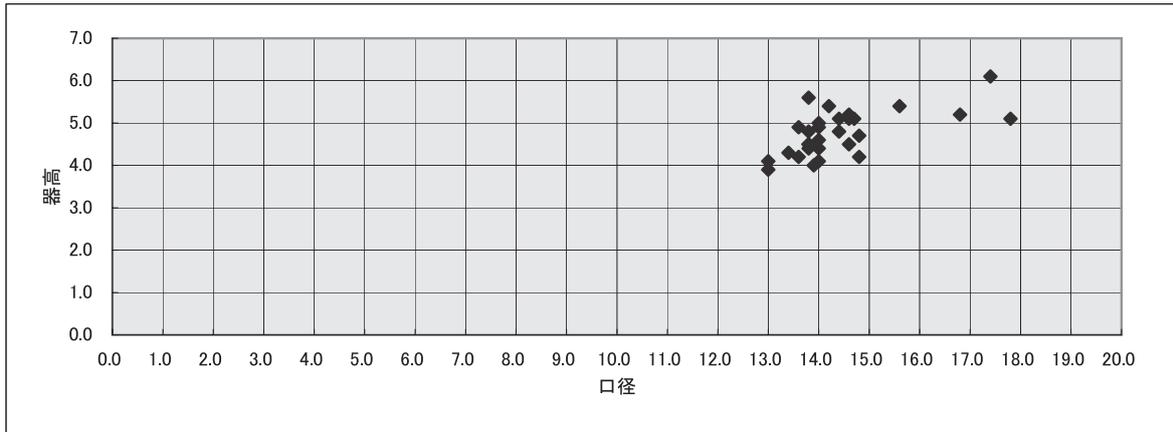
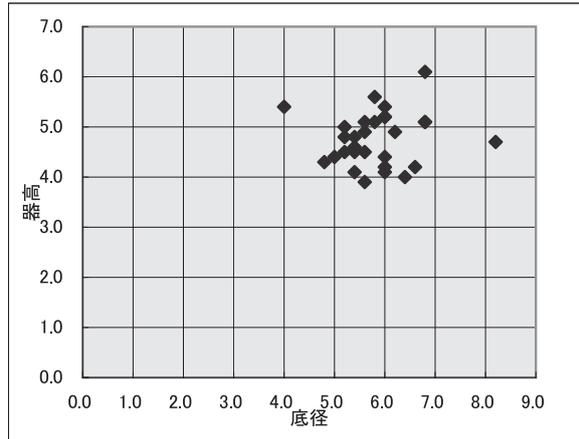
採回	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	形態		出土		寸法 (cm) ※完形・復元のみ						底部切離等	器面調整		墨書等・特徴						
								区分	器種	平面位置	層位	器高	口径	口径	口径	口径	口径/口径		口径/口径	口径/口径		口径/口径	口径/口径	口径/口径	口径/口径	口径/口径	口径/口径
58	050	7	野古A	ONK	006	RA005		13	あかやき土器	小型甕	N0.17	床面	15.6	14.0	14.4	8.0	-	-	-	-	-	-	-	回転系切無調整	下部へナナ		外面スス状炭化物
59	051	7	野古A	ONK	006	RA006		14	土師器	小型鉢	N0.16	床面	-	16.3	15.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	へナナ	へナナ+へナナ	内面コゲ状炭化物、胎土に雲母含む
59	052	7	野古A	ONK	006	RA006		16	土師器	小型鉢	N0.16	B2	11.9	16.5	13.4	6.0	-	-	-	-	-	-	-	へナナ	口縁部ナデ、体部へナナ	胎土に雲母含む	
59	053	-	野古A	ONK	006	RA006		8	土師器	甕	N0.10	床面	-	20.6	18.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	口縁部ナデ、体部へナナ	口縁部ナデ、体部へナナ	外面・内面コゲ状炭化物、胎土に雲母含む
59	054	-	野古A	ONK	006	RA006		9	土師器	甕	N0.11	床面	-	21.4	18.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	口縁部ナデ、体部へナナ	口縁部ナデ、体部へナナ	胎土に雲母含む
60	055	7	野古A	ONK	006	RA006		3	土師器	甕	N0.1	床面	32.0	24.5	21.1	7.4	-	-	-	-	-	-	-	-	口縁部ナデ、体部下へナナ	へナナ	胎土に雲母含む
60	056	7	野古A	ONK	006	RA006		10	土師器	甕	N0.12	床面	27.9	19.7	18.6	6.2	-	-	-	-	-	-	-	-	体部へナナ	体部へナナ	外面・内面コゲ状炭化物、胎土に雲母含む
60	057	-	野古A	ONK	006	RA006		5	土師器	甕	N0.7	床面	31.4	20.8	18.0	6.8	-	-	-	-	-	-	-	-	口縁部ナデ、体部へナナ	へナナ	外面・内面コゲ状炭化物、胎土に雲母含む
60	058	8	野古A	ONK	006	RA006		7	土師器	甕	N0.9	床面	21.6	19.5	16.2	7.0	-	-	-	-	-	-	-	木葉痕	へナナ	へナナ	内面コゲ状炭化物、胎土に雲母含む
61	059	8	野古A	ONK	006	RA006		1	土師器	甕	南袖	構築土	30.6	20.3	18.5	7.2	-	-	-	-	-	-	-	-	口縁部ナデ、体部へナナ	口縁部ナデ、体部へナナ	胎土に雲母含む
61	060	-	野古A	ONK	006	RA006		2	土師器	甕	北袖	構築土	30.9	22.4	19.1	6.0	-	-	-	-	-	-	-	-	口縁部ナデ、体部へナナ	口縁部ナデ、体部へナナ	胎土に雲母含む
61	061	8	野古A	ONK	006	RA006		127	土師器	球胴甕	N0.9	床	30.5	22.0	30.7	7.0	-	-	-	-	-	-	-	木葉痕	へナナ	へナナ+へナナ	外面・内面コゲ状炭化物

第22表 野古A遺跡第6次調査出土土器観察表

採回	番号	写真 図版	遺跡名	略号	次数	遺構名	台帳No.	形態		出土		寸法 (cm) ※完形・復元のみ						底部切離等	器面調整		墨書等・特徴							
								区分	器種	平面位置	層位	器高	口径	口径	口径	口径	口径/口径		口径/口径	口径/口径		口径/口径	口径/口径	口径/口径	口径/口径	口径/口径		
68	088	11	南仙北	OMS	015	RA012		1	土師器	小型甕	N0.1	-	11.5	12.9	10.6	6.0	/	/	-	-	-	-	-	口縁部ナデ、体部上半へラナナ+体部下へラナナ	口縁部ナデ、体部へラナナ			
68	089	11	南仙北	OMS	015	RA012		2	土師器	小型甕	N0.1	-	11.5	13.4	12.0	7.0	/	/	-	-	-	-	-	-	口縁部ナデ、体部へラナナ	口縁部ナデ、体部へラナナ	全体にやや摩滅	
68	090	11	南仙北	OMS	015	RA012		6	土師器	甕	Pit	-	-	20.0	14.6	-	/	/	-	-	-	-	-	-	口縁部多条沈線、体部へラナナ	ハケメ		
69	091	11	南仙北	OMS	028	P1		1	土師器	坏	埋土上面	-	3.5	10.3	-	6.0	1.7	2.9	-	-	-	-	-	-	へラミガキ	へラミガキ、黒色処理	外面やや摩滅	
69	092	-	南仙北	OMS	028	RG120		11	須恵器	甕	-	A2	-	17.2	-	-	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-	外面・内面自然釉	
70	093	13	南仙北	OMS	035	RA017		2	土師器	坏	N0.2	-	4.1	14.0	-	8.0	1.8	3.4	-	-	-	-	-	-	へラクスリ後へラミガキ	へラミガキ、黒色処理		
70	094	13	南仙北	OMS	035	RA017		1	土師器	甕	N0.1	-	-	10.2	-	18.2	/	/	-	-	-	-	-	-	口縁部コナナ+ハケメ、体部へラナナ	口縁部ナデ、体部ハケメ	外面スス状炭化物	
71	095	-	南仙北	OMS	030	RA3001		4	土師器	甕	カマド袖付近	J	-	20.6	19.0	-	/	/	-	-	-	-	-	-	口縁部へラミガキ+ナデ、体部へラミガキ	口縁部ミガキ、体部ハケメ+へラミガキ	胎土に雲母含む	
71	096	11	南仙北	OMS	030	RA3001		1	土師器	小型甕	カマド袖付近	-	18.7	15.4	14.0	6.6	/	/	-	-	-	-	-	-	口縁部ナデ、体部ハケメ	口縁部ナデ、体部ハケメ	胎土に雲母含む	
71	097	-	南仙北	OMS	030	RA3001		2	土師器	球胴甕	-	-	-	21.2	27.4	-	/	/	-	-	-	-	-	-	口縁部ナデ、体部へラナナ	口縁部ナデ、体部へラナナ	全体にやや摩滅	
72	098	-	南仙北	OMS	032	RG131		177	土師器	坏	E区	底面	5.4	13.8	-	5.8	2.4	2.6	-	-	-	-	-	-	回転へラクスリ	底部付近回転へラクスリ	へラミガキ、黒色処理	胎土に雲母含む
72	099	12	南仙北	OMS	032	RG131		142	須恵器	坏	D区	B	4.8	14.6	-	6.0	2.4	3.0	-	-	-	-	-	-	回転系切後へラナナ再調整	底部付近へラナナ	へラミガキ、黒色処理	
72	100	-	南仙北	OMS	032	RG131		150	須恵器	坏	D区	B1	5.2	15.0	-	5.6	2.7	2.9	-	-	-	-	-	-	-	回転系切無調整		
72	101	12	南仙北	OMS	032	RG131		173	須恵器	坏	G区埋土上面	-	4.6	15.4	-	6.0	2.6	3.3	-	-	-	-	-	-	-	回転系切無調整		
72	102	-	南仙北	OMS	032	RG131		175	須恵器	坏	G区埋土上面	-	4.8	15.0	-	6.0	2.5	3.1	-	-	-	-	-	-	-	回転系切無調整		
72	103	12	南仙北	OMS	032	調査区南西		20	須恵器	坏	攪乱	-	4.5	14.6	-	5.4	2.7	3.2	-	-	-	-	-	-	-	回転系切無調整		

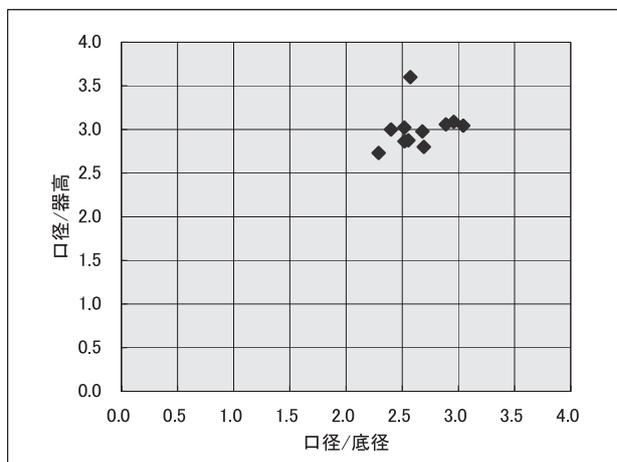
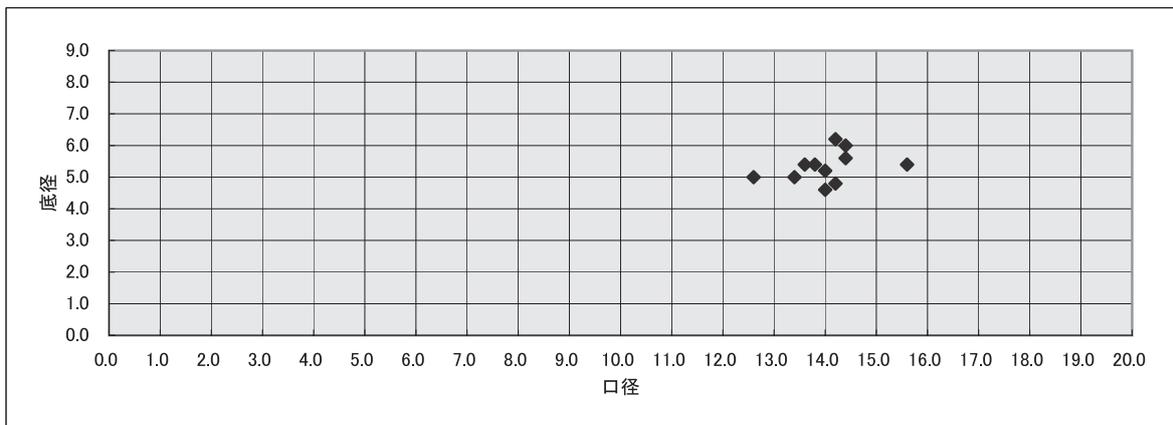
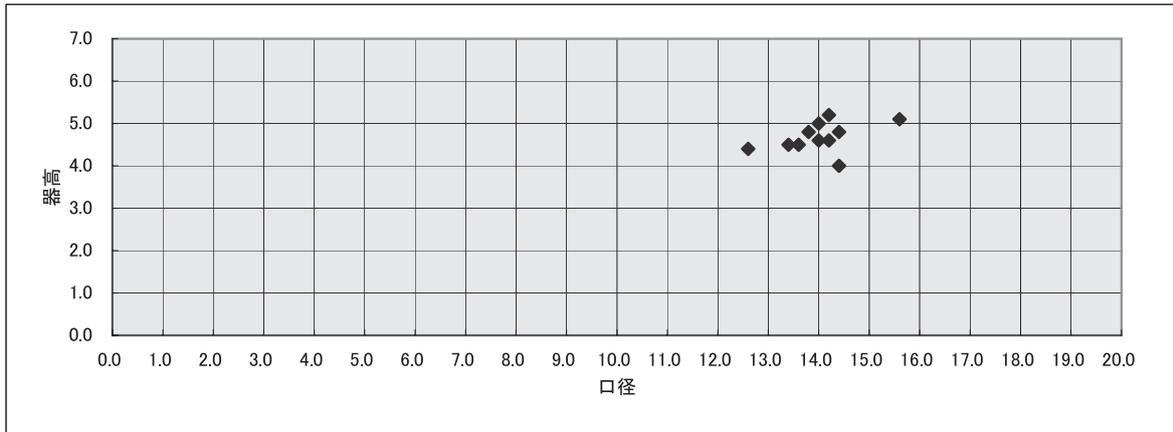
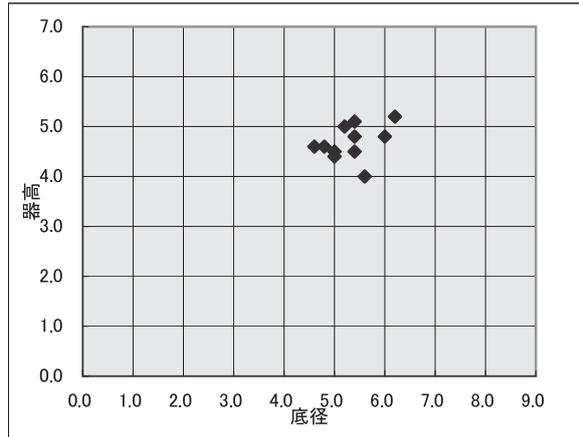
第23表 南仙北遺跡第15・28・30・32・35次調査出土土器観察表

坏 [29点]	最大值 (cm)	最小值 (cm)	平均值 (cm)
器高	6.1	3.9	4.8
口径	17.8	13.0	14.4
底径	8.2	4.0	5.8
口径/底径	3.6	1.8	2.5
口径/器高	3.5	2.5	3.0



第 24 表 本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査出土坏検討表

坏〔11点〕	最大值 (cm)	最小值 (cm)	平均值 (cm)
器高	5.2	4.0	4.7
口径	15.6	12.6	14.0
底径	6.2	4.6	5.3
口径/底径	3.0	2.3	2.6
口径/器高	3.6	2.7	3.0



第 25 表 野古 A 遺跡第 11 次調査 RA008 ~ 011 出土坏検討表

# 写 真 图 版



本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査 R A O 2 7 出土土器 (平安時代)



本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査 R A O 3 0 出土土器 (平安時代)

第 1 図版 本宮熊堂 B 遺跡第 12 次調査出土遺物



001 R A O 2 7 (土師器杯)



003 R A O 2 7 (あかやき土器杯)



005 R A O 2 7 (あかやき土器杯)



013 R A O 2 7 (あかやき土器高台付杯)



017 RA027 (あかやき土器甕)



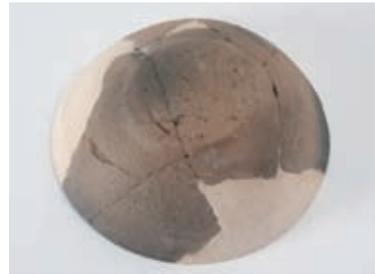
018 RA027 (あかやき土器甕)



021 RA027 (あかやき土器甕)



024 RA028 (土師器坏)



029 RA029 (あかやき土器坏)





031 RA030 (土師器坏)



034 RA030 (土師器大型坏)



035 RA030 (あかやき土器坏)



041 R A O 3 0 (あかやき土器坏)



045 R A O 3 0 (あかやき土器高台付坏)



048 R A O 3 0 (須恵器甕)



野古A遺跡第6次調査RA005出土土器（奈良時代）



野古A遺跡第11次調査RA008・009・010出土土器（平安時代）



050 RA005 (あかやぎ土器甕)



051 RA006 (土師器鉢)



052 RA006 (土師器鉢)



055 RA006 (土師器甕)



057 RA006 (土師器甕)



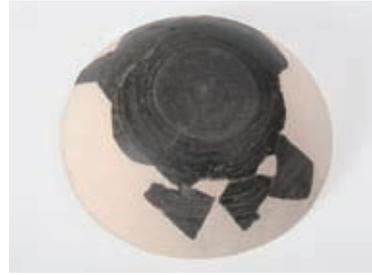
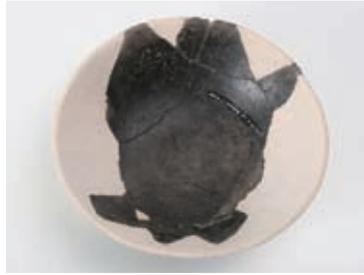
058 R A O O 6 (土師器甕)



059 R A O O 6 (土師器甕)



061 R A O O 6 (土師器球胴甕)



062 RA008 (土師器坏)



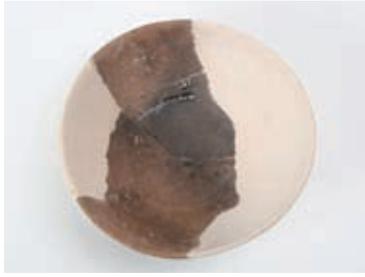
068 RA009 (土師器坏)



069 RA009 (土師器坏)



070 RA009 (あかやき土器高台付坏)



072 R A O 1 0 (土師器坏)



085 R A O 1 2 (土師器甕)

第 10 図版 野古 A 遺跡第 11 次調査出土遺物 (2)



088 第15次RAO12 (土師器甕)



089 第15次RAO12 (土師器甕)



090 第15次RAO12 (土師器甕)



091 第28次P1 (土師器坏)



096 第30次RA3001 (土師器甕)



099 RG 1 3 1 (須恵器坏)



101 RG 1 3 1 (須恵器坏)



103 調査区南西 (須恵器坏)



093 R A O 1 7 (土師器坏)



094 R A O 1 7 (土師器甕)

第 13 図版 南仙北第 35 次調査出土遺物



011 本宮熊堂B遺跡第12次調査RA027  
墨書「田」(あかやき土器坏)



027 本宮熊堂B遺跡第12次調査RA028  
墨書「(不明)」(あかやき土器坏)



064 野古A遺跡第11次調査RA008  
墨書「(不?)」(あかやき土器坏)



061 野古A遺跡第11次調査RA008  
刻書「𠂔」(土師器坏)

報告書抄録

ふりがな	せいなんちくいせきぐんはつくつちょうさほうこく2							
書名	盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅱ							
副書名	盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡平成 5～12 年度発掘調査② 稲荷遺跡・本宮熊堂A遺跡・本宮熊堂B遺跡・野古A遺跡・飯岡沢田遺跡・飯岡才川遺跡・向中野館遺跡・細谷地遺跡・矢盛遺跡・南仙北遺跡							
編著者名	津嶋知弘							
編集機関	盛岡市教育委員会 遺跡の学び館							
所在地	〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13-1 Tel019-635-6600							
発行年月日	2009年3月15日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° / ' / "	東経 ° / ' / "	調査期間	調査面積 m <sup>2</sup>	調査原因
		市町村	遺跡番号					
いなりいせき 稲荷遺跡	岩手県盛岡市 もとみやあざいなり 本宮字稲荷	03201		39° 40' 49"	141° 7' 41"	1次:1994.5.30-11.7 2次:1996.4.22	2,143 234	土地区画整理事業等
もとみやくまどうアいせき 本宮熊堂A遺跡	岩手県盛岡市 もとみやあざくまどう 本宮字熊堂	03201		39° 41' 19"	141° 8' 8"	2次:1994.11.7-12.9 2補:1996.5.14-5.16	2,835 1,679	
もとみやくまどうビーいせき 本宮熊堂B遺跡	岩手県盛岡市 もとみや あざ いなり 本宮字 稲荷・ くまどう わかいなかのあざ 熊堂, 向中野字 せんかりた 千刈田	03201		39° 21' 30"	140° 45' 40"	3次:1995.9.18-9.21 3補:1996.4.23-5.7 8次:1999.5.10-6.30 12次:2000.10.20-11.29	2,759 3,422 1,289 1,663	
のっこアいせき 野古A遺跡	岩手県盛岡市 もとみや あざ のっこ 本宮字 野古, しもかずま あざ きた 下鹿妻 字 北・ こばやし 小林	03201		39° 40' 45"	141° 8' 4"	6次:1993.10.4-10.29 6補:1994.8.17-9.13 7次:1994.11.7-12.9 8次:1996.4.8-4.16 11次:2000.8.21-9.30	計550 2,602 4,442 1,080	
いとおかさわだいせき 飯岡沢田遺跡	岩手県盛岡市 しもかずま あざ きた 下鹿妻 字 北, いとおかしんでん 飯岡新田第1地 割	03201		39° 40' 42"	141° 8' 13"	1次:1995.9.21-9.22 2次:1996.10.28-11.1	384 2,965	
いのおかさいかわいせき 飯岡才川遺跡	岩手県盛岡市 いとおかしんでん 飯岡新田第2地 割	03201		39° 40' 44"	141° 8' 0"	1次:1996.7.24-8.2, 11.5-11.11	5,672	
むかいなかのだていせき 向中野館遺跡	岩手県盛岡市 むかいなかのあざさいかわ 向中野字才川	03201		39° 40' 41"	141° 8' 19"	1次:1995.9.25-9.29 2次:1996.11.14-11.15	991 110	
ほそやらいせき 細谷地遺跡	岩手県盛岡市 むかいなかのあざほそやら 向中野字細谷地, いとおかしんでん 飯岡新田2地割	03201		39° 40' 42"	141° 8' 19"	2次:1996.11.14-11.15	975	
やもりいせき 矢盛遺跡	岩手県盛岡市 いとおかしんでん 飯岡新田第3地 割・4地割	03201		39° 40' 27"	141° 8' 5"	2次:1999.8.26-9.2	131	
みなみせんぼくいせき 南仙北遺跡	岩手県盛岡市 むかいなかの あざ つるこ 向中野字 鶴子・ みなみせんぼく 南仙北2丁目	03201		39° 40' 37"	141° 8' 53"	15次:1995.8.8-8.11 16次:1995.9.28-10.6 17次:1995.12.19 22次:1996.11.11-11.15 23次:1996.11.20-11.21 24次:1996.12.16 27次:1998.4.6-4.17 28次:1998.4.6-4.13 30次:1998.6.18-7.30 31次:1998.7.6-7.10 32次:1999.9.6-9.30 35次:2000.6.8-6.22	77 1,445 94 59 108 7 346 732 362 517 550 145	

所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
稲荷遺跡 第1次調査	集落	古代	土坑, 溝跡, 柱穴		試掘確認調査	
第2次調査		古代	土坑, 溝跡		試掘確認調査	
本宮熊堂A遺跡 第2次調査	集落	縄文 古代	土坑, 溝跡, 柱穴	晩期土器	試掘確認調査	
第2次補足調査		縄文 古代	遺物包含層 土坑, 溝跡, 柱穴			試掘確認調査
本宮熊堂B遺跡 第3次調査	集落	古代	竪穴住居跡, 土坑, 溝跡, 柱穴		試掘確認調査	
第3次補足調査		古代	竪穴住居跡, 土坑, 溝跡, 柱穴		試掘確認調査	
第8次調査		古代以降	溝跡5, 遺物包含層	土師器, 須恵器, あかやき土器		
第12次調査		平安時代	竪穴住居跡5, 柱穴, 遺物包含層	土師器, 須恵器, あかやき土器	墨書土器「田」	
野古A遺跡 第6次・6次補足調査	集落	奈良時代 平安時代 古代	竪穴住居跡1 竪穴住居跡1, 掘立柱建物跡2 竪穴住居跡1, 土坑11, 溝跡1, 円形周溝1, 竪穴状遺構1, 柱穴	土師器 土師器, 須恵器, あかやき土器 土師器, 須恵器, あかやき土器		
第11次調査		奈良時代 平安時代 古代	竪穴住居跡3 竪穴住居跡4 土坑2, 溝跡7	土師器 土師器, 須恵器, あかやき土器		
飯岡沢田遺跡 第1次調査	集落		なし		試掘確認調査	
第2次調査		古代	竪穴住居跡, 土坑, 溝跡, 柱穴		試掘確認調査	
飯岡才川遺跡 第1次調査	集落	古代	竪穴住居跡, 土坑, 溝跡, 円形周溝, 柱穴		試掘確認調査	
向中野館遺跡 第1次調査	集落	古代	竪穴住居跡, 土坑, 溝跡, 柱穴		試掘確認調査	
第2次調査		古代	竪穴住居跡, 土坑, 遺物包含層		試掘確認調査	
細谷地遺跡 第1次調査	集落	古代	竪穴住居跡, 土坑, 溝跡		試掘確認調査	
矢盛遺跡 第2次調査	集落	近世以降	柱列跡1, 溝跡3, 柱穴			
南仙北遺跡 第15次調査	集落	縄文時代 奈良時代	陥し穴跡1 竪穴住居跡1	土師器	口縁多条沈線甕	
第16次調査		古代	土坑, 溝跡, 柱穴		試掘確認調査	
第17次調査		古代	竪穴住居跡, 土坑, 溝跡, 柱穴		試掘確認調査	
第22次調査		古代	竪穴住居跡1			
第23次調査		古代	竪穴住居跡, 土坑, 溝跡		試掘確認調査	
第24次調査		古代	土坑		試掘確認調査	
第27次調査		古代以降	掘立柱建物跡1, 土坑7, 溝跡4, 方 形周溝1, 柱穴	あかやき土器		
第28次調査		縄文時代 古代以降	陥し穴跡1 土坑3, 溝跡3	土師器, 須恵器		
第30次調査		奈良時代 古代 古代以降	竪穴住居跡1 竪穴住居跡1 土坑1, 溝跡3	土師器		
第31次調査		古代	溝跡3	須恵器, あかやき土器	試掘確認調査	
第32次調査		平安時代 古代以降	溝跡2 土坑1, 溝跡15	土師器, 須恵器, あかやき土器		
第35次調査		縄文時代 奈良時代 古代	陥し穴跡1 竪穴住居跡1 土坑2, 柱穴	土師器		
要約		盛南地区遺跡群は、平安時代初頭の延暦22年(803)に朝廷が造営した古代城柵「志波城」の南東方に位置し、7世紀より続く一大勢力「志波エミシ」が10世紀まで拠点とした古代集落群が主に確認されている。本書掲載のうち特に、本宮熊堂B遺跡東部に位置する第12次調査では平安時代9世紀後半の竪穴住居跡が、野古A遺跡東部に位置する第6次・11次調査では奈良時代8世紀前半の竪穴住居跡・土坑墓及び平安時代10世紀前半の竪穴住居跡・円形周溝墓等が確認された。平安時代の遺構からは墨書土器・刻書土器が出土しており、盛南地区遺跡群全体でのそれらの出土の多さは、志波城造営以後の在地エミシ集団(俘囚)と朝廷による律令統治との関係の一端を示すものと考えられた。				

## 盛南地区遺跡群発掘調査報告Ⅱ

－盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡平成5～12年度発掘調査②－  
稲荷遺跡・本宮熊堂A遺跡・本宮熊堂B遺跡・野古A遺跡・  
飯岡沢田遺跡・飯岡才川遺跡・向中野館遺跡・  
細谷地遺跡・矢盛遺跡・南仙北遺跡

平成21年3月15日

編集 盛岡市遺跡の学び館

〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋 13-1

電話 019-635-6600 ファクス 019-635-6605

E-mail [iseki@city.morioka.iwate.jp](mailto:iseki@city.morioka.iwate.jp)

URL <http://www.city.morioka.iwate.jp/>

[14kyoiku/iseki/manabikan/index.html](http://www.city.morioka.iwate.jp/14kyoiku/iseki/manabikan/index.html)

発行 独立行政法人都市再生機構

盛岡市・盛岡市教育委員会

印刷 株式会社橋本印刷

〒020-0015 岩手県盛岡市本町通一丁目 15-29